東京工科大学

コンピュータサイエンス学部
メディア学部　工学部　応用生物学部
デザイン学部　医療保健学部
大学院

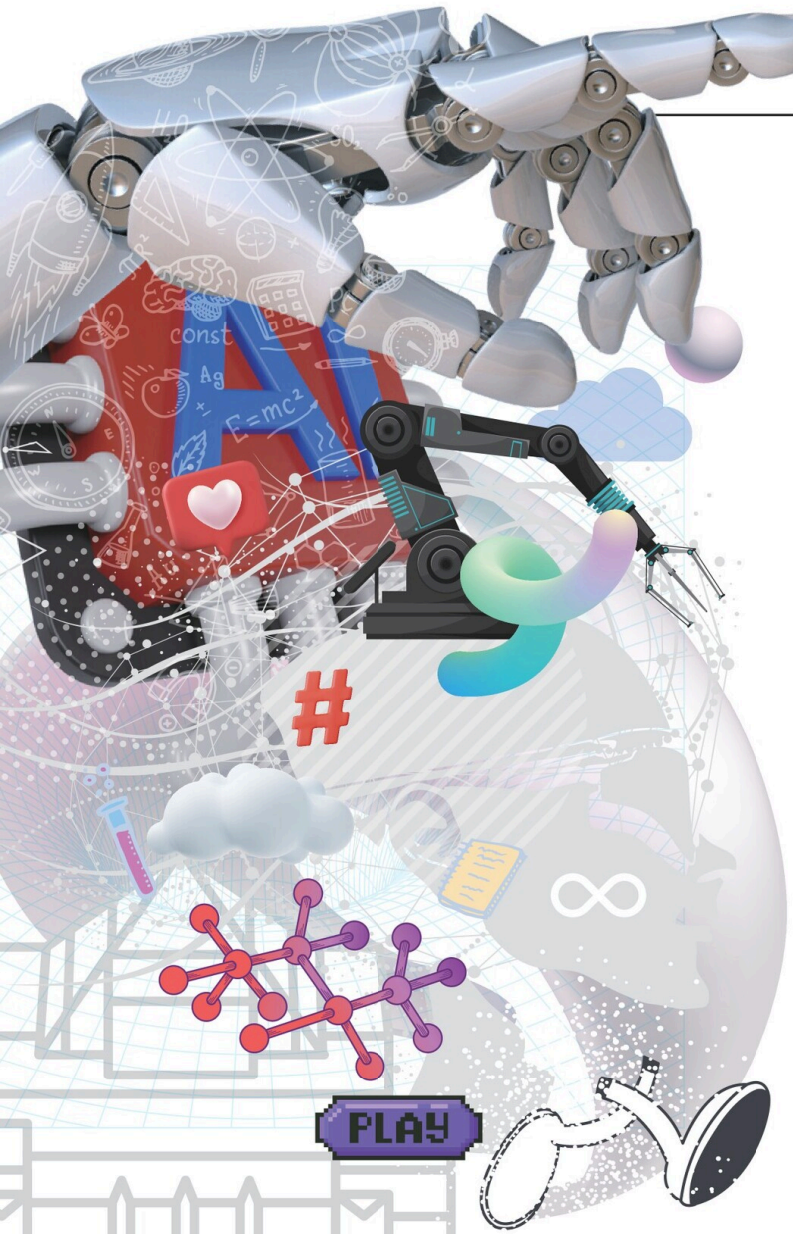
Tokyo University of Technology 40th Anniversary

2026年、東京工科大学は
開学40周年を迎えます

大学案内
Guide 2027



AIと歩む。



Contents

AIと歩む。
01 巻頭特集
AI UNIVERSITY
02 AIスキルが身につく
04 「最先端」に挑む
10 夢中になれる理由がある
14 つながる、ひろがる
18 未来をデザインする
22 新学部設置構想
23 東京工科大学憲章
基本理念／
History／理事長挨拶／学長挨拶
26 学部・学科・専攻・コース一覧
28 教養学環
30 コンピュータサイエンス学部
●先進情報専攻　情報基盤コース／人間情報コース／人工知能コース
●社会情報専攻
38 メディア学部
●メディアコンテンツコース　●メディア技術コース　●メディア社会コース
48 工学部
●機械工学科　●電気電子工学科　●応用化学科
60 応用生物学部
●生命医薬コース　●地球環境コース　●食品コース　●化粧品コース
72 デザイン学部
●視覚デザインコース　●情報デザインコース
●工業デザインコース　●空間デザインコース
86 医療保健学部
●看護学科　●臨床工学科
●リハビリテーション学科
理学療法学専攻／作業療法学専攻／言語聴覚学専攻
●臨床検査学科
104 東京工科大学 大学院
108 東京工科大学のベストケア
●入学前サポート　●学修サポート
●その他のサポート　●奨学金等のご案内
112 キャンパスライフ
●キャンパス案内　●キャンパスカレンダー　●サークル紹介
●ホンネdeワクワク　●学生寮（学生会館）
122 就職実績
124 学費
125 オープンキャンパス　インフォメーション

最新情報や
キャンパスライフを
SNSで発信

@tokyo_koukadai　@tut_tweet
@tut_koukaton.official　@teu.ac.jp
YouTube @TokyoKokaDaigaku

知る。使う。活かす。

AIとの歩みが、新しい時代をつくる。

TUT×AI

※×AIのロゴは、制作過程でAIを活用しています。

東京工科大学（TUT）は、“AI University”として、
AIを単なる技術としてではなく、
ともに学び、創造するパートナーと捉えています。

人の感性とAIの知が重なり合い、
想像力と科学、実践と理論が交わるとき、
新たな価値が生まれていく。

TUT × AI — それは、
人とテクノロジーがともに成長し、社会へ新たな可能性を拓く、
未来志向の“共創のかたち”です。



P01〜03テクスチャー制作：品田 涼華　デザイン学部1年（制作時）

AIスキルが

全学部の学生が、AIを活用できるスキルを身につける

日本一のAI教育をめざす３層構造

AIとともに新たな創造力を発揮する

AIを活かす

3 実践応用力

- 先端リグニン材料研究センター
- デジタルヘルス・イノベーションセンター P07
- ヒューマンムーブメントセンター P07
- セラミックス複合材料センター
- バイオミメティクスセンター
- 未来モビリティ研究センター P06

AIを使う

2 基礎技術

- デジタルツインセンター P05
- AIテクノロジーセンター P04
- 戦略的教育プログラム P08

AIを知る

1 情報リテラシー

- リベラルアーツセンター中心の教育開発チーム

基礎から社会への応用を理解できる

八王子キャンパス

Mission

革新する

科学技術を融合して、社会が必要としている最先端技術をつくり出す

AI University

NEWS

養老孟司氏とAI養老先生が客員教授に就任!

2026年より、東京大学名誉教授として活躍する養老孟司氏を客員教授として迎えることとなりました。これと同時に、養老氏をもとに生まれたデジタルヒューマンである「AI養老先生」も本学客員教授に就任。当件は今後、AIの技術的な観点の先端研究をはじめ、非人間であるAIアバター教員ならではの課題などを追究し、新たな教育のかたちへとつなげます。



身につく

AI／DX価値創造機構

私立大学として、国内最大級の
AIスーパーコンピュータを導入

詳細はP04へ

◉ 社会の課題を把握し解決に挑むことで、社会貢献の意義を学ぶ

健康社会 / 娯楽 / 社会インフラ / スマート社会

◆ 社会をより良くするためのAI活用を実践
◆ 教員主導による最先端研究（研究センター、研究室）

◉ AIとDXに関する基礎知識と専門分野への応用方法を学ぶ

Digital Twin　シミュレーション / 未来デジタル技術

◆ 各学部の特色を活かした、学生主体の教育研究プログラム
◆ AIスパコンとAI／DXコア技術の研究開発　◆ 技術コンサルティングなど、最新のDX支援

◉ デジタル時代に必要な技術と考え方を基礎から学ぶ
◉ 社会で役立つスキルと今後必須となるデジタル教養を学ぶ

数理・データサイエンス・AI教育 / 国際交流 / 地域連携

◆ 各学部でのリテラシー教育
◆ 講演会・勉強会の実施　◆ DXハイスクールにおける高等学校との連携

■コンピュータサイエンス学部　■メディア学部　■工学部　■応用生物学部
■デザイン学部　■医療保健学部

蒲田キャンパス Mission

豊かにする

科学技術を使って、社会を楽しく、快適に、健康にする

「最先端」に挑む

― NVIDIA社と学術交流に関する協

AI技術が、人々の可能性を広げ、
社会を支える力に。

Focus 01

未知の可能性を切り開き技術革新に挑む

AIテクノロジーセンター

AI技術を活用し、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進していく人材を育成することを目的に設置された新しいセンターです。データの超高速処理が可能なAIスーパーコンピュータを導入し、AIに関する幅広い知識やスキルの修得に活用されるほか、高度なAI処理が求められる本学のさまざまな研究を推進していく拠点となります。

センターの詳細はこちら



Check!!

AIスーパーコンピュータ“青嵐”を導入





デジタルツインセンターでも
活用します



日本の私立大学初、NVIDIA DGX™ B200※ システムを搭載したAIスーパーコンピュータを設置!

2025年10月、AIテクノロジーセンターの「AI中核拠点（TUT AI CORE BASE）」に、NVIDIA DGX B200システム12台で構築したAIスーパーコンピュータ「青嵐（SEIRAN）」を設置しました。システム全体のAIの学習理論性能（FP8）は0.9EFLOPS（1秒間に90京回の計算）を達成。全学生への教育、教員・学生によるさまざまな研究、産官学連携によるプロジェクトを強力に推進します。

※NVIDIA DGX™ B200・・・「NVIDIA Blackwell」および「NVIDIA AI Enterprise」ソフトウェア プラットフォームを搭載したNVIDIAの最新GPUアーキテクチャ。

「青嵐（SEIRAN）」が世界ランキングに国内私立大学のスーパーコンピュータとして唯一ランクイン!

AIテクノロジーセンターに設置されたAIスーパーコンピュータ「青嵐（SEIRAN）」が、世界のスーパーコンピュータ性能ランキング「TOP500（2025年11月版）」において世界第374位（国内38位）にランクイン。さらに、実際のアプリケーション性能を評価するHPCGランキングでは第83位（国内22位）にランクインしました。

片柳研究所

東京工科大学片柳研究所は、最新の設備環境のもと、持続可能な社会の実現を支える先進的研究に取り組む施設です。産官学の連携をベースに幅広い領域にわたる社会課題の解決に貢献する、価値ある成果の創出をめざしています。

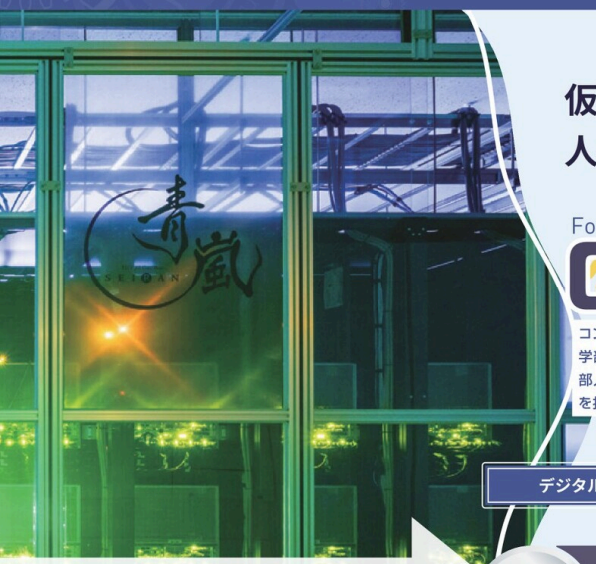


「最先端」に挑む片柳研究所の詳細はこちら

定を締結!

東京工科大学は米国NVIDIAの日本法人エヌビディア合同会社と学術交流に関する協定を締結。AIスーパーコンピュータ「青嵐」の導入、NVIDIA学生アンバサダープログラムへの参加はその一環として実施されています。

協定の詳細はこちら



仮想と現実をつなぐ技術が、人々の可能性を広げる。

DTC DIGITAL TWIN CENTER

Focus 02

現実と仮想の融合領域の開拓に挑む デジタルツインセンター

コンピュータサイエンスや工学、メディア、デザイン、医療、バイオなど、時代の先端領域を扱う多彩な学部を持つ特徴を活かし、異分野融合を基本に活動を展開。また、デジタル産業をリードする企業や外部人材と共同で、デジタルツインを適用した未知・未踏分野の開発をめざします。デジタル社会の次代を担う若手研究者・開発者の育成を進めていきます。

センターの詳細はこちら

デジタルツインセンターの活動内容

研究開発
- 学内発デジタルツインの研究・開発
- 工学・理学関連デジタルツインの研究・開発
- デジタルツインの要素技術の研究・開発

表現支援
- デジタルインタラクティブ表現
- デジタル空間表現
- ユーザ支援技術

- 先進的なデジタルツイン関連企業数社で活躍している技術者の協力
- 最先端のビジネス現場の知見・実践的技術のフィードバック

化学反応による革新的デジタルツインの創出、社会実装！

デジタルツイン専門的人材（研究者・エンジニア）の育成！

未来は“青嵐”でシミュレーションできる。

全国の大学で最多! 10名がNVIDIA学生アンバサダーに任命!

本学では10名の学生（2026年2月現在）がNVIDIA学生アンバサダーに任命され、デジタルツイン、AI、ロボティクスなどの分野で技術指導を受けながら、さまざまな活動を行っています。



NVIDIA学生アンバサダー合同ワークショップに10名が参加!

2026年2月、大阪工業大学で開催されたNVIDIA学生アンバサダー合同ワークショップに、本学から10名が参加。それぞれが専門としているテーマについて、最新の研究事例や技術などの発表を行いました。

NVIDIA学生アンバサダープログラムとは?

AIとアクセラレーテッドコンピューティングの世界的なリーダーであるNVIDIA社が、AIやデータサイエンス関連の先端タスクを実践できる学生を育成するために提供するプログラム。

最先端技術と未来をつなぐ研究

モビリティ技術が、人々の可能性を広げる手助けになります。



Focus 03

未来の移動手段の課題に挑む

未来モビリティ研究センター

工学、デザイン、コンピュータサイエンスなど、さまざまな分野の知識をAIやデジタル技術を使ってまとめ、モビリティ技術と組み合わせることで、あらゆる人が持続的に社会参加できる「エンパワーメント・モビリティ」の実現をめざします。

センターの詳細はこちら

AIを活用した自動車運転研究

AIが運転する時代は、もう始まっている。

東京工科大学では、AIや電子制御技術を活用し、自動運転の実現をめざした研究が進められています。
この研究では、周囲の状況をリアルタイムで判断し、「次に起こること」を予測することで、安全な運転操作を行う仕組みを探究しています。
本学では社会実装を見据え、八王子キャンパスと最寄り駅を結ぶスクールバスの自動運転化を計画。
研究成果はジャパンモビリティショーでも発信され、デザイン学部の学生が展示や発信に携わるなど、実社会とつながる学びが展開されています。

Point

- スクールバスの自動運転化を計画
- ジャパンモビリティショーで研究成果を発信
- デザイン学部の学生も展示・発信に参加

実証実験

実社会での実装を見据えた、大規模実証実験。

東武鉄道と進める「自動運転EVバスの実用化」に関する共同研究の一環として、奥日光エリアで実施される大規模な実証実験に参画。
地域や交通事業者と連携し、実際のバス路線で自動運転を行いながら、導入に必要な技術やシステム、安全性について検証しています。
未来モビリティ研究センター長の須田義大教授を中心に、奥日光の環境に適した自動運転の仕組みや課題の検討を行い、社会で使われる技術としての完成度を高めていきます。
本学は、今後も実社会と連携しながら、次世代モビリティの研究を推進します。

Point

- 実際のバス路線で行う大規模な実証実験
- 地域・企業・行政と連携した取り組み
- 社会実装を見据えた自動運転技術の検証

学生フォーミュラでの実装

P11、P51でも学生フォーミュラについて紹介をしています

学生主体でEVカーを開発する、学生フォーミュラ。

EVカー開発に取り組むEVプロジェクトチームが、東京工科大学にはあります。
複数分野の学生が協力し、EVカーの製作と大会出場を通して、実社会につながるものづくりに挑戦しています。

そのほかにもある！センター紹介

バイオミメティクスセンター
生物の高度な機能や構造に学び、新技術の創出と持続可能な社会への貢献をめざすセンターです。

先端リグニン材料研究センター
リグニンを活用し、CO_2削減に貢献する環境配慮型の新材料開発に取り組んでいます。

セラミックス複合材料（CMC）センター
航空機エンジンのCO_2排出削減をめざし、軽量・耐熱性に優れた複合材料の実用化に取り組んでいます。

「最先端」に挑む

AIなど先端のテクノロジーを活用して人々の健康や競技力向上に挑みます。



Focus 04

健康や競技力の向上に挑む

ヒューマンムーブメントセンター

運動機能の改善を通じて、幅広い層の健康促進、障害予防およびパフォーマンスの向上をめざします。特に運動機能評価には、動作解析装置等を駆使し、個人に最適化されたトレーニングや疾病予防を提供します。

センターの詳細はこちら

学生の研究

医療保健学部とコンピュータサイエンス学部が共同研究

サッカー選手の生体データ×機械学習でケガを予測する

共同研究の詳細はこちら

福嶋　これまで取り組んできたサッカーのデータにAIを組み合わせ、先生方や安井さんと議論しながら進めることで、新しい発見が次々と生まれました。実際のデータを扱いながら研究を深められたことが大きな自信になり、ITでスポーツに貢献したいという思いがさらに強くなりました。

安井　異なる専門分野の先生方や福嶋さんと意見を交わしながら進めることで、自分一人では気づけなかった視点を数多く得られました。現場で求められる考え方や専門性の違いを体感でき、将来トレーナーをめざすうえで大切な学びになったと感じています。

分野を越えて挑める環境が、未来の選択肢を広げてくれる！



福嶋 海人
コンピュータサイエンス学部４年（取材時）
都立南平高校出身（東京都）
就職先 SCSK株式会社



安井 翔矢
医療保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻４年（取材時）
駒澤大学高校出身（東京都）
進学先 東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科 コンピュータサイエンス専攻

医療保健学部での学びを土台に、大学院はコンピュータサイエンス専攻へ

AIとXRで、医療・福祉のDXを推進し、「働く」と「学ぶ」を進化させます。



Focus 05

医療・福祉のDXに挑む

デジタルヘルス・イノベーションセンター

2040年に国内最大の産業になると見込まれるヘルスケア（医療・福祉）分野において、深刻化する人材不足という社会課題に対し、AI・XRなどのデジタル技術を活用し、現場で働く人々の「働き方」と「学び」を革新することをめざすセンターです。IT企業や研究者と連携し、独自性・新規性の高い教育・業務支援システムやアプリ、コンテンツを開発し、社会実装を通じて次世代人材の育成と社会課題の解決に貢献します。

共同研究先：東京大学、慶應義塾大学（SFC）、順天堂大学、聖マリアンナ医科大学、佐賀大学　ほか

センターの詳細はこちら

開発した技術の紹介 ≫
- ARグラス用のスマホ搭載型作業・教育支援アプリ「MEDIX-R」
- 対話AI搭載VRシミュレータ
- 災害支援用ARグラスコンテンツ、医療サイバーセキュリティ初動訓練コンテンツ　など

トピック

農研機構と包括連携協定を締結！

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構と、農業・食品産業分野におけるSociety 5.0の早期実現を連携・協力して推進するため、包括連携協定を締結。本協定のもと、まずは放牧管理の省力化および獣害被害の低減に向けた共同研究を開始します。



詳細はこちら

実践的に学ぶ教育プログラム

Focus 06

戦略的教育プログラム

東京工科大学では、理工系総合大学の強みを活かし、実践的な学びを提供するために、時代のニーズや社会の要請に応じた「戦略的教育プログラム」を展開しています。各学部ごとに専門分野を活かした独自のプログラムを設け、最新技術や実社会での活用を見据えた学びを通じて、学生一人ひとりが未来で活躍できる力を身につけることをめざしています。

最新の
戦略的教育プログラムの
詳細はこちら

3つの柱に基づき
高い専門性と
実践力を
養う内容となっています。



プログラム一覧（2025年度～2028年度）

AIを活用する多彩なプログラムが揃っています

■ コンピュータサイエンス学部
実社会データ利活用コンピューティング

■ メディア学部
メディア・クリエイティブアクション・プログラム
～学生主体活動への支援を提供する学部内インキュベーションプログラム～

■ 工学部
AI/DXを活用した創造型モノづくりエンジニアの実践教育プログラム
～学内自律移動ロボット・無線給電システムの開発～

世界と地域、世代をつなぐ！ AI/DX活用型
グローカルSTEAM教育推進プログラム

■ 応用生物学部
AI・デジタル技術を活用できる人材の育成教育プログラム
～デジタル資格の支援、AIでつくるプレゼンテーション、AIでつくる化粧品～

■ デザイン学部
戦略的ブリュワーズ：
AIと協働するグラフィック／ブランディングデザイン

デジタルツインを活用した教育プログラム
～シミュレーション・アーカイブ・エクスペリエンスで探求する新しい空間デザイン～

■ 医療保健学部／デザイン学部
ストーリーマップをAI言語モデルへ応用した医療技術の反復実習プログラム

■ 医療保健学部／コンピュータサイエンス学部／デザイン学部
医療×テクノロジー×デザインの融合による医療ICT開発ラボの構築：次世代ヘルスケア人材育成プログラム

■ 医療保健学部
アジアの医療機器管理を変える！
～医療機器のDXリーダー育成プログラム～

■ 教養学環
AIで進化する教養教育　― 問題発見・解決の地平を拓く ―

Focus 07

コーオプ教育

コーオプ教育（Cooperative Education）は、八王子キャンパスの4学部で導入している、学内の授業と学外での就労体験型学修プログラムを組み合わせたカリキュラムです。企業における実習は有給で行うため、インターンシップ以上に責任ある業務を担当します。大学で学んだ知識の適用性に加えて、マナーやチームでの業務などを実践的に学び、就業力や学修意欲の向上へとつなげています。

コーオプ教育の
詳細はこちら

安心して就業経験を積むことができます。



キャリアコーオプセンターで一元管理
専任スタッフ常駐
学生と企業のマッチング
企業と連携したプログラムの構築
適切なフォロー

「最先端」に挑む

Focus 08

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

本学では2023年度より、これまでの開講科目での経験を活かしながら、全学部生を対象とした数理・AI・データサイエンスに関する基礎的な知識の涵養を目的に、理工系総合大学として強みを活かした「東京工科大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を実施しています。

プログラムの詳細はこちら

本学の教育プログラムが、文部科学省
「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」に、
2024年8月27日付で認定されました。

習熟目標に達し、本プログラムを修了した学生にはオープンバッジを付与しています。

身につく能力

データリテラシー

- データの種類を理解し、さまざまなグラフを読み取ることができる
- データを特徴づける指標を理解する
- 情報をエビデンスで見極め、批判的に考える力が身につく

データと社会

- 自然科学の観測力と、社会調査の基礎的な分析力が身につく
- データ法制とAI時代の倫理を理解する基礎知識が身につく

統計学の初歩

- 相関係数と因果関係の意味を理解する
- 推定と検定の考え方を理解する

最新の知見に触れ、学びを深める機会

Focus 09

最新の知見に触れられるハイレベルな先端授業

マサチューセッツ工科大学（MIT）教員による授業

東京工科大学はマサチューセッツ工科大学（MIT）と提携し、継続的な交流を行っています。その一環として、近年、H. Harry Asada, Professor of Mechanical Engineering, MITを招いたセミナーを複数回開催してきました。2025年度は、蒲田キャンパスにて「ロボットとAIがひらく介護とリハビリの近未来像」をテーマに、八王子キャンパスでは「AI・ロボットの現状とMITでの研究」をテーマにセミナーが行われました。学生たちは世界をリードする研究者の知見に直接触れ、AIやロボット技術が社会課題にどう貢献していくのかを、実感を持って学ぶ機会となりました。



宇宙航空研究開発機構（JAXA）によるリレー講義

大学院工学研究科では、JAXA宇宙科学研究所の若手研究者・技術者による特別講義を開講しています。2025年度は、JAXAから講師を複数名迎え、太陽系外惑星の研究、宇宙輸送の未来、電気推進ロケットの現状と将来展望など、多彩なテーマで講義が展開されました。第一線で研究・開発に携わる研究者から話を聞くことで、学生たちは宇宙科学の最新動向を立体的に理解するとともに、未知の領域に挑む研究の意義や魅力に触れる機会となりました。

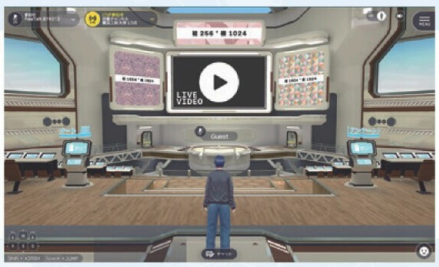


Focus 10

バーチャルキャンパス

八王子キャンパス、蒲田キャンパスに続く第3のキャンパスとして、東京工科大学の「バーチャルキャンパス」が誕生。この空間は、在学生はもちろん、今後はOB・OGが活用できるよう機能の拡充をめざしており、就職やキャリアに関する情報交換をはじめ、さらには学会や研究発表の開催も予定しています。OB・OGにとって"一生、卒業したくないキャンパス"として、学びと交流が続く新しい大学のかたちを計画しています。

バーチャルキャンパス ≫



夢中になれる理由がある

先輩の“夢中”に触れたら、未来がもっと近くなる。

自動車開発、ロボコン挑戦、専門科目への熱中——。
先輩たちのリアルな声を通して、“夢中になれる理由”を
一緒に探していきましょう。

Let's Go!!

Interview 01

課外プロジェクト

社会課題の解決に挑む
システム開発道場

アイデアを、地域につなぐ
技術で終わらせない。



秦　光希
コンピュータサイエンス学部3年（取材時）
都立若葉総合高校出身（東京都）

宮島 あゆな
コンピュータサイエンス学部3年（取材時）
都立成瀬高校出身（東京都）

濱口 莉奈
コンピュータサイエンス学部3年（取材時）
尚志高校出身（福島県）

宮島　コンピュータサイエンス学部には、学生が自主的に社会課題に挑む「道場」という学びの仕組みがあります。そのひとつ「システム開発道場」で、「ARカメラを用いた地域活性化」に取り組み、独自の提案で地域に貢献する貴重な経験ができました。

秦　私たちが取り組んだのは、公園内の特定の地点で、スマホ画面に現れるクイズに答えることで地域の魅力を学べるアプリの開発です。実際にイベントで活用され、地域活性化のアイデアコンテストで特別賞を受賞できたことは、大きな自信になりました。

濱口　チームで実践的なシステム開発を経験できることが、この道場の一番の魅力です。単に技術を学べるだけでなく、企業と交渉したり、お金の流れまで考えてプロジェクトを動かしていく経験を通じて、社会人に必要な力や姿勢を身につけられました。

POINT

- 社会的テーマに取り組み“課題解決能力”を養える
- 学外コンペや発表会で“経験と実績”を積める
- 産官学で協働し“社会人基礎力”を養える
- “チームでプロジェクトを動かす力”がつく

Interview
02

学生プロジェクト

自動車開発の全工程を学ぶ
EVプロジェクト

世界に一台の車づくりを通じ
生きた知識を手に入れる



宮坂 翔吾
工学部 機械工学科1年（取材時）
長野県上田千曲高校出身（長野県）

西室 陽日
工学部 電気電子工学科2年（取材時）
都立富士森高校出身（東京都）

三宅 栞菜
工学部 機械工学科1年（取材時）
わせがく高校出身（東京都）

西室　学生自作のレーシングカーによる競技会「学生フォーミュラ」への出場をめざす「EVプロジェクト」で、電気系統を担当するグループのリーダーを務めています。スポンサー企業と直接やり取りしながら活動できる点は、ほかでは得られない貴重な経験です。

宮坂　ドライブトレインやサスペンションを担当し、自動車部品や構造に関する知識が大きく増えました。将来は自動車メーカーへの就職を目標としており、EVプロジェクトの経験を通じて、即戦力として評価される人材に近づきたいと考えています。

三宅　もともと車は好きでしたが詳しくはなく、「もっと知りたい」という興味から参加しました。実際に自分でつくることで、自動車の知識が経験として身につく楽しさを実感しています。同じ興味を持つ多くの仲間と出会い、一緒に活動できる点も魅力です。

POINT

- 本物の車づくりを通じて、生きた知識が手に入る
- 機械、電気・電子、材料、デザインなどを幅広く学べる
- 企業とやり取りする貴重な経験を積める
- 大きな夢にチームで挑戦できる

Interview
03

学生プロジェクト

アイデア・技術・チーム力で挑む
ロボコンプロジェクト

プロジェクトを着実に動かす
マネジメント力がついた



大林 瑠菜
工学部 機械工学科2年（取材時）
カリタス女子中学高校出身（神奈川県）

工学部の学生が主体となって進めるロボット開発プロジェクトに参加しています。小学生の頃から「NHK学生ロボコン」をテレビで見て憧れており、この大会にぜひ自分も挑戦したいと思い、東京工科大学を選びました。入学前は機械に触れる経験はほとんどありませんでしたが、知識ゼロからでも成長できる育成環境に魅力を感じ、1年次から活動しています。現在はプロジェクトリーダーとして、機械・回路・制御の各部門を見渡し、全体の意見をまとめながら進捗管理を行っています。これまでの活動を通じて、目標に向けて着実にプロジェクトを進めるマネジメント力が身につきました。試行錯誤の末に、ロボットが思い通りに動いた瞬間の感動は格別です。次の学生ロボコンでは、本学らしいアイデアあふれるロボットで、最高の結果を狙いたいと思います。

POINT

- 学生ロボコンの頂点に挑める
- チームでのものづくりを実践的に学べる
- ロボットの知識ゼロからでも成長できる
- 熱中と感動の学生生活が送れる

Interview

04

メディア学部独自プロジェクト

専門的テーマに取り組む プロジェクト演習

萩原 通允

メディア学部４年（取材時）
新島学園中学・高校出身（群馬県）

就職先 株式会社映像センター

プロの厳しい要求に応える
映像制作を学べた



実践的なプロジェクトを通して興味のある分野の専門性を磨ける、メディア学部の「プロジェクト演習」のひとつである「インテブロ」に参加しています。インテブロは、学年の垣根を越えた学生チームで、映像コンテンツを制作・配信するプロジェクトです。私は撮影機材の操作や管理を担当し、プロミュージシャンのライブ映像やオープンキャンパスの配信映像の撮影などに関わってきました。特に印象に残っているのは、国民的シンガーソングライターである松任谷由実さん（ユーミン）のコンサートツアーに帯同し、会場の大型モニターに映し出される映像を自分たちの手で撮影した経験です。ごまかしの効かないプロの厳しい目線の中で、観客の立場を意識して撮影する力が養われるとともに、多くの人と協力して映像を完成させる喜びや達成感を味わうことができました。

POINT

- 実践的なプロジェクトで専門性を磨ける
- 一流アーティストの映像コンテンツ制作に携われる
- メディア業界のプロの視点や思考を学べる
- チームでやり抜く達成感を得られる

Interview

05

戦略的教育プログラム

時代が求めるスキルを学ぶ AI・デジタル技術を活用できる人材の育成教育プログラム

AIを使える力が、専門性を進化させる



最上 莉来

応用生物学部４年（取材時）
中京大学附属中京高校出身（愛知県）

就職先 株式会社ファイントゥデイインダストリーズ

藤重 のどか

応用生物学部４年（取材時）
県立市ヶ尾高校出身（神奈川県）

進学先 東京工科大学大学院 バイオ・情報メディア研究科 バイオニクス専攻

最上　今やどんな学問分野でも、AIやデジタル技術の活用は重要ですが、応用生物学部にも、そうした能力を身につけるための充実した教育が用意されています。化粧品コースに所属する私は、「AIを活用した新しい化粧品の開発」をめざすプログラムで学んでおり、そこでは、つくりたいクリームの成分配合の検討などにAIを活かしていきます。就職先の化粧品メーカーでも、製造や品質管理に携わるうえで、AIを使いこなす力は必ず役立つと思います。

藤重　卒業後は大学院で研究を続けますが、このプログラムで学ぶAIやデジタル技術を活用する力は、大いに支えになるはずです。これまでの授業や研究発表でも、資料の図表やグラフを作成するうえでコンピュータスキルは不可欠でした。また、参考文献の探索や内容の要約でも、AIが役立っています。もちろん、すべてAI任せではいけません。正しい使い方を知るためにも、AIを深く理解できるこのプログラムには大きな価値があると感じます。

POINT

- AIやデジタル技術の体系的知識を学べる
- “化粧品づくりにAIを活かす力”がつく
- AIを効果的なプレゼンに応用できる
- 価値あるAI関連資格の取得をめざせる

夢中になれる理由がある

Interview 06

戦略的教育プログラム

デジタル空間を活用 メタバース プロジェクト

佐々木 彩花

デザイン学部 3年（取材時）
県立流山おおたかの森高校出身（千葉県）

収穫多きプロジェクト

今後の自信につながる



世界最大級のオンラインゲーム「Fortnite」上に、CADを駆使して東京臨海副都心を再現する「東京臨海メタバースプロジェクト」に参加しました。私が担当したのはお台場のホテルの3Dモデリングとテクスチャ作成です。制作では現地調査を徹底し、素材感や歩道のタイルの間隔まで確かめたことで、写真素材だけではわからないディテールを自分の目で見る大切さを痛感しました。この経験は、データ量の制約の中でいかに建物をリアルに見せるかで悩んでいた際に、デザインの「強調と省略」のさじ加減をつかむヒントになってくれたと思います。仲間たちと約3カ月の制作期間を経て、プロジェクトは無事に公開。ユーザーの空間認識や体験まで踏み込んで、設計した成果が形になったことは、大きな自信と今後の制作意欲の向上につながっています。

POINT

- デザインと社会のつながりが実感できる
- プロジェクトは社会貢献にもなる
- 実際の制作現場を一足先に経験
- 制作物が世の中に評価され自信が得られる

Interview 07

専門科目

未来の糧になる経験を積む 臨床実習

大橋 太陽

医療保健学部 リハビリテーション学科
言語聴覚学専攻4年（取材時）
県立与野高校出身（埼玉県）

多くを学ぶ

先輩方の寄り添う姿勢から



就職先 戸田中央リハビリテーション病院

在学中は、食事が口から食べられない方を支援する摂食嚥下の分野に特に興味を持って学んできました。そうした関心のもと、4年次に経験した臨床実習では、嚥下障害のある方にどうすればご希望のメニューを提供できるか、さまざまな専門職の方々が力を合わせ、真剣に検討する姿がとても印象に残りました。また、患者さんのリハビリ内容や体調変化については、セラピスト間で丁寧に情報共有されており、親身なサポート姿勢を間近に学べたことも大きな収穫です。私の担当は記憶障害のある患者さんでしたが、こうした先輩方を見習い、寄り添ったお声がけをした結果、短い期間でも意欲的に記憶障害のリハビリに取り組んでいただくことができました。今後はこの経験を糧に、献身性をさらに高め、将来の認定言語聴覚士の資格取得に役立てたいです。

POINT

- 親身なサポートの大切さを実感
- 現場の先輩方から実践的な学びが得られる
- 見習うことで実習中も成長できる
- 実習を通して蓄積した経験は将来の糧に

つながる、ひろ

グローバルとローカル、グローカルな視点を手に入れよう。

Europe
ヨーロッパ

マルケ工科大学（イタリア）
フェラーラ大学（イタリア）
テラモ大学（イタリア）
ウプサラ大学（スウェーデン）
シェブデ大学（スウェーデン）
ラハティ応用科学大学（フィンランド）
ベオグラード大学（セルビア）
レスター大学（イギリス）
ハルツ応用科学大学（ドイツ）
ISART ディジタル（フランス）
ポーランド・日本情報工科大学（ポーランド）
シレジア大学（ポーランド）
ジェロナグラ大学（ポーランド）
ホウエスト応用科学大学（ベルギー）

Asia
アジア

アジアイノベーション大学（カンボジア）
ムンバイ化学技術研究所（インド）
スラバヤ工科大学（インドネシア）
バンダン工科大学（インドネシア）
セコラティンギーテニックスラバヤ（インドネシア）
インドネシア全国私立大学連盟
中部ジャワ支部（インドネシア）
ブラウィジャヤ大学（インドネシア）
チュラロンコーン大学（タイ）
タマサート大学（タイ）
キングモンクット工科大学（タイ）
ブラパー大学（タイ）
シラパコーン大学（タイ）
デラサール大学（フィリピン）
アルバイリサーチ&
イノベーションセンター（フィリピン）
カント医科大学（ベトナム）
ホーチミン市工業大学（ベトナム）
東部国際大学（ベトナム）
FPT大学（ベトナム）
経営科学大学（マレーシア）
マラ工科大学（マレーシア）
テイラーズ大学（マレーシア）
モンゴル科学技術大学（モンゴル）
又松大学（ウソン大学）（韓国）
延世大学（ヨンセ大学）（韓国）
南台科技大学（台湾）
国立成功大学（台湾）

Middle East and Africa
中東・アフリカ

サバンチ大学（トルコ）
マンガプロダクションズ（サウジアラビア）
アルファイサル大学（サウジアラビア）

Oceania
オセアニア

南オーストラリア大学（オーストラリア）
カーティン大学（オーストラリア）
クイーンズランド大学（オーストラリア）
オタゴ大学（ニュージーランド）
オークランド大学（ニュージーランド）

異文化の中で得られる貴重な経験が、あなたの可能性を広げます。

海外プログラムで学ぶ → **国際交流センター NEXTがサポート!**

海外プログラム

海外研修

ロサンゼルス　シンガポール

異文化を体験し視野を広げる
約1週間のプログラム

海外語学研修

イギリス　オーストラリア　ベトナム　カナダ

ホームステイや現地の大学の寮で生活しながら、語学学校や大学で英語を学ぶ2週間のプログラム

海外インターンシップ研修

ベトナム

英語を使って実際に働く4週間のプログラム

がる

協定大学・機関 69

（2026年2月現在）

朝陽科技大学（台湾）
国立陽明交通大学（台湾）
国立台湾大学応用力学研究所（台湾）
中国地質大学（武漢）（中国）
浙江工業大学（中国）
北京石油化工学院（中国）
山東理工大学（中国）
浙江大学（中国）
吉林動画学院（中国）
重慶科技大学（中国）
三峡大学（中国）
湖北美術学院（中国）
香港城市大学（香港）

North America

北米

ミズーリ大学セントルイス校（アメリカ）
テキサス大学健康科学センター（アメリカ）
カーネギーメロン大学（アメリカ）
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 リバーサイド校（アメリカ）
マサチューセッツ工科大学（アメリカ）
フロリダ大学（アメリカ）
ロイヤルローズ大学（カナダ）

関係強化大学 UCLA／UCR／MIT／CMU／UF 世界の知性とつながる

UCLA／UCR
カリフォルニア大学 ロサンゼルス校 リバーサイド校

高い英語力を持つ学生を対象に、カリフォルニア大学ロサンゼルス校主催のサマーセッションに参加するプログラムなどを支援しています。



MIT
マサチューセッツ工科大学

マサチューセッツ工科大学と本学の教員間の交流がスタート。共同のワークショップや、MITの教員による講演会の開催などを計画しています。



CMU
カーネギーメロン大学

CMUのEntertainment Technology Centerと交流を深めるほか、実績のある研究者を表彰するKatayanagi Awardを本学が提供しています。



UF
フロリダ大学

フロリダ大学とAI分野における国際連携に関する覚書を締結。ネットワーク強化とともに、世界を牽引するAI人材育成と持続可能な社会の実現に貢献します。



UCLAのサマーセッション参加の様子は16ページ

**研修の目的、期間の長短、参加形態（現地訪問／オンライン）が異なるなど、さまざまなプログラムがあります。
初めて海外に出る学生にもチャレンジしやすく、英語力向上や海外での就業経験を望む学生など、
多様なニーズに応えるプログラムとなっています。**

海外プログラムの詳細はこちら

英語集中講座

Noboribetsu English Camp

北海道登別市に滞在し、集中的に英語を学びながら、現地の地域課題も調査する約1週間のプログラム

フィリピン オンラインプログラム

オンラインによる英語漬けの5日間を体験し、英語力の向上をめざすプログラム

制度

● UMAP

本学は、UMAP（University Mobility in Asia and the Pacific：アジア太平洋大学交流機構）に承認されています。UMAPへの参加により、学生の留学の選択肢が拡大するほか、海外大学との国際交流の増加が期待されます。

● ロイヤルローズ大学編入（カナダ）

本学からロイヤルローズ大学に編入できる制度を整備しています。
また、短期のプログラムとして、グローバルな視点でリーダーシップを学べるSUMMER／WINTER LEADERSHIP ACADEMYも開催しています。

Global

Global 01

海外プログラム

名門UCLAで学ぶ サマーセッション

田中 悠元

メディア学部３年（取材時）
東京賢治シュタイナー学校高等部出身（東京都）
※高等学校卒業程度認定試験合格

語学と異文化を学び
自分の世界が大きく広がった



アメリカの大学で学びたいという思いと、海外から日本を見つめ直したい気持ちから、本学の協定校であるカリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）のサマーセッションに参加しました。アメリカ文化を扱う記事を題材に、英語の読み書きの力を磨くと同時に、社会学を英語で学ぶ授業も体験しました。この授業では少人数制のグループワークがあり、外国人学生と意見を交換しながら楽しく学ぶほか、休日にはサンタモニカなどの観光地を巡ったり、野鳥観察を楽しんだりと、現地ならではの魅力を満喫しました。野球観戦にも行き、大谷選手のホームランを観ることもできましたし、語学力向上だけでなく、UCLAでの学びや異文化交流の経験は、これからの自分の成長に大きく役立つと感じています。

POINT

- 英語で学ぶ力が身につく
- 海外の大学の授業を体験できる
- 多様な価値観に触れられる
- 自分の将来を考えるきっかけになる

Global 02

海外プログラム

伝える力を実践で磨く イギリス語学研修

鴻野 祥舞

メディア学部３年（取材時）
加藤学園高校出身（静岡県）

英語を〝ツール〟として
使いこなす意識が高まった



海外経験がまったくなかった私にとって、海外プログラムの「イギリス語学研修」への参加は大きな挑戦でした。２年次に約３週間、イギリス・ブライトンの家庭にホームステイし、現地の語学学校で英語を学びました。授業に加え、多国籍の学生との交流や現地大学の訪問、休日のロンドン旅行など、さまざまな体験を通して実践的な英語に触れられたことが大きな収穫です。ホストファミリーとの日常会話では、英語は「正しく話す」ことよりも「考えを伝える」ことを第一に、意思疎通のツールとして失敗を恐れず使うことが大切だと実感しました。この研修を通して英語への苦手意識が薄れ、異文化への関心も高まりました。これからさらに世界の多くの場所を訪ね、多様な人々と交流することで、自分の視野や見聞、経験を広げたいと考えています。

POINT

- 授業や現地交流を通じて“生きた英語”が学べる
- 英語を“ツール”として使いこなす意識が養われる
- 異文化に触れ、視野や関心が広がる
- 自信をはぐくみ、さらなる語学学習の意欲が湧く

つながる、ひろがる

地域での活動を通して、問題発見から解決までの実践的なスキルを養う機会となります。

地域連携から学ぶ

地域連携センター TALEがサポート!

本学では、地元である八王子市や大田区をはじめ、さまざまな地域と連携をしています。課外プログラムを含め幅広い連携を実現しており、特に「地域連携実習」という科目では、遠方に宿泊しながら集中的に課題に取り組むものもあり、コミュニケーション能力や問題解決力の向上をめざしています。

地域連携実習の主な科目

SDGs佐渡 新潟県佐渡プロジェクト

壮観な棚田で有名な新潟県佐渡市岩首集落は、過疎化の問題を抱え、棚田だけでなくそれを支える集落の維持も難しくなっています。SDGs佐渡では、SDGsの目標を踏まえ、社団法人岩首めぶきラボと連携して集落活性化のため、SNSを使った情報発信と訪問者に提供するプログラム開発などを行います。

学童保育支援プロジェクト

少子化社会において、両親が安定したキャリアを考えながら、安心して育児できる環境整備が課題です。本プロジェクトでは、学童を運営しているNPO法人明神学童育成の会と協力し、学童保育の現場支援を行いつつ、社会で子育てをすることの意義や課題について考えます。

高齢者スマホ個別相談会プロジェクト

情報化社会の中で高齢者が孤立しないよう、スマートフォンの使い方支援を通じて地域コミュニティの拡大や生活の質向上をめざします。高齢者あんしん相談センター由井と連携し、高齢者の実情に触れ、安心して暮らせる社会を考えるプロジェクトです。

登別プロジェクト 移住しやすい地域の基盤づくり

北海道有数の温泉地でもある登別市は、高齢化および大幅な人口減少問題を抱えています。主力の観光業は盛んですが、それを支える住民が減っているのが現状です。第三者の視点から、若者のUターン、訪問者がIターンするための要素を発掘し、移住したくなる環境について考えます。

Local 01

地域連携実習

学生主体の活動で地域に貢献

八王子 スマホ相談会

松本 愛莉

応用生物学部2年(取材時)
藤村女子高校出身(東京都)

高齢者のサポートを通じて「信頼関係の築き方」を学べた







地域連携実習のひとつである「八王子 スマホ相談会」は、地域の高齢者の方を対象に、学生主体でスマホの個別相談会を行う授業です。スマホに不慣れな方に説明するには、操作を順序立てて言葉にする力が求められ、相手の理解度に合わせた伝え方の大切さを実感しました。円滑に相談を進めるためには、スマホ以外の話題で会話を広げることで、緊張を和らげることも重要です。高校時代に老人ホームでボランティアをしていた経験を活かしたいと思い履修し、実践的な活動を通して、企画・運営力やコミュニケーション能力、課題を解決する力が身につきました。学生が中心となって取り組むことで、大きなやりがいや達成感が得られるのも魅力です。初対面の方と信頼関係を築く経験は、将来社会に出てからも必ず役立つと感じています。

POINT

- 説明する力やコミュニケーション力が養われる
- プロジェクトの企画・運営力が身につく
- 世代や立場を越えて信頼関係を築く体験ができる
- 大きなやりがいや達成感を得られる

未来をデザインする

社会人として活躍するための力を身につけよう。

本学は、一人ひとりの「なりたい」を全力で応援します。
確かなキャリア支援で高い就職率を実現し、卒業生はさまざまな業界で活躍しています。

実践型キャリア教育

社会人として活躍するために必要な能力が「社会人基礎力」です。本学は、計画的にこの力を育成していく実践型キャリア教育を行っています。

繰り返す
【計画】▶【実行】▶【可視化】

社会人として必要な力を
段階的に身につけながら、
継続して成長度を確認

STEP1 社会人基礎力の育成
専門基礎教育や教養教育でのアクティブラーニングを通じ、課題へ主体的に取り組む習慣を継続します。

STEP2 就業力の向上
仕事を「選ぶ力」と企業に「選ばれる力」を高める実践的カリキュラムと実習を提供します。

STEP3 就職活動スキルの獲得
SPI対策や面接指導、業界研究会などを通じ、内定獲得に必要な実践的スキルを養います。

▼

就職／大学院進学

実践型キャリア教育の詳細はこちら

キャリア支援

早い時期から将来の希望を明確にして就職活動を行えるよう、キャリア支援は1年次からスタート。
就職セミナーの開催、就職関連情報の提供、個別の模擬面接や履歴書の添削、個別相談など、就職活動の支援全般を行います。

キャリア支援部のスタッフをはじめ、就職支援専任の教員である就職特任講師や学生支援に強みを持ったキャリアアドバイザーなど、さまざまな就職の専門家からアドバイスを受けられます。幅広い相談ができる体制を整え、活動状況に合わせて柔軟に対応できる環境が、高い就職実績へと結びついています。

キャリア支援部窓口

八王子キャンパス　八王子キャリアコーオプセンター
蒲田キャンパス　蒲田キャリアセンター

Students' Voices



平林 大輝

工学部 電気電子工学科4年（取材時）
県立飯田OIDE長姫高校出身（長野県）

就職先
東京電力ホールディングス株式会社

支えてくれる環境が、就職活動の大きな力になった

就職活動は3年生の4月からスタート。キャリアコーオプセンターや就職特任の先生との面談を重ね、エントリーシートの添削やスケジュールの相談、模擬面接など手厚い支援を活用しました。業界を絞りすぎず幅広く調べ、インターンを通して志向を明確化。第三者の助言を取り入れた準備が自信につながり、学んできた強電分野（発電・送電など電力を扱う分野）を活かせる電力業界への内定につながりました。将来は、電力という社会インフラを支える技術者をめざします。

就職支援プログラム

- 就職ガイダンス
- キャリアガイダンス
- 医療機関合同セミナー
- 業界セミナー
- 小論文作成講座
- 接遇講座
- 就職支援システム（TUT就活NAVI）
- 低学年向け就活講座
- UIJターン説明会
- コーオプ教育
- インターンシップ
- キャリアガイドブック
- キャリア系授業
- GPSアカデミック
- 就業力適性検査
- 業界・職種研究会
- 学内合同企業セミナー
- 個別企業セミナー
- 企業担当者による模擬面接

就職支援プログラムの詳細はこちら

UIJターン就職支援協定を締結

東京工科大学では、北海道、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、栃木、群馬、山梨、長野、新潟、静岡、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄の各県と、「UIJターン就職支援に関する協定」を締結（岩手県はU・Iターンクラブへ加盟、群馬県はGターン倶楽部へ加盟）。産業の次代を担う人材の確保・育成と地域の活性化に向け、各県の企業情報、インターンシップの周知などについて両者が連携して取り組むことで、UIJターン就職を促進しています。（2026年1月現在）

2026年3月卒業者の主な就職先（抜粋）

※ より詳しい内容はP122～P123をご覧ください

コンピュータサイエンス学部	メディア学部	工学部
三菱電機	NHK	JR東海
ソフトバンク	四季	小田急電鉄
楽天グループ	Apple Japan	TOPPAN
ニトリ	コーエーテクモホールディングス	東京電力ホールディングス
毎日新聞社	マーベラス	東京エレクトロン
SCSK	バンダイナムコフォージデジタルズ	JR東日本
Sky	アルファシステムズ	AGC
インターネットイニシアティブ	東京メトロ	SCSK

応用生物学部	デザイン学部	医療保健学部
森永乳業	ALSOK	済生会横浜市東部病院
山崎製パン	アルファシステムズ	川崎市病院局
AGC	IMAGICA GEEQ	東京都立病院機構（小児総合医療センターほか）
JR東日本	立川ブラインド工業	初台リハビリテーション病院
すかいらーくホールディングス	トヨタ紡織	東京慈恵会医科大学附属病院
キヤノンシステムアンドサポート	日テレWands	虎の門病院
オルビス	マイナビ	日本医科大学（付属病院ほか）
ヤーマン	メンバーズ	イムスグループ

TUT Career Data 数字でわかるキャリアの強さ

就職率

98.1%

2025年3月卒業者実績（学部生のみ）
就職率＝就職内定者数／就職希望者数

内定先は第何希望でしたか？

第1希望 **62%**　第2希望 **23%**

9割近くの学生が第1・2希望に内定しています。

内定先に満足していますか？

満足 **58%**　おおむね満足 **38%**

ほとんどの学生が内定先に満足しています。

※2026年3月卒業者実績（学部生のみ）。2026年1月集計（学内アンケートより作成）

実就職率ランキング

大学通信オンラインによる
「実就職率ランキング（2025年）」において、
本学がランクインしました。

東京工科大学が首都圏の理工系大学で（卒業生1,000人以上） **7位**

工学部が首都圏の理工系学部で **1位**

コンピュータサイエンス学部が首都圏の理工系学部で **3位**

応用生物学部が首都圏の農学系学部で **1位**

※ 実就職率（%）は就職者数÷［卒業生数－大学院進学者数］×100で算出

卒業生の活

社会へ羽ばたいて、各業界で活躍する卒業生たち。本学で培ったスキルと知識、

（株）野村総合研究所

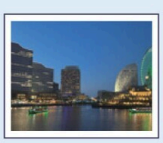


高木 優希さん

2023年3月 大学院 バイオ・情報メディア研究科
コンピュータサイエンス専攻 修士課程修了
県立浜松工業高校出身（静岡県）

知識を活かす道は多彩に広がっている

テクニカルエンジニアとして、当社製システム運用管理ツールの開発や保守を担当しています。重要なプロジェクトに関わる機会が多く、成長を実感しながら働ける点にやりがいを感じています。東京工科大学の魅力は、教員や学生など立場を問わず、特定分野の知識やスキルに優れた人々と出会えることです。そうした交流を通じ、自分の視野や価値観が広がりました。進路は、コンピュータを学んだからといってIT業界に限定する必要はありません。どの業界でもエンジニアが求められており、専門知識を活かしつつ、興味がある分野で活躍する選択肢が広がっています。



オフィスは横浜のみなとみらいにあり、ロケーションは最高！

（株）セガ



北川　哲さん

2009年3月 メディア学部卒業
県立春日部高校出身（埼玉県）

現場で工夫を重ねるプロセスが楽しい！

大学入学前からモーションキャプチャーに関心を持ち、その技術を学べる専用スタジオがある東京工科大学に入学しました。在学中に基礎から応用までの知識とスキルを身につけ、現在はセガでモーションキャプチャーエンジニアとして働いています。主な仕事は、プロジェクトで必要なモーションをより良いデータとして収録する環境をつくることです。現場ではチームで意見を交わし、試行錯誤しながらより良い結果をめざしています。このプロセスに、大きなやりがいと楽しさを感じています。VTuberブームなどで注目が高まる今、ぜひこの分野に挑戦してほしいです。



100台以上のモーションキャプチャー用カメラが並ぶスタジオで、ゲームなどの制作に携わっています。

ソニーセミコンダクタソリューションズ（株）

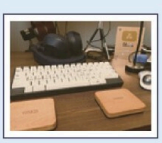


清藤 泰旦さん

2020年3月 大学院 工学研究科
サステイナブル工学専攻 修士課程修了
都立青梅総合高校出身（東京都）

研究での想定外は発見の第一歩！

主にソニーの半導体設計に役立つWebアプリケーションの開発、運用などを行っています。大学院時代の研究活動では、実験結果から仮説を立て、ディスカッションを重ねて方向性を定めるという、現在の仕事にも生きるプロジェクトの進め方を修得できました。また、想定外のデータが取れたとき、それは失敗ではなく新たな発見の第一歩になることを体感できたことも貴重な収穫です。東京工科大学は、主体的に学修や研究に取り組む学生をしっかりとサポートする環境が整っています。本人の意思次第で、多くの手応えある経験を積むことができるでしょう。



自宅デスクにはこだわりのアイテムを揃えています。

未来をデザインする

躍を知りたい

そしてたゆまず学び続ける情熱で、時代の変化に柔軟に対応しながら成長を続けています。

(株)湖池屋

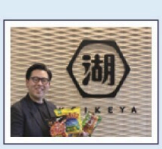


秋山 竜司さん

2020年3月 大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻 修士課程修了
大成高校出身(東京都)

実験で培った力を商品づくりに活かす

スナック菓子で知られる湖池屋のマーケティング部で、商品企画や広告、パッケージデザインなど、ブランドや商品の魅力を広げるための幅広い仕事に携わっています。大学と大学院では食品の機能性を研究し、実験結果から仮説を立て、考察する力を磨きました。この「仮説力」や論理的に考える姿勢は、データをもとに商品価値を考える今の仕事に直結しています。日常の中で感じた「世の中のトレンド」や「面白い商品や広告」などの気づきをメモし、商品づくりに活かすことも大切にしています。自分が手掛けた商品で、子どもから大人まで多くの人を笑顔にできることが、この仕事の一番の魅力だと感じています。



多くの人を笑顔にするために、自分自身も笑顔を大切にしています。

(株)コンセント

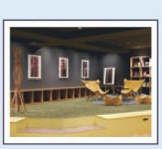


五月女 健翔さん

2025年3月 大学院 デザイン研究科
デザイン専攻 修士課程修了
巣鴨高校出身(東京都)

デザインで人・モノ・サービスの価値を高める

お客様が描く中長期的なビジョンを整理・具体化する支援や、デザイン業務などを担当しています。お客様もまだ気づいていない課題を引き出し、デザインの力でモノやサービスの価値を最大化することが仕事のやりがいです。在学中は学外プロジェクトに積極的に参加しました。特に印象深かったのは、先生方の温かい後押しです。学生の挑戦を否定せず、どんなアイデアも試せる環境のおかげで、「自ら問いを立てる力」と「主体的に考え行動する姿勢」が身につきました。この力は、正解のないデザインの現場において、物事の本質を捉え、より良い方向性を導くための土台となっています。



芝生が敷いてあるオープンスペースが会社でのお気に入りの場所です。

東京科学大学病院



渡部 篤也さん

2019年3月 医療保健学部 臨床工学科卒業
県立山形南高校出身(山形県)

在学中の経験が現場での冷静な判断を支える

臨床工学技士として、主に集中治療業務や心臓血管外科手術の人工心肺業務に携わっています。患者さんの臓器機能を代行する生命維持管理装置を扱うため責任重大ですが、迅速な対応で救命できたときの喜びはとても大きいです。こうした現場での冷静な判断力は、在学中の研究で、困難に直面しても最善策を粘り強く考えた経験が土台になっています。東京工科大学の魅力は、臨床経験豊富な先生方との距離が近く、現場を具体的に想像しながら学べる点です。医療機器の専門職である臨床工学技士は、病院以外にも活躍の場が増えているため、多様な交流で学びを深め、進路の可能性を広げてください。



人工心肺装置の操作には、一瞬の判断と高い集中力が求められます。

Topics

次世代をつくる学びがここに

最先端デジタル技術×エンターテインメントで
次世代のデジタル人材に。

2028年4月 蒲田キャンパス 新学部設置構想中！

2026年3月現在、設置構想中。学部等の名称は仮称であり、計画内容は変更となる場合があります。

デジタルエンターテインメント学部

デジタル技術やエンターテインメントを創造し、論理的に分析できる力をはぐくむ新学部。
デジタル技術を身につける学びや、技術を活かすために欠かせない芸術・デザイン・感性を養うカリキュラムで、
「確かな技術力×豊かな感性×論理的分析力」を備えた次世代のデジタル人材を育成します。

想定される卒業後の進路

- エンターテインメント系の企業、制作プロダクションなどのクリエイティブ産業
- デジタル技術開発を行う企業やデジタル技術を必要とする製造業
- 自治体や企業の特色を発信し、活性化を促す広報部門
- 大学院進学

新学部 着任予定教員紹介



廣瀬 通孝
教授／学部長就任予定者
専門分野
- バーチャルリアリティ
- ヒューマンインタフェース
- システム工学



上岡 玲子
教授
専門分野
- バーチャルリアリティ
- エモーショナルエンジニアリング
- ウェアラブルコンピュータ



青山 一真
教授
専門分野
- バーチャルリアリティ
- ヒューマンコンピュータインタラクション
- 神経工学



豊　禎治
特任教授
専門分野
- コンピュータグラフィックス
- ユーザインタフェース
- AI



峯　大典
准教授
専門分野
- 実験心理学
- バーチャルリアリティ
- ヒューマンコンピュータインタラクション

Check!! 2029年春、蒲田キャンパスに新校舎（一期）が完成予定

新校舎の詳細はこちら

当ページの記載内容は予定であり変更となる場合があります。

東京工科大学憲章

東京工科大学（本学）は、1986年に「豊かな教養と高度の学術を教授、研究し、もって社会の繁栄に貢献できる豊かな人間性と創造的知性を備えた実践的指導的技術者の育成」を建学の理念として開学した大学である。開学以来、この建学の理念のもと「実学主義教育」を基軸とした実践的な知識や技術の教育をとおして、社会や技術の変化に柔軟に対応できる“力（ちから）”を教授し、社会に貢献する人材を輩出してきた。今後も、建学の理念に基づく実学主義教育の実践により有為な人材を育成するため、本学の掲げる理念や教育の目的を東京工科大学憲章としてここに制定する。

基本理念

生活の質の向上、技術の発展と持続可能な社会に
貢献する人材を育成する

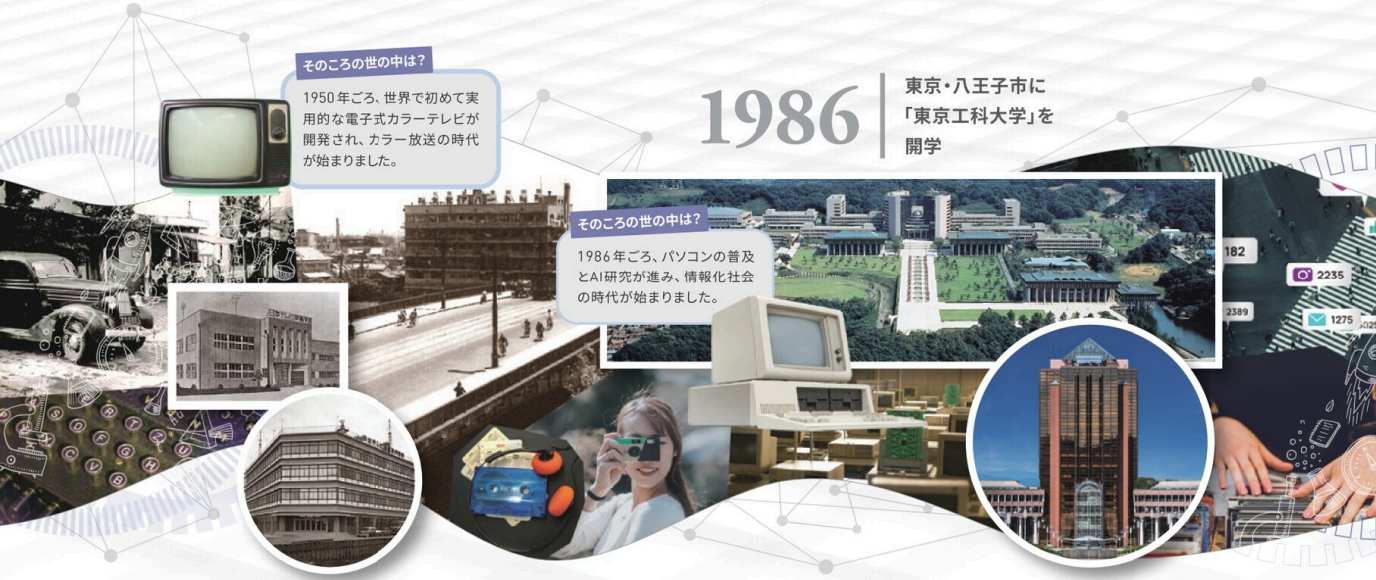
基本理念を実現するための具体的理念

- 実社会に役立つ専門の学理と技術の教育
- 国際的な教養、豊かな人間性、高い倫理性と創造性の教育
- 先端的研究を介した教育とその研究成果の社会還元
- 理想的な教育と研究を行うための理想的な環境整備

これらの理念に基づく教育の目的は、国際的な教養、実学に基づく専門能力、
コミュニケーション能力、論理的な思考力、分析・評価能力、問題解決力を身につけた
世界に通用する人材を育成し、産業界や社会に貢献することです。

東京工科大学の
3つのポリシーはこちら

80年の歩みと40年の
新しい時代への力にな



1947 学校法人片柳学園 設立

1947 学校法人片柳学園の前身「創美学園」を設立
1953 テレビ本放送開始の年に「日本テレビ技術学校」を設立
1956 「日本テレビ技術専門学校」として学校法人認可

1986 東京・八王子市に「東京工科大学」を開学

1986 東京・八王子市に「東京工科大学」を開学
工学部3学科の定員360名に対し、7000名の志願者が集まる
1993 「東京工科大学大学院」を開設
工学研究科修士課程（システム電子工学専攻）を設置
1995 工学研究科博士後期課程（システム電子工学専攻）を設置
1999 日本初のメディア学部（メディア学科）を設置
2000 片柳研究所を設立
2003 片柳研究所棟が完成
工学部を改組［バイオニクス学部（バイオニクス学科）／コンピュータサイエンス学部（コンピュータサイエンス学科）を設置］
メディア学研究科修士課程（メディア学専攻）を設置

2000 片柳研究所を設立

そのころの世の中は？
2000年ごろ、インターネットと携帯電話が広がり、デジタル社会の時代が本格化しました。



Message from the Chairman



時代の要請に応え続け、社会に貢献する人材を育成

片柳学園は、大田区蒲田に創美学園として開校以来、社会の要請を受けて常に時代が求める技術者の育成に取り組んでまいりました。
東京工科大学は、学園が培ってきた経験を結集し、「理想的学びは理想的な環境にあり」という学園の理念のもと、最高の教授陣と最新鋭の設備を揃え、東京都八王子市に新たに取得した約38万㎡（東京ドーム約8個分）の広大な敷地に校舎を建設し、1986年に開学いたしました。本年、創立40年目を迎えます。
開学当初は工学の主要分野である電子工学、情報工学、機械制御工学の三学科からスタートし、第一期生より多くの受験生を集めることができました。その後は、本法人の建学の精神である「高度化する現代社会の変化に即応し、創意工夫と開拓者精神を重んじ、社会に貢献する人格を育成する」という言葉を実践し、社会の変化に対応した教育分野の拡大を推進してまいりました。
今後も本学では、急速に変化する時代に対応し、最高の学びの環境を整えることで、価値ある学びの場を提供し、高度な知識と技術を身につけ、社会から求められる人材を育成してまいります。

理事長　千葉　茂

KATAYANAGI INSTITUTE

の挑戦が、
る。

片柳学園が築いた確かな基盤の上で、東京工科大学はさらに進化を続けています。
その歩みは、未来へ向かって加速していきます。



2005 工学研究科、メディア学研究科を改組［バイオ・情報メディア研究科修士課程（バイオニクス専攻／コンピュータサイエンス専攻／メディアサイエンス専攻／アントレプレナー専攻）、博士後期課程（バイオニクス専攻／コンピュータサイエンス専攻／メディアサイエンス専攻）を設置］

2007 東京工科大学附属日本語学校を開校

2008 バイオニクス学部（バイオニクス学科）を応用生物学部（応用生物学科）に名称変更

2010 新・蒲田キャンパスが完成
デザイン学部、
医療保健学部（看護学科／臨床工学科／理学療法学科／作業療法学科）を設置

2014 医療保健学部に臨床検査学科を設置

2015 新たな工学部（機械工学科／電気電子工学科／応用化学科）を設置

2016 片柳学園創立70周年を記念した蒲田キャンパスの再整備が完了

2017 片柳学園創立70周年を迎える

2019 工学研究科修士課程・博士後期課程（サステイナブル工学専攻）、
デザイン研究科修士課程（デザイン専攻）を設置

2021 リハビリテーション学科（理学療法学専攻／作業療法学専攻／言語聴覚学専攻）を設置
医療技術学研究科修士課程（臨床検査学専攻）を設置

2028 蒲田キャンパスに
デジタルエンターテインメント学部※設置予定
※ 2028年4月設置構想中・仮称。計画内容は予定であり変更となる場合があります。

Message from the President



東京工科大学は、2026年に創立40周年を迎えます。
本学では、学生の皆さんが活躍する10年先の社会の姿を見据え、そこで発揮できる知識と技術を身につけられるよう、教育・研究環境の充実に努めております。とりわけ、今後の社会に不可欠となるAI／DX分野の学修環境を大きく強化し、「人間と技術のつながり」を重視した教育を積極的に推進しております。

社会の変化を的確に理解し、課題を発見する力
発見した課題の解決に向け、果敢に挑戦する力
そして、その挑戦を可能にするために、自ら学び続ける力

本学での学びと日々の生活を通じて、皆さんにはこれらの力を確かなものとし、自立した社会人として羽ばたいていただきたいと願っています。社会の変化を柔軟に取り入れた実学主義教育を礎とし、学生一人ひとりの想いに応えることのできる唯一無二の学びの場を実現するため、教職員一同、力を尽くしてまいります。

学長　香川　豊

学部・学科・専攻・コース一覧

教養学環

急速に技術が進歩し、グローバル化が進む21世紀の社会で活躍するためには、さまざまな問題を発見、解決できる力が求められます。この能力をはぐくむ土台となるのが、国際的な教養と語学力、そして社会人基礎力です。東京工科大学では、実学主義教育の一環として、実学的な基礎科目を教育する「教養学環」を設置。社会人としてふさわしい教養と基礎力を兼ね備えた、世界に通用する「人間力」を身につけます。

学部

コンピュータサイエンス学部

在学生数
1,400人
男 1,247人
女 153人
（2025年5月1日現在）

入学定員 290人

先進情報専攻
【募集人員210人】
情報基盤コース※
人間情報コース※
人工知能コース※

社会情報専攻※
【募集人員80人】
※2024年4月設置

特長

- 社会のニーズに即した「先進情報専攻」と「社会情報専攻」の2専攻体制
- 14の「コア科目」で基礎を固める
- 豊富な実習・演習で実践力を鍛える
- 大学院との一体感のある学修・研究が行える、ハイレベルな環境

P30

メディア学部

在学生数
1,351人
男 960人
女 391人
（2025年5月1日現在）

入学定員 290人

メディアコンテンツコース
メディア技術コース
メディア社会コース

特長

- メディア基礎技術が確実に身につき、将来の進路や可能性が広がる
- 学外に視野を広げた多彩な活動で、社会や時代をリアルに理解
- 充実した演習で専門性と実践力をはぐくみ、社会で役立つ力を修得
- 柔軟な学修計画を立てられるクォーター制

P38

工学部

在学生数
1,235人
男 1,106人
女 129人
（2025年5月1日現在）

入学定員

機械工学科
100人
電気電子工学科
100人
応用化学科
80人

特長

- 新しい刺激を与え、成長を促す、首都圏理工系大学初の「コーオプ教育」
- 未来に向けて持続可能な社会づくりを支える「サステイナブル工学」

P48

応用生物学部

在学生数
1,112人
男 455人
女 657人
（2025年5月1日現在）

入学定員 260人

生命医薬コース※
地球環境コース※
食品コース※
化粧品コース※
※2024年4月設置

特長

- 各自の興味や適性に合わせて選べる4コース制
- 産業界とアカデミックな領域のそれぞれで実績ある教員による教育
- 資格対策の特別講座を実施
- 研究を支える最先端の施設・設備群

P60

デザイン学部

在学生数
845人
男 450人
女 395人
（2025年5月1日現在）

入学定員 200人

視覚デザインコース※
情報デザインコース※
工業デザインコース※
空間デザインコース※
※2024年4月設置

特長

- AI時代だからこそ「手で考える」感性教育
- 多様な学びから専門性へと導く、4年間のカリキュラム
- 「思い描いたイメージをかたちにする」実装力
- 「共創×社会接続」で、即応力を育てる教育環境

P72

八王子キャンパス

蒲田キャンパス

在学生数 （2025年5月1日現在）

合計 7,982人　男 5,051人　女 2,931人

大学院

学部で興味や関心のあるテーマを研究後、さらに研究を突き詰めたい学生には、東京工科大学大学院への道が開かれています。

医療保健学部

在学生数 1,649人
男 551人
女 1,098人
（2025年5月1日現在）

入学定員

看護学科 80人

臨床工学科 80人

リハビリテーション学科
理学療法学専攻 80人
作業療法学専攻 40人
言語聴覚学専攻 40人

臨床検査学科 80人

特長

- 国家試験合格後も視野に入れた手厚い医療専門教育を実践
- 実際の医療現場と同等の充実した学内実習設備で行う演習
- 協力病院・施設との連携により、充実した臨床実習環境を実現

P86

工学研究科

在学生数 124人
男 111人
女 13人
（2025年5月1日現在）

入学定員

サステイナブル工学専攻
博士前期（修士）課程／40人
博士後期課程 3人

特長

- サステイナブル工学という新しい考えに基づく工学研究分野を研究し、深化させる
- 実学としてのサステイナブル工学を行う者として必要な専門性と、国際レベルの幅広い専門知識を涵養
- 世界の最前線にある工学研究を実践・経験し、成果を積極的に発表することで、サステイナブル工学を広範に見渡す視点を養う
- 学外での実践的な実習により、創造性豊かな研究者や知的基盤社会を支える人材を育成

P106

バイオ・情報メディア研究科

在学生数 232人
男 151人
女 81人
（2025年5月1日現在）

入学定員

バイオニクス専攻
博士前期（修士）課程／40人
博士後期課程 2人

コンピュータサイエンス専攻
博士前期（修士）課程／30人
博士後期課程 2人

メディアサイエンス専攻
博士前期（修士）課程／30人
博士後期課程 2人

特長

- 多様な科目を短期集中で学ぶことが可能なうえ、研究リテラシーや学外活動に関する科目で学生の汎用的能力を涵養
- 各研究室で研究活動を中心に行うとともに、他専攻の科目まで分野横断的に学修可能
- バイオ・情報・メディアの高度な知識とスキルを有する人材を育成

P106

八王子キャンパス

デザイン研究科

在学生数 22人
男 10人
女 12人
（2025年5月1日現在）

入学定員

デザイン専攻
修士課程 10人

特長

- 学生の研究テーマに合わせたデザインの各分野からなる複数教員の指導体制
- 現代社会の多様な問題に対して、デジタルスキルを駆使した実装をめざした研究
- 国際的にも通用する高度なコミュニケーション能力の追求

P106

医療技術学研究科

在学生数 12人
男 10人
女 2人
（2025年5月1日現在）

入学定員

臨床検査学専攻
修士課程 5人

特長

- 専門職としての高度な知識・技術力に加え、チーム医療を推進するリーダーシップ力をはぐくむカリキュラム
- 現行の医療技術に精通することに加えて、最新の医療技術やシステムを学べる教育環境
- 臨床検査および臨床工学の分野をはじめとする医療技術に加え、幅広い分野をカバーする多様な指導教員

P106

蒲田キャンパス

教養学環

LIBERAL ARTS



幅広い経験と知識を備え、
豊かな人間力を持った人になるために

急速に技術が進歩し、グローバル化が進む21世紀の社会で活躍するためには、さまざまな問題を発見、解決できる力が求められます。この能力をはぐくむ土台となるのが、国際的な教養と語学力、そして社会人基礎力です。東京工科大学では、実学主義教育の一環として、実学的な基礎科目を教育する「教養学環」を設置。社会人としてふさわしい教養と基礎力を兼ね備えた、世界に通用する「人間力」を身につけます。

LIBERAL ARTS

AIを活用するために必要なのは

教養教育は幅広い知識や考え方を身につける学びで、本学では人文・社会・自然科学などから興味に応じた科目を選べます。AI時代には、正解を覚える力よりも問いを立て判断する力が重要です。幅広い教養は、AIを活用して答えを評価・活用する土台となり、将来どの分野でも役立ちます。

リベラルアーツセンター

幅広い学問領域を横断する学際的な学びを推進するため、リベラルアーツセンターを設置しました。
学生が多角的な視点と問題解決力をはぐくむための基盤を築いています。

- 国際交流活動の円滑な運営　国際交流センターNEXT　（P14～16参照）
- 八王子・蒲田、遠方地域でのサービスラーニング、社会連携実習等の円滑な運営　地域連携センターTALE　（P17参照）
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラムの実施と評価　数理データサイエンスAI教育センターMATRICES　（P09参照）

実学基礎科目群／基礎教育科目群

人文・社会科目群

人文科目

人間とその営みの特性やメカニズムを、個人、集団、種々の文化などを扱う学問を通してさまざまな視点から学び、人間性の理解を深めます。

主な科目例
- 哲学　●心理学
- 日本文化論

社会科目

種々の社会現象・制度の特性やメカニズムを学問的な視点から学び、社会システムの理解を深めます。

主な科目例
- 法学　●政治学
- 経済学

社会人基礎・社会連携・ウェルビーイング科目群

社会人基礎・社会連携科目

学部で行うキャリア設計、インターンシップなどの体験型プログラムを通して、社会人になるために必要な能力やマナー、就業力を養成します。

主な科目例
- アカデミックスキルズ
- 地域連携実習
- サービスラーニング

ウェルビーイング科目

健康で充実した生活を営むための正しい知識と運動を理解します。また、生涯スポーツの大切さを学び、その基盤の形成をめざします。

主な科目例
- 健康と科学
- ウェルネス実技

外国語科目群

多様な人々と交流できる実践的な語学スキルとともに、国際的教養と自主性、積極性、協調性を養います。ネイティブ教員による授業や海外プログラムも用意されています。

主な科目例
- 英語　●中国語　●韓国語

情報・数理・自然科学科目群

情報・数理系科目ではコンピュータの基本的なスキルと、基礎的な概念と応用を学びます。自然科学系科目では最先端のトピックに触れることで、科学的な素養を身につけます。

主な科目例
- データサイエンス入門
- 物理の世界　●化学の世界
- 生物の世界　●天文の世界

※ 代表的な科目のみ掲載。学部により履修できる科目が異なります。変更になる場合があります。

ピックアップ

▶ リベラルアーツ特論

AI時代だからこそ求められる洞察力や発想力を鍛える、少人数でのアクティブラーニング科目です。人文・社会科学、自然科学分野から、「デジタル時代の言語学（Linguistics in the Digital Age［英語開講］）」「日本と世界の政治的論点を議論する」「天文学の様々な観測データ解析」など、多様なテーマのクラスが開講されています。

教員一覧

※2026年4月の教員情報です



教養学環長
教授・博士（工学） 加柴 美里
専門分野：病態生化学、栄養生化学

教授・文学修士／副学長 勝浦 寿美
専門分野：ヤングアダルト小説等の翻訳、アメリカ研究（アメリカ文学、文化）、海外プログラム開発、国際交流

教授・修士（英語教育学） 石塚 美佳
専門分野：第二言語習得と外国語教育（主に語用論、リーディング、文法指導法、教材開発）

教授・修士（教育学） 大山 昌彦
専門分野：文化社会学、地域社会学、社会変動論

教授・法学修士 落合 浩太郎
専門分野：国際関係論、安全保障、インテリジェンス

教授・博士（学術） 神子島 健
専門分野：日本近代文学、近代日本思想史、日本語リテラシー

教授・修士（政策・メディア） 神谷 明美
専門分野：国際経済、国際経営、時事・ビジネス英語

教授・博士（数理科学） 亀井 聡
専門分野：位相幾何学、離散幾何学

教授・博士（理学） 加用 一者
専門分野：天文学、宇宙物理学

教授・MSc in Advanced Learning Technology
Alistair R. Campbell
専門分野：Issues in Advanced Learning Technology, especially CALL (computer-assisted language learning)

教授・社会学修士 鈴木 万希枝
専門分野：メディア心理、ニュース研究

教授・博士（理学） 須田 拓馬
専門分野：天文学、宇宙物理学

教授・博士（医学） 中川 和美
専門分野：臨床精神医学、精神生理学、産業精神保健

教授・博士（医学） 吉田 秀昭
専門分野：知的財産教育、大学IR、研究者支援、産学官連携

教授・哲学修士（MPhil）
Christopher P. Brocklebank
専門分野：Corpus linguistics, Natural Language Processing with PROLOG, Stylistics

准教授・第二言語教授法修士 楠元 洋子
専門分野：英語教授法（TESOL）、内容言語統合型学習（CLIL）、言語プログラム開発・評価

准教授・博士（教育学） 志村 広子
専門分野：体育、健康科学、行動医学

講師・博士（工学） 安藤 公彦
専門分野：インストラクショナルデザイン、eラーニング

講師・博士（学術） 中島 敏博
専門分野：風景計画学、環境計画学、まちづくり

講師・博士（工学） 中村 秀明
専門分野：バイオセンシング、環境水質分析、淡水養分の回収及び回収物の資源化・エネルギー化

講師・博士（スポーツ科学） 藤平 杏子
専門分野：温度生理学、食行動科学、運動生理学

コーオプ担当特任講師・教育学修士 大原 延恵
専門分野：教育心理学、キャリア開発

コンピュータサイエンス学部



先進情報専攻　**社会情報専攻**

情報基盤コース
人間情報コース
人工知能コース

激変する時代に、時代の先を見据えた新しいICT教育を

ICT（Information and Communication Technology）の進歩により、社会は激しく変化しています。ICTエンジニアが求められる領域は広がり続け、時代の変化を先取りし、それを自ら主導していける技術者がますます欠かせない存在になっています。コンピュータサイエンス学部では、新たな技術開発に主眼を置く「先進情報専攻」と、社会的な価値創造を軸とする「社会情報専攻」を設け、ICTが活用される幅広い領域に対応する視座や思考力を養っていきます。また、ICT知識体系・スキル開発体系の国際標準に基づき、社会に新しい価値を生み出すための知識を体系的に学べるようカリキュラムを組み立てています。本学部は独自の革新的ICT教育を通して、将来にわたり第一線で活躍できる創造的人材を育てていきます。

AIでこんなことができる

● AIでカーナビが便利に進化する!

従来のカーナビは最短ルートを提示しますが、SNSやWeb上のビッグデータをAIで解析することで、景色の良いルートや安全性を重視したルートなど、多様なルート提示が可能になります。

● 視覚障害者のイラスト創作をサポート

言葉だけでイラストを作成できる生成AIを活用することで、頭の中のイメージをビジュアル化することが難しかった視覚障害者にとっても、さまざまなイラスト創作の可能性が広がります。

特長

Feature 01 社会のニーズに即した「先進情報専攻」と「社会情報専攻」の2専攻体制

技術的な価値の創造をめざす「先進情報専攻」と、社会的な価値の創造をめざす「社会情報専攻」の2専攻体制で、新たなICT教育を展開します。

Feature 02 14の「コア科目」で基礎を固める

情報教育の国際標準に基づいて設定された14の「コア科目」で、ICTの幅広い基礎を着実に身につけます。

Feature 03 豊富な実習・演習で実践力を鍛える

1・2年次に専攻横断で行われる演習や専攻ごとの専門演習を経験。3年次には最先端の研究への参画や、社会での課題発見・解決を体験的に学修し、実践力を養います。

Feature 04 大学院との一体感のある学修・研究が行える、ハイレベルな環境

3年次後期から、大学院生も所属する研究室で高度な研究に挑戦。大学院科目の履修や、学部と大学院を5年間で修了できる「学士・修士一貫早期修了プログラム」(➡P105参照)もあります。

2専攻の学びの領域

先進情報専攻

情報教育分野の国際標準カリキュラムをベースにした学び

情報基盤コース
- ネットワーク
- クラウド
- 情報セキュリティ
- 計算科学

人間情報コース
- 音声／画像処理
- 人間工学
- 認知科学
- メタバース

人工知能コース
- 機械学習
- 自動運転
- 知能ロボット
- 生成AI



社会情報専攻

デジタル社会を見据えたグローバルスキルとコンピテンシー体系をベースにした学び

- ビジネス変革
- ビジネスサイエンス
- デジタルトラスト
- プロジェクトマネジメント

2専攻のポイント

現実世界とサイバー空間がシームレスにつながる未来に向けて、
技術と社会の両面からアプローチ

DATA

八王子キャンパス

コンピュータサイエンス学部長：布田 裕一

男 1,247名(89.1%)　女 153名(10.9%)

2025年5月1日現在

各専攻などの紹介動画

価値創造教育の詳細



先進情報専攻

情報基盤コース／人間情報コース／人工知能コース

技術的な価値を創造し、先進的な情報通信技術の実現をめざす

Features

- 「情報基盤」「人間情報」「人工知能」の３領域を探究
- 幅広い分野で技術的な価値創造を担うことが可能な知識・技能を修得
- 時代の先端を走り続けるITスペシャリスト、アプリケーションスペシャリスト、ソフトウェア開発者などを育成

4年間の学びの流れ

1年次　プログラムと価値創造の基礎を学ぶ

システム開発の現場で利用が拡大しているプログラミング言語「Python」を使ったプログラミングの学修に力を入れます。また、価値あるICTシステムの提案・実現を行うために不可欠な問題発見・解決力を養う「価値創造演習」を履修します。

主な科目例

- コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ
- プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ（Python）
- WebプログラミングⅠ・Ⅱ（JavaScript）
- **価値創造演習**　ほか

2年次　技術基盤を固め、専門性を高める

情報教育分野の国際標準カリキュラムをベースにした「コア科目」を2・3年次で履修し、ICTのどのような分野でも必要とされる重要な基礎知識を修得します。全員が履修する「プロジェクト演習」では、技術基盤となる各種のスキルを学び、さらにコースの特色を持つ「先進情報専門演習」により、専門性を高めていきます。

情報基盤コース

主な科目例

- プログラミング（C言語・Java）
- データと統計
- **先進情報専門演習**（コースに関連したテーマを選択）　ほか

人間情報コース

主な科目例

- プログラミング（C言語・Java）
- データと統計
- **先進情報専門演習**（コースに関連したテーマを選択）　ほか

人工知能コース

コア科目➡2・3年次 履修科目

- 情報セキュリティ
- インターネット
- オペレーティングシステム
- ヒューマンインターフェイス
- コンピュータグラフィックス
- 自然言語処理　ほか

社会連携実習

2年次からコースの特色を持つ科目を履修します。

3年次　実践的プロジェクトを体験　研究室配属

「先進情報プロジェクト実習」では、最先端のICT領域に取り組む複数のテーマからひとつを選択し、実践的なプロジェクトに挑戦します。

主な科目例

- 価値創造実践
- 先進情報プロジェクト実習Ⅰ・Ⅱ（コースに関連したテーマを選択）
- 創成課題　ほか

4年次　4年間の学びの集大成へ

4年間の総仕上げとして卒業課題に注力します。所属する研究室で自分の関心に応じたテーマに取り組み、成果を論文や報告書にまとめます。また、研究室や大学のサポートを受けながら、就職や大学院進学に向けての活動も進めます。

主な科目例

- 卒業課題Ⅰ・Ⅱ　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。
変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 価値創造演習

グループワークを通じて、自ら問題を発見し、その解決方法を考える力を養う演習です。革新的なシステムを社会に提案できるエンジニアの土台を築きます。

▶ 先進情報専門演習

教員の専門分野に関連する専門性の高いテーマから選択し、3・4年次の研究室での取り組みを想定した高度な技術を学びます。

卒業後のフィールド

進路

大学院進学／システムインテグレータ（情報システムのコンサルティング、設計、開発、運用、保守、管理）／ソフトウェアメーカー／金融機関／インターネットサービス関連／情報通信サービス／情報通信機器メーカー／製造業（電子機器、電子部品、通信機器、ゲーム、自動車、家電、プラント、産業機械など）／研究機関／起業　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

•情報処理技術者試験（基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報処理安全確保支援士試験など）　•G検定（ジェネラリスト）　•E資格（エンジニア）　•Python3エンジニア認定基礎試験　•Python3エンジニア認定データ分析試験　•Linux技術者認定試験　•電気通信主任技術者　•シスコ技術者認定　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

データ工学研究室

SNSやWebには、口コミ、写真、動画などが日々投稿されています。これら膨大なデータからAIを活用して抽出した情報に付加価値を持たせ、生活に役立てる手法を研究しています。

研究室の詳細はこちら

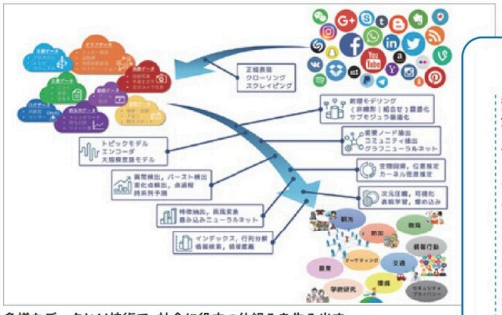
Faculty Voices



伏見 卓恭 教授

膨大なデータを未来社会に活かしていくために

私たちの身の回りでは、SNSやWebの記事、口コミ、写真、ライブ配信動画のコメントといった膨大なデータが毎秒のように生み出されています。しかし、その多くは十分に活用されず、潜在的な価値を引き出しきれていません。こうした“ビッグデータ”をどう整理し、どのように便利なサービスに活用するかは、現代社会の大きな課題になっています。私たちデータ工学研究室は、この世界的な課題に取り組んでいる研究室です。ここでは、AIや機械学習でビッグデータを解析し、人々の暮らしに役立つ仕組みやシステムを多様なアプローチで研究しています。たとえばそのひとつに、SNS投稿の写真から景観を評価し、“景色の良いルート”を案内できるナビゲーションの研究があります。また近年は、ChatGPTのような大規模言語モデルを扱うテーマも設定。AIの問題点として指摘される偏ったデータに基づく不公平な判断や思い込み（看護師は女性と考えるなど）を減らす手法の開発や、小規模なデータを機械学習することで、大量のデータを用いた場合に匹敵する結果を引き出す技術の開発などに挑んでいます。研究室の魅力は、学生と教員の距離が近く、密に相談しながら研究を深められること。また、国内外の学会発表の機会も多く、視野と活躍の場を世界へ広げることもできます。ビッグデータの可能性と社会の課題に正面から向き合い、未来の技術を創ることができる研究室です。



多様なデータとAI技術で、社会に役立つ仕組みを生み出す

社会の中でビッグデータ役立っています！

SNSの投稿やWebなどから取得される膨大なビッグデータは、たとえば渋滞予測やおすすめ商品の表示、感染症の流行予測、電力の需要予測など、生活を便利で安全にするためにさまざまな活用が進められています。

Students' Voices

ひとつの課題を粘り強くやり通す能力と自信がついた。



黄川田 拓実

コンピュータサイエンス学部4年（取材時）
県立川崎工科高校出身（神奈川県）

就職先
ちゅらデータ株式会社

小規模データで賢い要約・翻訳をめざす

データに関する研究をやりたいと思っていたので、研究室選びで迷うことはありませんでした。このデータ工学研究室の幅広いテーマの中で特に興味を持ったのは、大規模なデータを圧縮し、少ないデータで高い性能を引き出す「データセット蒸留」という技術です。大規模言語モデルの学習には膨大な計算資源が必要ですが、その負担を大幅に減らせる可能性がある技術で、挑戦のしがいがあると感じました。私が取り組んだのは、この技術を文章データに適用し、質の高い要約文や翻訳文を小規模なデータで生成できるようにする技術の開発です。なかなか思うような結果が出ず苦労しましたが、同じ自然言語処理分野を研究している仲間と議論を交わし、知識や成果を共有しながら問題を克服していきました。将来はオープンソースソフトウェアの世界的なコミュニティに参加し、先端技術の発展に関わっていけたらと考えています。

これが成果！

少量のデータだけでモデルを高精度に学習させる「データセット蒸留」は、主に画像、グラフ、数値データなどを対象とする研究が先行していました。私は、「単語の順序」「文脈」「意味」など複雑さが高く、蒸留が難しいとされる自然言語分野の蒸留技術の開発に挑戦。得られた研究成果を、イギリスで行われた国際学会で発表しました。



人工知能学会や国際学会（イギリス）参加時の様子



社会情報専攻

社会的な価値を創造し、信頼されるビジネス基盤の実現をめざす

Features

- 「ビジネス変革」「ビジネスサイエンス」「デジタルトラスト」「プロジェクトマネジメント」の4領域を探究
- デジタル社会を支える先端ICTや価値創造の手法を学び、信頼されるビジネス基盤を実現できるチカラを修得
- 社会を変革するDXエンジニア、データから価値を創出しビジネス課題を解くデータサイエンティスト、ビジネスを分析し改善を図るITコンサルタント、新たなサービス開発をリードするプロジェクトマネージャを育成

4年間の学びの流れ

プログラムと価値創造の基礎を学ぶ

1年次

ビジネスの現場やデータ分析で利用されるプログラミング言語「Python」や「R言語」を使ったデータ解析の学修に力を入れます。また、価値あるICTシステムの提案・実現を行うために不可欠な問題発見・解決力を養う「価値創造演習」を履修します。

主な科目例
- コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ
- プログラミング基礎Ⅰ・Ⅱ（Python）
- データ分析プログラミング（R言語）
- **価値創造演習**　ほか

技術基盤を固め、専門性を高める

2年次

デジタル社会を見据えたグローバルスキルと、コンピテンシー体系をベースとした「専門基礎教育科目」「コア科目」を2・3年次で履修します。全員が履修する「プロジェクト演習」では、技術基盤となる各種のスキルを学び、さらに専攻の特色を持つ「社会情報専門演習」により、専門性を高めていきます。

主な科目例
- データビジュアライゼーション
- プロジェクト分析・管理
- データと統計　●社会情報専門演習
- プロジェクト演習Ⅰ・Ⅱ　ほか

実践的プロジェクトを体験

3年次　研究室配属

「社会情報プロジェクト実習」では、社会課題を解決する複数テーマからひとつ選択し、実践的なプロジェクトに取り組みます。

主な科目例
- 価値創造実践
- **社会情報プロジェクト実習Ⅰ・Ⅱ**
- 創成課題　ほか

コア科目➡2・3年次 履修科目
- データサイエンス　●データインテリジェンス　●サービスマネジメント　●人工知能
- 情報セキュリティ　●インターネット　●ソフトウェアエンジニアリング　ほか

社会連携実習

2年次から専攻の特色を持つ科目を履修します。

4年間の学びの集大成へ

4年次

4年間の総仕上げとして卒業課題に注力します。所属する研究室で自分の関心に応じたテーマに取り組み、成果を論文や報告書にまとめます。また、研究室や大学のサポートを受けながら、就職や大学院進学に向けての活動も進めます。

主な科目例
- 卒業課題Ⅰ・Ⅱ　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。
変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 価値創造演習

グループワークを通じて、自ら問題を発見し、その解決方法を考える力を養う演習です。革新的なシステムを社会に提案できるエンジニアの土台を築きます。

▶ 社会情報プロジェクト実習Ⅰ・Ⅱ

課題の抽出とその課題への対処方法を能動的に学修する実践的科目です。データ分析やビジネス課題解決などの複数のテーマから興味のあるものを選択し、取り組みます。

卒業後のフィールド

進路

大学院進学／ITコンサルティング関連／製造業（電子機器、電子部品、通信機器、ゲーム、自動車、家電、プラント、産業機械など）／システムインテグレータ（情報システムのコンサルティング、設計、開発、運用、保守、管理）／ソフトウェアメーカー／インターネットサービス関連／医療・福祉関連／研究機関／金融機関／起業　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

•CAPM（Certified Associate in Project Management）　•情報処理技術者試験（基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験など）　•G検定（ジェネラリスト）　•Python3エンジニア認定基礎試験　•Python3エンジニア認定データ分析試験　•インターネット実務検定　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

Well-beingデザイン研究室

「Well-being」とは、心身の健康に加え、人とのつながりや生活への満足感など、生活全体が満たされた状態を指します。本研究室では、Well-beingな社会を実現するための「デザイン」を、実際のフィールドでの活動を通して研究しています。

研究室の詳細はこちら

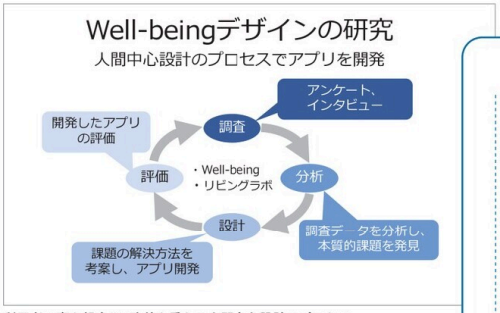
Faculty Voices



渡辺 昌洋 教授

実社会に飛び込んで「幸せ」をデザインしよう

この研究室では、身体や心が健康で、誰もが幸せを感じて生きられる社会――Well-beingな社会を実現するためのデザインを研究しています。ここでいうデザインとは、見た目の形を整えることではなく、人々の行動を丁寧に調べて課題を見つけ、解決までの過程を設計することです。研究では、人間中心設計の考え方に基づくプロセスを用い、アンケートやインタビューによる調査・分析、システムの設計・開発、実際に使ってもらう評価までを一貫して行います。学生一人ひとりが時間をかけて社会課題と向き合い、自分の手で解決策を形にしていきます。大きな特徴のひとつが、地域や自治体、企業、大学が協力する「リビングラボ」に参加して研究を進める点です。千葉市・幕張ベイタウンでは、高齢者などの外出を支える「グリーンスローモビリティ（低速・安全な小型電動自動車）」の運行をテーマに、予約や現在地表示、混雑状況を知らせるアプリを学生が開発しています。現場で使われ、評価される経験は、他ではなかなか得られません。この研究室では、実際にフィールドに出て多くの人と関わることを大切にしています。地域の方々と直接対話しながら進める研究は、教室の中だけでは得られない学びにつながります。最初は不安でも、一歩踏み出すことで視野が広がり、自分の可能性に気づけるはずです。社会をより良くしたい、その思いを行動に変えたい人に、ぜひ挑戦してほしい研究室です。



利用者の声を起点に、改善を重ねる人間中心設計のプロセス

リビングラボ 社会の中で役立っています！

生活空間（リビング）を実験の場（ラボ）として、住民・企業・行政・大学などが協力して社会課題の解決に取り組む枠組みをリビングラボと言います。その活動は、北欧で始まり、世界中に広がりを見せています。

Students' Voices

社会人や他大学の学生と一緒に研究できるのは楽しく刺激的です！

小尾 涼太

コンピュータサイエンス学部4年（取材時）
県立韮崎高校出身（山梨県）



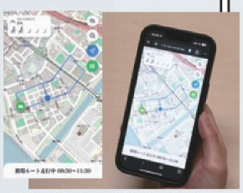
就職先
NSW株式会社

地域の声に耳を傾けて役立つアプリをつくりあげた

私がこの研究室を選んだ理由は、地域の方や他大学の学生と協力しながら、社会課題の解決に挑戦できる点に魅力を感じたからです。入学当初からITで人の役に立つサービスをつくりたいと考えており、ここならその思いを実践できると感じました。約1年間取り組んできた千葉市でのグリーンスローモビリティ（電動車を活用した移動サービス）をテーマとした研究では、現地で利用者の声を聞く中で、「車両の現在位置がわからず不便」という課題が見えてきました。そこで、位置情報と運行ルートを表示するWebアプリを開発しました。地域のボランティア団体が継続的に使えるよう、安価でシンプルな仕組みとした点は、工夫のひとつです。この研究で、幅広い世代の方々と対話しながら開発を進める経験をしました。人の声を聞いて改善を重ねるプロセスは、これまでの学修とはまったく異なる学びでした。卒業後もこの経験を生かし、利用者の視点を重視したサービス開発を通して、社会に貢献していきたいと考えています。

これが成果！

地域の方に実際に使っていただけるアプリを開発できたことが、何より大きな成果です。利用者の方から「ありがたい」「これからも使いたい」といった声を聞くこともできました。また、自分から行動する力や、行政や地域の方も参加する会議などで発表する力も大きく成長しました。学会発表に挑戦できたことも、自信につながっています。



幅広い世代との対話から生まれた、位置情報・運行ルート表示Webアプリ

研究が楽しい
from the lab

ロボットビジョン・Spatial AI 研究室

映像を解析・処理することで、ロボットが現実世界を理解し人と共存する未来を実現するための技術を研究。実世界の物体を3Dオブジェクト化する研究をはじめ、幅広いテーマに取り組んでいます。

AI×シミュレーションでロボットはもっと活躍できる



グェン タン アン

大学院 バイオ・情報メディア研究科
コンピュータサイエンス専攻 修士課程1年（取材時）
県立座間総合高校出身（神奈川県）

物理AI検証のための仮想工場の構築

近年、「ヒューマノイド」と呼ばれる人型ロボットや家庭用ロボットが注目されていますが、人のように柔軟に家事をこなしたり、工場で複雑な作業を行うロボットは、まだ実現できていません。その大きな理由は、ロボットが学習するためのデータが圧倒的に不足しているためです。そこで私は、世界的半導体企業であるNVIDIAの最先端シミュレーション環境を使い、仮想空間で大量のロボットデータを生成する手法を研究しています。シミュレーションなら、安全かつ低コストで、短時間に膨大なデータが得られる点が強みです。2年前から研究を始め、現在は工場作業を仮想空間で再現できる「シミュレーション開発フレームワーク『@factory』」の開発を進めています。また、AI分野の学生支援プログラム「NVIDIA学生アンバサダー」の一員として、AIやデータサイエンスの最新技術をワークショップなどを通じて学生に広める活動も行っています。2025年、本学に国内私大最速のスーパーコンピュータ「青嵐」が導入されました。これを活用することで、現在の取り組みをさらに発展させていけることを楽しみにしています。



最先端のシミュレーション環境「NVIDIA Isaac Sim」でつくり出した仮想工場空間



NVIDIA学生アンバサダーのワークショップでも研究を発信

My future plans

シミュレーションとAIを駆使してロボットの社会実装を進め、人とともに働くロボットの進化に貢献したい。



研究室／テーマ／教員一覧

※2026年4月の教員情報です

研究室一覧の詳細はこちら

客員教授



大島 まり

東京大学大学院情報学環・生産技術研究所 教授、東京カレッジ 副カレッジ長。専門はバイオ・マイクロ流体工学、STEAM教育。

先進情報専攻

情報基盤コース

シミュレーション科学研究室 生野 壮一郎 教授

- GPUを用いた物理現象のリアルタイムシミュレーション
- スーパーコンピュータを使った高速シミュレーション技術の開発
- モーションセンサーを用いたバイオメカニクスに関する研究



情報セキュリティと暗号システム研究室 布田 裕一 教授／学部長（出身企業：パナソニック）

- ブロックチェーンを用いたネットワークの攻撃検知技術
- ブラウザフィンガープリントを用いたリスクベース認証技術
- 暗号方式／アルゴリズムの設計及び安全性評価



情報セキュリティ研究室 宇田 隆哉 准教授

- 人間が読めないナンバープレートを人工知能を使って読み取る技術
- 着用すると人工知能から人間として認識されなくなる衣類の開発
- 機械学習によるマルウェアやXSS攻撃の検出



知能IoT・セマンティック通信研究室 張 晃逢 准教授

- 次世代IoT無線ネットワークシステムの開発
- AI・セマンティック通信による知能通信最適化の研究
- クラウドを用いた分散協調型ネットワークの制御



シミュレーション技術・数値計算手法研究室 山元 進 准教授

- 強結合近似分子動力学
- 数値計算（線形問題、数値積分など）
- データ可視化



マルチメディアデータモデリング研究室 佐々木 亮平 講師

- 多様体上の高次元データモデリングと音声／画像修復応用
- 古典的データモデリング手法と機械学習の融合
- ニューラルネットワークを用いた反復型数理最適化アルゴリズムの高速化



コンピュータ数理・微分方程式研究室 千葉 康生 講師

- 境界値問題における超局所解析の構成
- 超局所作用素に関する研究
- コンピュータを利用した微分方程式の解の構成



人間情報コース

ヒューマンインタフェース研究室 井上 亮文 教授

- デジタルコンテンツの作成・編集技術
- 仮想現実感
- 遠隔コミュニケーションシステム



感性・言語コンピューティング研究室 岩下 志乃 教授

- 円滑なコミュニケーションが可能な対話システムの開発
- 心理教育・心理検査のためのシステム開発
- 人間の感性や個性を考慮したUIに関する研究



音声・画像処理研究室 大石 邦夫 教授

- 超音波モータ駆動スピーカの作成と特性測定
- ブラインド音源分離の研究
- 音源の到来方向推定の研究



音声コミュニケーション研究室 大野 澄雄 教授

- 表現の強度を任意に指定できる感情音声合成手法の開発
- 種々のニュアンスを理解する音声認識手法の開発
- 新しいAI技術を利用した自動学習による表現豊かな音声合成



バイオメトリクス研究室 佐藤 公則 教授

- 次世代の入退室管理に必要な個人識別技術の開発
- 生体認証技術（バイオメトリクス認証）の研究
- 画像認識と画像計測



CSエンターテイメント研究室 松下 宗一郎 教授

- コンピュータインタラクションシステム
- モーションセンサーを用いたウェアラブルコンピュータ
- 運動技巧習得支援システム



ヒューマンセンシング研究室 武 博 講師

- モーションキャプチャー・アイトラッカーにおける人間行動分析
- スマートデバイスにおける次世代人間支援システム・技術の開発
- 仮想と現実の融合技術に基づく人間行動認識と分析



先端技術認知心理学研究室 伝保 昭彦 講師

- 拡張現実使用時の人間の視覚的注意と情報処理
- 変化の見落としが起こりにくい情報提示方法の提案
- 先端技術が人間の認知に与える影響の検討



人工知能コース

ゲームと認知科学研究室 グリムベルゲン ライエル 教授

- 人間の問題解決方法の研究と実装
- 人間らしいゲームAIの研究と実装



TransMedia Tech研究室 中西 崇文 教授

- 多メディア混合プラットフォーム（音楽、アート融合分析手法確立と新たな活用先探索）
- 説明可能なAI-AIME（approximate inverse model explanations）
- 時系列トピック分析



データ工学研究室 伏見 卓恭 教授

- 対照学習に基づくグラフにおけるノード列の表現学習
- 強化学習に基づく大規模言語モデルのファインチューニング
- アニメ画像に対するジオローカライゼーションに基づく聖地の特定



知能情報処理研究室 長名 優子 准教授

- 類似画像検索（類似した写真やタッチの似たイラストを探すなど）
- 遺伝的アルゴリズムを用いた創作支援システムの開発
- 機械学習（強化学習など）の開発



ブレインコンピューティング研究室 菊池 眞之 准教授

- 深層学習・脳活動計測・心理物理実験による脳内認知プロセスの解明
- 脳情報処理の知見を採り入れた機械学習手法の提案
- 脳活動・視線情報に基づくヒトの主観状態の推定



ロボットビジョン・Spatial AI研究室 松岡 丈平 講師

- 画像認識に基づく次世代材料SiC/SiCの非破壊検査技術の開発
- AIロボットの社会実装に向けた要素技術の開発および基盤構築
- 画像解析に基づく利用者列検知型の人数計測システムの開発



社会情報専攻

複雑系データサイエンス研究室 瀬之口 潤輔 教授（出身企業：ゴールドマン・サックス証券）

- AIを用いた株価予想
- 複雑系モデルの汎用性評価
- 評価関数の単峰性検定



サービスシステムデザイン研究室 細野 繁 教授（出身企業：日本電気）

- デザイン思考・システム思考に基づくサービス企画支援とAIエージェントシステム
- AI・IoT・オープンデータなどに対応したサービスシステム開発方法論・ツール
- Web3サービスの創出に向けたデジタルトラスト構築とブロックチェーンの応用



Well-beingデザイン研究室 渡辺 昌洋 教授（出身企業：日本電信電話（NTT））

- Well-beingな社会を実現するデザインの研究
- リビングラボを推進するコミュニケーションデザインの研究
- 共生社会を支えるユニバーサルデザインの研究



オペレーションマネジメント研究室 山口 淳 准教授（出身企業：東京ガス）

- 改善活動のマネジメントとダイナミックケイパビリティ（企業の自己変革能力）
- 企業の競争優位とオペレーションの柔軟性を確保するDXの要件
- 組織ルーティンの視点から捉えた自動化設備のあり方の研究



データアナリティクス研究室 福西 広晃 講師（出身企業：日本電気）

- 機械学習を用いた将来予測
- 要因分析・因果分析に基づく意思決定支援
- データ分析アプリケーションの構築



大野 由美子 助教
専門分野：離散数学、組合せ論、グラフ理論



樫 リベカ 助教
専門分野：数理言語学、計算言語学、自然言語処理



高本 綺架 助教
専門分野：自然言語処理、音楽情報処理



楊 健 助教
専門分野：画像処理、圧縮センシング、深層学習



鮫島 淳 就職担当特任講師
専門分野：キャリア教育、キャリア設計、経営戦略



メディア学部

MEDIA SCIENCE



メディアコンテンツコース　メディア技術コース　メディア社会コース

確かな基礎と先端技術で
未来を拓いていくメディア学の元祖

東京工科大学のメディア学部は、メディアを体系的に学べる日本で最初に誕生した学部です。本学部では、メディア基礎技術、ICTスキルを修得したうえで、専門性を高めていく革新的な教育・研究を展開。さらに、AI・VRなどの新しい技術を基盤としたメディア学の最先端に挑戦を続けており、技術革新が進むほど社会に必要とされる価値ある素養や能力を身につけられるのが、本学部の大きな特長です。

AIでこんなことができる

● AI導入でゲームがより面白く!

プレイヤーの言動によって、マップやクエスト、物語などがリアルタイムで生成され、NPCは感情や態度を変えるので、何回遊んでも新鮮でより面白いゲームが実現しています。

● 人間の想像を超えたコンテンツが実現?

アニメやゲーム、映像の制作も、高度な処理が可能になったAIを使いこなせば、クリエイティブの幅が広がり、新しいコンテンツが実現するかもしれません。

特長

Feature 01

メディア基礎技術が確実に身につき、将来の進路や可能性が広がる

メディア基礎技術を確実に修得したうえで、3つのコースに分類された科目を興味に応じて選択して学べる自由度の高いカリキュラムを用意。多様な分野を学びながら、将来取り組む専門研究の内容や進路を決めていけます。

Feature 02

学外に視野を広げた多彩な活動で、社会や時代をリアルに理解

映像系企業や一流の表現者などとのコラボレーションをはじめ、メディア技術を活用した国際支援や地域連携も活発に展開。メディア産業の第一線で活躍中の専門家による特別講義も多数行っています。

Feature 03

充実した演習で専門性と実践力をはぐくみ、社会で役立つ力を修得

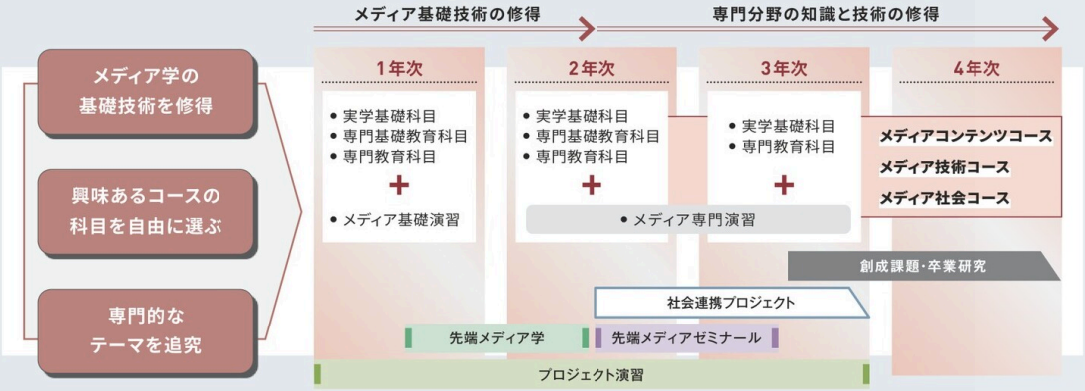
各年次に配置された多彩な演習科目で創造性を育成。1年次からの「プロジェクト演習」(➡P41)では高度な知識や技術、コミュニケーション能力、チームワークを修得し、「社会連携プロジェクト」では企業(ゲーム・音楽系など)と連携し実社会の課題に挑戦します。

Feature 04

柔軟な学修計画を立てられるクォーター制

2024年度カリキュラムより、1年間を4つの学期に分けて授業を行うクォーター制を導入。学修計画の自由度が高まり課外活動に参加する期間がつくりやすくなる、短期間で濃密な学修が行えるなどのメリットがあります。

学修構造



DATA

八王子キャンパス

メディア学部長:三上 浩司

男960名(71.1%)　女391名(28.9%)

2025年5月1日現在

各コースなどの紹介動画

学部BLOG更新中

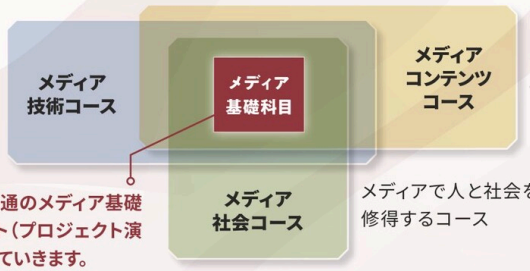
学びの構造

基礎を固めて専門性を身につける柔軟性の高いカリキュラム

基礎と専門を確実にする

メディア学部の3つのコース

豊かで便利な生活を支える
メディア技術を
修得するコース



コンテンツの制作・表現技術を
修得するコース

メディアで人と社会をつなぐ技術を
修得するコース

多彩なメディア学の学修に不可欠な共通のメディア基礎科目です。早期に実践的なプロジェクト（プロジェクト演習など）にも参加しながら、基礎を固めていきます。

専門基礎教育科目

メディア学を俯瞰しながら、学修基盤を固めるための幅広い基礎的内容を学修。講義科目と実践的な演習科目が用意されています。

＋

専門教育科目

各コースに対応した専門的な科目のほか、2年次からのメディア専門演習、3年次後期からの創成課題、卒業研究などで構成されます。

未来や社会に貢献できる素養や能力を身につけることができます

4年間の学びの流れ

専門分野を基礎から学ぶ

1年次

メディア学部の教育内容を広く学ぶための入門科目を開講。「メディア学入門」でメディア学の全容を理解するほか、「メディア基礎演習Ⅰ・Ⅱ」でメディアの代表的な分野に関連した8テーマの基礎スキルを身につけます。

主な科目例

［共通］
- メディア学入門

［コンテンツ］
- 映像創作入門Ⅰ・Ⅱ
- 音楽入門Ⅰ・Ⅱ
- 視覚デザイン入門
- コンテンツ文化論

［技術］
- プログラミング入門Ⅰ・Ⅱ
- 視聴覚情報処理の基礎Ⅰ・Ⅱ
- インターネットシステム入門
- 人間工学基礎

［社会］
- 広告・広報論
- メディア文化と社会
- ソーシャルリサーチ
- 音楽産業入門

- メディア基礎演習Ⅰ・Ⅱ　ほか

基本を身につけ、専門的な内容を学ぶ

2年次

前期は、メディア学の全体を俯瞰しつつ学修基盤を固めます。後期から、コースに紐づいた専門的な内容を学びます。また、2年次から「メディア専門演習」が始まり、3年次修了までに3テーマを選択して履修します。

主な科目例

［共通］
- メディア特別講義Ⅰ・Ⅱ

［コンテンツ］
- CG制作の基礎
- ゲームデザイン論
- コンテンツ企画論
- 音楽創作論Ⅰ・Ⅱ
- デジタル映像表現

［技術］
- CG・ゲームのための数学
- 音響メディア処理の基礎
- CG数理の基礎
- 人工知能の仕組みと応用

［社会］
- 教育メディア論
- インターネットコミュニティ論
- ニュースメディア論Ⅰ・Ⅱ
- コンテンツマーケティング論
- グローバルメディア論

- メディア専門演習Ⅰ〜Ⅲ（2〜3年次に3テーマ）　ほか

体系的に学ぶことで、理解を深める

3年次　研究室配属

コースに対応した推奨科目を履修するとともに、それ以外のコースの科目群も学び、さらに深い内容のコース専門科目群を履修。後期から研究室に所属し、4年次の卒業研究の準備を行う「創成課題」もスタートします。

主な科目例

［コンテンツ］
- 先端映像創作論Ⅰ・Ⅱ
- ゲームヴィジュアル論
- キャラクタメイキング論
- サウンドデザイン論
- 映像音楽技法

［技術］
- イメージメディア処理
- 感性情報処理論
- 3次元コンピュータグラフィックス論
- ソーシャルコンピューティング論
- テクノロジーとアート

［社会］
- デジタルマーケティング論Ⅰ・Ⅱ
- ソーシャルメディア論Ⅰ・Ⅱ
- 調査報道論Ⅰ・Ⅱ
- 情報と経済Ⅰ・Ⅱ
- ソーシャルインタラクション

- メディア専門演習Ⅰ〜Ⅲ（2〜3年次に3テーマ）
- 創成課題　ほか

積み上げた次世代技術力の集大成へ

4年次

4年間の総仕上げとして、卒業研究に取り組む期間。問題発見・分析能力、問題解決能力、論理的文章表現力、および発表能力の修得をめざします。

主な科目例

- 卒業研究Ⅰ・Ⅱ　ほか

社会連携プロジェクト

先端メディア学 Ⅰ・Ⅱ　先端メディアゼミナール Ⅰ・Ⅱ

プロジェクト演習 Ⅰ〜Ⅻ

大学院進学／就職

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

3つのコースに分類した科目を設定し、学生の興味や関心に応じて、どのコースの科目も自由に選択して学ぶことができるカリキュラムを設置。より多様に、より専門性の高い内容が学べるよう工夫されています。

学べる内容の詳細はこちら

メディア学部 独自のカリキュラム 1

1年次から研究室に所属し、研究成果の「学会発表」をめざす。

先端メディア学 & 先端メディアゼミナール

成績優秀で、学修意欲の高い学生を1年次の後期から研究室に参加できるようにし、**早期に研究を中心とした学修の機会を提供**するのが「先端メディア学」&「先端メディアゼミナール」です。

先端メディア学

1年次後期から2年次前期に開講され、研究分野の基礎的な素養を集中的に身につけます。

先端メディアゼミナール

2年次後期から3年次前期に開講され、担当教員指導のもと具体的な研究内容を決定し、研究をスタート。

身につけた素養を元に、**「学会発表」**という成果を得ることができます。

「先端メディア学」「先端メディアゼミナール」の詳細はこちら

メディア学部 独自のカリキュラム 2

将来につながる貴重な実践経験を積む科目。

プロジェクト演習 & 社会連携プロジェクト

メディアに関わる専門性の高いプロジェクトに挑戦するメディア学部ならではの特徴的な演習科目。多彩な専門的テーマで開講されており、「プロジェクト演習」は1年次から履修できます。さらに2025年度からスタートした「社会連携プロジェクト」では、外部企業（ゲーム系・音楽系・映像系など）の協力のもと、短期間で集中的に実社会の課題にチャレンジできます。

演習の目的はこれ！

- めざす分野で必要となる能力の早期修得
- 高度で一貫性のある卒業研究への準備
- 修得すべき基礎的な知識・技術の理解
- 協調性やコミュニケーション能力の養成
- 進路の判断に役立つ経験の蓄積

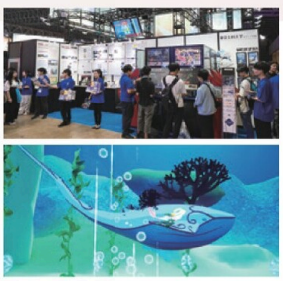
プロジェクト演習開講テーマ▶2026年度

開講テーマ 約40種類

和声／ソルフェージュ／先端音響創造／先端ミュージッククリエイション／Audio Engineering／コンテンツデータアナリシス／サウンドデザイン／Procedural Animation Basic／Procedural Animation Intermediate／Procedural Animation Advance／Procedurel Animation Slim & VFX／クリエイティブ・アプリケーション／デジタルキャラクターメイキング／キッズアニメーションディベロップメント／キッズアニメーションCG制作／アドバンストCGアニメーション制作／オリジナルCGアニメーション制作／インテプロ／2DデザインとSNSプロモーションによる健康メディアデザイン／企業・団体のプロモーション技法／実践的プログラミング基礎／実践的AR基礎／サーバー構築・管理／IoTプロトタイピング演習／人工知能実験室／eBookデザイン／インタラクティブ・ゲーム制作（イントロダクション・プロデューシング・Unity・グラフィックス・サウンド・GGJ・ゲームデザイン）／シナリオアナリシス／サウンドクリエイター入門／実践的Web開発／デジタルメディア表現（VRコンテンツ・インスタレーション）／シネマフェス・プロデューシング／メディアパフォーマンス／映像制作A・B

プロジェクト演習 東京ゲームショウ出展

メディア学部は他大学に先駆けてゲーム制作教育に取り組み、毎年東京ゲームショウで学生の作品を公開し、一般からのフィードバックを得られる貴重な機会を提供しています。



東京ゲームショウに出展した「SWAMH -スワム-」

東京ゲームショウ出展作品



プロの評価が自信に！

「プロジェクト演習」で本格的なゲーム制作に取り組み、東京ゲームショウに出展しました。私はプロデューサーとして企画の立案や進行管理を担当。メンバーの意見を聞いてチームをまとめることにも注力しました。このゲームが持つ「人魚がきれいな海を取り戻す」という優しい世界観や、グラフィックの美しさについてゲーム業界のプロから高い評価をいただいたことは、大きな自信になりました。

野亀 真愛 メディア学部3年（取材時）
県立津山高校出身（岡山県）



メディアコンテンツコース

魅力的なコンテンツの制作を可能にする、知識・技術・経験を手に入れる

Features

- 最新のコンテンツ制作の理論・技術を活用してメディアコンテンツを創造する力を修得
- 映像コンテンツやインタラクティブコンテンツの制作・デザイン、サウンドデザインなどの領域を学修

主な専門教育科目

▶ ディジタル映像表現論
映像制作技術の基本的な原理とディジタル映像表現のさまざまな技法を、講義と実習課題の制作を通して実践的に学び、映像コンテンツ制作に必要となる知識とスキルを身につけます。

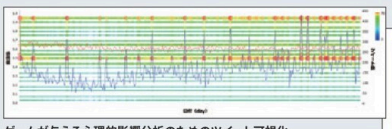
▶ ゲーム制作技術論
ゲームコンテンツ開発の工程やゲーム関連業界の動向について理解するとともに、ゲームデザイナー、グラフィックデザイナー、プログラマーなどが用いる技術を、実例を見ながら学びます。

▶ サウンドデザイン論
サウンドとテクノロジー、それらを活用する新しい視点をキーワードに、音・音楽・音響について学修し、音を使った多彩な作品やデバイスに触れるとともに、自分のアイデアを発表します。

研究の紹介

あらゆるデータをCG技術で可視化して驚くような発見を！

大規模かつ複雑なデータを、コンピュータグラフィックスの技術を用いて視覚的に解析できるようにする「可視化」について研究しています。可視化が対象とするデータは、理学、工学、医学、さらには社会現象やマーケティングといった物理現象として観測できないデータまでさまざまです。これらを「見える」ようにすることで、新たな現象に気づいたり、因果関係を解明したりするなど、何らかの発見につなげていくことをめざします。これまでの学生の研究実績も、例えばSNSにおける投稿の可視化、音楽の可視化など、幅広い分野に及んでいます。



ゲームが与える心理的影響分析のためのツイート可視化
ゲーム名のハッシュタグがついたツイート1年分の感情値変化を分析するために、独自の可視化手法を開発



広告コンテンツの配置による視線移動の可視化
コンテンツの配置によって、ユーザーの視線がどのように移動するのかを可視化



コンピュータビジュアリゼーション
竹島 由里子 教授

研究室の詳細はこちら



専門演習紹介

Create with AI

本演習は、AIの仕組みを基礎から理解し、実社会で活用する力を身につけることをめざします。AIの定義や基本知識を学んだうえで、画像生成AIやChatGPTの技術的な仕組み、さらにビジネスへの応用について知識を深めます。画像生成AIについては、これまでの歴史や著作権の考え方にも触れ、実際にツールを操作しながら、その特徴や使い方を体験的に理解します。また、ChatGPTとExcelを組み合わせた活用法に取り組み、AIを効果的に使うための指示の出し方を学びます。



「自分の好きな小説からイメージされる画像を生成する」の成果画像

卒業後のフィールド

進路

プロデューサー／ディレクター／デザイナー／ゲーム制作／CGエンジニア／クリエイター／企画／広報／サービス／営業／映像技術／放送技術／音響技術／研究機関／大学院進学　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

•CGクリエイター検定　•CGエンジニア検定　•Webデザイナー検定　•色彩検定
•マルチメディア検定　•基本情報技術者試験　•画像処理エンジニア検定
•MIDI検定　•ORACLE MASTER　•Microsoft Office Specialist（MOS）
•インターネット検定　•デジタルコンテンツアセッサ　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。



メディア技術コース

世の中に、新しい豊かさや感動をもたらす、革新的なメディア技術の創造者をめざす

Features

- メディアの新しい仕組みや技術を創造したり、それらを活用する環境を提供する能力を修得
- ヒューマンインタフェース、イメージメディア、コミュニケーション、音声音響メディアなどの領域を学修

主な専門教育科目

▶ ヒューマンコンピュータインタラクション論
登場して以来、性能や形、用途も大きく変化してきたコンピュータが、人間の生活や意識にどのような影響を与えてきたかを解説。そして今後どのようになっていくのかという展望を描きます。

▶ 3次元コンピュータグラフィックス論
3次元コンピュータグラフィックスの理論のうち、レンダリング技術を中心として、3次元モデルをリアルに表現する手法を学修。プログラムの実装などについても解説します。

▶ 音声音響メディア処理論
音声音響信号の分析、音声認識、音・音声合成、音響機器や電気音響の基礎と応用を学修。信号処理ソフトを用いてビブラート音を作成するなど、体験を通して知識を身につけます。

研究の紹介

人とメディアを理解して、次代のモノやコンテンツをカタチにしよう!

人の身体的、心理的な特性を理解したうえで、人にとって使いやすく、安全で快適なモノやシステムを考え、デザインする学問のことを「人間工学」と言います。このプロジェクトでは、VRやAR、空間立体映像といった先端的なメディアを対象に、人間工学的な観点から評価、開発を行っていきます。近年、普及が進む新しいメディアが人にどのような影響を与えるのか、そしてメディアの特性を活かしたコンテンツをどのようにつくっていけば良いのかといった課題に取り組み、次世代のメディアの発展に寄与する知見を得ることを目標としています。



VRにおけるコミュニケーション(左上)仮想空間でのコミュニケーションを活発化するアバター表現方法の模索を通じた、より良いコミュニケーション空間の創造
VR睡眠の影響(右上)ソーシャルVRサービスのヘビーユーザの間で行われている、HMDをかぶったまま就寝する「VR睡眠」が人に与える影響についての評価
Mixed Realityを用いた手術手技訓練の効果(左下)MR技術を用いたトレーニングにおいて、空間知覚のずれが訓練効果に与える影響についての、腹腔鏡手技訓練を対象とした検証
視触覚のクロスモーダル知覚(右下)仮想空間と現実空間で同じ物体を触った際の、物体の精細度の違いが触知覚に与えるクロスモーダル効果についての心理物理実験



メディアエルゴノミクス
盛川 浩志 講師

研究室の詳細はこちら



専門演習紹介

生成AIで学ぶPython

ChatGPTなどの生成AIは、文章やプログラムを学習して構築された技術であり、対話を通じて開発を支援するAIエージェントとして進化しています。そのため、生成AIはプログラミングの強力な開発パートナーとして活用されています。本演習は、プログラミング言語「Python」を使い、システム設計に基づいてAIと協働しながら開発する力の修得を目的とします。Pythonの基礎を身につけるために生成AIを活用し、実践的なプログラミング力を養います。



卒業後のフィールド

進路

インターネット関連技術／システムエンジニア／システム開発／ゲーム制作／スマートフォンアプリ開発／音響技術／ウェブサイト制作／放送番組制作／CG・コンテンツ制作／研究機関／大学院進学 ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

- CGクリエイター検定
- CGエンジニア検定
- Webデザイナー検定
- 色彩検定
- マルチメディア検定
- 基本情報技術者試験
- 画像処理エンジニア検定
- MIDI検定
- シスコ技術者認定(CCNAなど)
- ORACLE MASTER
- Microsoft Office Specialist(MOS)
- インターネット検定 ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。



メディア社会コース

社会とメディアの接点を見つめ、人々に貢献するサービスやビジネスを形にしていく

Features

- メディアコンテンツや技術を、広く社会やビジネスに活用していくための知識やスキルとして修得
- 社会情報、ソーシャルデザイン、サービスデザイン、ビジネスデザインなどの領域を学修

主な専門教育科目

▶ グローバルメディア論

グローバル規模の通信社など、さまざまなコンテンツを国境を越えて広めているグローバルメディアの歴史や、視覚メディアと社会問題の描写、今後のメディアの役割などについて考えます。

▶ ソーシャルインタラクション

人と人の相互行為（インタラクション）における発話を基本とした会話分析の概念と方法論や、ロボットなどのメディアやテクノロジーを媒介としたインタラクションのあり方などを学びます。

▶ 調査報道論

新聞や雑誌記事、ニュース、ドキュメンタリー番組などを題材に、自発的な問題意識に基づいて行われる「調査報道」の内容や報道プロセスをたどり、ジャーナリストの着眼点や調査方法を学びます。

研究の紹介

「聞こえ」に関わらず誰もが安心して暮らせる社会をつくる！

聴覚・言語障害の該当者は約37.9万人、難聴を自覚している人は約3,400万人に上るとされ、聞こえに関する困難は決して一部の人だけの問題ではありません。本研究室では、聞こえない人や聞こえにくい人も共生できる社会の実現をめざし、新しいメディアテクノロジーを活用した研究に取り組んでいます。公共空間や教育現場、日常生活の中で生じる「聞こえ」の課題に着目し、音声・文字・映像などを組み合わせた表現や仕組みを探究。誰もが情報を入手しやすい環境づくりに貢献することを目的として、実践的かつ社会と繋がる活動を展開しています。



駅や空港などのアナウンスによる情報を、聞こえに関わらず届けることを目的としたプロジェクト「Voices for All」。次世代のBluetoothであるオーラキャストを使い、補聴器や人工内耳に音を届けたり、字幕変換するシステムの検証を進めている



科学技術振興機構主催「サイエンスアゴラ2025」に、「サイレント・コミュニケーション体験」を出展。音響シミュレーションによるさまざまな聞こえの体験をしてもらい、聴覚障害への理解を広めている



聴覚障害支援メディア
吉岡 英樹 講師

研究室の詳細はこちら

専門演習紹介

映画プロジェクト開発

あらゆる映画プロジェクトの成立に欠かせない資金調達のための企画開発を学びます。市場の現状を把握したうえで作品のテーマを決め、資金調達先を想定して企画書を作成しプレゼンテーションを実施。映画やその他メディア関連だけでなく、あらゆる業界・職種においても非常に重要なスキルである企画力およびそれを伝える力を養い、魅力的なプレゼンテーションができる人材になることをめざします。優秀な企画は、実際に映画関連企業・団体の関係者に提案する機会を設けます。



元アナウンサー
野島卓教授が講義を担当！

アナウンサーの経験を活かし、メディアリレーション推進室長として「ニュースメディア論」でメディアの現場を伝えています。



卒業後のフィールド

進路

デジタル広告／ネットメディア／マーケティング／コンテンツ／教育／NPO／NGO／公共機関・行政／流通／運輸／金融／製造／研究機関／大学院進学　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

- CGクリエイター検定
- CGエンジニア検定
- Webデザイナー検定
- 色彩検定
- マルチメディア検定
- 基本情報技術者試験
- 画像処理エンジニア検定
- MIDI検定
- ORACLE MASTER
- Microsoft Office Specialist（MOS）
- インターネット検定
- デジタルコンテンツアセッサ　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

次世代CGクリエイション

リアルタイムグラフィックスやVRといった新しい映像技術を駆使して、アニメや映画、ゲームなどさまざまなコンテンツ制作の効率化と高品質化を実現する研究を行っています。

研究室の詳細はこちら

Faculty Voices



川島 基展 特任講師

最先端のCG技術で映像コンテンツに革新を

次世代CGクリエイションでは、アニメやビデオゲーム制作を飛躍的に進化させる次世代CG技術の研究に取り組んでいます。とくに、映像の状況に合わせて即時にCGを生成する「リアルタイムグラフィックス」は、アニメ制作の効率化や新たなビジュアル表現の創出、ゲームの高品質化など、エンターテインメント分野で大きな役割を担う技術として注目を集めています。こうした最先端技術を実践的に学び、自らの発想で未来の作品づくりに直接関わることができる点が、本研究室の大きな魅力です。また、技術が急速に進歩する分野だからこそ、常に新しい知識に触れ、世界の最前線とつながる学びが得られます。私は本学で学生指導にあたりつつ、アニメやゲームコンテンツの制作を手掛ける企業の経営にも携わっています。この経験を活かし、学生がエンタメ業界をはじめとする産業界で求められる能力をしっかり身につけられるよう指導を行っています。企業との産学共同プロジェクトにも積極的に取り組んでおり、学生が提案した新しいゲーム映像技術に関するさまざまな研究は高い評価を得ています。さらに2025年には、本学のモーションキャプチャー設備が刷新され、バーチャルライブなど最先端のエンタメ表現にも挑戦できる環境が整いました。発想力や表現力に加え、最新の映像トレンドに対応できる技術力を身につけ、アニメやゲームの未来を切り拓ける人材を育成したいと考えています。



八王子キャンバスとCGを最新技術で合成した作品例

社会の中で役立っています！ ビデオゲームの表現

ビデオゲーム制作に用いられる「リアルタイムグラフィックス」は、ゲームにとどまらず、テレビ番組のグラフィックス表現や、製造業でのシミュレーションなど世の中の幅広い分野で活用されています。

Students' Voices

今までなかったCG表現を自分の力でつくりだせた！



塩路 彩夏

大学院 バイオ・情報メディア研究科
メディアサイエンス専攻 修士課程2年（取材時）
県立緑岡高校出身（茨城県）

就職先
株式会社バンダイナムコスタジオ

アニメの表現技法をゲームに活かしたい

私が次世代CGクリエイション研究室を選んだのは、1年次から参加している「インタラクティブゲーム制作」をテーマとするプロジェクト演習で学んだことがきっかけです。ただものづくりをするだけでなく、それを支える表現技法を追求する面白さに気づき、この研究室に入りました。私はこれまで、アニメの撮影技法をゲームの背景表現に応用する研究や、太陽光の変化から自動でゲームキャラクターの色指定を行うトゥーンシェーディング手法の提案などに取り組んできました。どちらも“アニメで可能な表現をゲームで実現する”というテーマでつながっています。研究の醍醐味は、既存作品の「足りない部分」を見つけ、自分の発想で技法を形にできた瞬間。仲間の努力にも刺激を受け、最後までやり遂げる力が大きく伸びました。将来はアニメーターとして経験を積み、いずれは作品全体の方針や表現を設計してみたいと考えています。

これが成果！

アニメならではの“背景一枚絵”の動きをゲーム内で再現するため、ゲーム画面内の3Dオブジェクトを自動的にアニメ的構図へ変化させる独自の技法を開発しました。これにより、従来指摘されていたアニメ原作ゲームの違和感を解消し、より深い没入感を実現します。この研究の成果は、日本デジタルゲーム学会で発表しました。



下が本研究手法を用いた構図

研究が楽しい
from the lab

A.E.D. Lab

「楽しさ」をテーマに、新しい創造物を生み出すためのテクノロジーや革新的なメディア・アートを探究し、人間の心に訴えかける作品の制作と、その基盤となる技術の開発に挑みます。

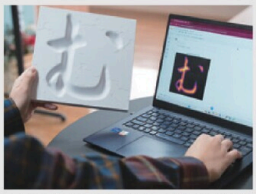
書道作品を立体化し触れて楽しむ新しい鑑賞体験を



志村 歩佳
メディア学部４年（取材時）
桐蔭学園高校出身（神奈川県）

書道の筆跡を立体的に再生する鑑賞体験の提案

書道作品に込められた筆の動きや力の入れ方を、画像解析によって立体的に可視化する研究に取り組んでいます。書道は完成した文字だけで評価されることが多く、書く過程における筆圧の強弱や運筆の違いは、鑑賞者には伝わりにくい要素です。そこで本研究では、書かれた文字の濃淡や太さから筆圧を推定し、その数値を用いて「地図の等高線」のような情報を持つ画像（高さマップ）を作製しました。その高さ情報をもとに文字の3Dモデルを生成し、3Dプリンタで立体化することで、筆の力の入れ方や流れが視覚的にわかり、さらに触れることで体感できる新しい鑑賞体験を提案しました。平面の作品では伝わりにくい表現の過程を可視化することで、書道学習の支援に役立てたり、書家の「書き方」を書道芸術の一要素として保存したりすることにつなげられたらと考えています。本研究を学会発表したところ、「書に触れて理解できる点が新しい」と好意的な評価を多く得ました。幼少期から親しんできた書道への興味を研究として深められたことは、大きな自信と達成感につながりました。



筆圧を解析して可視化した文字の「高さマップ」と、それをもとに3Dプリンタで出力した立体モデル



立体モデルは筆圧が高いところほど深くなっており、“指でなぞる鑑賞体験”が可能

My future plans

研究で培った表現力と技術を活かし、放送業界で文化的価値を伝えるコンテンツ制作に関わっていきたい。



就職先
日本放送協会（NHK）

研究室／テーマ／教員一覧

※2026年4月の教員情報です

研究室一覧の詳細はこちら

メディアコンテンツコース

ミュージック・アナリシス&クリエイション　伊藤 謙一郎 教授



●さまざまなスタイル（あるいはジャンル）の楽曲の分析
●楽曲分析や作曲技法の研究を踏まえた音楽制作
●映像コンテンツの音楽に関する研究

Procedural Animation／Contents Design Science　菊池 司 教授



●自然物・自然現象のProcedural Animation
●映像における視聴者の感性を操作するための要素抽出と方法論
●映像による身体動作支援

コンピュータビジュアリゼーション　竹島 由里子 教授



●特徴解析に基づく3次元データの高度可視化
●SNSの可視化による傾向や因果関係の解析
●身体情報に基づく傾向分析およびその可視化

コンテンツプロデューシング／ゲームイノベーション　三上 浩司 教授／学部長（出身企業：日商岩井）



●生体情報やプレイログ等を利用したゲームデザイン手法の研究
●アニメやマンガなど日本独特の表現のゲームへの応用
●シナリオ制作支援やコンテンツの企画、制作、プロデュース支援

シン・テレビ学（映像コンテンツ）　山脇 伸介 教授（出身企業：TBSテレビ）



●マスメディアの変化と情報リテラシー
●映像コンテンツ制作
●映像コンテンツと観光

次世代コンテンツ　椿　郁子 准教授（出身企業：シャープ）



●VR/AR技術の応用システム
●機械学習による映像認識と合成
●全方位画像インタフェース

インタラクティブコンテンツデザイン　安原 広和 特任准教授（出身企業：UnityTechnologies）



●ゲームデザインと教育・知育
●ゲームデザインの社会や産業への応用
●仮想空間やメディア媒体とのインタラクティブ・コミュニケーション

ミザンセーヌデザイン　兼松 祥央 講師



●シナリオ・ストーリーの構造分析と執筆支援手法
●キャラクター設定の分析と制作支援手法
●アニメ・映画のためのシナリオ・キャラクターを踏まえた演出設計

exSD　伊藤 彰教 特任講師



●音楽情報処理を基盤とした新たな音楽・音響作品の制作
●映画・映像・アニメ作品のサウンドデザイン
●ゲーム・xRなどのインタラクティブ・サウンドデザイン

次世代CGクリエイション　川島 基展 特任講師（所属企業：ももも ワークス）



●次世代アニメ制作手法
●次世代バーチャルプロダクション
●ゲームビジュアル表現技術の応用

栗原　涉 助教



専門分野：ヒューマンコンピュータインタラクション、メディアアート、ユーザインタフェース

戀津　魁 助教



専門分野：Webアプリケーション・データベースシステム、シナリオ・キャラクターの制作技術、スマートデバイス向けアプリ制作

メディア技術コース

コム・メディア・デザイン　太田 高志 教授（出身企業：日本アイ・ビー・エム）



●生活環境としてコンピュータの機能が存在する場のデザイン
●コンピュータの新しい使い方を提案するインタラクションデザイン
●共感や驚きによって人を動かす仕掛けのデザイン

サウンド×ヒューマン　大淵 康成 教授（出身企業：日立製作所）



●音声認識や音声アーカイブのための雑音処理技術の研究
●バイノーラル録音を利用した立体音響の研究
●人の感情と音声・音楽の相互作用に関する研究

ネットワークメディア　寺澤 卓也 教授



●Web上の新サービスの開発
●機械学習の応用による問題解決
●IoTを利用したシステムの開発

A.E.D. Lab　羽田 久一 教授（出身企業：キヤノン）



●自然現象を応用したメディアアート作品
●自然な人間の振る舞いによるインタフェース
●実世界指向による解りやすいコンピュータとの接点

ゲームサイエンス　渡辺 大地 教授



●リアルタイムグラフィックス技術
●ゲームAI
●自然現象・社会現象シミュレーション

コミュニケーション・アナリシス　榎本 美香 准教授



●言語コミュニケーションの分析
●マルチモーダルインタラクションの分析
●エンクテインメントコミュニケーション技術の分析

人工知能・地図地理コンテンツ・モバイル　藤澤 公也 准教授



●生成AIを用いた人間–AI協働型ソフトウェア設計・開発プロセスの研究
●深層学習・生成モデルを用いた知的情報処理および応用手法の研究
●デジタル地図データを用いた情報可視化と知識発見に関する研究

画像と音声の感性情報解析　永田 明徳 講師



●顔画像の解析
●画像認識
●感性情報解析

言語メディア　松吉　俊 講師



●自然言語処理技術による小説テキストの分析
●比喩、言葉遊び、キャラクター性を感じる言葉遣い、役割語の研究
●テーブルトークRPGへの自然言語処理技術の応用

メディアエルゴノミクス　盛川 浩志 講師（出身企業：リ・インベンション）



●次世代メディアデバイスの人間工学的評価
●クロスモーダル現象を利用したインタラクション
●ヒトの視覚特性に基づいた映像コンテンツの制作

メディア社会コース

デジタルマーケティング　進藤 美希 教授（出身企業：日本電信電話（NTT））



●インターネットマーケティング
●新しい広告
●イノベーション研究

広告クリエイティブ　藤崎　実 教授（出身企業：アジャイルメディア・ネットワーク）



●可能性を広げる新しい広告コミュニケーション
●SNSやソーシャルメディアを活用したマーケティング
●ブランドのファンに着目した「アンバサダープログラム」

スマートインストラクショナルメディア（Smart-IM）　松永 信介 教授



●大規模講義向け協調スクリプト適用CSCLシステムの構築
●モーションセンサーを活用した指文字学習支援システムの設計
●視線分析に基づく算数困難ろう児向け学習支援コンテンツの開発

相互行為とメディア　山崎 晶子 教授



●人と人との関わりにおいて、言葉と身体などの用い方を研究
●ミュージアムガイドロボットや、読み聞かせロボットの開発

ソーシャル・デザインプロジェクト　飯沼 瑞穂 准教授



●国際教育開発
●デジタル教材やICTを使った教育に関する研究
●持続可能な社会に向けた取り組みとメディア

南　裕子 就職担当特任講師



専門分野：キャリア発達、キャリアカウンセリング

AIIP Lab　北村 美穂 准教授（出身企業：NTT CSL／イデアラボ）



●身体情報（声・顔・動作）にもとづく対人印象形成の研究
●美的評価と感性情報処理の研究
●知覚や意思決定にみられる個人差の研究

ビジネス・プランニング　小林 克正 准教授



●ライブ・イベントに関する新しい事業の研究
●ネット・コンテンツを利用した新しいビジネスの研究
●ファッションや占いに関連したビジネスの研究

デジタルジャーナリズム　森川 美幸 准教授（出身企業：デジタル・フロンティア）



●デジタルメディアが社会に与える影響
●誤報と捏造報道
●メディアビジネス研究

聴覚障害支援メディア　吉岡 英樹 講師（出身企業：ミュージックエアポート）



●聴覚障害児の療育向けデジタルコンテンツ開発
●オンラインを活用した言語聴覚指導の研究
●聴覚障害者が音楽イベントに参加する際の課題及び実態の調査

陳　海茵 助教



専門分野：芸術社会学、文化表現活動の国際比較、アートワールドと市場、カルチュラル・スタディーズ

客員教授



松任谷 正隆

多くのアーティストの作品に携わる音楽プロデューサーで、コンサートや芝居の舞台演出も手がける。



中村 俊介

AR楽器KAGURAをはじめ、ライブ映像演出や参加型サイネージなど、UX分野の先駆者として世界各国のアワードを受賞。



糸数 弘樹

『塔の上のラプンツェル』『アナと雪の女王』をはじめ、3DCGクリエイターとしてハリウッドを拠点に活動。



夏目 公一朗

アニプレックス代表時代から現在まで多くのアニメ作品を製作。世界中にアニメ文化を拡げるIPプロデューサー。

工学部

EN GI NEER ING



機械工学科　電気電子工学科　応用化学科

地球規模で考える未来への課題は、君の手が切り拓く

21世紀の諸問題を解決するために、「環境」「産業」「人間」の調和を保ちながら持続可能な社会をつくる「実学」である「サステイナブル工学」が必要とされています。工学部は、工学的手法を基盤とする幅広い領域のサステイナブル工学を追究。コーオプ教育など独自のカリキュラムにより、専門性と実践力、国際性を養っていきます。

AIでこんなことができる

● 金属リサイクルにAIを活用

金属をリサイクルする際には、成分の組み合わせ（組成）を正確に知ることが重要です。そこで近年、金属を叩いた音をAIで解析し、迅速かつ高精度に材料を判別する技術に注目が集まっています。

● 社会を支えるインフラを守る

道路や電柱、水道管などの社会インフラを維持するため、センサーによる計測技術とAIによるデータ処理を組み合わせた、さまざまな点検システムの実用化が進められています。

特長

Feature 01 **新しい刺激を与え、成長を促す、首都圏理工系大学初の「コーオプ教育」**

工学部では、社会連携実習の核として、全学生が約2カ月間の就業経験を行う独自のコーオプ教育（Cooperative Education）を実施。自らの課題を発見し、学ぶ意欲や実践力が高まるとともに、高い就職率につながっています。

Feature 02 **未来に向けて持続可能な社会づくりを支える「サステイナブル工学」**

持続可能な社会のために、環境、産業、人間という視点で工業製品や技術を見つめ、製品のライフサイクル全体を設計・評価する「サステイナブル工学」を、体系的・実践的に学びます。

Find! 気になることから見てみよう！

サステイナブル工学 を学ぼう！ → P50,51へ！

ロボットコンテスト に挑戦するプロジェクトRに参加しよう！ → P51へ！

コーオプ教育 って何？ → P50へ！

学生フォーミュラ に挑戦するEVプロジェクトに参加しよう！ → P51へ！

機械 が好き、ものづくりがしたい！ → P52機械工学科へ！

社会を支える 電気・電子 を学びたい！ → P54電気電子工学科へ！

化学 で新規材料や新エネルギーを創出したい！ → P56応用化学科へ！

工学部の研究内容 を見てみたい！ → P58,59へ！

DATA

八王子キャンパス

工学部長：江頭 靖幸

男 1,106名（89.6%）　女 129名（10.4%）

2025年5月1日現在

各学科などの紹介動画

サステイナブル工学の詳細

工学部の特長

これからの時代に重要な学び

サステイナブル工学を学ぼう！

工学部には、大学と企業が連携して実施する教育プログラムや、
学生主体で行われる学部・学科横断型学生プロジェクトがあり、
さまざまな場面でサステイナブル工学を実践する機会、
そして専門性と実践力を修得する機会があります。

独自の

コーオプ教育

大学と企業が連携して実施する コーオプ教育

学生は大学に在籍しながら約２カ月間、受け入れ企業の社員として働くことで、
「社会人としての仕事」というものを理解することができます。

インターンシップと異なる
東京工科大学独自の革新的教育プログラム

学内の授業と学外での就労経験型学修を組み合わせた教育で、一定期間企業で働くことにより、大学の単位と報酬を手に入れるとともに、実践力や社会人基礎力などの修得も期待できる独自の教育プログラムです。

コーオプ教育	比較種別	インターンシップ
○	事前・事後教育	×
長期	就業期間	短期
大学・企業協同	主導	企業主体
○	報酬	×
○	単位取得	×

メリットはここ！

1
コーオプ教育は大学のカリキュラムの一部なので、卒業に必要な単位として認定されます。
インターンシップのように、授業以外の時間を確保する必要はありません。

▼ カリキュラム内で就業経験ができる

2
就業経験の前後には、専門家によるキャリアカウンセリングが実施されます。自身のキャリアビジョンを早期に描く良いきっかけになるでしょう。

▼ 早期にキャリアビジョンを描くきっかけに

3
就業経験で支払われる給与は自由に使用できます。学費や生活費に充てたり、見識を広げるための海外旅行や運転免許取得、自己研鑽、趣味に活用しましょう。

▼ 約2カ月間の就業で30万円前後の給与が得られる

4
普段なかなか触れ合うことのない企業の方との接点が生まれ、就職につながるケースもあります。コーオプ教育での就業経験は就職活動時の強力なアピールポイントにもなります。

▼ 社会人とのつながりができ、就職活動の強力な武器に

5
就職するまで見ることがない企業対企業（B to B）の事業活動や、社員のリアルな仕事を間近に見ることで、“仕事をする”とはどういうことなのかが理解でき、将来の分野・職種選択に役立ちます。

▼ 企業の事業活動を見ることで“仕事”とは何かが理解できる

学内の「キャリアコーオプセンター」を拠点に、一元的に運営をサポート

運営は、大学内に設置された「キャリアコーオプセンター」が一元的に行います。
大学と企業の意向を反映させた実習プログラムの開発や、学生と企業の適切なマッチングなど、さまざまな役割を担います。

コーオプ教育の詳細はこちら

運営体制



就業経験先の
提携企業数
660社
（2026年1月末日現在）

想像してみよう

工学を学んだ25年後のあなたは研究職として製品を開発しているでしょうか？
それともエンジニアになってサービスを設計しているでしょうか？ 21世紀の半ば、世界は資源エネルギー問題・温暖化問題を克服し、サステイナブルな社会を実現するための変革期を迎えます。未来のあなたが、開発・設計を行う際には、「サステイナブル工学」がさまざまな選択の指針を与えてくれるはずです。あなたもこの工学部で「サステイナブル工学」を学修し、今後来るサステイナブル社会へ備えましょう！

学部・学科横断型 学生プロジェクト

学部・学科の枠を越えて参加でき、授業時間外に活動を行うものづくりプロジェクト。
活動は学生主体で行われ、全学生が1年次から参加可能です。

学部・学科横断の 学生プロジェクト

ロボット開発に 興味あり

プロジェクトR 優勝をめざして活動中！

「NHK学生ロボコン」

「NHK学生ロボコン」や「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト（ABUロボコン）」での優勝をめざして活動するプロジェクト。学生が主体となって、ロボットに関する勉強から構想、設計、材料の加工、組み立てまでのすべてを行います。機械工学科の「ロボット開発を題材とする先進的教育プログラム」の一環としてスタートした活動で、学部・学科の枠を越えたメンバーが活発にプロジェクトを推進しています。

2025年度まで9回連続で出場中！





事前審査のうえ、全国の大学、高等専門学校などから約20チームのみが参加できる「NHK学生ロボコン」に、2025年まで9回連続で出場中。2025年度も悲願の優勝は叶いませんでしたが、奨励賞を受賞するなど健闘しました。

プロジェクトの活動状況は

自動車開発に 興味あり

EVプロジェクト 本戦出場&完走をめざして活動中！

「学生フォーミュラ日本大会」

CO_2を排出しない環境に優しいEVカー（電気自動車）を製作し、「学生フォーミュラ日本大会」への出場をめざすプロジェクト。未来モビリティ研究センターの活動の一環として新たな体制でスタートし、全学部の学生が力を合わせ、それぞれの技術を総合してEVカーを製作します。EVカーの研究・技術に興味のある学生はもちろん、ドライバー志望の学生や、マネージャー、広報、企業との交渉など、プロジェクトの運営で活躍したい学生も参加できます。

学生フォーミュラ日本大会2025に出場！





©2025 自動車技術会

2023年度、2024年度に引き続き、2025年度も「学生フォーミュラ日本大会」にエントリー。車体を会場へ持ち込み、各種車検を受けるなど次年度につながる貴重な経験を積むことができました。残念ながら走行審査まで進むことはできませんでしたが、この経験を次年度の大会に活かすべく、新体制を整えて引き続き熱烈活動中です。（➡P11も参照）



機械工学科

幅広い機械工学の知識と技術で、創造型ものづくりエンジニアを育成する

Features

- 3D設計、シミュレーションから始まる一連のものづくり教育を通じて、工学的な創造力を身につける
- 4力学を始めとした機械工学の学問を体系的に、かつシミュレーションを用いた演習により実践的に学修
- ロボット、人工知能（AI）や先進的な研究機器、ソフトウェアを活用でき、研究開発を推進できる先端人材を育成

4年間の学びの流れ

1年次　専門分野を基礎から学ぶ

線形代数や微分積分、プログラミングといった工学基礎科目と並行して、サステイナブル工学に関連する学部共通の専門科目や、コーオプ教育の入門科目もスタート。機械創造基礎のほか、機械工学系の専門科目も、1年次から用意されています。

主な科目例
- 線形代数　●プログラミング基礎
- 基礎力学
- 機械力学　●微分積分Ⅰ･Ⅱ
- 機械創造基礎
- 材料力学
- 機構学
- 社会連携演習Ⅰ　ほか

2年次　基本を身につけ、就業経験を積む

2年次前期までに、機械工学分野の基本である4力学（機械力学、材料力学、熱力学、流体力学）の基礎を身につける専門科目を履修します。後期には、全学生が学内外で約2カ月間のコーオプ実習に臨み、実社会の仕事を経験します。

主な科目例
- サステイナブル工学基礎･工学実習
- 流体力学　●熱力学
- 3D機械設計製図･3D機械設計製作
- 機械工学基礎実験
- コーオプ実習　ほか

3年次　体系的な学びを深め、応用力を身につける　研究室配属

専門科目として、システム構築や応用に関わる設計・加工学、ロボティクス、ICT応用などを体系的に学修。そのうえで、サステイナブル工学に基づく機械設計や生産工学を学び、3学科合同のサステイナブル工学プロジェクト演習に臨みます。

主な科目例
- サステイナブル工学プロジェクト演習
- プログラミング応用
- ロボット知能学
- **機械工学応用実験**
- サステイナブル機械設計　ほか

4年次　培った力を揺るぎないものにする

3年次までの学修の成果を活かし、それぞれが専門的なテーマを決めて卒業課題に取り組む期間です。卒業課題での分野ごとの専門的研究に加え、業界・企業研究や自己分析なども行い、就職活動や卒業後の大学院進学、就業に備えます。

主な科目例
- 卒業課題Ⅰ･Ⅱ　ほか

実践工学プロジェクト演習 Ⅰ～Ⅷ

※ 代表的な科目のみ掲載。
変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 実践工学プロジェクト演習 Ⅰ～Ⅷ

工学に関する各種のプロジェクトに挑戦し、学科、学年を越えたメンバーと協働で課題解決に取り組みます。学内自律移動ロボット開発プロジェクトなどがあります。

▶ 機械工学応用実験

強制振動、ロボット制御、ICT、人工知能（AI）の機械工学応用などをテーマに、少数のグループで実験を行います。専門基礎科目や専門科目で学んだ技術、理論を深く定着させ、卒業課題に備えます。

卒業後のフィールド

進路

大学院進学／自動車・鉄道・航空宇宙産業、人の生活や産業を支えるロボット製造業、ものづくりを促進する工作機械製造業や、新しい材料・エネルギー分野などの研究開発において、サステイナブル工学を応用して活躍できる技術者・研究者　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

- 技術士補　●機械設計技術者　●CAD利用技術者　●品質管理検定（QC検定）
- 危険物取扱者　●ボイラー技士　●消防設備士　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

材料グリーンプロセス研究室

金属材料の安心・安全やリサイクルに挑んでいます。材料工学、音響工学、AIを駆使して、サステイナブル社会に貢献する高精度な検査技術や資源循環の仕組みを追究しています。

研究室の詳細はこちら

Faculty Voices



古井 光明 教授

「音の力」で サステイナブルな社会を

この研究室の特徴は、「音」の力を安心・安全な社会を支える材料検査技術や、サステイナブル社会の充実・発展に不可欠なリサイクルシステムの確立に役立てている点です。キーワードは「材料」「音」「AI」、そして「セキュアマテリアル（安全性と持続性を重視した材料設計）」という視点も重視しています。取り組みの一例として、鉄道の安全性に関わる研究があります。鉄道車両では多くのボルトが足回りに使われていますが、その緩みや損傷の有無を、叩いたときの音の違いから判定するという技術の研究です。もうひとつの柱であるリサイクル関連の研究の代表例としては、アルミニウムの分別・再利用のための技術・しくみの開発があります。これまでアルミ缶は、廃棄後にさまざまな金属と混ざることで、多くは品質が下がる“ダウングレードリサイクル”になっていました。本研究では、複数の種類があるアルミニウム合金展伸材を叩いたときに出る音の微妙な違いを、音響工学とAI



アルミニウム、マグネシウム、鉄、銅など、さまざまな金属が研究対象

で正確に判断。厳密な分別を可能とし、アルミ缶を再び同品質のアルミ缶に戻す「水平リサイクル」や、より高品質な材料へと生まれ変わらせる「アップグレードリサイクル」につなげます。将来的には、地域の人々がスマートフォンのアプリでアルミニウム合金の打音を聞き分けて正しく判別し、きちんと分別してリサイクルするしくみを、自治体と連携してつくるのが私の夢です。材料と音響の知識と経験を発揮して、より良い未来社会の創造に貢献していく研究はやりがい十分です。

材料・音響・AIの協奏

社会の中で役立っています！

金属材料の特性や状態を「音響」で知る技術は、鉄道車両の点検のほか、橋や水門などの非破壊検査、工場設備の検査、造船・航空機製造などで幅広く利用されており、解析のためのAI導入も始まっています。

Students' Voices

研究では「無響室」という設備をフル活用！



佐藤 空和

機械工学科4年（取材時）
県立川口青陵高校出身（埼玉県）

就職先
小田急電鉄株式会社

鉄道の安全に貢献する やりがいを実感

鉄道車両の足回りに使われるボルトを、音とAIで診断する研究に取り組んでいます。これまでは検査員がハンマーで叩く「打音試験」で緩みや損傷の有無を見分けてきましたが、人の耳だけでわずかな違いを聞き分けるのが難しく、ヒューマンエラーの原因にもなっていました。そこで、スマートフォンで聞き取った音と材料の性質を学習させたAIを使って解析することで、ボルトの異常を瞬時に判定する技術の開発をめざしています。実験ではボルトを段階的に締め付け、そのときの周波数の変化を解析しましたが、実験のたびに得られる数値にばらつきが出て苦戦しました。評価方法をさまざまに工夫したり、先生や研究室のメンバーとディスカッションすることで壁を乗り越えることができ、自分で考え抜く力と、仲間と高め合う楽しさの両方を学べたと実感しています。研究の成果が、鉄道やインフラの安全向上に貢献できることも大きなモチベーションになっています。

これが成果！

ボルトを「デジタルトルクレンチ」という道具で締め付けるときのトルク（回転させる力）の違いが、ボルトをハンマーで叩いたときの音（周波数）の変化に表れることが確かめられました。熟練の検査員でも聞き分けにくい微妙な音の差をAIで判別するこの技術の精度を高めれば、将来、鉄道保守の現場で役立つかもしれません。



研究成果は大学コンソーシアム八王子学生発表会で発表



電気電子工学科

人と社会を支える電気・電子のテクノロジーを学ぶ

Features

- 電気・電子回路や電磁気学、プログラミングなどの学びを土台に、幅広い専門分野を学修
- 半導体、電子デバイス、通信、医療計測、センシング、モビリティ、パワー＆エネルギーなどを体系化
- AI・IoT・シミュレーション技術を武器に、創造型のマルチスタックエンジニアを養成

4年間の学びの流れ

1年次　専門分野を基礎から学ぶ

線形代数や微分積分、プログラミングといった工学基礎科目と並行して、コーオプ教育の入門科目もスタート。電気回路Ⅰ、電子回路Ⅰ、プログラミング基礎の各必修科目を、演習科目と併せて学び、電気工学・電子工学の実践力を養っていきます。

主な科目例

- 微分積分Ⅰ・Ⅱ　●線形代数
- 電気数学Ⅰ　●プログラミング基礎
- 工学基礎実験　●電気回路Ⅰ・Ⅱ
- 電子回路Ⅰ
- サステイナブル電気電子工学概論Ⅰ・Ⅱ
- 電子回路演習Ⅰ
- 社会連携概論
- 社会連携演習Ⅰ　ほか

2年次　基本を身につけ、就業経験を積む

2年次は、電気電子工学分野の基礎から応用への導入までを学べるようカリキュラムを構成。専門科目として、電気磁気学、電子デバイス、センサー工学、エネルギー工学などを学び、サステイナブル工学を学ぶうえでの十分な基礎を固めます。

主な科目例

- サステイナブル工学基礎
- 信号処理　●制御工学
- デジタル回路　●電気機器
- 電気電子工学実験Ⅰ・Ⅱ
- プログラミング応用
- 電子回路設計
- 社会連携演習Ⅱ
- 社会連携実習（海外）　ほか

3年次　体系的に学ぶことで、理解を深める　研究室配属

前期は、学科の全員がコーオプ実習を経験。後期には、機械学習、グリーンエネルギー、IoTシステム、パワーエレクトロニクスなどの専門科目を履修するほか、創成課題で研究技術などを学び、4年次の卒業課題に備えます。

主な科目例

- サステイナブル工学実習
- サステイナブル工学プロジェクト演習
- 信頼性工学　●知的財産権
- プロセス工学　●電力システム
- **パワーエレクトロニクス**　●創成課題
- コーオプ実習　●社会連携演習Ⅲ
- 地域連携課題　●社会連携実習（海外）
- 工学英語A・B　ほか

4年次　培った力を揺るぎないものにする

3年次までの学修の成果を活かして卒業課題に取り組むとともに、業界・企業研究、自己分析などを行い、就職活動や卒業後に備えます。電気関連の資格取得をサポートするため、電気法規関連の2つの科目を選択科目として用意しています。

主な科目例

- 電気法規と電気施設管理
- 電波法規
- 卒業課題Ⅰ・Ⅱ　ほか

実践工学プロジェクト演習 Ⅰ〜Ⅷ

※ 代表的な科目のみ掲載。
変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 実践工学プロジェクト演習 Ⅰ〜Ⅷ

工学に関する各種のプロジェクトに挑戦し、学科、学年を越えたメンバーと協働で課題解決に取り組みます。

▶ パワーエレクトロニクス

EVカーなどのモビリティ、エネルギーハーベスティング、各種の機器やシステムのエネルギーマネジメントに不可欠な、半導体を使った電力変換を学びます。

卒業後のフィールド

進路

大学院進学／電子部品・電子電気機器・医療機器・自動車・航空宇宙関連などの製造業、電力・エネルギー、建設・プラント、運輸、通信・ネットワーク分野の研究開発において、サステイナブル工学を応用して活躍できる技術者・研究者　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

- 電気主任技術者　●電気通信主任技術者　●電気工事士　●無線従事者
- 情報処理技術者試験　●危険物取扱者　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

センシング技術活用研究室

安心して暮らせるサステイナブルな社会を実現していくために、さまざまな社会インフラの管理に役立つ計測（センシング）技術とAIを活用したシステムの構築を進めています。

研究室の詳細はこちら

Faculty Voices



天野 直紀 教授

Students' Voices

研究は試行錯誤するからこそ多くの学びを得られます！

厚川 朋哉

電気電子工学科4年（取材時）
県立桐生高校出身（群馬県）



就職先
東京電力ホールディングス株式会社

インフラの老朽化問題を先端技術で解決する

センシング技術活用研究室では、「社会インフラを安全に守る」ことをテーマに、センサーとAIを組み込んだIoTを使った点検・モニタリング技術の研究を進めています。現代社会を支えている水道管や電柱、照明柱などには老朽化が進んでいるものが多数あり、その状態を正確に把握することは世界的にも重要な課題になっています。本研究室では、各種センサーによる計測とAI・機械学習を組み合わせ、インフラの劣化や異常を早期・効率的に見つける仕組みづくりに挑戦しています。研究の特徴のひとつは、学外の企業や組織と連携し、“現場で実物を使った研究”ができることです。メーカーや自治体、他大学と協力し、実際の照明柱や電柱に装置を取り付けてデータを取得しています。照明柱の根元にできた1ミリほどの極小の亀裂を、音のわずかな変化とAI解析によって見つけた研究成果もあり、現場と直結した工学技術の醍醐味を味わうことができるはずです。社会インフラは数が膨大で、その管理システムには「低コスト」「壊れない」「誰でも扱いやすい」ことが求められます。そのため本研究室では、音や振動など簡易なセンサーで異常を推定する技術の開発を重視。専門家でなくても扱え、社会に広く役立つ仕組みづくりをめざしています。現場での実験を通して社会課題のリアルを知り、その解決に挑む。そんな手応えのある研究に取り組めるのが、この研究室の大きな魅力です。



実在する照明柱にセンサーを取り付け、データ収集を行う

センサー×AI 社会の中で役立っています！

センサーとAIによりインフラを管理する技術は、照明柱を中心に導入が近づいています。最近は、水道分野などにも活用事例が広がり、保守・点検の効率化・省人化・安全性向上に役立っています。

水道管の劣化をいち早く見つけたい

私はこの研究室で、センサーとAIを活用して上水道の漏水の原因となる“水道管の劣化”を推定する技術を研究しています。水道管の外側に「圧電センサー」という振動を検知する装置を取り付け、水が流れるときの振動データの強弱をAIで分析することで、水道管内部の傷や腐食の有無を判別します。研究では、適切な部品の検討や回路の仕様の決定、使用する電源の選択まで、多くのことを自分で行う必要があります。理想的な実験結果は簡単には得られませんが、自ら原因を考察して改良を重ね、少しずつ前進していくことも研究の醍醐味だと感じています。こうした取り組みを通じて、狙ったデータを取るためにより良い実験方法を設計する知識とスキルが養われました。卒業後に進む電力会社では、研究で身につけた「自分で考え、改善し、実行する力」を武器に、暮らしと社会を支える電力インフラの安全な稼働に携わりたいと考えています。

これが成果！

水道管の劣化をセンサーで調べる技術はほかにもありますが、それらは漏水が起きた後に検知するものがほとんどです。私が取り組む技術の独自性は、漏水発生前に劣化を推定する点にあり、実際に漏水につながる水道管内の微小な傷を判定できることを実験で確かめました。検知精度を高めることで、実用化の可能性も広がると考えています。



実験用水道管を確認している様子



応用化学科

天然物質と新しい材料で、未来への化学を拓く

Features

- 化学とバイオテクノロジーを融合した「サステイナブル化学」を学ぶ
- 地球に低負荷の新材料開発や、新エネルギー創出のための先進的な合成プロセスを開拓
- 未来を支える新しい化学を身につけ、科学技術を先導する人材を育成

4年間の学びの流れ

1年次　専門分野を基礎から学ぶ

前期は、化学基礎、化学基礎演習、無機化学、工学基礎実験Ⅰを履修し、化学の基礎知識と実験の基礎技術を修得。後期は、応用化学の基幹となる有機化学、物理化学、分析化学、無機工業化学などを学び、物質の構造と反応及びその理論を十分に理解します。

主な科目例

- 化学基礎　●無機化学
- 有機化学1･2　●物理化学1･2
- 分析化学
- **サステイナブル化学概論**
- 工学基礎実験Ⅰ･Ⅱ
- 社会連携演習Ⅰ　ほか

2年次　化学の基礎知識と実験技術を身につける

有機化学3･4、物理化学3･4では1年次に学んだ内容をさらに深く学修します。さらに、有機工業化学、高分子化学、触媒化学、電気化学など応用化学の幅広い領域を網羅する多様な専門科目を学びます。また、より高度な実験技術を身につける応用化学実験もスタートします。

主な科目例

- 有機化学3~6　●物理化学3･4
- 高分子化学　●触媒化学
- 電気化学
- サステイナブル応用化学
- 応用化学実験Ⅰ･Ⅱ
- 社会連携演習Ⅱ　ほか

3年次　就業経験を積みつつ、専門力を高める　研究室配属

前期は、約2カ月間のコーオプ実習や地域連携課題で社会との関わりを経験して広い視野を身につけるとともに、応用化学実験Ⅲでは実践力となる高度な機器分析技術を習得します。後期は、有機合成化学、生物化学、光化学、物性化学など、さらに化学の幅広い領域を学びつつ、創成課題に取り組み、4年次からの本格的な研究に必要な知識・技術を磨きます。

主な科目例

- コーオプ実習
- 地域連携課題　●有機合成化学
- 生物化学　●光化学　●物性化学
- サステイナブルエネルギー化学
- 応用化学実験Ⅲ
- 社会連携演習Ⅲ　ほか

4年次　培った力を揺るぎないものにする

3年次までの学修の成果を活かし、それぞれが専門的なテーマを決めて卒業課題に取り組みます。卒業課題での分野ごとの専門的研究に加え、業界・企業研究や自己分析なども行い、就職活動や卒業後の大学院進学、就業に備えます。

主な科目例

- 卒業課題Ⅰ･Ⅱ　ほか

実践工学プロジェクト演習 Ⅰ~Ⅷ

※ 代表的な科目のみ掲載。
変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 実践工学プロジェクト演習 Ⅰ~Ⅷ

工学に関する各種のプロジェクトに挑戦し、学科、学年を越えたメンバーと協働で課題解決に取り組みます。

▶ サステイナブル化学概論

応用化学科の各教員が専門分野に関連したテーマを題材とし、オムニバス形式で講義を行います。有機化学、無機化学、物理化学をはじめとする多角的な視点から、持続可能な社会の実現に貢献するサステイナブル化学について学びます。

卒業後のフィールド

進路

大学院進学／高分子・金属・半導体などの化学工業、食品・化粧品・医薬品などのバイオ産業、自動車産業、電気・電子製品などの製造業の研究開発において、サステイナブル工学を応用して活躍できる技術者・研究者　ほか

※就職実績はP122をご覧ください。

関連する資格

- 危険物取扱者　●毒物劇物取扱責任者　●公害防止管理者　●放射線取扱主任者
- 高圧ガス製造保安責任者　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

触媒化学研究室

さまざまな化学反応を進める手助けをする「触媒」を、自由な発想で研究。資源問題や環境問題の解決につながる触媒や、生活の質を向上させる触媒の開発に取り組んでいます。

研究室の詳細はこちら

Faculty Voices



原 賢二 教授

“魔法の粉”で未来の化学を切り拓こう

私たちの生活を支える多くの化学反応には「触媒」が欠かせません。少ないエネルギーで効率良く物質を変化させ、環境への負荷も抑える――そんな触媒は“魔法の粉”に例えられるかもしれません。本研究室では、触媒を新しい発想で創り出し、地球環境や資源・エネルギー、人々の健康など幅広い分野の課題解決につなげる研究を進めています。世界的なテーマとなっているのが、二酸化炭素を減らしたり再び資源として利用するための触媒開発です。反応そのものは知られていますが、使う物質の組み合わせやナノサイズの触媒をどこに配置するか、反応装置をどう設計するかなど、改良の余地はたくさんあります。高価な材料に頼らず、安価で長寿命な触媒を実現することも重要な研究課題です。もうひとつの柱が、酵素を模倣した触媒の開発です。自然界の酵素は複雑な立体構造の中で驚くほど高効率に反応を進めます。その仕組みをヒントに、土台の上に分子パーツをブロックのように組み上げ、新しい触媒を設計していきます。実用に発展させれば、医薬品や香料の合成への利用が期待できます。この研究室が大切にしているのは、学生が自分で課題を見つけ、解決策を考える姿勢です。研究を行う中で簡単に結果が出ることは少ないのですが、だからこそ狙った反応が得られた瞬間の喜びは格別です。触媒研究の分野は、製薬、食品、化学メーカー、エネルギー、自動車など幅広い分野をめざせることも特徴です。



材料表面の化学結合状態の情報を得るX線光電子分光装置

サステイナブル化学

社会の中で役立っています！

サステイナブル社会の実現に向けて、多様な化学技術の開発・実用化が進められています。二酸化炭素を資源に変える触媒技術や、未利用資源からの化学品合成、省エネ・低環境負荷な触媒反応の開発などが代表例です。

Students' Voices

授業で触媒の魅力を知り、研究でその可能性に挑んだ

井手ノ上 和真

大学院 工学研究科
サステイナブル工学専攻 修士課程2年（取材時）
県立藤沢西高校出身（神奈川県）



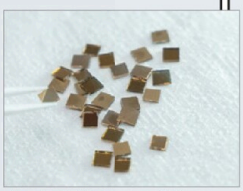
就職先
沢井製薬株式会社

ブロック玩具を積むように画期的な触媒をデザイン

原先生の授業で、冷蔵庫内の食品の鮮度を保つ“プラチナ触媒”の話を聞き、生活や社会に役立つ触媒という物質に魅力を感じてこの研究室を選びました。私が取り組んだのは、金の表面に“分子のパーツ”を並べて新しい触媒をつくる研究です。ブロック玩具を積むように形状の異なるパーツを組み合わせて、医薬品や香料の原料づくりに使えるオリジナルの触媒をデザインしました。この研究の狙いのひとつは、反応後に分離・回収がしやすく再利用もできる、使い勝手の良い触媒を生み出すことです。思い通りに反応が進まず試行錯誤が続きましたが、その中で課題を自分で見つけ、解決方法を組み立てる力が身につきました。コツコツ積み上げる努力が成果に結びつく瞬間は大きな喜びで、研究のやりがいを強く感じています。ここで学んだ粘り強さと課題発見力を、卒業後に進む製薬会社での仕事にも活かしたいと考えています。

これが成果！

自然界の酵素が持つ3次元構造を手本にして、3種類の触媒を設計しました。そのうち2種類の触媒の作製に成功し、構造解析で狙い通りの構造を確認するとともに、実際の反応に用いて目的とする化合物が得られることも実証できました。多くの条件検討と失敗を乗り越えて結果を出せた経験は、大きな自信と成長につながったと思います。



金の表面に分子のパーツを並べて作製した触媒

研究が楽しい
from the lab

バイオ計測工学研究室

電気電子工学・生体計測工学・バイオデバイスの技術をベースに、センサー・デバイスの研究を推進。ヘルスケア・医療診断分野への応用をめざした先端エレクトロニクス技術を追究しています。



がん診断を簡単・低侵襲にする小型センサーの開発に挑む

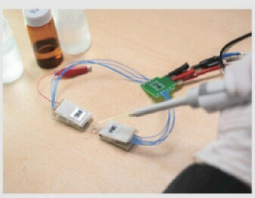
鈴木 和哉

大学院 工学研究科
サステイナブル工学専攻 修士課程2年（取材時）
県立松山高校出身（埼玉県）

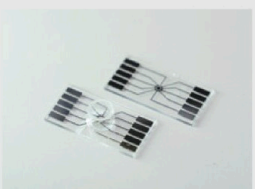
microRNAの定量検出をめざした小型センサーの開発

血液や唾液などに含まれる「microRNA※」を簡単に検出できるセンサー・デバイスの開発に取り組んでいます。microRNAはその増減を調べることで乳がんをはじめとする病気の兆候を知ることができます。従来の検出方法は専門的知識が必要で、手軽な診断には向かない難点がありました。そこで私は、RNAをコピー（核酸増幅）する過程で生じる水素イオンに注目し、pHの変化からmicroRNAの濃度を定量する新しい原理のセンサーを研究しています。材料には高感度なイリジウムオキサイドを用い、電極をひとつのチップに集積化することで、小型で扱いやすいデバイスを実現しました。診断には組織を用いず体液を使うため、患者さんの身体への負担（侵襲）が小さいことも利点です。研究成果はこれまでに国内外の学会で発表しました。誰も知らない現象を実験で確かめ、ひとつずつ仕組みを明らかにしていくことが研究の魅力です。思い通りに進まないときもありますが、原因を探りながら少しずつ前に進む姿勢こそが、研究を成功に導くのだと信じています。

※遺伝子の働きを調節する非常に短いRNA分子で、病気の発症や進行にも関与する。



自身が作製した小型センサーを使用して、microRNAの検出に取り組む



複数の電極をワンチップ上に一体化した「参照電極一体型pHセンサー」

My future plans

博士課程に進んでこれまでの研究をさらに発展させ、工学技術で医療分野に貢献していきたい。

進学先
東京工科大学大学院 工学研究科
サステイナブル工学専攻
博士後期課程



研究室／テーマ／教員一覧

※2026年4月の教員情報です

研究室一覧の詳細はこちら

客員准教授



早川 竜馬

有機半導体や二次元材料を利用したフレキシブル多値演算素子など次世代電子デバイスの開発に従事。



湯沢 友之

企業や官公庁で多様な科学コミュニケーション事業を手掛けるプロデューサー兼演者。数々の賞を受賞。日本科学振興協会理事。

機械工学科

光・エネルギー研究室　大久保 友雅 教授

- 太陽光をレーザへと変換する太陽光励起レーザの開発
- 次世代航空機エンジン材料のためのレーザ加熱手法の開発
- レーザをものづくりに活用するレーザ加工の数値計算



宇宙構造材料研究室　佐藤 英一 教授（出身：JAXA）

- 高強度Ti合金のDwell疲労における損傷低減
- TiNi系形状記憶合金の相変態における電子の再配列
- 宇宙用高圧容器関連規格の検討



先進メカトロニクス研究室　佘　錦華 教授

- 等価入力外乱手法の理論構築とその応用
- 2次元繰返し制御手法によるメカトロニクスシステムの高精度運動制御
- 左右独立の下肢リハビリ機器の開発



感性応用開発研究室　髙橋 秀智 教授／学科長

- ロボット・各種機械の遠隔操縦システムに関する研究
- 生体インピーダンスによる手指の状態推定システム
- 配信ライブにおけるライブ感の向上に関する研究



陸海空移動ロボティクス研究室　福島 E. 文彦 教授

- ロボットシステムによる地雷探知及び地雷・金属片判別技術の研究開発
- 複合センサを搭載した推進・自走可能なワーム型多関節ロボットの研究開発
- 二重反転プロペラ推進省自由度水中ロボットの研究開発



材料グリーンプロセス研究室　古井 光明 教授

- 強度と伸びが両立する金属材料の加工プロセスの開発
- 金属材料の打音の心地良さを製品開発につなげる研究
- 金属材料の打音をリサイクルに応用する研究



ヒューマンセントリックモビリティ研究室　禹 珍碩 准教授

- モビリティに関する研究開発
- 人間中心システムの研究開発
- ヒューマンシステムインタラクションに関する研究開発



生物流体研究室　野田 龍介 准教授

- 生物羽ばたき飛翔の数値流体解析
- 生物規範設計に基づく流体機械の高性能化
- ドローン用プロペラの低騒音化



ヒューマンメカトロニクス研究室　上野 祐樹 講師

- 生活／作業支援メカトロニクス
- 移動／搬送支援ロボットの機構と制御
- 生体信号計測・感覚運動計測による人の特性の解析とメカトロニクスへの応用



ロボットモーション研究室　関口 暁宣 講師

- 人の運動の計測と解析に関する研究
- ヒューマノイドロボットの動作生成に関する研究
- 人の生活を支援するメカトロニクスシステムに関する研究



加藤 太朗 助教（出身企業：日揮プラントイノベーション）

専門分野：音響学、メカトロニクス、電磁気工学



電気電子工学科

センシング技術活用研究室　天野 直紀 教授

- センサーとAI/機械学習によるIoTシステムに関する研究
- 社会インフラにおける点検・モニタリングにおけるIoT活用
- 生活空間における人の振る舞いに関するIoBシステムに関する研究



バイオ計測工学研究室　荒川 貴博 教授

- 非侵襲（ヒトにやさしい）生体計測技術の開発
- ヘルスケアIoTを指向したセンシングデバイス技術の開発
- マイクロ流体デバイスとモバイル計測システムの研究



複合ナノデバイス研究室　木村 康男 教授

- 酸化チタンナノチューブを用いたマイクロガスセンサーの開発
- ナノバブル発生フィルタの開発及びナノバブルの洗浄剤などへの応用の検討
- 赤外線を用いた表面化学状態の高感度計測技術とその応用



生体情報工学研究室　黒川 弘章 教授

- ニューラルネットワークを用いたモデル推定
- 並列シミュレーションプログラムの開発
- メタヒューリスティクスによる最適化問題の解法



ハイパワーシステム研究室　新海　健 教授／学科長（出身企業：東芝）

- 次世代風力発電システムの開発
- 液体中熱プラズマを用いた高電圧直流スイッチの開発
- 過酷環境におけるワイヤレス給電の開発



エネルギー応用研究室　関根 謙一郎 教授（出身企業：三菱自動車工業）

- 電気自動車・モーターを高効率に安定動作させるハード及び制御系の研究
- エネルギーを再利用する排熱発電の研究
- 大気圧プラズマを使った生体育成の推進・殺菌の研究



先端電子デバイス研究室　中払　周 教授（出身企業：東芝）

- 次世代トランジスタの要素技術開発
- 二次元層状物質を用いた先端電子デバイスの開発
- 二次元電子系の電子物性の解明



ネットワークコラボレーション研究室　坪川　宏 准教授

- AI・ネットワークを活用した共生社会のための支援システムの研究
- スマートフォンを利用した災害時情報共有システムの開発
- ユーザ感性・嗜好に合わせるIoT・AIシステムの開発



量子材料学研究室　東条　樹 講師

- 量子力学に基づく次世代材料の理論研究
- 小型・省エネルギーなスピントロニクスデバイスの設計
- 量子コンピューティングを応用した理論計算手法の開発



李 寧 助教

専門分野：電子回路、高周波回路



応用化学科

セラミック材料工学研究室　赤津　隆 教授

- 高性能繊維強化セラミック複合材料（割れないセラミックス）の開発
- セラミックスの力学特性評価（強さ、硬さ、変形しにくさなど）に関する研究
- セラミックスのプロセシング（面白いセラミックスのつくり方）に関する研究



化学工学研究室　江頭 靖幸 教授／学部長

- 触媒反応を利用した液体燃料の製造プロセスの開発
- 乾燥地や塩害地など耕作に向かない土地を利用した植林
- 伝熱を利用した樹液流センサーの省エネルギー化



生物化学研究室　須磨岡　淳 教授

- 化学ツールを用いたゲノムDNAの分析法の開発
- 化学ツールを用いたタンパク質の分析法の開発
- 分子認識能を持つ高分子材料（人工抗体）の開発



金属表面化学研究室　西尾 和之 教授／学科長（出身企業：コニカ）

- 金属の陽極酸化によるナノスケールの多孔質皮膜の作製と応用
- 陽極酸化により得られる金酸化物皮膜の還元特性と応用
- 壁や天井を自在に動き回るための手足の表面の構築と濡れ制御



触媒化学研究室　原　賢二 教授

- 天然の酵素の構造と機能を模倣した触媒の開発
- 石油資源に依存しない化成品合成・エネルギー変換
- ナノスケールの化学構造を活用した医療・健康への貢献



光機能性錯体化学研究室　森本　樹 教授

- 人工光合成に資する光触媒の開発
- AIを活用する光機能性物質の設計と合成
- 強発光性有機化合物・金属錯体の創製



有機合成化学研究室　上野　聡 准教授

- 複雑な有機化合物のワンポット合成法の開発
- 有機化合物の効率的な酸化反応の開発
- 炭素－水素結合の触媒的変換反応の開発



バイオマス・超分子材料学研究室　入谷 康平 講師

- 脱石油・脱炭素を実現するバイオマス材料の開発
- 微生物が生産する有機物の高付加価値化
- 分子凝集体の構造制御に基づく高機能材料の創出



分子触媒化学研究室　橋本　徹 講師

- 高活性均一系遷移金属触媒の開発
- 天然資源の利用を可能にする還元反応の開発
- 不飽和化合物の官能基化反応の開発



コーオプ教育センター　田窪 祐子 教授／コーオプ教育センター長



藤田 隆史 助教

専門分野：ナノ化学、界面化学、分析化学



長田 丈和 就職担当特任講師

専門分野：機械工学、経営学、キャリア開発



応用生物学部



生命医薬コース　地球環境コース　食品コース　化粧品コース

生物・生命の機能を未来社会に活かすための、最新の生命科学と最先端のバイオテクノロジーを追究

生物や生命が持つさまざまな機能に関する生命科学と、その可能性を探るバイオテクノロジーは今、最も大きな注目を集める分野のひとつになっています。応用生物学部は、ますます重要性が高まっている生命科学&バイオテクノロジーに関する基礎と専門的な知識・技術を修得するとともに、それらを人や社会、環境、産業のために幅広く応用できる人材を育成します。

BIOSCIENCE AND BIOTECHNOLOGY × AI

AIでこんなことができる

● AIでがん幹細胞を効率的に見分ける！

大量のがん幹細胞の画像をAIに深層学習させることで、高精度かつ効率的にがん幹細胞を見分けられるようになってきています。近年、生成AIを活用したさらなる精度向上の研究が進んでいます。

● AIで化粧品開発をDX化！

従来は試作、調整に膨大なコスト（時間、労力）がかかっていた化粧品の処方設計も、期待する効用に最適な処方をAIが瞬時に提案してくれるようになり、開発コストの大幅な削減につながるでしょう。

特長

Feature 01

各自の興味や適性に合わせて選べる4コース制

生命科学とバイオテクノロジーに関する基礎を幅広く学んだうえで、各自の興味や適性に合わせて選べる「生命医薬」「地球環境」「食品」「化粧品」の4コースを設置。学びを進めていく過程で、追究していく分野を決定することができます。

Feature 02

産業界とアカデミックな領域のそれぞれで実績ある教員による教育

本学部では、各業界での実務経験豊富な教員と、学術に精通した教員をバランス良く配置。各専攻分野での学会で注目される技術だけでなく、実社会での最新技術も学ぶことが可能です。

Feature 03

資格対策の特別講座を実施

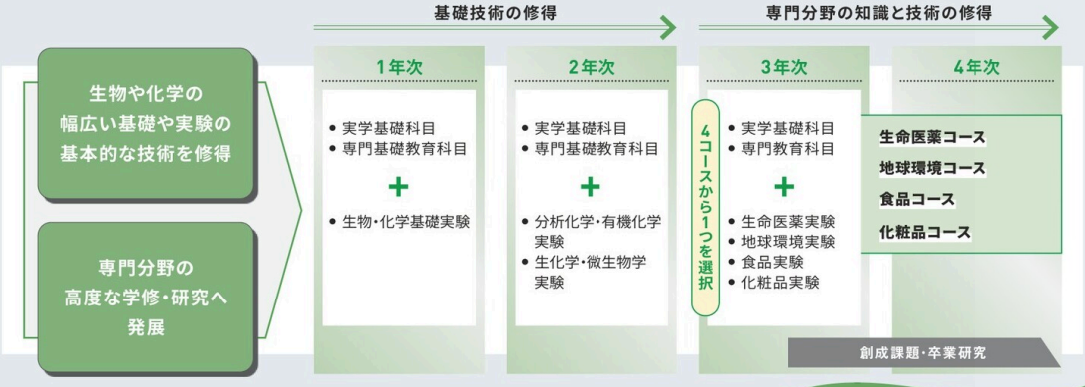
「中級バイオ技術者」「色彩検定」の対策講座を通常のカリキュラム内で開講し、取得をサポート。また食品コースで必要な科目を修得して卒業すると、国家資格「食品衛生管理者」および「食品衛生監視員」を取得できます。さらにカリキュラム外でも、これからのAI／DX時代に活用できる統計検定（3・2級、データサイエンス基礎）、バイオインフォマティクス技術者認定試験、LC分析士初段、LC／MS分析士初段の取得もサポートします。

Feature 04

研究を支える最先端の施設・設備群

研究活動に必須の設備を完備。特にバイオナノテクセンターには、各種分析機器やナノレベルの観察・加工装置をはじめとする、業界最高水準の機器が多数設置されています。

学修構造



DATA

八王子キャンパス

応用生物学部長：矢野 和義

男 455名（40.9%）　女 657名（59.1%）

2025年5月1日現在

各コースなどの紹介動画はこちら

研究紹介、卒業生紹介などを更新中！

学部のSDGsへの取り組みはこちら

学びの構造

講義科目と実験科目を体系的に学ぶカリキュラム

専門性を追究する

実学基礎科目

実学基礎科目は、幅広い教養を養うことを目的とし、人文・社会科目群、情報・数理・自然科学科目群、外国語科目群などで構成されています。

専門基礎教育科目

専門基礎教育科目は、3年次以降の専門教育科目の円滑な履修につながるよう、実学に基づいて専門力の基礎を形づくることを主な目的としています。

専門教育科目

各コースの学びを特徴づけるのが、主に3年次で履修する専門教育科目です。整った設備を利用した実験科目が、豊富に用意されています。

着実に養われる学ぶ力と研究する力

4年間の学びの流れ

各分野の基礎を幅広く学ぶ

1年次

実学基礎科目で、社会人として活躍するための教養や就業力を身につけながら、講義付き基礎実験、数理科目群、生物科目群、化学科目群で構成される専門基礎教育科目を中心に、応用生物学部の専門的教育の土台となる、幅広い知識・技術を修得します。

主な科目例

- English RWⅠ・Ⅱ
- English SLⅠ・Ⅱ
- 情報リテラシー
- データサイエンス入門　ほか
- 生命科学Ⅰ・Ⅱ　●分子生物学Ⅰ
- 微生物学　●生態学　ほか
- 応用生物学概論　ほか
- 海外語学研修

基礎を固めながら、実験スキルを磨く

2年次

1年次に引き続き、実学基礎科目や専門基礎教育科目を履修しながら、3年次からのコース別学修の土台となる知識と技術の修得をめざす期間。実験を通してより高度な実験スキルを磨きながら、興味、適性、進みたい分野などに応じて2年次修了時までに自分が進むコースを選択します。

主な科目例

- 法と社会　●現代社会論
- メディアコミュニケーション論
- Integrated EnglishⅠ・Ⅱ　ほか
- 細胞生物学　●分子生物学Ⅱ
- 生物化学Ⅰ・Ⅱ　●有機化学Ⅰ・Ⅱ
- 免疫学　●統計解析　ほか
- 生命工学　●病態生理学
- 生化学・微生物学実験　●栄養化学
- 食品化学　●化粧品科学
- 化粧品界面化学　ほか

コースごとの専門を深める

3年次　研究室配属

4コースに分かれて学びます

3年次より4コースに分かれ、コースごとにより専門的に学ぶ講義と実験に取り組みます。各専門分野に関わる科学や製造技術、応用などを総合的に学べる専門科目が豊富に用意されているほか、将来を見据えて業界について理解する講義なども開講。後期には所属研究室を決定します。

主な科目例

- Integrated EnglishⅢ・Ⅳ　ほか
- 実践応用生物特別講義Ⅰ・Ⅱ　ほか

【生命医薬コース】
- 創薬学Ⅰ・Ⅱ　●再生医学　●生命医薬実験Ⅰ・Ⅱ　ほか

【地球環境コース】
- 水環境工学　●環境バイオプロセス　●地球環境実験Ⅰ・Ⅱ　ほか

【食品コース】
- 食品製造学　●食品衛生学　●食品実験Ⅰ・Ⅱ　ほか

【化粧品コース】
- 化粧品原料化学　●毛髪科学　●化粧品実験Ⅰ・Ⅱ　ほか

生命医薬コース　地球環境コース　食品コース　化粧品コース

積み上げた知識と技術力の集大成へ

4年次

各自が興味や志望に応じた研究室に所属し、卒業課題に取り組みます。関連分野をめざして就職活動を進めるほか、自身の課題をさらに追究したい学生は、大学院に進学して研究の発展をめざすこともできます。

主な科目例

- 卒業課題Ⅰ・Ⅱ　ほか

基礎技術の修得

専門分野の知識と技術の修得

社会連携実習

大学院進学／就職

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

新規科目

▶ バイオエントリープロジェクト

2年次前期に開講するバイオエントリープロジェクトは、4コース（生命医薬、地球環境、食品、化粧品）の実践的な内容を、コース配属前に先取りして体験してもらう実習型講義です。食品、化粧品などの製造実習やフィールドワーク、さらには産業界の現場を知ることができる工場見学、最新機器を使った分析などを体験し、それぞれのコースの魅力に触れます。

▶ バイオ研究入門

2年次後期に開講するこの講義では、応用生物学部にある研究室の中から興味のある研究室を選び、教員や4年生、そして大学院生とともに、研究室で行われている最先端の研究を体験します。学会などに参加するチャンスも用意されており、研究の楽しさを体感し、研究に対する興味とモチベーションをはぐくむことを狙いとしています。

学べる内容の
詳細はこちら

基礎知識と確かな実験スキルを修得するために、講義科目と実験科目をバランス良く関連づけて組み立てた体系的なカリキュラムを用意。バイオテクノロジーを幅広い視野で学んだうえで、興味や志望に応じたコースに分かれて専門性を追究していくことが可能です。

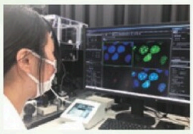
最先端の
教育・
研究施設

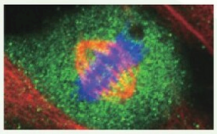
ハイレベルな研究活動を支える

バイオナノテクセンター

21世紀社会における最重要基盤技術のひとつであるバイオテクノロジーの研究拠点として、片柳研究所に設置。
センター内には、各種分析機器やナノレベルの観察・加工装置をはじめとする
世界最高水準の新鋭機器が数多く設置されています。







バイオナノテクセンター内装置
(一部抜粋)

電界放出形透過電子顕微鏡(FF-TEM)／エネルギー分散型X線分析付走査電子／顕微鏡(EDS-SEM)／微細加工・電子線描画装置／超精密ナノ加工機(ロボナノUiA)／エキシマレーザー微細加工装置／フェムト秒レーザー超微細加工システム／カーボンナノチューブ製造装置／薄膜作製装置(スパッター)／マスクアライナー／スピンコーター／電子顕微鏡用蒸着装置／アルゴンイオン試料作製装置／光ピンセットレーザーマニュピレーションシステム／フーリエ変換赤外分光分析装置(FTIR)／X線回折-示差走査熱量同時測定装置／光電子分光装置(XPS)／FT核磁気共鳴分光装置(400MHzFT-NMR)／電気化学表面プラズモン共鳴装置(SPR)／原子間力顕微鏡(AFM)／自動比表面・細孔分布装置／高性能液体クロマトグラフ・飛行時間形質量分析計／多検体精製用液体クロマトグラフィー／高速液体クロマトグラフィー・低分子質量分析計／グラジェント分取分析クロマトグラフィー／生体分子精製用液体クロマトグラフィー／紫外可視分光光度計／超音波遺伝子導入装置／細胞融合装置／セルソーター／共焦点レーザースキャン顕微鏡／リアルタイムPCR／DNAシーケンサー／マイクロプレートリーダー／スポッター／ペプチドシンセサイザー／固相合成装置(ミニブロック)／エバポレーター／卓上超遠心機／超遠心濃縮機／大型超遠心機　ほか

Student Awards! 最先端の教育・研究環境が多数の成果を生んでいます!

第78回日本酸化ストレス学会
八木記念学術奨励賞
「Resveratrol is converted to the ring portion of coenzyme Q10 and raises intracellular coenzyme Q10 levels in HepG2 cell.」
大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
博士課程1年(受賞時)
奥泉 伶菜(細胞酸化ストレス研究室)



11th Biennial Meeting of Society for Free Radical Research-Australasia and Japan (SFRR A+J)
Young Investigator Award
「Establishment of model cells with decreased CoQ10 levels in the respiratory chain supercomplex by inhibition of CoQ10 biosynthesis in HepG2 cells.」
大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
修士課程1年(受賞時)
立石 宗平(細胞酸化ストレス研究室)



第97回日本細菌学会総会
ポスター優秀発表賞
「大腸菌外膜小胞に包まれた抗原タンパク質による抗体産生誘導」
大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
修士課程1年(受賞時)
富永 龍之介(応用微生物学研究室)



日本放射線影響学会第67回大会
優秀発表賞
「タンパク質アルギニンメチル化酵素によるDNA二本鎖切断修復制御」
大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
修士課程1年(受賞時)
阿部 友理菜(分子生物学研究室)



第62回日本油化学会年会
学生奨励賞
「食用油脂中に含まれるアセチル基含有トリアシルグリセロール」
大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻
修士課程1年(受賞時)
天野 実月(食品分析化学研究室)



食品コースで取得できる資格 **[食品衛生管理者]および[食品衛生監視員]**

本学部は、国家資格**「食品衛生管理者」**および**「食品衛生監視員」**の養成施設として登録されています。
食品コースで必要な科目を修得して卒業した学生は、国家資格である**「食品衛生管理者」**および**「食品衛生監視員」**を取得することができます。

食品衛生管理者
食品の製造または加工を衛生的に管理するため、施設ごとに設置が必要な任用資格です。

食品衛生監視員
食品衛生法に規定された職務および食品衛生に関する指導を行う任用資格です。



生命医薬コース

新しい医薬品や医療システムで人々の健康を支えていく

Features

- 生命の極めて精緻な遺伝や代謝の仕組みを理解し、医薬や健康管理に活かすための先進技術を学修
- 核酸医薬、タンパク質医薬、遺伝子診断、再生医療など、新しい創薬技術を学修
- 最先端かつハイレベルな研究に幅広く対応する、充実した実験機器・設備を用意

主な専門教育科目

▶ 創薬学

創薬の一連の流れを学ぶとともに、医薬品を対象疾患や物質ごとに分類し、その作用機序を分子レベルで理解。さらに、近年注目されている「バイオ医薬品」の基礎研究、非臨床研究、臨床試験などの研究開発動向について、実例を示しながら解説します。

▶ 病態生理学

病態生理学は、病気の状態と原因を解明する学問です。解明された病気の本質と原因を治療に結びつける医薬品や治療法が開発されており、これらを学ぶことで、論理的な思考力と問題解決力を修得。また、器官系別にさまざまな疾病の病態とその背景にある分子機構を学ぶことで、実学に基づく専門能力を修得します。

▶ 生命医薬産業概論

生命科学の研究や医薬品の開発・製造に関わる業界の仕事や求められている人材、製品の販売を認可する政府の役割、医薬品の開発受託機関や治験施設支援機関の仕事について学修します。実務経験のある社会人講師による具体的な事例を教材とした講義を通じて、理解を深めます。

医薬品の研究

創薬の本流「バイオ医薬品」の開発をめざす

人の体内にある抗体などのタンパク質や核酸（DNAやRNA）など、生体由来の物質からつくられる医薬品である「バイオ医薬品」に関する先端研究を行っている研究室です。バイオ医薬品は、遺伝子組換えや細胞融合、培養などのバイオテクノロジーを使って製造される薬で、高確率で薬効が期待できるうえ、副作用が少ないという利点があることから、大手製薬会社も開発に力を入れており、現在、世界の医薬品の売上・開発トップ10のうち7～8品目は、バイオ医薬品が占めています。生物創薬研究室では、自然免疫で機能するタンパク質であるラクトフェリンに着目し、その機能を高める製剤開発と、バイオベンチャー企業と共同で、がんや敗血症、脊髄損傷治療薬としての創薬化に取り組んでおり、人々の健康増進につながることをめざしています。



生物創薬研究室
佐藤　淳 教授

研究室の詳細はこちら

専門実験紹介

生命医薬実験

遺伝子工学や細胞培養技術などによりつくられるバイオ医薬品に関する基礎知識や技術、細胞工学に関する基礎的実験手法とそのデータ解析、微生物バイオテクノロジーに関する抗菌物質の評価、タンパク質生産および環境モニタリング技術などを、実験を通して修得します。考察する論理的な思考力、分析・評価能力、問題解決能力の養成を図ります。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／化学製品関連／医薬品製造・販売関連／CRO（治験業務受託業）関連／家庭用品製造・販売関連／肥料・飼料関連／農林漁業関連／資源・エネルギー関連／病院・医療機関／研究機関　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

関連する資格

•上級／中級バイオ技術者　•毒物劇物取扱責任者　•危険物取扱者　•特定化学物質等作業主任者　•登録販売者　•生物分類技能検定　•食品衛生管理者　•食品衛生監視員　•食品衛生責任者　•化粧品製造販売責任者　•技術士補　•情報処理技術者試験　•公害防止管理者　•環境計量士　•臭気判定士　•環境社会検定（eco検定）　•ビオトープ管理士　•フードアナリスト　•色彩検定　•スキンケアアドバイザー　•アロマテラピー検定　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

地球環境コース

生命の持つ優れた機能を探り、環境浄化や環境保全に役立てていく

Features

- 生物の高効率・省エネルギーの機能を応用することで、地球の環境問題の解決を考えるコース
- 環境浄化、砂漠緑化などの問題に取り組み、人と生物や自然が持続的に共存する循環型社会の構築手法を学修・研究
- 卒業後の進路は、環境関連企業だけでなく化学製品関連から医療関連まで幅広く選択可能

主な専門教育科目

▶ 地球環境科学

地球環境およびそれを構成する大気圏、水圏でのさまざまな現象について学ぶ授業です。大気の運動、地球の熱収支、水質現象、人類に影響を与える化学物質や微生物に関する地球規模での問題などに関する基本的知識の確実な修得をめざします。

▶ 植物細胞工学

植物の優れた機能を細胞・遺伝子レベルで学ぶとともに、それらの機能を向上させて利用するために必要な基本的な細胞生物学・生化学・遺伝子工学の知識と技術を理解。近年増加している遺伝子組換え植物の実用化・研究例についても解説します。

▶ 地球環境産業概論

生命科学の地球環境への応用は、水質保全、環境修復、砂漠の緑化、環境汚染物質の検出など、さまざまな分野へ広がっています。また、これらはSDGsとして世界的な注目を集めています。社会人講師の経験や知識を活かした授業を通して、地球環境への仕事を理解し、自分たちの将来を考えます。

植物の研究

植物の機能を高めて、地球が直面する問題の解決へ

植物の力を、地球環境の保全や暮らしを豊かにするために役立てる研究を行っています。今、世界では、作物が育たない「塩害地」の拡大が深刻化しています。また、地球温暖化による気温上昇により、従来はつくれていた作物がつくれなくなる問題も起きています。そこでこの研究室では、一部の植物が海岸や砂漠などの厳しい環境でも育つ仕組みを解明し、それを利用することで作物の耐塩性や高温耐性などを向上させる研究を推進。塩分の多い土壌でも育つ植物や、暑さに強い植物をつくりだして食糧増産や砂漠緑化に貢献し、食糧問題の解決をめざしています。また、少ない肥料で栽培できる植物の開発や、植物が有する空気中の有害物質を吸収・浄化する機能を高めたり、植物中の医薬品成分を効率的に生産したりするための研究も進めています。



植物工学研究室
多田 雄一 教授

研究室の詳細はこちら

専門実験紹介

地球環境実験

細胞工学分野における基礎的な実験手法およびデータ解析法、植物バイオテクノロジーを環境保全や環境モニタリングに適用するための実験操作とその原理、タンパク質を生産するための実験手法を学びます。動物培養細胞、遺伝子操作、光合成速度の測定、DNA鑑定法などをテーマに実験を行い、得られたデータを解析することで、分析評価能力も身につけます。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／資源・エネルギー関連／肥料・飼料関連／農林漁業関連／化学製品関連／家庭用品製造・販売関連／医薬品製造・販売関連／CRO（治験業務受託業）関連／病院・医療機関／研究機関　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

関連する資格

•公害防止管理者　•環境計量士　•臭気判定士　•生物分類技能検定　•環境社会検定（eco検定）　•ビオトープ管理士　•毒物劇物取扱責任者　•危険物取扱者　•特定化学物質等作業主任者　•食品衛生管理者　•食品衛生監視員　•食品衛生責任者　•化粧品製造販売責任者　•上級／中級バイオ技術者　•技術士補　•情報処理技術者試験　•登録販売者　•フードアナリスト　•色彩検定　•スキンケアアドバイザー　•アロマテラピー検定　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。



食品コース

最新のバイオテクノロジーで画期的な食品の開発をめざす

Features

- バイオテクノロジーを駆使した、健康に役立つ画期的な機能性食品を開発
- 食品の成分や機能を学ぶ科目から、開発・製造を扱う科目まで、幅広い内容を網羅
- 国家資格である食品衛生管理者および食品衛生監視員の取得をめざすコース

主な専門教育科目

▶ 食品化学

食品を構成する3大栄養成分である炭水化物・たんぱく質・脂質のほか、微量成分であるビタミン・ミネラル・色素など、さまざまな成分の種類や化学構造を理解するとともに、栄養機能、嗜好性、生体調節機能といった食品の機能性について学びます。

▶ 食品微生物学

古来より人間が食品や有用物質の製造に利用してきた微生物について、市販製品と関連した実例を交えて学修。食品の発酵、食品製造に用いる微生物の種類、腐敗とその対策、酒類・乳製品などの製造法、微生物による有用物質生産などについて解説します。

▶ 食品開発概論

実際に食品製造加工の実務経験を有する講師が、現役の技術者の視点から加工食品の開発に関する最新の知識・技術を紹介。食品分野で働くうえで必要となる食品の加工技術や開発についての専門能力および分析・評価能力、問題解決力を身につけます。

食品機能の研究

食品の3つの機能に着目し、付加価値と可能性を探る

フードファンクション研究室では、食品の1次機能（栄養機能）、2次機能（おいしさに関わる機能）、3次機能（生体調節機能）に着目し、付加価値の高い食品の研究に取り組んでいます。食品会社で研究開発に携わってきた私自身の経験を活かし、社会や産業につながる視点を大切にしています。現在、力を入れている取り組みのひとつに、食品が体内でどのように消化されているのかを明らかにする研究があります。日本人の主食である米を対象に、たとえば粒と粉という形状の違いによる消化のされ方を実験で調べるなどし、食品の新たな機能の可能性を探っています。この研究室では、学生の興味を出発点にテーマを決め、自分で考え、実験し、発見につなげていくことができます。身近な「食」を通して、誰も知らない答えを見つける面白さを感じてほしいと思っています。



フードファンクション研究室
安川 然太 教授

研究室の詳細はこちら

専門実験紹介

食品実験

食品の品質管理について学ぶ食品実験Ⅰと、製造加工や衛生管理を学ぶ食品実験Ⅱで構成。Ⅰでは、栄養成分の分析を行う「食品分析実験」や、酵素の特性などを理解する「食品酵素学実験」などを実施。Ⅱでは、脂質やアミノ酸などについて学ぶ「食品化学実験」、糖やデンプンなどを扱う「糖質科学実験」などを行い、実学に基づく専門能力を身につけます。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／食品製造・販売関連／飲料製造・販売関連／発酵・醸造関連／食品製造機器関連／家庭用品関連／外食関連／食品流通関連／化学・医薬品関連／食品衛生関連／医療・福祉関連／研究機関　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

関連する資格

•食品衛生管理者　•食品衛生監視員　•食品衛生責任者　•フードアナリスト　•毒物劇物取扱責任者　•危険物取扱者　•特定化学物質等作業主任者　•化粧品製造販売責任者　•上級／中級バイオ技術者　•技術士補　•情報処理技術者試験　•登録販売者　•公害防止管理者　•環境計量士　•臭気判定士　•生物分類技能検定　•環境社会検定（eco検定）　•ビオトープ管理士　•色彩検定　•スキンケアアドバイザー　•アロマテラピー検定　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

化粧品コース

豊かな社会の創造につながる化粧品分野を応用生物の観点から学ぶ

Features

- 皮膚・毛髪・化粧品を学術的・専門的に学ぶために、他に先駆けて設置された先進的コース
- 化粧品メーカーの研究部門出身の教員が、開発の現場で必須の実践的な知識や技術を指導
- 化粧品やその原料の開発・製造・販売などを手がける企業に、多くの卒業生を送り出した実績

主な専門教育科目

▶ 化粧品界面化学
化粧品を設計・製造するうえで必要不可欠な「コロイド界面化学」の基礎について学修します。分散、表面張力、可溶化、乳化などの「界面現象」に関する基礎理論とともに、これらの現象がどのように化粧品設計に応用されているかについて理解します。

▶ 皮膚科学
皮膚の基本的な構造と役割、機能を学んだうえで、皮膚の保湿、皮膚色および老化による形態の変化や疾病に関係する皮膚内部の現象、皮膚表面の変化や症状との因果関係について学修。低湿度や太陽光線が皮膚に及ぼす作用とそのメカニズムも解説します。

▶ 化粧品開発概論
消費者の信頼に応えるために企業で実際に行われている化粧品研究開発の方法論を、大手化粧品企業での実務経験豊かな講師が解説。化粧品開発者の思考法や製品化へのアプローチ法、消費者の意識や行動、品質保証の考え方などを、実例を交えて学びます。

化粧品の研究

肌トラブルの原因を探り、有効成分の開発につなげる

皮膚の中で何が起きているのかを調べ、シミの治療やあれ肌改善、日焼け防止などに効果のある化粧品成分の開発をめざしています。これらの化粧品は、皮膚を正常な状態に保ち、人々の豊かな生活につながります。現在の取り組み例としては、日焼けによる色素沈着を起こす色素細胞のメカニズムの研究や、皮膚にたまったメラニンを排出する方法として表皮細胞の増殖を高めてシミ予防につなげる研究などがあります。また、企業と共同で、実際にヒトから採取した皮膚を用いた化粧品の性能実験も行いました。これは皮膚に紫外線を当てたときに起きる変化を、化粧品中の成分が正常な形に戻せているかを調べるもので、採取後時間の経っていない皮膚を用いるチャレンジングな取り組みでした。そのほか、新しい肌の診断方法の研究など、皮膚に関する幅広いテーマで研究が進行中です。



皮膚生理学研究室
吉田 雅紀 教授

研究室の詳細はこちら

専門演習紹介

化粧品実験
実験を通じて化粧品についての専門能力を養うとともに、実験結果の解析と処方設計を行って論理的思考能力や分析・評価能力、問題解決能力を身につけます。実験の内容は、コロイド界面化学の基礎知識と化粧品設計・製剤化に必要な技術を修得する「化粧品設計実験」。美白剤や紫外線吸収剤の評価を行う「化粧品評価実験」など多岐にわたります。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／化粧品製造・販売関連／化粧品原料・香料関連／医薬品製造・販売関連／化学製品関連／ 美容用品・サービス関連／健康用品・サービス関連／食品・栄養関連／家庭用品関連／研究機関　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

関連する資格

•化粧品製造販売責任者 •色彩検定 •スキンケアアドバイザー •アロマテラピー検定 •毒物劇物取扱責任者 •危険物取扱者 •特定化学物質等作業主任者 •食品衛生管理者 •食品衛生監視員 •食品衛生責任者 •上級／中級バイオ技術者 •技術士補 •情報処理技術者試験 •登録販売者 •公害防止管理者 •環境計量士 •臭気判定士 •生物分類技能検定 •環境社会検定(eco検定) •ビオトープ管理士 •フードアナリスト　ほか

※それぞれの資格には、取得条件や種別などがあります。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

食品分析化学研究室

本研究室では、食品の風味や物性に大きな影響を及ぼす「油脂」を対象に、その成分の詳細な分析や新しい分析方法の開発、油脂・食品の風味評価法の開発などを進めています。

研究室の詳細はこちら

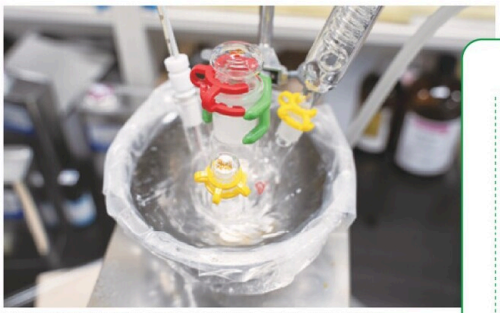
Faculty Voices



永井 利治 教授

油脂の可能性を探り世界をリードする研究室へ

食品分析化学研究室では、食品の“おいしさ”や“品質”を支える重要な成分である油脂に注目し、その組成やはたらきを最先端の技術で解き明かしています。特に、油脂の主成分であるトリアシルグリセロールを詳細に分析できる方法を独自に開発している点は大きな特徴です。世界でも前例の少ない精密な分析を実現し、食用植物油の中に、酢酸と似た構造を持つアセチル基がごく微量に含まれることなどを明らかにしてきました。こうした成果は国際学会でも注目され、研究室の存在感を高めています。研究テーマは多岐にわたり、食用油の品質評価、油脂を使った食品の風味劣化の原因解明、さらにはパンやお菓子、フライ食品など身近な食品の評価にも取り組みます。油が酸化すると嫌な香りが出るのはなぜか、どの成分が関わっているのか、それをどう防ぐのかといった課題にも挑戦し、食品の安全性やおいしさを支える技術の基盤をつくっています。分析は成分の量を調べ



油脂の研究はまだ進んでいない領域も多く、大きな可能性がある

ることばかりが目的と思われがちですが、見えなかったものを可視化し、新しい製品開発につながる発見を生み出せる点が、この分野の醍醐味です。油脂の研究は食品業界のあらゆる分野と関わり、産業的にも学術的にも大きな可能性があります。専門的に扱う大学は多くないため、最先端で世界と戦いたい学生にとって絶好の環境です。食の品質を支え、新しい価値を創り出す研究に挑戦したい皆さんを歓迎します。

“油の素顔”に迫る 社会の中で役立っています！

油脂の成分や構造を明らかにしたり、その分析方法を開発する研究は、風味が良く安全な食品づくりを支えます。また、消化吸収が良い食品や脂肪がつきにくい食品の開発など、健康への貢献にもつながります。

Students' Voices

興味あるテーマに取り組めるのが研究室の魅力です！



麻生 妃奈乃

応用生物学部4年（取材時）
桜美林高校出身（東京都）

就職先
森永乳業株式会社

まだ、どこにもないパンを自分でつくりだす楽しさを実感

パンのおいしさや食感には油脂が大きく関わります。私が注目したのは、アセチル基を含む珍しい構造の油脂です。このような油脂は結晶ができにくくなる性質を持つため、パンづくりに利用すれば柔らかくてしっとりした食感に焼き上がるのではないかと考えました。調理作業が可能な学内施設や自宅のキッチンで、実際に自分でショートニングをつくり、製パンを行って焼き上がりや食感を評価しました。もともとパンが好きなので、実験がうまくいかないことがあっても高いモチベーションを保ち、楽しく取り組むことができました。先生からは、観察力を持ち続けることの大切さを教わり、その姿勢が実験の質を高めてくれたことは間違いありません。このように、自分が興味あるテーマに挑戦できることが研究の一番の魅力です。卒業後に進む乳製品メーカーでも、研究室での経験を活かし、食品のプロフェッショナルとして成長していきたいです。

これが成果！

アセチル基を多く含む油脂は非常に柔らかいため、パン生地に練り込んでもうまく焼けない懸念がありました。実際、生焼けになることも多く苦労しましたが、条件を変えて試行錯誤した結果、普通の食用油と同じように製パンに使えることを実証できました。研究を通じて、パンづくりを基本から勉強できたこともうれしい収穫です！



実験室で試行錯誤を繰り返し製パンに成功！

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓く研究。その舞台を先生と学生、2つの視点で紹介します。

ユニバーサル化粧品科学研究室

スキンケアにおける性ホルモンの影響に注目しています。肌質は性ホルモンのバランスにより変化するため、その仕組みを理解し、化粧品の開発に活かすことをめざしています。

研究室の詳細はこちら

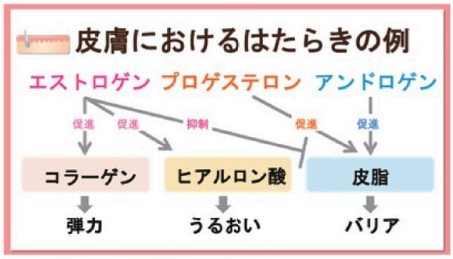
Faculty Voices



岡田 麻衣子 講師

性差や年齢にとらわれないスキンケアをめざす

この研究室では、肌の状態を大きく左右する「性ホルモン」に着目し、スキンケアの新たな可能性を探っています。男性ホルモンは皮脂を増やしてテカリを引き起こし、女性ホルモンは肌のうるおいを守る働きがあります。こうしたホルモンバランスは、思春期・妊娠・更年期など人生の中で大きく変動します。また、現代では男女による肌質の境界もグラデーション化しており、「男性向け」「女性向け」と単純に分けるだけでは十分に対応できないケースも増えています。そこで私たちは、性別やライフステージにとらわれない“ユニバーサル”な化粧品の開発をめざしています。研究の柱のひとつが、肌の健康に深く関わる「皮脂腺」の研究です。皮脂腺は毛穴の奥にあるため採取が難しく、これまで解析が遅れてきた分野ですが、実は性ホルモンがつくられる重要な場所です。本研究室では、この皮脂腺がどのようにホルモンに反応し、肌質を変化させるのかを細胞レベルで解き明かそうとしています。さらに、性ホルモンやビタミンと似た働きを持つ植物由来成分を探索し、肌の調子を整える新しい化粧品素材として活用することも、研究室の重要なテーマです。現在、食品コースの研究室との共同研究にも取り組んでおり、食品から抽出したエキスを使った成分探索も進めています。今後、このような学部内外との連携をより活発に行い、いつかこの研究室発のスキンケア製品を形にできたらと考えています。



エストロゲン・プロゲステロンは女性ホルモン、
アンドロゲンは男性ホルモンと呼ばれる

性ホルモン&脂溶性ビタミン 社会の中で役立っています！

年齢による「性ホルモンのバランス」の変化や、植物に含まれ、皮膚の機能を支える「油脂に溶けやすいビタミン」に着目した化粧品が登場しており、より優れた美肌効果を持つ製品開発の期待も高まっています。

Students' Voices

この研究室での経験は、化粧品会社で必ず役立つはず！

荒木 星那

応用生物学部4年（取材時）
県立原町高校出身（福島県）



就職先
オルビス株式会社

植物由来の成分で皮脂の悩みを一掃したい

高校時代から化粧品に興味を持ち、自身の肌のテカリなどが気になっていたこともあって、皮脂を研究できるこの研究室を選びました。私の研究テーマは、テカリの原因になる皮脂腺の肥大化を抑える植物由来成分を見つけることです。文献を読み込み、皮脂腺の働きをコントロールする機能がありそうな成分を候補に挙げ、本当に効果があるかを確かめました。実験がうまくいかず悩むこともありましたが、先生や仲間に相談しながら乗り越えてきました。この研究室は質問や意見交換がとても活発で、私もゼミで司会を務めたり、他のメンバーの発表に積極的に質問したりするうちに、研究への理解がより確かなものとなり、自信も深まりました。失敗も含めて「新しいことを知る」楽しさを味わえるのが研究の魅力です。研究活動を通じて手に入れた知識や経験を、卒業後に進む化粧品会社での仕事にも存分に活かしたいと考えています。

これが成果！

ブロッコリーやブロッコリースプラウトなど身近な植物に含まれるエキスから、皮脂腺を小さくする「活性型ビタミンD3」と同じ作用を持つ成分を探し出し、実際の効果を検証するところまでたどり着きました。安全性がある程度保証されている天然物由来成分なので、将来、効率的な製品開発につながる可能性があります。



ブロッコリーなどに含まれるエキスから「活性型ビタミンD3」と同じ作用がある成分を模索中

研究が楽しい
from the lab

皮膚進化細胞生物学研究室

皮膚においてバリアの役割を果たす表皮細胞の進化のメカニズムについて、進化細胞生物学の観点からさまざまな解析技術を用いて解明し、美しい肌がどのように形成されるのかを研究しています。



皮膚を守る巧妙な仕組みを遺伝子レベルで解明する

片桐 周作

大学院 バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻 修士課程2年（取材時）
県立榛原高校出身（静岡県）

ヒト皮膚表皮顆粒層の特異的プロモーターの探索

皮膚の表面で外部からの刺激や攻撃に対するバリアとなる角層は、その下にある細胞が「コルネオトーシス」という特殊な細胞死を起こすことで形成されます。私の研究は、このしくみを遺伝子レベルから解明することをめざすものです。子どもの頃から乾燥肌やアトピーに悩んできた経験があり、皮膚の働きを理解したいという思いで研究テーマを選びました。もともと学部生時代は医薬品コースで、生物に関するデータ解析を扱う研究をしていました。大学院進学を機に皮膚研究を始め、現在は「ヒト３次元表皮モデル（人工皮膚）」を用いて、マウスでの実験よりも臨床に近い条件で研究を進めています。これまでの成果は、細胞死を起こす細胞において、遺伝子の働きを制御する領域（遺伝子スイッチ）を突き止めたことです。この領域を絞り込んでいけば、将来は皮膚疾患の原因解明や遺伝子治療などへの応用が期待されます。研究を進めるうえで、本学の充実した機材環境は大きなアドバンテージであり、共焦点顕微鏡などの高性能な機器を存分に使えたことが研究の支えになりました。



研究に不可欠な共焦点顕微鏡



研究室には遺伝子レベルの研究が行える試料、機材が揃っている

My future plans

皮膚研究とデータ解析の力を活かしつつ、医療用機器開発の現場でリーダーシップを発揮していきたい。



就職先
HOYA株式会社

研究室／テーマ／教員一覧

※2026年4月の教員情報です

研究室一覧の詳細はこちら

研究室が関連するコース　●生命医薬　●地球環境　●食品　●化粧品

バイオセンサー研究室 ●● 秋元 卓央 教授

●環境中の残留農薬の検出と浄化をする遺伝子組み換え微生物の開発
●埋設地雷を検知する蛍光微生物の開発
●環境中の放射線や発がん性物質によって蛍光色が変化する微生物の開発



毛髪科学研究室 ●●● 岩渕 徳郎 教授（出身企業：資生堂）

●免疫抑制剤による毛周期調節機構の解明
●頭皮状態と毛髪形成の関係性
●毛髪ダメージと毛髪表面タンパクの疎水性変化
●くせ毛性状と発生原因の解明



水環境工学研究室 ●● 浦瀬 太郎 教授

●抗生物質が効かない薬剤耐性菌の水環境中での対策
●水環境中のマイクロプラスチック問題
●膜分離法を利用した排水処理技術の開発



ユニバーサル化粧品科学研究室 ●●● 岡田 麻衣子 講師（出身企業：中外製薬）

●スキンタイプにおける性ホルモンバランスや脂溶性ビタミンの解析
●皮脂バランスを整える新たな植物エキスの探索
●次世代化粧品素材としてのアプタマーの開発



細胞酸化ストレス研究室 ●●● 加柴 美里 教授

●ミトコンドリア呼吸鎖超複合体中のユビキノンQ10の解析
●老化細胞の抗酸化物質量制御機構の解明
●神経細胞の酸化ストレスと抗酸化物質についての研究



生体機能化学研究室 ●● 加藤　輝 教授（出身企業：三菱化学）

●がん細胞表面抗原タンパク質の簡便検出のための機能性DNAの創製
●細胞内物質の蛍光イメージングのための機能性RNAの創製
●DNAメチル化の簡便検出法の開発



栄養健康科学研究室 ●● 後藤 早希 講師

●食品廃棄物を基盤とするアップサイクリング技術の創出
●農業利用を指向した生分解性プラスチックの開発と評価
●食物アレルゲンに配慮した高栄養食品の開発



生物創薬研究室 ● 佐藤　淳 教授（出身企業：東レ）

●自然免疫で機能するラクトフェリンの機能解析
●ラクトフェリンのバイオ医薬品としての開発
●創薬シーズとしての機能性ペプチドの探索



アンチエイジングフード研究室 ●● 佐藤 拓己 教授

●有機酸の細胞死抑制作用機序
●ビタミンCのガン細胞死の促進作用の機序
●ケトン体のアジュバンド効果の解明



化粧品材料化学研究室 ●●● 柴田 雅史 教授（出身企業：花王）

●有機無機複合化技術による柑橘類由来の紫外線吸収剤
●植物色素を活用した肌に優しい色材
●界面活性剤を用いない敏感肌用乳化技術



機能性RNA工学研究室 ●● 杉山 友康 教授（出身企業：協和発酵工業）

●がん抑制を目指した核酸医薬や人工知能の開発
●プラナリアを用いた再生と細胞酸化の解析
●細菌を用いた六価クロム汚染浄化技術の開発



植物工学研究室 ●●● 多田 雄一 教授（出身企業：三井化学）

●植物のストレス耐性（耐塩性、貧肥料耐性、高温耐性など）機構の研究
●植物の有用機能の強化に関する研究
●植物の生薬成分の生産性の向上



バイオインフォマティクス研究室 ●● 土井 晃一郎 准教授

●ゲノム情報解析のためのソフトウェア開発
●生物データからの知識発見
●構造データのためのデータマイニング手法の開発



食品分析化学研究室 ● 永井 利治 教授（出身企業：月島食品工業）

●食品や生体に含まれる脂質の構造と役割
●脂、あるいは油脂を用いた食品の風味評価法の開発
●食用油脂の成分分析方法の開発



分子生物学研究室 ●● 西　良太郎 教授

●電離放射線曝露に対する細胞応答機構の理解
●DNA二本鎖切断修復機構の解明
●がん放射線治療の改善を目指した創薬



食品機能解析学研究室 ●● 西野 勝俊 講師（出身企業：住友化学）

●食品に含まれる機能性物質の探索
●食品由来物質による免疫機能向上効果の解析
●食品摂取がもたらす健康増進効果の解明



応用微生物学研究室 ●● 西野 智彦 教授（出身企業：ヤクルト本社）

●乳酸菌の増殖と死滅
●微生物が様々な環境下で受けるストレス損傷に関する研究
●細菌の産生するメンブランペシクルに関する研究



抗酸化物質化学研究室 ●● 藤沢 章雄 教授

●新規酸化ストレス・マーカーの開発
●水溶性ビタミンEの細胞内挙動と化粧品への応用
●脳梗塞治療薬エダラボンの抗酸化活性の評価



皮膚進化細胞生物学研究室 ●● 松井　毅 教授（出身：理化学研究所）

●皮膚表皮角質層バリアの形成機構
●皮膚表皮細胞のライブイメージング
●皮膚表皮顆粒層細胞の比較進化細胞生物学



バイオプロセス工学研究室 ●● 松井　徹 教授（出身企業：ENEOS）

●SDGsを目的とした微生物活用
●難分解性有機化合物の微生物分解
●微生物ライブラリーの機能解析



腫瘍分子遺伝学研究室 ● 村上 優子 教授（出身：順天堂大学医学部附属順天堂医院（医師））

●がん発生メカニズムの解明
●合成致死表現型を利用した抗がん剤の開発
●血中循環がん細胞検出法の開発



フードファンクション研究室 ● 安川 然太 教授（出身企業：太陽化学）

●食品成分の消化動態の解析
●味の調節作用の解析
●食品の香りと脳波



応用生体科学研究室 ●● 矢野 和義 教授／学部長

●分子認識性DNAを用いた診断用ツールの開発
●ナノ薄膜を持ったバイオチップによる免疫測定の高感度化
●新たな疾病指標成分の探索による診断および創薬への応用



応用生化学・ヘルスケア工学研究室 ●●●● 横山 憲二 教授（出身：産業技術総合研究所）

●自己血糖測定器の高機能化
●高速液体クロマトグラフィーによる高感度バイオ分析
●電気化学分析法を用いた高感度バイオ分析



皮膚生理学研究室 ●● 吉田 雅紀 教授（出身企業：カネボウ）

●シミの形成に関わる表皮の新陳代謝調節機構とシミ治療法開発
●日焼けの境界を作る色素細胞の移動調節機構
●産毛を用いた新しい肌診断方法



エピジェネティック工学研究室 ●● 吉田　亘 教授（出身：国立成育医療研究センター）

●がん遺伝子のDNAメチル化レベル測定法の開発
●人工発光タンパク質を利用したゲノムDNA中の修飾塩基測定法の開発
●ヒトゲノムDNA中で形成される四重鎖構造の機能解析



飯田 沙也加 助教

専門分野：生化学、有機化学、毒性学



木村 将大 助教

専門分野：酵素学、分子生物学、免疫学



中村 知世 助教

専門分野：応用微生物学、細菌学



岡本 瑞穂 助教

専門分野：生化学、神経科学



鈴木 洋弥 助教

専門分野：植物ホルモン、植物生理



客員教授



片岡 一則

薬物や遺伝子を体内の狙った部位に送達する革新的なナノテクノロジーを創出し、自らのベンチャー企業で社会実装を推進。



進藤　昌

持続可能な航空燃料の原料となるバイオエタノールをバイオマスから製造する研究に取り組んでいる。



長濱　徹

製薬会社にて外用医薬品、医薬部外品、化粧品の処方開発に従事。経皮吸収コントロール技術が専門。

デザイン学部



視覚デザインコース　情報デザインコース　工業デザインコース　空間デザインコース

デザインには、社会を動かす力がある。
感性や思考を、AIなどの技術で昇華させ、
社会との共創で未来に応えるデザインを形にする。

デザイン学部では、実学としてのデザイン教育を軸に、変化する時代に柔軟に適応できる創造的な人材を育成してきました。1年次には全員が感性演習とデジタルスキルの学修に取り組み、実際に手を動かして思考・表現すること、ツールとしてアプリケーションなどを活用する基礎を築きます。その後の専門的な学びでは、AIなどのテクノロジーを取り入れながら仲間や社会と共創する学びを通じて、可能性を広げていきます。テクノロジーを適切に使いこなし、「問いを立て、かたちにする力」を社会とのつながりの中で磨きます。

AIでこんなことに取り組む

● 企画からデザインまでを伴走する生成AI

抽象的で言葉にしにくいアイデアも、生成AIとともに考えながら整理することで、企画からデザインまで一貫して作品として表現できる力が身につきます。AIは時に人間では思いつかない発想や提案を示してくれるため、新たなアイデアの可能性を広げることもできます。

● AI×デジタルツインシミュレーション

設計したプロダクトや建築空間を、AIと連動した3Dシミュレーション環境（デジタルツイン）で再現することで、実際の利用シーンを想定した「使われ方」や「動線」をリアルに可視化・検証できます。デジタルツインで計画段階での課題発見や改善が容易になり、より実践的で精度の高いデザインが可能になります。

特長

Feature 01

AI時代だからこそ「手で考える」感性教育

入学後、全員が「描く・伝える」「つくる・関係づける」をテーマとした感性演習に取り組みます。AIを使いこなす時代だからこそ、手を動かして考える学びを通して、デザインの土台を築きます。（P75参照）

Feature 02

多様な学びから専門性へと導く、4年間のカリキュラム

デザイン学部は4コース制で、1年次は全員が共通して幅広いデザインを学びます。早い段階で専門を固定せず、視野を広げながら、自身の適性と関心を見極め、段階的に最適な専門分野へ進んでいくことができます。（P74参照）

Feature 03

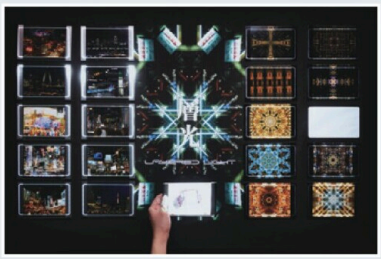
「思い描いたイメージをかたちにする」実装力

デザインは“アイデアだけ”では完結しません。イメージを共有し、目的に応じて使えるテクノロジーと、表現のためのスキル（実装力）を同時に育成。グラフィック、映像、UI、プロダクト、空間、サービスなど、構想をプロトタイプへ、さらに社会で使われるアウトプットへと発展させていきます。発想と実装を結びつける実践力を身につけます。

Feature 04

「共創×社会接続」で、即応力を育てる教育環境

本学部では企業や自治体、外部団体と連携した多彩なプログラムが進行中です。社会の現場の方と企画段階から実装まで連携してデザインを行うことで、チーム力・提案力・実現力を実践的に磨きます。AI時代に必要な「社会とつながるデザイン力」を育てる環境です。（P75参照）









DATA

蒲田キャンパス

デザイン学部長：酒百 宏一

男450名（53.3%）　女 395名（46.7%）

2025年5月1日現在

各コースなどの紹介動画

学部BLOG更新中

学びの構造

演習を通して確実に積み上げる独自のカリキュラム

学びを通して身につく6つの力をはぐくみ社会とつながるデザインを実践する



×AI→ 実践・共創



AIに限らず課題に応じた
方法・手段を試しながら実践する

4年間の学びの流れ

1年次

デザインを基礎から学ぶ

1年次後期には、自分が進むデザインの系統を選択します。

デザインに必要な観察・表現・造形の基礎を、学部独自の「感性演習（描く・伝える）（つくる・関係づける）」と「デジタルスキル」という演習科目、それを補うデザインの知識や教養系の講義科目によって修得。デザインに展開する基盤をつくります。

主な科目例

- 感性演習Ⅰ・Ⅱ（描く・伝える）
- 感性演習Ⅰ・Ⅱ（つくる・関係づける）
- デジタルスキルA・B
- デザイン概説Ⅰ・Ⅱ
- 平面表現の基礎
- 立体表現の基礎
- 色彩概論

実学基礎科目

- 芸術論
- フレッシャーズゼミ
- キャリアデザインⅠ

（人文・社会・外国語・情報・数理・自然科学・ウェルビーイング・社会人基礎・社会連携）　ほか



2年次

基本を身につけ、デザインの理解を深める

2年次後期にコースを選択します。

前期は、視覚・情報デザイン系と工業・空間デザイン系のそれぞれのデザイン演習を、後期は各デザイン領域の専門演習により、それぞれの分野に必要なデザインの基礎的な力をリサーチやディスカッション、プレゼンテーションなどを通して身につけます。さらにデジタルスキルの修得やデザインの理論、方法論を学修することで、幅広い視野と物事を掘り下げる思考力の修得をめざします。

視覚・情報デザイン系

- 視覚・情報デザイン演習
- 視覚デザイン専門演習Ⅰ
- 情報デザイン専門演習Ⅰ
- 視覚デザイン論　●情報デザイン論
- スキル演習（撮影・画像加工）
- 専門スキル演習（エディトリアルデザイン）　ほか

工業・空間デザイン系

- 工業・空間デザイン演習
- 工業デザイン専門演習Ⅰ
- 空間デザイン専門演習Ⅰ
- 工業デザイン論　●空間デザイン論
- スキル演習（基礎製図）
- 専門スキル演習（3Dモデリング）　ほか

共通

- 社会と美術　●デザイン史
- プレゼンテーションの基礎　●広告論
- 映像論　●計画論
- 社会連携実習Ⅰ　●キャリアデザインⅡ・Ⅲ
- 専門スキル演習（デジタル映像表現・ユーザインタフェース）　ほか

3年次

実践的に学ぶことで、専門性を深める

3年次からコースをひとつに絞って学びます。

各コースに特化した専門演習に取り組むことで専門的なデザインスキルも応用しながら、実社会に即した問題解決力を身につけていきます。後期には、卒業研究に向けた専門研究にも取り組みます。また、社会連携実習や学部における共創型デザインプロジェクトなどで、社会と直接的につながり、社会適応能力を確実なものにします。

視覚デザインコース

- 視覚デザイン専門演習Ⅱ
- 視覚デザイン専門研究

情報デザインコース

- 情報デザイン専門演習Ⅱ
- 情報デザイン専門研究

工業デザインコース

- 工業デザイン専門演習Ⅱ
- 工業デザイン専門研究

空間デザインコース

- 空間デザイン専門演習Ⅱ
- 空間デザイン専門研究

共通

- 専門スキル演習（エディトリアルデザイン、Webコンテンツデザイン、デジタルコンテンツデザイン、工業系CAD、空間系CAD、インフォメーションデザイン、サウンドデザイン）
- アニメーション論　●マーケティング論　●商品企画論
- 社会連携実習Ⅱ　●キャリアデザインⅣ・Ⅴ　ほか

4年次

総合的にデザイン力を高める

教員のゼミ指導のもと自らの研究を進めます。

自ら決めたテーマに沿った卒業研究に取り組みます。多彩な分野で活躍する教員が揃った環境の中で、多角的なアドバイスを受けながらリサーチや制作を重ねて、総合的なデザイン力を高めます。

- デザイン卒業研究Ⅰ・Ⅱ





大学院進学／就職

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の
詳細はこちら

複雑で多様な現代社会において、より良い社会を実現するためには、実学を通したデザインで求められる6つの力が必要となります。段階的に専門性を深めていくカリキュラムを通して、年次ごとの演習で確実にデザイン力を積み上げ、はぐくみます。

「感性」と「スキル」を柱に、社会とつながるデザインを学ぶ

デザイン学部では、発想に関わる「感性」と実装に関わる「デジタルスキル」の両方を基礎から養い、
それらを社会との関わりの中で活かす学びを重視しています。

デザインを基礎から学ぶ 1

感性演習 1年次

（描く・伝える／つくる・関係づける）

基礎から造形やデザインの基礎を修得します。観察力と表現力を養い、平面表現力を高めて幅広い視野を身につけます。また、立体・空間表現の基礎も学び、ものと人の関係性を理解することで、多角的な視野で思考を深めます。



◀ 感性演習（描く・伝える）
音楽を鑑賞し、想起される色彩や形態を視覚的に表現する平面構成の演習です。音楽から得た印象をもとに情報収集を行い、イメージスケッチを経て最終的な構成案を描き起こすプロセスにも重点を置いています。



感性演習（つくる・関係づける）▶
実際に動物園で観察を行い、動物の機能や構造から発想を広げ、立体や空間をデザインする課題です。発想力の向上や空間とモノの大きさの関係性の理解につなげています。

デザインを基礎から学ぶ 2

スキル演習 1年次

（デジタルスキルA・B）

分野を問わず、現代における表現スキルとして不可欠なグラフィックソフトの基本的な操作から応用に至るまで、目的に応じて活用するための制作を行います。



◀ デジタルスキルB
架空の雑誌を想定し、表紙と電車内広告を制作した課題作品。Fireflyの画像生成やIllustratorによるコピーの文字組みなどを実践的に学びます。



デジタルスキルB ▶
架空の映画の告知物を制作。Photoshopによる画像加工で作品の世界観もつくり上げるほか、キャッチコピー作成にもAIを積極的に活用して制作します。

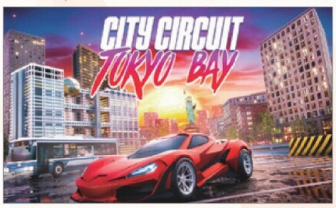
実践的なスキルを身につける 3

社会と連携した実践型プロジェクト

社会が直面しているリアルな課題に取り組むことで、教室で学ぶ理論を現場で活かす経験が得られます。
また、デザインが社会に貢献する経験を得ることで、デザインの社会的意義を学ぶことができます。

2025年度事例

Fortnite上に東京臨海副都心エリアを再現



デジタルツインを活用した教育プログラムとして、学生たちがゲーム「Fortnite」上に再現された東京臨海副都心のデジタルツイン制作に携わり、現地調査や3Dモデリングを通して、リアルな都市景観の再現に貢献しました。実際に島コード「2678-9346-8202」で公開されました。

詳細はこちら

クラフトビールを企画からデザイン



クラフトブルワリーと協働して商品を開発するプロジェクト。地域の魅力を活かした企画立案から商品化までを実践的に考え、クラフトビールの味やブランディングを踏まえてデザインします。大田区内のブルワリー3社と連携したコンペを開催し、3チームの商品化が決定。実際に発売されました。

詳細はこちら

行政と共創する社会連携実習





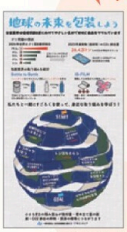


地元・大田区と連携し、地域課題に向き合いデザインによる解決をめざす「社会連携実習」が2024年度から始動しています。その試行ワークショップとして取り組んできたテーマ「地域に愛される橋づくり」は、学生と区職員が協働し、橋の魅力や役割を再発見しました。本取り組みは高く評価され、土木学会全国大会年次学術講演会において「かけはし賞」を受賞しました。

詳細はこちら

2年次「社会連携実習」での授業の様子と提案例

外部団体との産学連携プロジェクト





日本包装機械工業会との共同研究プロジェクト「デザインアプローチによる包装機械業界の魅力の抽出と発信」が進行中です。学生たちは工場のフィールド調査などを通じて業界に触れ、実践的に学びを深めます。包装やパッケージデザインだけでなく、情報デザインの視点から業界を再考し、社会との接点におけるデザインの役割を体験的に学びます。

詳細はこちら

2年次「視覚・情報デザイン演習」での課題作品例



視覚デザインコース

時代の変化の中でグラフィックデザインの力を用いて価値を創造する

Features

- 創造的な発想とデザインの力を使い、さまざまな課題を解決できるスキルを学修
- ユーザー体験を踏まえたビジュアルコミュニケーションの実現を学ぶ
- ロゴデザインやイラストレーションなどを通してブランド戦略を強化する実践力を修得

主な専門教育科目

▶ 専門スキル演習

Webコンテンツデザイン

［2年次後期・3年次前期開講］

スクロールやクリックなどWebの特性を理解し、デザインを実践します。ワイヤーフレーム設計やプロトタイピングを行い、制作（コーディング）ではコードエディターを用いてHTMLとCSSの記述力を養います。

▶ 専門スキル演習

パッケージデザイン

［3年次後期開講］

市場においてのパッケージデザインの価値をリサーチし、「手に取りたくなるデザインとは何か」「人にあげたくなるデザインとは何か」をそれぞれ考察し、ブランディングや商品企画への展開を考えていきます。

▶ 講義科目（専門）

広告論

［2年次後期開講］

広告の媒体特性・計画・表現・効果の知識に加え、広告の受け手を理解し、心を動かす広告の本質的な役割と価値の理解を深めます。さらには、人の心を探究するデザインアプローチの思考へとつなげます。

Students' Works

Visual Communication　視覚化と言語化で伝えることを追求

柔軟でオリジナリティのある発想をめざし、イメージ構想→アイデア展開→制作→プレゼンテーション→展示まで、実践を通してデザイン制作の一連のプロセスを学びます。なぜこの提案が社会に必要であるかを、他者に伝わるメッセージとして届ける力を育みます。



専門演習紹介

視覚デザイン専門演習

視覚デザインの演習課題は大きく分けて3つの学びを設けています。①コンテンツ制作におけるコンセプトの構築とその視覚化　②ユニットデザインを用いたシンボル設計とその連続性を活かしたデザイン構築からブランディングへの展開　③UIUXデザイン手法を学び、社会での実践につなげるサービスの提案　これらの学修を通じて、さらにプレゼンテーションの力を強化していきます。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／広告制作会社／広告代理店／印刷会社／出版社／パッケージデザイン会社／デザイン事務所／Web制作会社／アプリ制作会社

グラフィックデザイナー・パッケージデザイナー・エディトリアルデザイナー・アートディレクター・UI／UXデザイナー・一般企業における総合職（商品開発、企画推進、広報、営業、制作、マーケティング部門など）　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。





情報デザインコース

拡張する情報社会の課題を発見し、デザイン＋テクノロジーで解決する

Features

- 問題を発見・分析し、目に見えない情報を理解してもらうためのデザインを提案
- 映像、Web、サウンド、プログラミングなど多様な手法を用いて人と情報の関わりを学ぶ
- 卒業後、ITやWeb関連のほか、社会のあらゆる分野で活躍できる情報デザインの実践力を修得

主な専門教育科目

▶ 専門スキル演習

デジタルコンテンツデザイン

［3年次前期開講］

文系・理系を問わず、プログラミングを理解することが求められています。この授業では、デザインとインタラクションに特化したプログラミング環境を活用し、アルゴリズムによるCG描画を学びます。

▶ 専門スキル演習

デジタル映像表現

［2年次後期・3年次前期開講］

映像企画の方法論を学ぶほか、撮影技術や編集ソフトの操作をはじめとする制作技術のレクチャーを受け、CM制作に取り組みます。企画・撮影・編集という全工程を体験し、映像表現に必要なスキルを身につけます。

▶ 専門スキル演習

サウンドデザイン

［3年次後期開講］

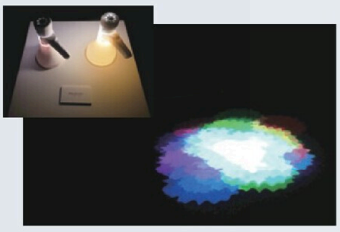
電子音楽とシンセサイザーなどの基礎を実践的に修得するとともに、プログラミングによって音響を操作するシステムを構築するためのサウンドプログラミングについて学修します。

Students' Works

声で咲く時間 Blooming Voices

「声で世界を彩る」ことをテーマにしたインスタレーション作品です。メガホンに向かって声を発すると、暗闇の空間に光と色が立ち上がり、まるで世界が花のように「咲きはじめる」映像体験が生まれます。見えなかったものが世界に届く瞬間を実感できるようにインタラクションがデザインされています。





専門演習紹介

情報デザイン専門演習

社会課題・環境問題などをテーマに、リサーチ、グラフィック、インタラクションといった情報デザインの重要な要素を学びます。さらに、同様のテーマを掘り下げ、映像、アプリ、Web、サウンド、プログラミング、また「学びのツール」としてのアナログゲームの制作を通して、さまざまなメディアと技法を横断的に活用した企画やコンテンツ制作を行います。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／IT関連会社／広告制作会社／デザイン事務所／Webデザイン制作会社／Webマーケティング会社／映像制作会社／アニメーション制作会社／ゲーム制作会社／CG制作会社

Webデザイナー・UIデザイナー・フロントエンジニア・一般企業における総合職（商品開発、企画推進、広報、営業、制作、マーケティング部門など）　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。



工業デザインコース

人に役立ち、暮らしを豊かにする製品のデザインを追究する

Features

- 新しい生活スタイルにおけるサービスを意識したプロダクトのデザインを学修
- システム構築や企画、ブランディングなどのデザインマネジメントも修得
- 卒業後、プロダクトデザイン関連のほか、社会のあらゆる分野で活躍できる実践力を修得

主な専門教育科目

▶ 専門スキル演習

工業系プレゼンテーション

［3年次後期開講］

スケッチやドローイングをはじめ、CADなどのデジタルスキル、プレゼンテーション力などを養成。工業デザイン系のインターンシップや企業実習などで求められる総合力をはぐくみます。

▶ 講義科目（専門）

商品企画論

［3年次後期開講］

ユーザーと企業のあるべき姿を想定した“デザイナー提案型の商品企画論”というアプローチで講義を行います。デザイン思考による広い視野で、企業の潜在的な価値を考察して企画する力の修得をめざします。

▶ 講義科目（専門）

工業デザイン論

［2年次前期開講］

工業デザインが社会に与えてきた価値や影響を事例から体系的に学びます。産業構造の変化に合わせて工業デザインのあり方や次世代のものづくり、工業デザイナーの役割などを学びます。

Students' Works

光のデザインとプロトタイピング

光のデザインをテーマに、デザイン開発からプロトタイピングまでを通じた提案を行います。配布されたLEDユニットを用いて照明器具を設計し、3D CADや3Dプリンターによる試作をします。完成後は、コンセプトや仕様を整理した説明シートを作成する実践的な課題です。





専門演習紹介

工業デザイン専門演習

工業デザインにおける制作プロセスを、より高度なテーマで応用します。フォルム、内部構造の理解、造形によるブランド表現を課題に、工業デザインに必要なイメージ構築やスケッチ、造形プロトタイピング、プレゼンテーションなどの実践力を修得します。最終的には設定された複数のテーマからひとつを選択し、ヒト・コト・モノを意識した新しい製品の企画とデザイン開発・提案を行います。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／製造業／製品開発・製造・販売会社などの企画部門・デザイン部門／生活用品メーカー／文具メーカー／雑貨メーカー／自動車メーカー／玩具メーカー／住宅関連メーカー／3Dモデリングメーカー／プロダクトデザイン事務所

工業デザイナー・プロダクトデザイナー・3D CADオペレーター・製作（生活用品、プロダクト、機器など）・一般企業における総合職（商品開発、企画推進、広報、営業、制作、マーケティング部門など）　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。



空間デザインコース

将来あるべき社会の実現をイメージし、空間としてのデザインを追究する

Features

- 住空間や公共空間などを対象に、将来のシステムやサービスをイメージした空間のあり方を学修
- プロジェクションマッピングやデジタルツインといった技術を活用した新たな空間デザインを追究
- 卒業後、空間やインテリアに関するデザイン分野のほか、社会のあらゆる分野で活躍できる実践力を修得

主な専門教育科目

▶ 専門スキル演習

空間系プレゼンテーション

［3年次後期開講］

空間系デザイナーにとってのプレゼンテーションは、情報収集や分析を通じて、クライアントを含めたさまざまな関係を整理することが重要です。プレゼンテーションの構造とデザインの果たすべき役割を学びます。

▶ 講義科目（専門）

人間工学

［3年次後期開講］

普段何気なく見たり使ったりしているモノのデザインが、人間の身体や感覚、知覚の特性を踏まえ、どのように反映されているのかを理解し、自らのデザインや設計に活かします。

▶ 講義科目（専門）

空間デザイン論

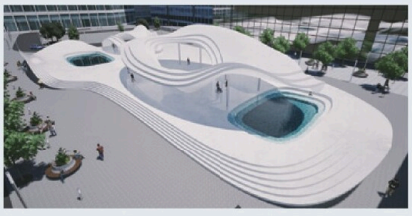
［2年次後期開講］

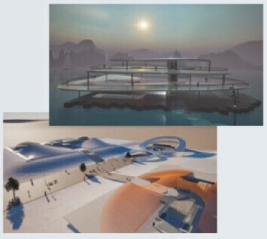
空間とは何か？ どのようにデザインされるのか？ を学修します。デザインをするうえで「人・モノ・場」がいかに関わり機能するかを知り、空間デザインに必要な視野や思考力を養います。

Students' Works

社会や環境を読み解き、空間として構想・表現するデザイン

社会や環境、暮らしの変化を手がかりに、住空間や公共空間、社会システムや空間演出まで含む幅広い対象に向き合った空間デザイン作品です。実空間のリサーチや制作を重視し、模型やワークショップを軸に、CGなどの表現手法も組み合わせ、空間の考え方や魅力を多角的に検討し、他者に伝える表現力が示されています。

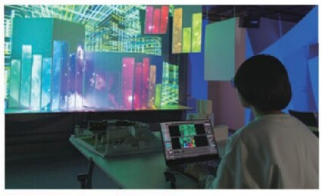




専門演習紹介

空間デザイン専門演習

2年次の演習から空間に関する概念やデザインスキルを発展させ、より実践的かつ社会的なテーマに取り組みます。将来の空間のあるべき姿を実現するという大きなフレームワークの課題でのデザインプロセスを経て、プランの策定を行います。特に、スケッチや模型といったアウトプットの精度・表現力を高める訓練を行い、デザイン提案力を養います。



卒業後のフィールド

進路

大学院進学／インテリアメーカー／住宅メーカー／リフォーム・内装施工会社／工務店／建築設計事務所／家具製作・販売会社／ディスプレイデザイン会社／CG・パース制作会社／不動産会社／インフラシステム設備会社／まちづくり会社／コンサルティング会社／造園会社

空間デザイン・空間設計・建築設計・都市計画・施工管理・インテリアデザイナー・CGデザイナー・CADオペレーター・製作（家具、什器、照明器具等）・インハウスデザイナー・イベントディレクター・公務員・一般企業における総合職（商品開発、企画推進、広報、営業、制作、マーケティング部門など） ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓くデザイン。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

情報デザインとは

目に見えない情報の理解促進や人と情報との関係性を、映像・Web・サウンド・プログラミングなど多様な手法で学び、幅広い分野で活用できる情報デザインの実践力を身につけます。

Faculty Voices

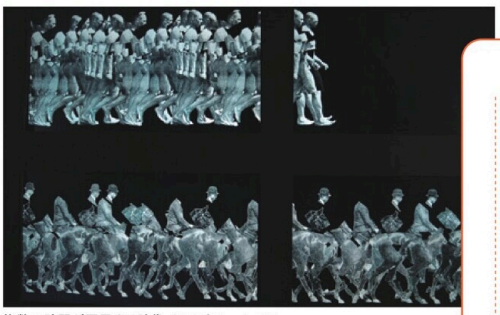


早瀬 交宣 准教授

当たり前を疑い新しい映像表現を探究

私が教育の場で大切にしているのは、「当たり前」を疑うことです。たとえば、時間の単位のように私たちが自然に受け入れているものも、実は誰かが決めたルールにすぎません。そうした常識を崩し、物事を組み替えて考える課題に取り組むことで、これまでとは違う新鮮な視点が得られるはずです。

私の研究もこうした視点と深く結びついています。私は映像デザインを専門に、時間・空間・音といった要素がコミュニケーションに与える影響について研究しています。映像では、流れやスピード、順番などの時間操作や、カメラワークや画面構成の工夫によって、意味や印象が形づくられます。さらに音は、時間や空間をガラッと変えてしまう力を持っています。こうした要素の中でも、私は映像の「時間」をどのようにデザインできるか考えています。たとえば時間をコラージュのように組み合わせることで、複数の時間が同居するような、現実とは異なる感覚を生み出すこともできます。



複数の時間が同居する映像インスタレーション

こうした試みを通じ、私たちの時間の捉え方そのものを問い直しています。高校生の皆さんには、誰かから聞いた情報だけでわかったつもりになるのではなく、自分の体で経験してほしいとアドバイスしたいです。さまざまな体験は「興味のフック」を増やし、物事を見る解像度を高めてくれます。

こうした姿勢は、AIが台頭し、人間ならではの思考や表現があらためて問われる時代において、ますます重要になってくるはずです。

人と情報をつなぐデザイン 社会の中で役立っています！

例えば、映像は時間や音、空間を自在に操り、情報の伝わり方をデザインします。「当たり前」を疑い、物事を組み替えて考える感性は、AI時代にこそ不可欠であり、社会をより深く理解する視点を与えてくれます。

Students' Voices

技術や表現力を磨き、社会課題を解決するデザインをつくる！



牧田　岳

デザイン学部4年（取材時）
県立坂戸高校出身（埼玉県）

就職先
株式会社Hakuhodo DY ONE

デザイン未経験から見つけた自分の進むべき道

本学ではデザインを幅広く学べる環境が整っており、成果を発表する機会も豊富にありました。また、学部全体の卒業制作展を見られたり、必要に応じて3Dプリンタなどの専門機材を使えたりしたことも、創作の良い刺激になりました。印象に残っている授業は、3年次の「物差し」をテーマにした演習です。各国の国旗や標識、ロゴに使われている色の比率を分析し、そこから得た気づきを自分なりの視点で形にしました。この作品は現在のゼミ教員である早瀬先生からは、「物事の見方や切り取り方が優れている」と講評をいただき 、表現者として大きな手応えを感じています。私は入学当初はデザイン未経験で、ただ絵を描くことが好きでした。それが卒業後はデジタルコンテンツの制作会社に進むまでに成長できたのは、東京工科大学での充実した学びのおかげです。今後はこの学部で得た自信と経験を糧に、就職先での業務に全力で取り組みます。

これが成果！

4年次に進級する前の春休みに、東京工科大学から募集のあったフロアマップのコンペに参加し、作品が採用されました。デザイン修正のやり取りは実際の仕事さながらで、学部で培った知識や技術を活かして、夢中で取り組みました。実際に学内に掲示された時には、自分の作ったものが初めて世に出る達成感で胸がいっぱいになりました。



学内掲示物として採用された、フロアマップデザイン

未来をつくる2つの視点

未来を切り拓くデザイン。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

工業デザインとは

新たな生活様式におけるサービスを意識したプロダクトデザインをはじめ、企画、システム構築、ブランディングまで幅広く修得し、人の暮らしを豊かにする製品デザインを探究します。

Faculty Voices



田崎 咲絵 講師

対話とプロセスから社会に実装されるデザインを探究

プロダクトデザインを専門に、ロゴやパッケージ、販売戦略まで含めたブランディングに携わっています。特に中小企業との共創に力を入れており、製品の新しい価値を、どのように社会に届けるかを考えてきました。私が大切にしているのは、デザイナーと企業が対話を重ねながら進めるものづくりのプロセスです。アイデアを評価し合い、考えを深めていくこのやり取りを「デザインクリティーク」と呼び、研究と教育の柱にしています。また、ユーザーだけでなく、設計者やリサイクル業者など、商品には多くの人が関わっています。さまざまな立場の人の視点を考慮しながら、社会に長く使われ続ける、持続可能なデザインのあり方を探究しています。デザインは社会に実装されて、はじめてその意味を持ちます。だからこそ学生への指導では、色、形、名前に至るまで、全要素に明確な根拠を持たせる「リアリティのある提案」を重視しています。つくっては壊し、対話を繰り返しながら「自分の中で答えをつくる」というブラッシュアップの過程がデザインの面白さです。先日も、企業へのプレゼンテーションに向けて、照明デザインを1カ月間悩み抜いた学生たちが、その過程で見違えるほど成長した姿には、深い感銘を受けました。私自身も現在は博士課程に在籍し、研究の視点からデザインの本質を捉え直している最中です。今後も研究と教育の両輪を回しながら、そこで培われた知見や成果を社会へと還元していきたいと考えています。



中小企業との商品開発によるペット用食器

人の暮らしに届くデザイン

社会の中で役立っています！

工業デザインは、使う人の立場に立って考えることから始まります。対話を通じてさまざまな人の視点を考慮しながら、現実の暮らしに役立つものを形にしていきます。そのプロセスが、社会に新しい価値を生み出します。

Students' Voices

想像力と創造力の両面で実社会に貢献できるデザイン力が身につく！



川﨑 汐莉

デザイン学部4年（取材時）
豊南高校出身（東京都）

就職先
株式会社コトブキ

ユーザー視点のものづくりを実践できた

強く印象に残った授業は、2年次の「段ボール椅子制作」の実習です。私たちのグループは、「運動会の観覧用」というコンセプトを掲げ、教室の椅子を校庭へ運び出す際に、多くの学校が感じる不便さの解消をめざしました。子どもたちが楽に持ち運べ、軽さや強度にこだわったデザインを追求するプロセスは、「ユーザー視点のものづくり」を学ぶには最適でした。東京工科大学には、こうしたグループ制作や企業と協力して取り組むプロジェクトなど、実社会とつながる学びの機会が数多く用意されています。私自身も積極的に参加し、多様な立場の方々と試行錯誤をする中で、「最後までやりきる力」を養うことができたと感じています。卒業後は、公共設備や公園遊具を製造する企業で新たな一歩を踏み出します。学んだデザインや発想力を活かし、子どもたちが、主体的に挑戦できる遊具を生み出したいです。

これが成果！

卒業研究では、都市の狭い公園の形状に応じて可変する遊具を考案しました。“可変性”をキーワードに、環境の制約を超え、子どもたちがのびのびと自由に遊べる、自分が納得のいくデザインが完成しました。制作の序盤から追い込みの時期まで、「隙なくリアリティを持った提案に」と、常に叱咤激励してくれた田崎先生には感謝しかありません。



卒業制作では、実際に遊具を設置した公園の模型まで制作しました

DESIGN GALLE

視覚デザインコース



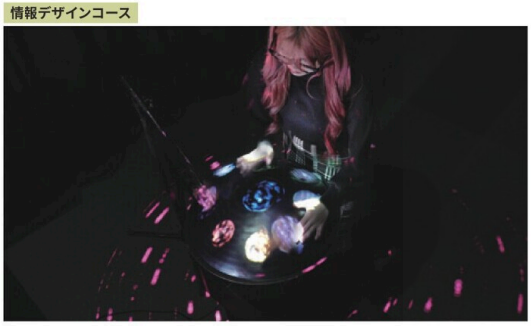


らくごおんどく

落語×音読でひらく、創造の力を磨くワークブック

笑いで心を豊かにする落語を後世につなぐため、教育に取り込むことを考察した作品。多様な役を演じる“役割演技法”を用いた音読で、人の立場や社会を多角的にとらえる力をはぐくむ教育効果を探究しています。

情報デザインコース



音が描く光景

打楽器による視覚表現の可能性

打楽器の音を視覚表現として提示したインタラクティブ作品。視覚でも音を感じて変化を楽しむことができ、演奏意欲や「もっと聴きたい」という欲求を喚起することを目的としています。

工業デザインコース







HEMEL

都市に多く存在する狭小公園で、限られた敷地に合わせて可変する遊具

都心部の公園は特に狭く、不規則な形状が多いため、安全領域を確保できず遊具の設置が困難です。本作品ではこうした課題に対応し、敷地形状に合わせて可変する遊具を提案しています。

工業デザインコース





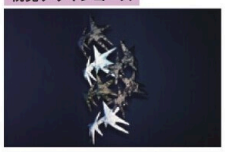


アーク

中国の伝統的な圏椅の精神を現代生活に受け継ぐ椅子

多くの役割を抱え時間に追われる現代人が、全ての役割から離れて自分に集中することができる椅子の提案です。今の生活に静かに寄り添う「静のかたち」を体現しています。

視覚デザインコース









Label “Twinkle”

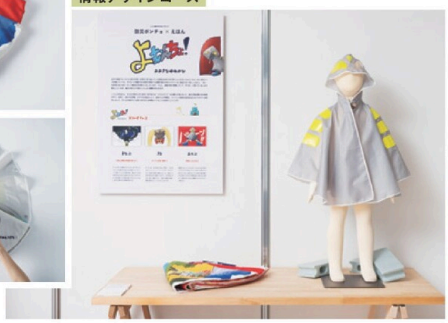
日常における再帰性反射素材の視覚表現とその応用

交通安全用品などに使われる再帰性反射素材に着目した作品。この素材が持つ、光源との距離・角度・明るさで見え方が変わるといった感性的な美を生かした新たなデザインを提案しています。





情報デザインコース



よむんちょ!

防災ポンチョ×絵本

不十分な防災対策が指摘される現代において、子どもが防災へ向き合う“入口”を提案した作品です。絵本で心の準備をし、ポンチョでは身を守る体験をしながら、遊びを通じて防災に向き合うことができます。

「デザイン卒業研究」 デザイン領域における学修の成果

ここで生み出されるのは、社会や暮らしをより良くするためのデザイン提案です。改善すべき問題を見つけ、デザインによる解決をめざして、先行事例を調査し、集めた資材を精査し、試作・改良を重ねるといったプロセスを経ての成果です。4年間で鍛えられた発想力や、専門分野に対応した高度なスキルを修得したことによって可能となった制作やプランニングは、これから社会へと歩みを進める第一歩となります。

視覚デザインコース





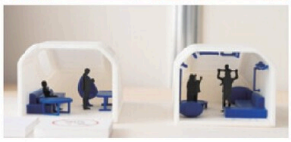


訳あり商品に新たな価値を提供する訳憑百貨店

食品ロスや廃棄問題に注目し、訳あり商品を“新たな価値を持つ存在”として捉え直すオンラインショップを提案。妖怪がモチーフのパッケージで物語性と愛着を与え、手に取る楽しさを生む仕掛けをつくっています。

工業デザインコース





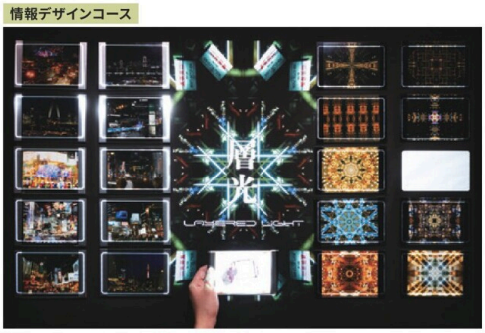


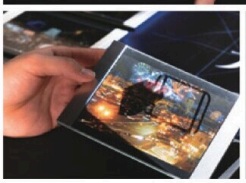
MOON SKIPPER

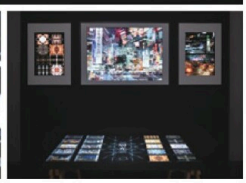
月面での生活を楽しくするモビリティ

月面に長期滞在する時代を想定し、新たな月面モビリティと体験を提案する作品です。航空宇宙分野では技術面が先行しがちですが、本提案はユーザー体験に重点を置いた斬新なデザインとなっています。

情報デザインコース







層光

LAYERED LIGHT

夜の都市の人工光を重ね合わせることで、都市の光が持つテクスチャーを可視化した作品です。美しさを抽出し、都市が持つ新たなテクスチャーとして再構成することをめざしています。

空間デザインコース







動けば、わかる

自分自身の内面性と能動性をもとにした空間設計

自ら動かなければ情報を得られない体験空間の提案。現代に多く見られる、情報を簡単に得られるが自らは考えない状況に警鐘を鳴らすとともに、好奇心のまま進む面白さを伝えることを目的としています。

空間デザインコース











ASOBIco

通る道が、遊びになる。

子どもたちの外遊びの減少という課題に対し、遊ぶ空間や時間の減少に着目して考察を深めた作品です。移動の過程で自然に身体動作や交流が生まれる空間をデザインしています。

研究が楽しい
from the lab

視覚障がいの方々を支援するデザインの研究

点字や独自の触覚シンボル、音や匂いといった要素を使って、視覚障がいのある方々の助けになるデザインを研究。めざしているのは利用者の不安を取り除き、「自分らしさ」を表現できる世界です。

視覚障がいのある子どもたちを外の世界に導く

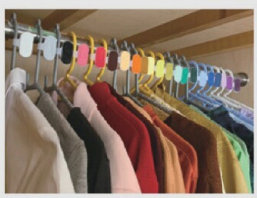


虞　婉晴

大学院 デザイン研究科
デザイン専攻修士課程1年（取材時）
武漢市第十五中学出身（中国）

視覚障がい者のファッションや外遊びを助ける

研究のきっかけは、障がい者サポート団体で出会った視覚障がいのある高校生でした。ファッションが好きなのに、毎朝服選びに苦労している姿を見て、点字や触覚で衣服の情報を得られる「ファッションタッチ」という作品を制作しました。現在は、視界がぼやけたり狭かったりする子どもを対象に、外出を促す絵本を研究しています。この絵本は、録音機能つきのパーツと背景イラストで構成されています。子どもたちはまず家の中で物語を楽しんだ後、外に出て好きな音を録音します。すると、街の風景に車のクラクションや信号音パーツなどを組み合わせた、自分だけの物語をつくることができます。屋内で過ごしがちな視覚障がいのある子どもが、段階的に外の世界へ踏み出す入り口をデザインに託しました。研究制作では、デザインはつくっては壊しの連続です。しかし、じっくりものづくりに向き合えることが大学院の良さであり、試行錯誤がこうした作品につながっていると感じています。将来はここで磨いた当事者の目線に寄り添うデザインを、さらに社会に広げていきたいと考えています。



「ファッションタッチ」の開発では、20名ほどの方に実験協力してもらい、触れた際のデザインの角度や厚みなどを精査した



「Next Eco Design展 2025」に参加した東京工科大生7名中3名が受賞！私はダンボールを猫ハウスや爪とぎパーツに再利用する提案で、奨励賞を受賞しました

My future plans

志すのはさらなる研究の道。日本や中国で教員になり、社会問題を解決できる新しいデザインを生み出したい。



教員一覧

※2026年4月の教員情報です

研究・制作活動紹介はこちら

実践経験豊富な教員からの指導

デザイン学部長 酒百 宏一

教授・修士（美術）

研究領域：地域社会デザイン、コミュニティデザイン



教授・修士（美術）副学長／デザイン研究科長　伊藤 丙雄

研究領域：サイエンティフィックイラストレーション（古生物の復元）



教授・芸術学士　伊藤 英高

研究領域：映像メディア、メディアデザイン



教授・芸術学修士　小田 敬子

研究領域：アートディレクション、グラフィックデザイン



教授・Master of Arts（in design）　葛原 俊秀

研究領域：ブランディング、サービスデザイン、広告



教授・修士（学術）　暮沢 剛巳

研究領域：デザイン史、デザイン論



教授・修士（美術）　酒井　正

研究領域：立体造形、遊具・玩具



教授・博士（学際情報学）　松村 誠一郎

研究領域：サウンドデザイン、メディアアート、インタラクションデザイン



教授・博士（美術）　宮元 三恵

研究領域：空間デザイン、ワークショップ



准教授・博士（美術）　田村 吾郎

研究領域：空間演出、ビジネスプロデュース



准教授・修士（美術）　中島 健太

研究領域：映像デザイン、アニメーション



准教授・Diplôme national supérieur d'arts plastiques（造形芸術高等国家修士）　野村 律子

研究領域：映像デザイン、コンセプトメイキング、クリエイティブディレクション



准教授・修士（芸術）　早瀬 交宣

研究領域：映像デザイン（デジタルアニメーション、モーションデザイン、メディアデザイン）、グラフィックデザイン



准教授・修士（美術）　深澤 健作

研究領域：デザインにおける平面表現研究、イラストレーション、ビジュアルコミュニケーション



講師・修士（造形）　相野谷 威雄

研究領域：プロダクトデザイン、デザインマネジメント



講師・博士（メディア科学）　井藤 雄一

研究領域：映像音響表現、メディアアート



講師・博士（美術）　御幸 朋寿

研究領域：空間デザイン



講師・修士（美術）　小山 祐輔

研究領域：空間デザイン（建築設計・インテリアデザイン）、3DCG



講師・学士（デザイン学）　田崎 咲絵

研究領域：プロダクトデザイン、ブランディングデザイン コミュニティデザイン



講師・修士（デザイン）　田邉 雄一

研究領域：WEBデザイン、グラフィックデザイン



講師・修士（美術）　堀川 卓哉

研究領域：3D、プロトタイピング、素材



助教・修士（美術）　高澤 恭子

研究領域：ジュエリー・プロダクトデザイン、ブランディング、経験設計



助教・修士（芸術工学）　舟山 貴士

研究領域：タイポグラフィ、エディトリアルデザイン



就職特任講師・修士（キャリアデザイン学）　野条 美貴

研究領域：キャリアデザイン、キャリアカウンセリング



客員教授



永島 譲二

専門分野：カーデザイン

海外で数々のカーデザインを手がけた元BMWのクリエイティブディレクター。



寺田 尚樹

専門分野：建築、インテリア、プロダクトデザイン

インテリアをはじめとする幅広い分野のデザインを手がけ、多方面で活躍する建築家・デザイナー。



村松 秀俊

専門分野：アートディレクション、クリエイティブディレクション

株式会社電通で数々の広告キャンペーンやブランディングを手がけてきたクリエイティブディレクター。（大学院デザイン研究科担当）

目黒 良門

専門分野：グローバルマーケティング

専修大学経営学部教授。学際的かつ国際的な流通・マーケティング研究に関わる。（「マネジメント」「マーケティング論」授業担当）

医療保健学部

HEALTH SCIENCES



看護学科　**臨床工学科**　**リハビリテーション学科**　**臨床検査学科**

理学療法学専攻
作業療法学専攻
言語聴覚学専攻

チーム医療の最前線で
主体的に活躍できる医療専門職をめざして

いま、医療の現場では「チーム医療」の徹底が急務とされています。求められるのは、高い専門的な知識・実践力とともに、さまざまな職種で構成されたチームで連携し、実力を発揮できる力を持った人材です。医療保健学部は、医療の安全や最新の医療テクノロジーを理解し、医療の最前線で自律と協働を実践できる高度医療専門職を育成します。

AIでこんなことに取り組む

● 医療ニーズから生まれるAI活用

医療の需要が増える一方で、提供できる医療資源には限りがあります。本学部では、AIを臨床実務や学修、研究を支える道具として活用できる医療人の育成を考えています。技術ありきではなく医療現場のニーズを起点に、工学やデザイン分野とも連携し、実践的なツールや技術の創出をめざします。

● AIが学生専属の学修パートナーに

AIが学生一人ひとりの学習パートナーとして寄り添う未来を構想しています。学修到達度に応じて質問に答えるシステムで理解を深めるサポートを行うほか、AI面接官によるトレーニングを通じて就職活動への実践力も育成。学修からキャリア形成まで、AIが学生の成長を支える仕組みを考えています。

特長

Feature 01

国家試験合格後も視野に入れた手厚い医療専門教育を実践

医療保健学部では、きめ細やかな教育・指導・支援を実践しています。第一期生以来、高水準の国家試験合格率の実現とともに、卒業後も常に学び続ける姿勢の醸成をめざしています。

Feature 02

実際の医療現場と同等の充実した学内実習設備で行う演習

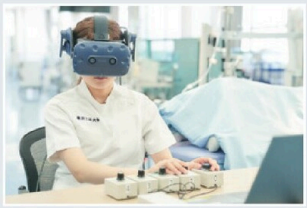
集中治療室や手術室、病棟やナースステーション、日常動作を学ぶための実習室や各種リハビリテーションを学ぶ豊富な設備を用意し、学内にいながら充実した設備・機器を用いた演習が可能です。

Feature 03

協力病院・施設との連携により、充実した臨床実習環境を実現

臨地・臨床実習では数多くの医療機関と連携し、多彩な実習が行える環境を用意しています。研究が盛んな総合病院から、専門特化した病院まで、視野が広がる多彩な医療機関などが臨地・臨床実習の舞台です（➡P100、P101参照）。







コミュニケーション・コラボレーション能力を養成

＋

医療を支えるICTや科学技術の基礎を理解する教育

チーム医療において力を発揮できる医療専門職を育成しています。

DATA

蒲田キャンパス

医療保健学部長：清水　潤

男 551名（33.4%）　女 1,098名（66.6%）

2025年5月1日現在

各学科などの紹介動画

医療保健学部HP



看護学科

社会の看護ニーズの変化に対応できる「新時代の看護学」をその手に

Features

- 模擬病棟・模擬患者やICT・メディアを活用し、リアルな演習を通して、臨床判断能力と実践力を育成
- 多種多様な最適な場での実習を通し、国際的な視点を取り入れた「新時代の看護学」を学修
- 地域特性を活かし、地域と連携しながら働く人の健康を支える産業保健・産業看護を学修

4年間の学びの流れ

専門分野の基礎と深い教養を学修

1年次

社会人・国際人として活躍できる教養と、専門科目を学修するうえでのベースとなる基礎教育科目、看護の対象となる人を理解するための専門基礎科目［人間社会と医療］［人体のメカニズムと疾病・障害］を中心に学びます。

主な科目例

- フレッシュマンイングリッシュⅠ・Ⅱ
- コンピュータリテラシー演習
- フレッシャーズゼミ
- 医療科学の基礎
- 人体構造学
- 人体機能学
- **人体構造機能学演習**
- 医学概論
- 生命倫理
- 臨床微生物・免疫学　ほか

専門知識と技能を修得する

2年次

専門基礎・専門科目［看護の基礎・方法］で、より広い視野を養います。看護を構成する主な概念を学び、「看護とは何か」を考える基盤づくりと、基本的な援助技術のほか、対人関係、対象を理解するための基本的な知識を学びます。

主な科目例

- 臨床心理学
- 病理病態学Ⅱ
- 疾病治療論Ⅰ～Ⅳ
- 臨床薬理学
- 保健医療福祉論
- 基礎看護技術Ⅲ
- 看護過程
- ヘルスアセスメント
- 各看護学概論
- 各看護学Ⅰ
- 保健指導論
- 基礎看護学実習［3週間］　ほか

看護学を体系的に学ぶ

3年次

専門科目［看護の方法・実践］を通して、より専門的な看護を実践するための知識と技術を修得します。母性・小児・成人・高齢者・精神・在宅・地域の各看護の方法について、臨地実習を含めて学修します。

主な科目例

- 臨床栄養学
- 各看護学Ⅱ
- 成人看護技術演習
- 精神看護学
- 在宅看護学演習
- **産業看護学**
- 看護研究
- 医療安全・人間工学概論
- 母性・小児・成人・高齢者・精神看護学実習［計14週間］　ほか

4年間の学びの集大成へ

4年次

専門科目［看護の統合・発展］によって、より専門性の高い看護を学修します。また、卒業研究を通して研究的な視点を養うとともに、生涯学習習慣の基礎形成をめざします。

主な科目例

- 卒業研究
- 看護管理学
- 災害看護学
- 看護総合セミナー
- 先端医療総合講義
- リプロダクティブ・ヘルスケア
- ファミリーサポート論
- 在宅・地域看護学実習［計3週間］
- 統合看護実習［3週間］　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 人体構造機能学演習

臨床判断能力向上につながるように、解剖見学実習および演習を通じて、人体構造学の学修内容を系統的に学びます。

▶ 産業看護学

国民の半数を占める働く人の健康や安全を支える看護を学びます。

国家試験対策

教員だけでなく外部機関も活用し、一人ひとりに合ったきめ細やかなサポートを実施。開設以来、常に全国平均を上回る高い合格率を継続しています。

	2025年実施 国家試験合格率［新卒］	
看護師	100%	（全国平均90.1%）
保健師	100%	（全国平均94.0%）

卒業後のフィールド

進路

国公私立大学病院や総合病院をはじめとする医療機関／訪問看護ステーション／保健所／都道府県・市町村（保健部門）／企業の健康支援管理部門／大学院・専攻科進学　ほか

＊看護師に加え、保健師としての就職も多く輩出しています。
※ 就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師国家試験受験資格［希望者による選抜制（定員20名）］

＊保健師国家試験合格者は申請により養護教諭2種免許、第一種衛生管理者免許が取得できます。

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

看護師・保健師とは

看護師は病院やクリニックで、患者さんの治療補助、ケア、看病を行います。また、保健師は保健所や企業などで、集団を対象に「全体の健康維持・増進と疾病予防」を担います。

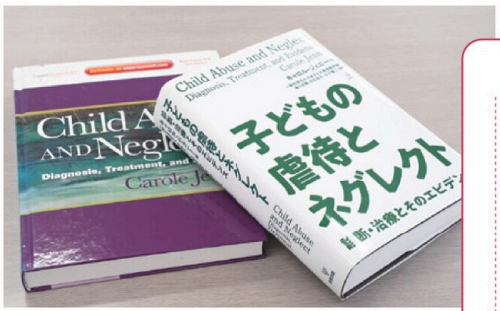
Faculty Voices



白石 裕子 教授

未来を担う子どもたちを支える小児看護

小児看護や小児救急看護を専門に、子どもたちの成長発達の支援や次世代育成に関わる研究・教育に取り組んでいます。小児医療は「子育てを支える医療」と言えるほど幅広い領域であり、ときには保護者への支援や、看護師を育成する教育者としての役割も担っています。具体的な活動としては約15年間、小児救急医療電話相談の相談員研修を行ってきました。これは、子どもの急な体調不良や夜間受診に迷った際に電話相談できるサービスです。小児科医や看護師に対して、相談者の背景を理解し、医療知識だけでなく子育ての悩みも含めて受け止める、総合的な対応方法を指導してきました。また、子ども虐待学会の理事として、虐待を見逃さない仕組みに加え、被害を受けた子どもや保護者へのケアにも注力しています。数年前には虐待に関する翻訳本の制作にも携わり、有益な知見を本の形で刊行できたことは大きな成果です。私は臨床経験16年を経て教育者となり、



子ども虐待に関する世界的な書籍の翻訳の監修にも取り組みました

現在は東京工科大学で教えています。学生たちには小児看護のやりがいは、未来を担う子どもたちとその家族を支え、次世代へバトンをつなぐ手助けができることだと伝えています。加えて「子どもの最善の利益とは何か」を軸に医療者が協力できることも、この領域ならではの強みです。看護の世界は非常に広く、小児看護も奥深い分野です。少しでも関心があれば、ぜひこの世界に飛び込み、一緒に子どもたちの未来に貢献してみませんか。

社会の中で 看護学 役立っています！

「人をケアする」ことを科学的に研究する学問です。ケガや病気といった身体の変化だけでなく、精神面でもより健康な状態を保つために、医学・心理学・社会学など幅広い分野から知識を学び、多面的に支える力を養います。

Students' Voices

実践的な環境を通して看護師としての土台を築けた！



大場 彩希

看護学科4年（取材時）
県立上溝南高校出身（神奈川県）

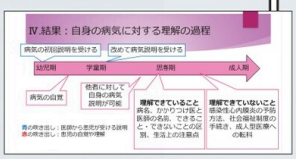
就職先
北里大学病院

実習で視野が広がり将来への手応えが得られた

実践的な学びが豊富で、自分の成長に直結させられる環境は、東京工科大学ならではです。3年次後期には16週間にわたって6つの領域で実習を体験。領域別に異なる病院を見られたことは、進路選択に大いに参考になりました。中でも成人看護学実習では、受け持った患者さんが急変する経験をしましたが、最終的には回復され「大場さんがいてくれて良かった」とお言葉をいただきました。私は基本的なケアしかできませんでしたが、毎日の看護が患者さんの力になっていたのだと胸が熱くなりました。また、私はひとつのことに集中しがちな性格でしたが、実習中に先輩看護師や医師の方々から「視野を広く持って」と助言をいただき、いろいろな意見に耳を傾けながら柔軟に状況を捉えられるようになりました。こうした力は就職先の病院で役立つのはもちろん、将来の目標である小児看護の専門看護師の資格を取得する際にも、必ず生きると感じています。

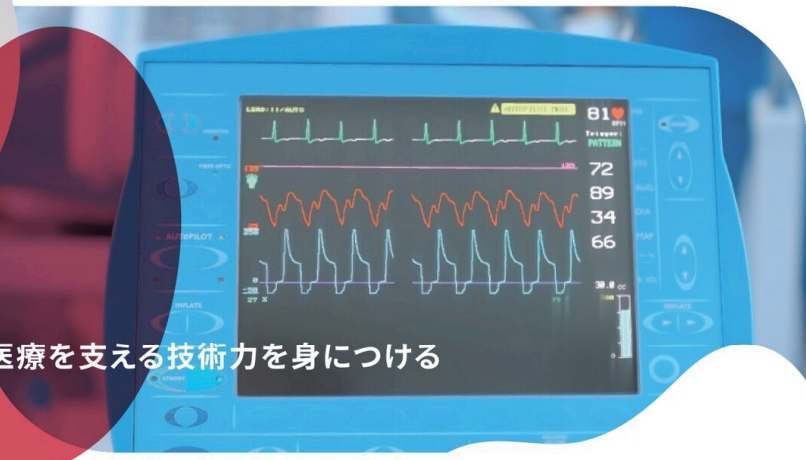
これが成果！

卒業研究では、生まれつき心臓などに病気を持つ子どもが、大人への移行段階で必要とする支援をテーマにしました。慢性疾患は生涯付き合わなければならない病気ですが、「どうすればより良い大人の期間を過ごせるか」という点では、研究途上の領域。白石先生の助言もあり、未知の領域を研究で掘り下げる楽しさを味わいました。



先天性心疾患を抱える思春期の患者さんへの看護援助について検討しました





臨床工学科

命を守るエンジニアとして、先進医療を支える技術力を身につける

Features

- 臨床工学技士養成校第一号の学園としての実績を誇る教育指導体制
- 豊富で多彩な専任教員により、基礎から応用まで時代をリードする実学主義教育・研究が充実
- 日進月歩の医療技術に対応すべく、医学と工学の両方を学ぶ独自性ある教育課程

4年間の学びの流れ

専門分野の基礎と深い教養を学修

1年次

社会人としての教養と、専門科目を学修するうえでのベースとなる基礎医学、基礎工学、臨床工学系の導入科目を学修。1年次から高度な医療機器全般への関心を高めることを目標とし、臨床工学技士をめざす意識を高めます。

主な科目例

- フレッシュマンイングリッシュⅠ·Ⅱ
- 物理の世界　●化学の世界
- コンピュータ概論
- コンピュータリテラシー演習Ⅰ·Ⅱ
- フレッシャーズゼミ
- 人体解剖学Ⅰ·Ⅱ　●データサイエンス入門
- 数学（線形代数）（微分積分）　ほか

専門知識と技能を修得する

2年次

医療従事者にとって必要な人体の構造と機能を学ぶ基礎および臨床医学と工学領域を学び、さらに臨床工学系専門科目を中心に履修します。体外循環技術や血液浄化技術、呼吸療法技術の理論を体系的に学び、3年次からの演習・実習に備えます。

主な科目例

- 生理学Ⅱ　●臨床微生物·免疫学
- 工学実験Ⅰ·Ⅱ　●病理学
- 臨床生化学　●電気工学
- 電子工学Ⅰ·Ⅱ　●臨床薬理学
- 医用機械工学　●基礎医学実習
- 臨床心理学　●呼吸療法学演習
- 内科系臨床医学Ⅰ　ほか

臨床工学を体系的に学ぶ

3年次

医療機器に関する科目を中心に生体機能代行装置学などの演習・実習や、先進医療機器に関する理解を深め、装置のメカニズムや機能、操作の方法を理解します。3年次後期は臨床実習に臨みます。

主な科目例

- システム制御工学　●工学演習Ⅰ
- 医用機器安全管理学
- 生体機能代行装置学演習
- 内科系臨床医学Ⅱ
- 外科系臨床医学Ⅱ　●医用機器演習
- 医用画像機器学
- 臨床実習［6週間］　ほか

4年間の学びの集大成へ

4年次

履修してきた各科目を総合し、最新の医療に関して学ぶ臨床工学セミナーと、問題発見と解決方法を学ぶ卒業研究などで構成し、大学教育の総仕上げを行います。

主な科目例

- 統計学　●工学演習Ⅱ
- 公衆衛生学
- 卒業研究Ⅰ·Ⅱ
- 医療安全·人間工学概論
- 臨床工学セミナー
- 実践医学統合講義
- 医用工学特別演習　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 人体解剖学Ⅰ·Ⅱ

臨床工学技士としての学問体系の基礎となる人体の基本的構造について、細胞から器官にいたる各単位を学びます。

▶ 臨床実習

生命維持管理装置などの機器が実際にどのように生体へ適用されているかを、臨床工学技士の業務を通して学修。さらに、現場における他職種との連携についても学びます。

国家試験対策

基礎教育科目・専門基礎科目の知識の定着を図るため、科目を担当する教員とフレッシャーズゼミで学生を受け持つ教員による学修指導を行っています。3年次以降の工学演習・専門演習では、国家試験合格に必要な知識の復習と再確認を行います。また、日本生体医工学会主催の第2種ME技術実力検定試験の受験や臨床工学技士教育施設協議会が主催する模擬試験、受験対策セミナーなども活用しながら国家試験対策を行います。

臨床工学技士

2025年実施
国家試験合格率［新卒］
89.3%
（全国平均78.9%）

卒業後のフィールド

進路

国公私立・大学病院や総合病院をはじめとする医療機関／医療機器メーカー／大学院進学　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 臨床工学技士国家試験受験資格

関連する資格

- 第1種・2種ME技術実力検定試験
- 心電図検定（1〜4級）

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

臨床工学技士とは

医師の指示のもと人工呼吸器や人工心肺、透析装置などの生命維持管理装置を操作・点検する医療機器の専門職です。医学と工学の知識を活かし、患者さんの生命を支えます。

Faculty Voices



上條 史記 講師

医療動作を数値化し 未来の教育現場を支える

私は長く医療現場に身を置いていましたが、行われる教育が「感覚」に頼りがちであることに疑問がありました。そのため、バイオメカニクスの中でも医療に特化して、「人の医療動作を数値化して教育に活かす」研究をしています。例えば、手洗い動作の評価や、ECMO（体外式膜型人工肺）の操作における気泡混入リスクの数値化など、医療現場で重要な動作を見える化することで、教育現場の質向上に取り組んでいます。特に手洗いは、高齢者の免疫力の維持にも役立つ習慣ですが、正しくできている人は多くありません。そこで、アプリやデバイスを用いて手洗いを数値化することで啓蒙効果を高め、一般の方が健康で安心な生活が送れるようにしようと考えています。これまで感覚的だった習慣を数値化することは、健康寿命の延伸、医療費削減、感染リスク低減など、社会的なメリットも大きいと期待しています。今後、臨床工学技士は、AIをはじめとする先端技術が医療に



キネクトカメラで撮影した手洗い動作を分析

導入されるにつれ、機器管理だけでなく病院全体を支えるエンジニアとして、幅広い領域で活躍する存在になるでしょう。しかし忘れてほしくないのは、医療は「人」を相手にする仕事だということです。医療現場に臨む学生には、医療機器のスペシャリストであることはもちろんですが、チームの一員としての自覚と責任感を持ち、積極的にコミュニケーションを図りながら、目の前の患者さんの課題解決に向き合ってほしいと思います。

社会の中で **臨床工学** 役立っています！

医学と工学を融合し、人工呼吸器や透析装置など高度な医療機器を安全に操作・管理・開発します。臨床工学は「患者さんの生命と医療機器を安全につなぐ」重要な分野であり、近年そのニーズは高まっています。

Students' Voices

医学と工学の知識を組み合わせ、患者さんの命を支える。



丸山 泰輝

臨床工学科4年（取材時）
明星高校出身（東京都）

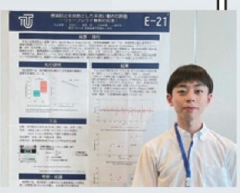
就職先
国立国際医療センター

先端技術と実践で 成長を実感した日々

入学してまず驚いたのは、授業にVRやARが当たり前のように取り入れられていたことです。人工心肺装置をVR空間で操作できたり、ARグラスにマニュアルを映して、患者さんから目を離さない処置を体験できたりと、現場さながらの講義が刺激的でした。こうした環境のおかげで、実機に触れた際もスムーズに習熟できたと感じています。実際に3年次には人工心肺装置などの医療機器の実習に取り組みましたが、これまで身につけた理論を、医療機器の操作や回路の組み立てといった実技で存分に活かすことができました。週2回の実習後には、レポート作成や口頭試験もあり学修量は多かったものの、その分確かな力がついたと思います。また臨床実習では、血液浄化や体外循環など臨床工学に関わる現場をローテーションしながら見学し、「機器の先には患者さんがいる」という重みを肌で感じたことで、医療従事者としての責任感を養うことができました。

これが成果！

「感染防止を目的とした手洗い動作の評価」のテーマで、非接触的な手洗い評価システムを開発。この研究は学会でも発表され、感染防止の観点と手洗い中の動作を工学的に考察するユニークな着眼点が評価されました。将来の夢である、臨床工学技士として働きながら研究も行い、「手洗いで世界を救う」ことに一歩近づいた瞬間です。



生体医工学シンポジウム2025でポスター発表を行いました



リハビリテーション学科

理学療法学専攻

リハビリテーション医療で、人々をアクティブに、生活の質を豊かにする

Features

- 医療機関、理学療法士養成機関などで豊富な実績を持つ教員による実学主義教育
- 基礎力の強化と臨床につなげる教育の充実
- 学年の垣根を越えて主体的な仲間が集う、ハイレベルでアットホームな学修環境

4年間の学びの流れ

1年次　専門分野の基礎と深い教養を学修

社会人としての教養と、専門科目を学修するうえでのベースとなる基礎教育科目、人体の構造と機能を学ぶ専門基礎科目に加えて、専門科目の基礎理学療法学実習や検査・測定学とその実習を学びます。

主な科目例

- フレッシュマンイングリッシュⅠ・Ⅱ
- コンピュータリテラシー演習
- フレッシャーズゼミ
- 解剖学実習Ⅰ・Ⅱ　●解剖学Ⅰ・Ⅱ
- 生理学Ⅰ・Ⅱ　●医学概論
- **基礎理学療法学実習Ⅰ**
- 理学療法臨床見学実習［1週間］　ほか

2年次　専門知識と技能を修得する

医療従事者にとって必要な人体の構造と機能について、個体・器官・組織の各レベルで学ぶ専門基礎科目を中心に学修するとともに、理学療法士に必要な「運動療法」や各専門領域の評価学などの専門科目を履修します。

主な科目例

- 生理学実習　●人間発達学
- 病理病態学　●整形外科学
- 精神医学　●臨床心理学
- リハビリテーション医学
- 一般臨床医学　●公衆衛生学演習
- **基礎理学療法学実習Ⅱ**
- キネシオロジー演習　ほか

3年次　理学療法を体系的に学ぶ

運動器系、神経系、内部障害系および生活支援系の各専門領域の実習により理学療法の幅広い知識と技術を身につけ、臨床実習では、検査結果を理学療法評価として総合的に捉え、学修します。

主な科目例

- 老年医学
- 理学療法研究
- 神経系理学療法学
- **神経系理学療法学実習**
- 運動器系理学療法学
- 運動器系理学療法学実習
- 理学療法臨床評価実習［5週間］　ほか

4年次　4年間の学びの集大成へ

大学病院、リハビリテーション専門病院および老人保健施設での総合実習に臨み、実践的な理学療法の知識・技術の統合を図ります。また、大学での学修の集大成として卒業研究に取り組みます。

主な科目例

- 卒業研究
- 理学療法総合演習
- 理学療法マネジメント論
- 先端医療総合講義
- 理学療法臨床総合実習［6週間×2］　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 基礎理学療法学実習Ⅰ・Ⅱ

理学療法に必要な解剖学、生理学を基盤として、運動学の知識と身体運動や動作とを結びつけた理学療法学の基礎を講義・実習を通して学修します。

▶ 神経系理学療法学実習

神経疾患の評価、治療を実践するうえで重要なエビデンスを批判的に吟味し、ケーススタディ、臨床推論を活用した課題解決型学修を行います。

国家試験対策

通常の授業で知識の定着を図るとともに、さらには定期的に行う学内・学外模試、分野別のテストを頻繁に実施します。テストの結果により、習熟度に沿った学修対策を実施。一人ひとりに向き合った学修指導を心がけ、理学療法士国家試験100％の合格をめざします。

理学療法士　2025年実施 国家試験合格率［新卒］ 100％（全国平均89.6％）

卒業後のフィールド

進路

国公私立・大学病院や総合病院をはじめとする医療機関／身体障害者（児）福祉施設／介護老人保健施設／都道府県・市町村（保健部門）／大学院進学　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 理学療法士国家試験受験資格

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

理学療法士とは

病気やけがによって障害を抱えた方々にリハビリテーションを提供し、運動機能の改善、生活の質の向上などをサポートする医療専門職です。

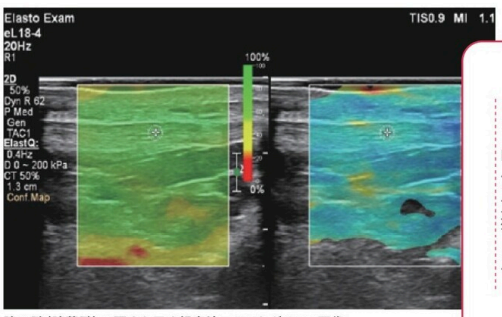
Faculty Voices



乙戸 崇寛 教授

理学療法学の可能性を広げ社会に貢献

専門は徒手理学療法学と運動器・スポーツ理学療法学で、これまで約30年間、機能回復をめざす研究と臨床に携わってきました。徒手理学療法学では、関節の運動学や筋肉の生理学的反応を見極めながら、患者さんに手のあらゆる部分を上手く使って適切な刺激を与えることで、立つ・歩くといった基本動作の改善を図ります。また、スポーツ理学療法学の分野では、投球やジャンプ動作の分析から、オーバーユース障害の発生メカニズムを明らかにし、より効果的な介入方法の検討を進めています。近年の理学療法学では短期的な効果だけでなく、長期的な機能改善を科学的に検証することが重視され、理学療法と自主的な運動を組み合わせたアプローチが主流です。それだけに、計画した訓練を狙い通りに行うには患者さんとの信頼関係が大事ですし、その結果機能改善につなげられれば、これ以上にうれしいことはありません。日々講義を行う中で、学生にはリハビリテーションの現場では丁寧さと謙虚さが不可欠だと伝えています。患者さんの状態は日々変化するため、安全・安心を第一に、常に相手に寄り添う姿勢を持ってほしいです。高齢化が進む現在、QOLの向上が社会全体のテーマとなり、理学療法士の役割は医療以外に、日常生活支援、生涯スポーツなど多岐に広がります。本学では、こうした幅広いニーズに応える実践的な教育環境が整っており、学生が専門性を高めながら社会に貢献できる力を育てられると考えています。



膝の腱（膝蓋腱）の硬さを示す超音波エラストグラフィ画像

社会の中で 理学療法学 役立っています！

運動機能の回復・維持・悪化予防をめざす学問です。
病気やけがなどで低下した機能を科学的根拠に基づき評価・治療し、理学療法士が基本的な動作の獲得とQOL向上を支援します。

Students' Voices

理学療法学の手法でスポーツ分野の機能回復を支える！



中野 希保

リハビリテーション学科 理学療法学専攻4年（取材時）
県立港北高校出身（神奈川県）

就職先
武蔵野赤十字病院

濃密な4年間の中で座学と現場がつながった

東京工科大学での4年間の学びは濃密で、勉強とはしっかり向き合う必要がありました。特に印象に残っているのが1年次の運動学の授業です。人の関節の動きや運動の仕組みを学ぶ中で、「歩行では膝が2回曲がる」など、これまで意識しなかった身体の動きを知り、おかげで今では日常的に歩く人のクセがわかるほど、観察力が養われたと感じています。さらに、3年次の臨床評価実習では、理学療法士の方の手技を間近で見ることで、座学と現場のつながりが実感できました。現場の先輩からは「お話好きな方の場合、リハビリ時間の確保を忘れないように」など、患者さんに合わせたコミュニケーションの取り方も指導いただき、実践的な評価や治療を経験したことで「もっと学びたい」という原動力がわきました。卒業後は病院で急性期の患者さんのリハビリに携わりますが、将来は障害者スポーツやオーバーユース障害の支援にも関わりたいです。

これが成果！

卒業研究では膝下にある腱を、内側、中央、外側の3つに分けて、30、60、90度の角度によって、腱の硬さがどう変わるかを超音波エラストグラフィで測定しました。すると、内側の腱が特に硬く、わずかな膝の屈曲でも急激に硬くなることが判明。この研究は将来的にオーバーユース障害の予防や、治療に役立つ可能性があります。



オーバーユース障害に多い「ジャンパー膝」と呼ばれる膝の痛みを改善する目的で研究を行った





リハビリテーション学科

作業療法学専攻

世界とつながり、最新の知識と技術を、ICTを活用して修得

Features

- 早期からの臨床実習や臨床に即した実学を通して、現場に必要な能力を学修
- 学術的、国際的、革新的視点から、サステイナブル社会（持続可能な社会）への貢献力を修得
- 作業に焦点を当て、対象者中心に協業できる作業療法士を育成

4年間の学びの流れ

専門分野の基礎と深い教養を学修

1年次

社会人としての教養と、専門科目を学修するうえでのベースとなる基礎教育科目、正常な人体の構造と機能について、個体・器官・組織の各レベルで学ぶ専門基礎科目［基礎医学］を中心に学びます。

主な科目例

- フレッシュマンイングリッシュⅠ・Ⅱ
- コンピュータリテラシー演習
- フレッシャーズゼミ
- 心理学　●解剖学Ⅰ・Ⅱ
- 生理学Ⅰ・Ⅱ　●医学概論
- **早期体験実習**
- 作業学実習　ほか

専門知識と技能を修得する

2年次

1年次に学んだ基礎医学の知識をもとに、専門基礎科目［臨床医学］で、心と身体の疾病や障害について学びます。専門基礎科目［臨床医学］と専門科目で、作業療法の基礎となる理論と技術を学修します。

主な科目例

- 生理学実習　●公衆衛生学演習
- 精神医学　●運動学実習
- 整形外科学　●神経内科学
- 組織学・病理学概論　●臨床心理学
- 一般臨床医学　●小児科学
- リハビリテーション医学　●見学実習
- 地域生活支援と作業療法演習　ほか

作業療法を体系的に学ぶ

3年次

より実践に近い科目で応用を学びます。生活をする人間としての対象者の機能［精神機能・身体機能・認知機能］と活動・参加にフォーカスし、作業療法の考え方、実践過程、生活行為と作業療法について実習・演習します。

主な科目例

- 高齢期作業療法学　●作業療法研究
- 作業療法管理学
- **発達と作業療法Ⅱ**
- 身体機能作業療法学
- 義肢装具学
- 臨床実習Ⅰ［7週間］　ほか

4年間の学びの集大成へ

4年次

臨床実習で職業倫理や行動、作業療法士としての実践力を養うとともに、大学での学びの総仕上げとして、卒業研究に取り組みます。

主な科目例

- 卒業研究
- 作業療法セミナー
- 先端医療総合講義
- 臨床実習Ⅱ・Ⅲ［7週間×2］　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 早期体験実習

1年次の早期から作業療法士が働く病院を見学し、作業療法の理解を深めます。また、授業で学んだ現場に必要なコミュニケーション能力を、実習を通して実践します。

▶ 発達と作業療法Ⅱ

作業療法を学ぶ学生の関心が高い“子どもの領域”について理解を深めます。全国的にも珍しい取り組みとして特別支援学校を実際に訪問し、子どもたちの強みや弱みを踏まえ、作業療法の視点から支援のあり方や問題解決の実践について学びます。

国家試験対策

広範囲にわたる作業療法士国家試験の出題内容の理解を深めるために、1年次の専門基礎科目から4年次の専門科目まで個別の学修支援とグループワークを行うことが、作業療法学専攻の国家試験対策の基本です。学生と教員が一体となって、国家試験合格をめざしていきます。

作業療法士

2025年実施
国家試験合格率［新卒］
94.9%
（全国平均85.8%）

卒業後のフィールド

進路

国公私立・大学病院などをはじめとする医療機関／介護老人保健施設／心身障害者（児）療育施設／保健所／都道府県・市町村（保健部門）／大学院進学　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 作業療法士国家試験受験資格

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

作業療法士とは

日常生活に支障がある方に対し、食事や入浴、仕事、遊びなどの「作業」を通じて、心身機能の回復や維持を多角的に支援する職業です。

Faculty Voices



友利 幸之介 教授

ADOCアプリを通じた国際共同研究の展開

ADOCについてはこちら

私は作業療法学の中でも「意思決定支援」を専門とし、患者さんと医療者がともにリハビリの方向性を決めていくプロセスに焦点を当てた研究を進めています。その中心にあるのが「ADOC（エードック）」アプリです。ADOCは日常生活の作業を描いた95枚のイラストから、患者さん自身が興味のあるものを選び、生活や価値観に基づいた目標設定を行えるツールです。単なる訓練ではなく、患者さんの生活の質（QOL）を高めるリハビリを実現することをめざしており、導入後は、野球観戦に行きたい、買い物に行きたいといった患者さんの「その人らしさ」に寄り添ったプログラムづくりが可能です。ADOCは現在バージョン2まで進化し、患者さんと作業療法士、さらには家族も一緒に目標を話し、決定するプロセスを後押ししています。全国の医療や介護の関係者からは、患者さん自身が自分のやりたいことに気づき、前向きに取り組めるようになったという報告も多く、アプリを介して多くの患者さんに好影響を与えられていることに、大きな手応えを感じています。作業療法士は「Occupational Therapist」として、自ら状況を判断し治療方針を立てる専門職です。他職種にはない思考の深さが求められますが、その分、患者さんの人生に寄り添いながら支援できる非常に魅力的な仕事でもあります。だからこそ学生には、対人援助職としての倫理観や、相手を思いやる姿勢を大切にしてほしいと日々伝えています。



マラエ科大学（マレーシア）との共同開発研究

社会の中で 作業療法学 役立っています！

「作業」の提供を通じ、対象者が「したいこと」を実現し、その人らしい生活を送れるように支援することを目的としたリハビリテーション学です。身体機能の回復だけでなく、精神的な安定や社会参加の促進も重視されます。

Students' Voices

実習や授業を通して患者さんに向き合う姿勢が育つ。



山岸 紗依子

リハビリテーション学科 作業療法学専攻3年（取材時）
県立横浜栄高校出身（神奈川県）

患者さんの思いに寄り添う姿勢が評価された

人と関わりながら、誰かの役に立てる仕事をしたいと思い、作業療法士を志しました。3年次の7週間の実習では麻痺のある方を担当させていただき、患者さんの「早く治したい」という思いに寄り添うため、ADOCを用いて退院後の生活を具体的に思い描いていただく支援を行いました。まずは「コップを持つ」といった小さな日常動作を目標に設定することで、焦らず前向きにリハビリに臨める環境づくりができたと感じています。この取り組みは学科内の実習報告会でも評価され、自分の姿勢が認められたことは大きな励みになりました。作業療法士をめざす高校生には、今はさまざまなことに興味を持ってと伝えたいです。私は編み物が趣味ですが、そのおかげで実習先の患者さんと思いがけず話が弾んだことがあります。これまでに培った経験に無駄なものはなく、すべてが医療従事者としての力になっていると実感した出来事でした。

これが成果！

卒業研究で取り組んだのは、マレーシア版・韓国版、さらには認知症対応まで見据えたADOCのグローバル展開プロジェクト。異分野を学ぶデザイン学部生との共同開発に苦戦しつつも、議論を重ねて形にしました。実務レベルの大役に責任をひしひしと感じましたが、その緊張感が自分を大きく成長させてくれたことは間違いありません。



デザイン学部とのコラボレーションが、成長を加速させてくれました



リハビリテーション学科

言語聴覚学専攻

コミュニケーション能力、嚥下能力の改善を探究し続ける力をはぐくむ

Features

- 言語聴覚士に欠かせない職業人としての使命感・倫理観を持ち、主体的に学ぶ能力を身につける
- 自身の専門性をより高いレベルで発揮するため、多職種と協働できる調整力とコミュニケーション能力を身につける
- 科学的・論理的な思考力と判断力に加え、人に対する洞察力と包容力、想像力を身につける

4年間の学びの流れ

1年次　専門分野の基礎と深い教養を学ぶ

人間形成や学問の基礎を固めるとともに、言語聴覚障害学の土台としての基礎医学系の科目や、ことばや発声、コミュニケーションに関する専門基礎科目を学びます。講義・演習・見学実習で言語聴覚障害の種類や特徴、言語聴覚士の仕事などの基礎を理解します。

主な科目例

- 哲学　●心理学　●科学論
- フレッシュマンイングリッシュⅠ・Ⅱ
- コンピュータリテラシー演習
- フレッシャーズゼミⅠ・Ⅱ　●発達心理学
- 医学概論　●解剖学Ⅰ　●生理学Ⅰ
- 言語学　●音声学　●音響学
- 言語聴覚障害学概論
- **言語聴覚基礎実習**　ほか

2年次　専門知識と技能を修得する

言語聴覚障害や摂食嚥下障害を引き起こす疾患や治療について学びます。また、人が使用する言語の基礎と特徴を学修します。加えて基礎的な評価法や分析法の知識を獲得するとともに、演習や臨床実習で臨床的態度や姿勢、対象者支援の技能を修得します。

主な科目例

- リハビリテーション医学　●神経内科学
- 耳鼻咽喉科学　●形成外科学
- 口腔外科学　●認知・学習心理学
- コミュニケーション演習Ⅱ・Ⅲ
- 失語・高次脳機能障害学Ⅰ・Ⅱ
- 言語発達障害学Ⅱ・Ⅲ
- 発声発語障害学Ⅰ・Ⅱ　●聴覚障害学Ⅰ・Ⅱ
- 言語聴覚臨床実習Ⅰ　ほか

3年次　言語聴覚療法学を体系的に学ぶ

言語聴覚障害の原因・症状・評価・支援の理解に加え、科学的、論理的な思考から解決法を導く力を修得します。学内での評価演習を経て、学外の協力施設で行う臨床実習で、コミュニケーションおよび評価に関しての知識・技術、臨床的態度を実践的に学修します。

主な科目例

- 心理測定法　●保健医療福祉総論
- 言語聴覚障害診断学
- 言語聴覚療法管理学
- 吃音・流暢性障害学　●摂食嚥下障害学
- **言語聴覚総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ**
- 地域言語聴覚療法学
- 言語聴覚臨床実習Ⅱ
- 言語聴覚研究Ⅰ・Ⅱ　ほか

4年次　4年間の学びの集大成へ

学外の協力施設で、長期にわたる言語聴覚臨床実習を行います。実習では対象者の評価や支援の実践を行い、高度な臨床技術の修得や、対象者の背景を理解した支援や家族との関わり、多職種連携までの総合的な臨床能力の修得をめざします。

主な科目例

- 言語聴覚臨床実習Ⅲ
- 言語聴覚卒業研究
- 言語聴覚障害学特別講義Ⅱ・Ⅲ　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 言語聴覚基礎実習

リハビリテーションや言語聴覚療法の実際に触れる病院見学実習を行います。言語聴覚士の業務を見学し、言語聴覚士に必要となる知識や技能、人間性などについて考えます。

▶ 言語聴覚総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

臨床を想定した実践演習、シミュレーション演習などを行います。言語聴覚療法の流れを体験し、臨床技能や臨床的思考、表現技術などを再確認します。

国家試験対策

入学後、早期にガイダンスを行い、国家試験に向けた学修計画を提示します。これに基づき1年次から学修習慣を固め、授業では国家試験との関連性や出願傾向を随時示します。また、アドバイザー教員による個別指導も行い、効率的な学修ができるよう支援しながら、3～4年次は定期的に模擬試験を行い、試験を用いた学修を進めます。特に4年次は対策講座や相互学習、得意・苦手分野の分析、補講などでレベルアップを図ります。さらに、オンラインでの対策講座やドリル、個別相談体制も整え、国家試験対策から健康管理や生活面の助言・サポートを行い、一人ひとりがベストな状態で国家試験に臨めるよう支援します。

言語聴覚士　2025年実施 国家試験合格率［新卒］ **76.9%**（全国平均72.9%）

卒業後のフィールド

進路

国公私立・大学病院、総合病院、リハビリテーションセンターなどの医療機関／介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問リハビリテーション事業所などの介護施設／肢体不自由児施設、重症心身障害児施設などの福祉施設／特別支援学校、研究施設などの教育機関／大学院進学　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 言語聴覚士国家試験受験資格

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

言語聴覚士とは

「話す、聞く、食べる（飲み込む）」機能に不自由さを持つ人に対し、検査・評価と訓練・指導を行い、機能維持や向上を支援する専門職です。

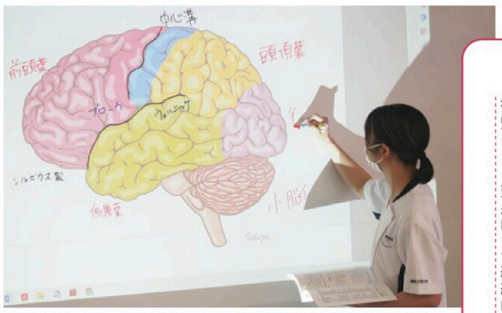
Faculty Voices



浦野 雅世 教授

脳は最後のフロンティア 失語症研究の魅力

私は神経心理学（高次脳機能障害学）を専門とし、長年にわたり失語症の研究に携わってきました。失語症は、脳の言語をつかさどる領域が損傷することで、生きていくうえで欠かせない「話す・聞く・読む・書く」といった機能が広く損なわれる状態です。話すことに欠かせない名詞と動詞の生成がどのように阻害され、そしてどのように回復の過程をたどるのかについては、1990年代から議論されており、私はその回復メカニズムを長期にわたって研究しています。脳内で言葉が再構築される仕組みを解明できれば、失語症患者さんにより最適なリハビリプログラムを設計できると考えています。言語聴覚学の魅力は、こうしたまだ解明されていない脳の働きに向き合い、論理的に探究できる点です。さらに、脳損傷後の回復は年齢や損傷部位だけでなく個人差も大きく、予測が難しいからこそ、臨床経験の中で「思いがけない回復」にも立ち会えます。脳は“最後のフロンティア”と呼ばれ、



言語やコミュニケーションを支える脳の仕組みについても詳しく学びます

その背後には研究的にも臨床的にも、いまだ探求すべき領域が広がっているのです。本専攻では、学生は言語学・心理学・音響学など多様な学問領域を横断的に学び、実習も踏まえながら、人の言葉を支える脳機能を総合的に理解できます。普段何気なくしている会話がどのような神経基盤に支えられているのか、その解明に挑戦したい方にとって、本学は理論と実践を行き来しながら学びを深められる環境だと思います。

社会の中で 言語聴覚学 役立っています！

「話す、聞く、食べる（飲み込む）」機能の障害を明らかにし、リハビリプログラムの科学的改善と適切な提供につなげます。それにより、患者さんのQOL向上と社会復帰をより効果的かつ継続的にフォローします。

Students' Voices

言語聴覚士も患者さんも
相互に楽しめる
リハビリをつくりたい！

青木 愛

リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻3年（取材時）
法政大学国際高校出身（神奈川県）



言語聴覚の学びをもとに リハビリ方法を考えたい

話すことが好きで、言葉に関わる仕事をしたいと思ったことが、言語聴覚士をめざすきっかけでした。「人が話せることは当たり前ではない」と知ったとき、もっと深く学びたいと感じ、臨床経験が豊富な先生方がいらっしゃる東京工科大学を選びました。授業では3年次の、失語症の方に向けた訓練プログラムを考える講義が特に印象に残っています。座学で学んできた知識をもとに、患者さんの全体像を踏まえながら最適な訓練方法を考えるのは初めてで、想像力が求められる貴重な経験でした。議論を重ねる中で、専門的なディスカッションの質が高まり、全員で良いものをつくり上げるチームワークを学ぶことができました。今後は実習を通してまず臨床の現場を知り、病院への就職を見据えています。将来的には、デジタル技術やゲーム的要素を取り入れた、患者さんも自分も楽しめるリハビリ方法の開発に挑戦したいと考えています。

これが成果！

音の配列が難しい伝導失語症の患者さん向けの訓練プログラムを考案。絵カードと対応する文字カードを配り、ババ抜きの要領で一致した組を捨てます。文字カードは音の配列を替えた形（例：りんごの絵vs「ごりん」）になっているので、捨てる際に正しく並べ替え（「ごりん」→「りんご」）、手札が少ない人が勝ちとなります。



グループで独自の訓練プログラムを作成。複数の意見をまとめる大切さも学びました



臨床検査学科

臨床検査データを多角的に解析・検証し、現場のニーズに応える

Features

- 最新の臨床検査学のトピックスを反映した講義と実習
- 現在の医療をリードする医療機関において臨地実習を行い、実践力を磨く
- 知識、技術に加えて、正確なデータを得るために欠かせない総合的な判断力を修得

4年間の学びの流れ

専門分野の基礎と深い教養を学修

1年次

1年次は、社会人としての教養と、専門科目を学修するうえでのベースとなる基礎教育科目と専門基礎科目に加え、専門科目［一般検査・微生物検査・血液学・病理検査学］と実習を履修します。

主な科目例

- フレッシュマンイングリッシュⅠ・Ⅱ
- コンピュータ概論Ⅰ・Ⅱ
- コンピュータリテラシー演習
- フレッシャーズゼミ
- 医療科学の基礎　●化学の世界
- 解剖学　●解剖学実習　●生理学
- 検査機器総論　ほか

専門知識と技能を修得する

2年次

専門基礎科目を中心に、臨床検査技師にとって必要な人体の構造と機能について個体・器官・組織の各レベルで学びます。臨床検査医学、検体検査学などの専門教育と臨床検査の基礎となる実習科目を履修します。

主な科目例

- 生化学実習　●公衆衛生学
- 医用工学概論　●医用工学実習
- 病理検査学Ⅱ
- 一般検査学・寄生虫学実習
- 微生物検査学実習Ⅰ
- 免疫検査学　●生理検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 臨床医学総論　ほか

臨床検査学を体系的に学ぶ

3年次

3年次後期からの臨地実習では、専門基礎科目、専門科目の講義、実習で履修した内容が、医療関連機関など実際の医療の現場でどのように実践されているのかを学びます。現場で必要な知識・技術・姿勢とともに、臨床検査技師としての社会的使命を体感します。

主な科目例

- 病理検査学実習Ⅱ
- 血液検査学実習Ⅱ
- 微生物検査学実習Ⅱ
- 免疫検査学実習
- 生理検査学実習Ⅱ
- 検査管理総論
- 医療リスクマネジメント　ほか

4年間の学びの集大成へ

4年次

4年次では主体的に卒業研究に取り組み、大学での学修をまとめるとともに、臨床検査技師として広く活躍するための知識と実践力を固めます。

主な科目例

- 保健医療福祉総論
- 医療情報処理
- 卒業研究
- 病態解析学
- 臨床検査総合演習Ⅰ・Ⅱ　ほか

※ 代表的な科目のみ掲載。変更になる場合があります。

学べる内容の詳細はこちら

ピックアップ

▶ 生理学

人間の構造、解剖学の知識を背景に、人体の植物性機能、動物性機能、人間性機能を中心に諸器官の働きを学修します。

▶ 病態解析学

生体内物質の正確な測定と、その測定結果を通して、診断、治療方針の決定、治療効果の判定、さらには病気予防までを学修します。

国家試験対策

専門科目の講義と実習、そして臨地実習で学んだ臨床検査学の知識の中で、特に国家試験の問題として集約される課題については、例題、解答、対応策などについて掘り下げて学修します。また、臨床検査技師国家試験模試を定期的に受験し、成果を確認します。学生が主体となり、十分な知識の修得を目標に国家試験対策に取り組んでいきます。

臨床検査技師
2025年実施 国家試験合格率［新卒］
100%
（全国平均84.6%）

卒業後のフィールド

進路

国公私立・大学病院や総合病院をはじめとする医療機関、検診センター／研究所／医療関連企業／大学院進学　ほか

※就職実績はP123をご覧ください。

取得可能な資格

- 臨床検査技師国家試験受験資格
- 食品衛生管理者
- 食品衛生監視員

未来をつくる2つの視点

未来へつながる医療。その現場を先生と学生、2つの視点で紹介します。

臨床検査技師とは

血液や組織の検査、心電図や超音波などの生理機能検査を行う医療の専門職です。多様な場で活躍し、病気の早期発見と治療を支える重要な役割を担います。

Faculty Voices



花尾 麻美 講師

検査技術の向上で病気の早期発見を実現

病院での勤務時代は、患者さんの病気の早期発見から診断、治療にまで一貫して関われる点が、臨床検査技師の大きなやりがいでした。その経験をより多くの学生に伝えたいと、東京工科大学で教育に携わっています。学生には身だしなみや検査時の声かけなど、医療従事者としての接遇の重要性を伝えています。また、技術やデータだけでなく、その背景にある患者さんの人生を常に意識することも重視しています。今では送り出した教え子も増えましたが、卒業生が現場での活躍を報告しに来てくれたり、非常勤講師として実習を手伝ってくれたりする姿を見るにつけ、良い循環が生まれていることに喜びを感じています。研究面では、専門とする超音波エコー検査の質向上に取り組んでいます。膵臓がんは年間4万人以上が診断されていますが、早期発見が難しい病気です。超音波エコー検査は膵臓がんを早期発見できる方法として期待されていますが、一方で膵臓が深部にあり見えにくい、発見の成否が検査者の技量に左右されるなどの課題もあります。そこで、私の研究では検査前にカルピスなどの飲料を摂取することで、膵臓が見やすくなるかを検証したところ、高い改善効果が認められました。本来、検査前には数時間の絶食が必要ですが、糖分が入った飲料を飲めることは患者さんの空腹感を和らげるメリットもあります。より研究を深め、臨床検査の早期発見技術の向上に貢献していきたいと考えています。



ゼミのメンバーで岡山大学で開催された学会に参加してきました

社会の中で 臨床検査学 役立っています！

病気の診断や治療方針の決定、健康状態の評価に欠かせない臨床検査を科学的に学ぶ分野です。血液や尿を調べる検体検査、心電図・超音波などの生理機能検査について、運用や管理まで幅広く扱い、検査技師の養成にも貢献します。

Students' Voices

データに向き合って、病気の早期発見に貢献したい！

西山 花彩

臨床検査学科4年（取材時）
県立柏中央高校出身（千葉県）



就職先
日本医科大学千葉北総病院

臨床検査の魅力に気づき学びを深めた4年間

高校生の頃から医療職に興味があり、人の命を支える大きな役割を担う臨床検査技師の道を選びました。入学後は、臨床検査の分野がとても幅広く、多様な学びができることに楽しさを感じています。その中でも2、3年次の生理検査学実習で触れた超音波エコー検査に興味を持ち、そのまま花尾先生の研究室に所属しました。卒業研究では、膵臓が観察しにくい学生に対して、検査前に飲む飲料を比較する研究に取り組みました。従来のミルクティー法に加えて、5倍希釈のカルピス、カルピスウォーターの3種類を比較したところ、5倍希釈のカルピスがもっとも検査の画質を向上させる新しい知見を得ました。この成果は学会でも発表し、ほかの教育機関からも導入の声が寄せられるなど、まさに4年間の集大成になりました。将来は超音波エコー検査の技術をさらに磨き、医療チームや患者さんに安心感を与えられる臨床検査技師になりたいと思っています。

これが成果！

在学中、常に相棒的存在だったのが超音波エコー検査です。超音波の当て方によって、体内の臓器の画像も見え方が変わるところに面白さを感じる反面、熟練には高度な技術を要します。最初は臓器がどこにあるかもわかりませんでしたが、当て方や症例を把握し、練習量をこなして、鮮明な画像が得られた際の達成感は格別でした。



超音波エコー検査の様子。実際に学生同士で検査の練習をすることもあります

臨床実習

医療機関の現場に触れることのできるカリキュラム

医療現場で経験する

実習での学びを通して、多くの学生が自分の将来の進路を決定しています。

医療専門職としての意識向上やこれまで学んできた知識や技術、
価値観を統合するために、さまざまな医療機関の
現場に触れることのできるカリキュラムを用意しています。医療保健学部の臨床実習施設は、
総合病院から専門医療機関まで、他に例を見ないほど充実しており、さまざまな環境で実習を経験できます。

学内の実習設備

病棟模擬実習室

実際の病室・ナースステーションなどを模してつくられた、臨床現場と同様の設備を使って臨床判断を学べる施設です。



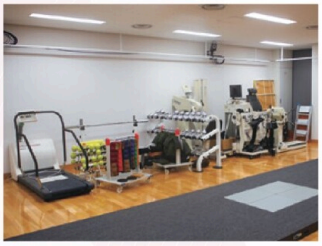
臨床工学実習室

手術室、集中治療室、血液浄化室のゾーンを設けた実習室。実際の病院と同等の機材を整えており、各機器の操作、運用方法などを学ぶことができます。



機能訓練室

実際に体を動かす治療や訓練を学ぶ施設。治療ベッドや運動能力を高めるための設備のほか、高度な動作解析装置も完備しています。



ADL室

障害を持つ人の日常生活活動（Activities of Daily Living = ADL）を学ぶ部屋で、バリアフリー設計のバス、キッチン、トイレ、和室などを設置しています。



音声検査室

多種多様な機器を活用して発声機能、音響分析の検査・演習を実施します。隣接する演習室では、嚥下の検査・訓練、実際の嚥下食を用いた演習も行います。



生理学実習室

心電図検査、超音波検査、脳波検査、肺機能検査などの演習を行うためのハイレベルな機器を完備した実習室です。



臨床実習の目的は？

学内で学んだ知識・技術を臨床の現場で統合することです。また臨床実習は、医療専門職に要求される責任、ふさわしい行動や態度を、経験を通して体得する場です。医療保健学部では、この臨床教育の重要性に鑑み、学科・専攻によっては低学年次から臨床実習を実施しています。自分がめざす仕事をしている人たちから直接学び、緊張感のある中で患者さんに触れ、機器を扱うという経験は、その後の勉学や実践の過程で、医療の本質・原点を模索していく原動力となるでしょう。

多数の医療機関との協力連携がもたらすメリットは？

学内で学び、現場を知り、また学修に励む。学内教育と学外での臨床実習は密接に関係し、相乗効果によってより高い学修効果を得ることが可能です。例えば、医療保健学部で学ぶコミュニケーションやコラボレーションする力が、現場でどれだけ必要とされているかが理解できれば、学生たちの取り組み方も違ってきます。本学には、附属病院や医学部はありませんが、多数の病院や施設と連携し、充実した実習環境を整えています。医療機関との協力連携体制が十分に整っており、学生がさまざまな医療の現場を知ることができるのは大きな強みです。

高い実践能力と明確な問題意識を持って
社会に貢献する人材の育成をめざしています。

主な臨床実習先

医療機関との強力な連携体制

看護学科

臨床実習は、2年次の「基礎看護学実習」にはじまり、3年次から4年次にかけての領域別の実習では、7つ看護領域を体験します。そして集大成となる「統合看護実習」を経て、複雑・多様かつ個別化する健康問題に対応できる看護を身につけます。



主たる実習病院　関東労災病院／東京労災病院

実習施設　**東京都**　東京都立墨東病院／東京都立大塚病院／東京都立小児総合医療センター／東京都立松沢病院／河北総合病院／東京小児療育病院／東京都立荏原病院／東京都済生会中央病院／東京蒲田医療センター／品川リハビリテーション病院／大田区、杉並区内の訪問看護ステーション／ケアホーム西大井こうほうえん／NTT東日本／富士通／日立製作所／JR東海／東京海上日動火災保険／三井化学／コーセー／電通／第一生命／JAXA宇宙航空研究開発機構／東京都特別区保健所（大田区・世田谷区・杉並区）／大田区地域包括支援センター／大田区立保育園／ベネッセスタイルケア・ベネッセ保育園　**神奈川県**　川崎市立川崎病院／虎の門病院分院／済生会横浜市東部病院／横浜労災病院／新横浜リハビリテーション病院／川崎市立井田病院在宅ケア部門／かわさき記念病院／川崎市地域包括支援センター／横浜市内の訪問看護ステーション　ほか

臨床工学科

6週間の臨床実習では、医療機関の手術室、集中治療室、血液浄化室などで各種医療機器（人工心肺装置、人工呼吸器、血液浄化装置など）の操作や運用、また医療機器管理部門では医療機器の保守管理を体験します。



実習施設　**東京都**　東京大学医学部附属病院／慶應義塾大学病院／東京慈恵会医科大学附属病院／昭和医科大学病院／東邦大学医療センター大森病院／虎の門病院／イムス東京葛飾総合病院／国立国際医療センター／東京都健康長寿医療センター／東海大学医学部付属八王子病院／東京医科大学八王子医療センター／三井記念病院／東京都済生会中央病院／東邦大学医療センター大橋病院　**神奈川県**　横浜市立市民病院／湘南鎌倉総合病院／済生会横浜市東部病院／横浜市立大学附属病院／横浜市立大学附属市民総合医療センター／聖マリアンナ医科大学病院／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院／東海大学医学部付属病院／関東労災病院／川崎幸病院／横浜栄共済病院／湘南藤沢徳洲会病院　**千葉県**　亀田総合病院／東京慈恵会医科大学附属柏病院／**埼玉県**　埼玉医科大学国際医療センター／川口市立医療センター／埼玉石心会病院　ほか

リハビリテーション学科

理学療法学専攻

150を超える病院や施設を実習施設として登録。早い時期から卒業後の姿をイメージできるよう、1年次の「見学」を経て、3・4年次の総合的な実習では実際に患者さんを担当して理学療法を実践します。



実習施設　**東京都**　北里大学北里研究所病院／東京都済生会中央病院／東邦大学医療センター大森病院／牧田リハビリテーション病院／東京大学医学部附属病院／高島平中央総合病院／苑田会リハビリテーション病院／東京都リハビリテーション病院／蒲田リハビリテーション病院／初台リハビリテーション病院／博慈会記念総合病院／小平中央リハビリテーション病院／日産厚生会玉川病院／ねりま健育会病院　**神奈川県**　聖マリアンナ医科大学病院／汐田総合病院／湘南鎌倉総合病院／麻生リハビリ総合病院／中央林間病院／神奈川リハビリテーション病院／湘陽かしわ台病院／相模原協同病院／横浜新緑病院／ナーシングプラザ港北／済生会湘南平塚病院／医療法人社団祐昇会　**千葉県**　国立国府台医療センター／松戸整形外科病院／船橋整形外科市川クリニック／船橋市立リハビリテーション病院／船橋総合病院　**埼玉県**　国立病院機構埼玉病院／戸田中央総合病院／新座病院／東松山市立市民病院／埼玉石心会病院／西大宮病院／所沢リハビリテーション病院　**茨城県**　筑波記念病院／つくばセントラル病院／神立病院　ほか

作業療法学専攻

1年次には、作業療法士のさまざまな職場を見学し、その多様性を実感します。2年次には、実際の現場の指導者や利用者を学内に招き、実践的演習を行います。3年次以降は、臨床実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを通して、必要な知識・スキル・態度を修得します。



実習施設　**東京都**　初台リハビリテーション病院／蒲田リハビリテーション病院／牧田リハビリテーション病院／赤羽リハビリテーション病院／イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院／イムス板橋リハビリテーション病院／小金井リハビリテーション病院／東京品川病院／大内病院／お花茶屋ロイヤルケアセンター／五反田リハビリテーション病院／山王リハビリ・クリニック／慈雲堂病院／台東区立台東病院／多摩病院／明理会東京大和病院／西八王子病院／東大和病院　**神奈川県**　久里浜医療センター／福井記念病院／横浜新都市脳神経外科病院／イムス横浜狩場脳神経外科病院／横浜旭中央総合病院／リハビリセンター彩／江田記念病院／イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院／湘南平塚病院／湘南慶育病院／川崎協同病院／湘南鎌倉総合病院　**千葉県**　船橋市立リハビリテーション病院／行徳総合病院／総武病院／松戸リハビリテーション病院　**埼玉県**　久喜すずのき病院／埼玉みさと総合リハビリテーション病院／埼玉セントラル病院／埼玉石心会病院／新久喜総合病院　**茨城県**　筑波記念病院／筑波大学附属病院　ほか

言語聴覚学専攻

2年次後期、3年次後期、4年次前期に、合計14週間の臨床実習を行います。事前に学内演習・実習でこれまでの学修内容の振り返りや臨床態度の確認を行ったうえで、学外の臨床実習施設において言語聴覚障害学を実践的に学びます。



実習施設　**東京都**　蒲田リハビリテーション病院／牧田リハビリテーション病院／初台リハビリテーション病院／練馬駅リハビリテーション病院／大田病院／東京都リハビリテーション病院／王子生協病院／鶴川サナトリウム病院／日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニック／小平中央リハビリテーション病院　**神奈川県**　イムス横浜旭リハビリテーション病院／聖マリアンナ医科大学病院／新横浜リハビリテーション病院／横浜市総合リハビリテーションセンター／横浜市立脳卒中・神経脊椎センター／横浜なみきリハビリテーション病院／太田総合病院／川崎市立多摩病院／桜ヶ丘中央病院／横浜鶴見リハビリテーション病院／済生会湘南平塚病院／介護老人保健施設 ヒューマンライフケア横浜／川崎市南部地域療育センター　**千葉県**　順天堂大学医学部附属浦安病院／行徳総合病院　**埼玉県**　戸田中央リハビリテーション病院／介護老人保健施設 グリーンビレッジ安行／TMG宗岡中央病院／埼玉みさと総合リハビリテーション病院　ほか

臨床検査学科

臨床検査技師の主な業務について、必要な知識、スキル、マナーに至るまでを身につけます。病院での実習を通し、医療に携わる専門家としてのモラルと確かな自覚を持ち、医療の質の向上に貢献するための技術と知識を身につけます。



実習施設　**東京都**　東京科学大学病院／東京慈恵会医科大学附属病院／東京医科大学病院／東京医科大学八王子医療センター／東邦大学医療センター大森病院／東京臨海病院／東京女子医科大学病院／永寿総合病院／東京山手メディカルセンター／大森赤十字病院／公立昭和病院／国立病院機構災害医療センター／関東労災病院　**神奈川県**　東海大学医学部付属病院／横浜市立大学附属病院／聖マリアンナ医科大学病院／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院／横浜中央病院／横浜市立みなと赤十字病院／大和市立病院／湘南鎌倉総合病院／横須賀共済病院／湘南藤沢徳洲会病院／けいゆう病院／横浜労災病院／茅ヶ崎市立病院／済生会横浜市東部病院／横須賀市立総合医療センター　**千葉県**　千葉大学医学部附属病院／君津中央病院／亀田総合病院／船橋中央病院　**埼玉県**　埼玉医科大学国際医療センター／越谷市立病院／戸田中央総合病院／埼玉県済生会川口総合病院／上尾中央総合病院／防衛医科大学校病院／川口市立医療センター　**茨城県**　東京医科大学茨城医療センター／筑波メディカルセンター病院　**栃木県**　自治医科大学附属病院　**群馬県**　群馬大学医学部附属病院　**石川県**　公立松任石川中央病院　**福島県**　いわき市医療センター　**静岡県**　国際医療福祉大学熱海病院／磐田市立総合病院／沼津市立病院　ほか

研究が楽しい
from the lab

自助具の開発

関節リウマチ患者さんが化粧動作をする際に、自助具に求められる性能や感じる課題をテーマに、作業療法士への取材を通じて、機能性だけでなくデザイン性も備えた自助具の開発をめざしています。

機能性とデザイン性を両立し患者さんの意欲を高める



田口 佳歩

リハビリテーション学科
作業療法学専攻3年（取材時）
市立浦和南高校出身（埼玉県）

「関節リウマチ患者の化粧動作における自助具導入の可能性と課題」の研究

関節リウマチは女性に多く、手指の変形や痛みで化粧が困難になることがあります。これまで、主に片麻痺の方を対象にフィールドリサーチを行ってきましたが、より幅広い疾患の方への支援をめざしてこの研究に取り組んでいます。この自助具は、カリモク家具と資生堂デザイナーとの共同プログラムで開発しており、私たちは作業療法の視点から、握りやすい形状や手関節への負担を軽減する角度設定などの機能性を整理・提案し、それをデザイン性の高い自助具として形にしていただいています。木材を使用した温かみのあるデザインもポイントで、患者さんからは「使うのが楽しい」との声もあり、見た目の美しさが使う方の意欲を高めることを実感しています。最近では、化粧品の蓋を開ける際に使う自助具に付属するストラップを可動式にするなど、より使いやすい構造へ改良しました。現在は病院を訪問し、患者さんや作業療法士の方からの意見を製品改良につなげる日々です。将来は化粧支援に注力する病院でこの経験を活かし、より多くの人に、機能と見た目の両面に配慮した自助具を届けたいです。



化粧品の蓋を突起で押し上げて開く方式の自助具。ストラップの根本部分にゴム製素材を採用し、回転可能とすることで、個人に合わせた位置調整を実現した



化粧品をしまう棚。旧版では棚を積み上げる際の「はまり」が悪かったため、棚の間口を広げ、棚板を差し入れる方式に改良した

My future plans

自助具はその人の生活そのものを支える存在。機能性に加えて見た目でも惹きつけ、誰もが諦めずにおしゃれを楽しめるものを広げていきたい。



教員一覧

※2026年4月の教員情報です

このほか、14名の客員教授が学びを支援します。

医療保健学部長 **清水　潤**　教授・博士（医学）　医師
専門分野：神経内科学、内科学、末梢神経筋病理学、神経免疫学



看護学科



看護学科長
教授・博士（医科学）白石 裕子　看護師、保健師
専門分野：小児看護学、小児救急看護、疫学

教授・博士（医学）五十嵐 千代　看護師、保健師
専門分野：産業保健学、産業看護学、公衆衛生看護学、自殺対策

教授・看護学修士 小田 和美　看護師、保健師
専門分野：成人看護学、慢性期看護学、セルフケア支援

教授・博士（看護学）妹尾 弘子　看護師、保健師
専門分野：地域精神保健、精神看護

教授・博士（歯学）東　雅啓　歯科医師
専門分野：解剖学、歯科口腔医学

教授・博士（看護学）遠山 寛子　看護師
専門分野：在宅看護、エンドオブライフケア、家族看護

准教授・博士（看護学）浅海 くるみ　看護師、保健師
専門分野：がん看護、終末期看護、サイコオンコロジー、在宅看護

准教授・博士（看護学）岩波 浩美　看護師、保健師
専門分野：看護教育学、看護基礎教育、看護継続教育

准教授・修士（看護学）瀬戸 愛子　看護師、助産師
専門分野：母性看護学、助産学、ウィメンズヘルス

准教授・修士（保健学）帆苅 なおみ　看護師、保健師
専門分野：産業保健看護学、公衆衛生看護学、労働衛生管理

准教授・修士（看護学）安井 大輔　看護師
専門分野：急性・重症患者看護、医用工学、シミュレーションラーニング

講師・修士（看護学）田辺 大介　看護師、保健師
専門分野：精神看護学、児童思春期精神看護、
包括的暴力防止プログラム（CVPPP）

講師・修士（看護学）宮首 由美子　看護師
専門分野：看護教育学、感染管理

助教・修士（看護学）飯塚 敏子　看護師
専門分野：成人看護学、リプロダクティブヘルス

助教・修士（看護学）印東 桂子　看護師、保健師
専門分野：産業保健学、産業看護学、健康経営

助教・修士（看護学）黒川 有来　看護師、助産師、保健師
専門分野：母性看護学、助産学

助教・修士（看護学）佐藤 智子　看護師
専門分野：老年看護学、せん妄

助教・修士（看護学）繁永 元樹　看護師、保健師
専門分野：シミュレーション教育、基礎看護学

助教・博士（医学）篠田 巴留香　看護師
専門分野：高次脳機能障害、リハビリテーション看護、老年看護学

助教・修士（看護学）杉村 直孝　看護師、保健師
専門分野：看護技術、看護情報学、医療安全

助教・修士（看護学）鈴木 雅子　看護師
専門分野：小児看護、小児救急看護、子ども虐待、蘇生教育

臨床工学科



臨床工学科長
教授・博士（医学）日向 奈恵
専門分野：病理学、大腸癌の研究

教授・博士（工学）伊東 雅之
専門分野：生体情報工学、認知行動科学、感性情報工学、人間医工学
医用電子工学、メソスコピック物理学

教授・博士（工学）荻野　稔　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、医用生体工学

教授・博士（工学）下村 美文　臨床工学技士
専門分野：環境科学、分析化学

教授・博士（工学）田仲 浩平　臨床工学技士
専門分野：医療機器安全工学、医療XRインタラクション、
XRシミュレータ

教授・博士（工学）苗村　潔
専門分野：医用機械工学、コンピュータ外科学、看護理工学

准教授・博士（応用情報科学）笠井 亮佑　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、医用生体工学、感性工学

准教授・博士（工学）島峰 徹也　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、医用生体計測工学、医療治療機器学

講師・修士（工学）加納　敬　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、生体機能代行装置学、医用治療機器学

講師・博士（工学）上條 史記　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、ナビゲーションシステム、生体機能代行装置学

助教・修士（工学）安藤 ゆうき　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、医用生体工学

助教・修士（工学）内田 庸助　臨床工学技士
専門分野：生体医工学、超音波工学

助教・修士（工学）佐藤 広隆　臨床工学技士
専門分野：臨床工学

助教・博士（医学）高橋 優太　臨床工学技士
専門分野：臨床工学、生体医工学

リハビリテーション学科

理学療法学専攻



理学療法学専攻長
教授・博士（理学療法学）乙戸 崇寛　理学療法士
専門分野：運動器理学療法、超音波画像解析、3Dデジタイジング

教授・博士（保健医療学）日下 さと美　理学療法士
専門分野：内部障害系理学療法、臨床運動生理、心臓リハビリテーション

教授・博士（医学）忽那 俊樹　理学療法士
専門分野：腎臓リハビリテーション、心臓リハビリテーション、身体活動

教授・博士（医学）十島 純子　医師
専門分野：細胞生物、細胞生理学、エンドサイトーシス、細胞内輸送

講師・博士（スポーツ医学）伊藤 咲子　理学療法士
専門分野：運動器理学療法、スポーツ理学療法、スポーツ医学

講師・博士（学術）斎藤 寛樹　理学療法士
専門分野：運動器疾患への疼痛管理、運動療法、徒手療法

講師・博士（理学療法学）高木 健志　理学療法士
専門分野：小児理学療法学、こども環境学、リハビリテーション科学

講師・博士（工学）渡部 祥輝　理学療法士
専門分野：身体運動学、バイオメカニクス、歩行分析

助教・博士（医学）高橋 佑太　理学療法士
専門分野：呼吸リハビリテーション、心臓リハビリテーション、
集中治療領域のリハビリテーション

助教・修士（リハビリテーション）田中　周　理学療法士
専門分野：神経系理学療法学、義肢装具学、リハビリテーション栄養

助教・博士（医学）太箸 俊宏　理学療法士
専門分野：生活期リハビリテーション、物理療法、公衆衛生

助教・修士（医科学）溝口 靖亮　理学療法士
専門分野：スポーツ理学療法、運動器理学療法、褥瘡ケア理学療法

助教・博士（保健医療科学）矢吹 惇　理学療法士
専門分野：運動学習・運動制御、神経系理学療法学、義肢装具学

助教・修士（スポーツ健康科学）吉田 真一　理学療法士
専門分野：スポーツ健康科学

作業療法学専攻



リハビリテーション学科長・作業療法学専攻長
教授・博士（保健学）澤田 辰徳　作業療法士
専門分野：作業療法におけるトップダウンアプローチ、管理運営、
自動車運転の作業療法

教授・博士（歯学）阿部 達彦　歯科医師、衛生検査技師
専門分野：解剖学（肉眼解剖学、顕微解剖学、比較解剖学）、
医学史、歯科医学

教授・博士（体育学）友利 幸之介　作業療法士
専門分野：意思決定支援のためのアプリ開発、リハビリテーションに
おける目標設定、作業に焦点を当てた実践

准教授・修士（情報学）石橋 仁美　作業療法士
専門分野：精神障害作業療法学、化粧行動

講師・博士（作業療法学）大野 勘太　作業療法士
専門分野：上肢の日常使用に関する行動変容、身体障害作業療法学

講師・博士（作業療法学）北村　新　作業療法士
専門分野：日常生活動作支援、公共交通機関利用支援、転倒予防

助教・博士（作業療法学）有田 久仁子　作業療法士
専門分野：老年期作業療法、地域保健、在日外国人の健康

助教・修士（知識科学）今井 悠人　作業療法士
専門分野：発達障害領域、特別支援教育

助教・博士（医科学）柴橋 広智　作業療法士
専門分野：身体障害作業療法学、ハンドセラピィ

言語聴覚学専攻



言語聴覚学専攻長
教授・博士（保健学）原田 浩美　言語聴覚士
専門分野：聴覚障害学、聴覚障害児の言語指導法

教授・博士（言語学）浦野 雅世　言語聴覚士
専門分野：失語症学、神経心理学、認知神経心理学

准教授・博士（文学）池田 泰子　言語聴覚士
専門分野：言語発達障害、吃音

准教授・博士（総合社会文化）石津 希代子　言語聴覚士
専門分野：聴覚障害、聴覚と脳機能、ICT教育

准教授・博士（保健学）外山　稔　言語聴覚士
専門分野：言語聴覚障害学、摂食嚥下障害学

講師・博士（言語学）川上 勝也　言語聴覚士、公認心理師
専門分野：失語症学、高次脳機能障害学、神経心理学

助教・博士（障害科学）小泉 愛美　言語聴覚士
専門分野：発語発達、言語・コミュニケーション障害、知的・発達障害

助教・修士（リハビリテーション科学）山田 晃司　言語聴覚士
専門分野：臨床神経心理学、失語症学、言語聴覚療法学

臨床検査学科



臨床検査学科長
教授・博士（保健学）栗原 由利子　臨床検査技師
専門分野：臨床化学、一般検査学

教授・博士（保健学）岡崎 充宏　臨床検査技師
専門分野：臨床微生物学、感染制御

教授・博士（工学）佐々木　聰
専門分野：分析化学、非線形科学、生命探査（アストロバイオロジー）

教授・博士（医学）吉田 祥子　臨床検査技師
専門分野：病理検査学、分子病理学

准教授・博士（保健学）榎本 みのり　臨床検査技師
専門分野：生理学、睡眠学

准教授・博士（医学）廣田 雅子　臨床検査技師
専門分野：血液検査学、免疫検査学

准教授・博士（工学）三上 あかね
専門分野：蛋白質工学、遺伝子工学、細胞工学、生体分子計測

講師・博士（医学）奥橋 佑基　臨床検査技師
専門分野：血液学、腫瘍学、分子病態学

講師・博士（医学）花尾 麻美　臨床検査技師
専門分野：生理検査学、臨床微生物学

講師・博士（医療科学）水野 元貴　臨床検査技師
専門分野：臨床生化学、血液検査学、遺伝子検査学

助教・修士（医科学）迫西 大輔　臨床検査技師
専門分野：免疫学、病理学

助教・修士（保健学）佐藤 瑞穂　臨床検査技師
専門分野：分子病理学、細胞病理学

助教・修士（保健学）勅使川原 篤志　臨床検査技師
専門分野：臨床生化学、免疫検査学、遺伝子検査学

就職特任講師・博士（工学）祖父江 かおり
専門分野：キャリア形成（理系、医療専門職、女性）、ワークライフ・バランス、価値共創



東京工科大学 大学院

GRADUATE SCHOOL



工学研究科

サステイナブル工学専攻

バイオ・情報メディア研究科

バイオニクス専攻
コンピュータサイエンス専攻
メディアサイエンス専攻

デザイン研究科

デザイン専攻

医療技術学研究科

臨床検査学専攻
リハビリテーション学専攻※

※2027年4月設置構想中・仮称。計画内容は変更になる場合があります。

イノベーティブで実践的な研究活動を通じ、「新しい知」の創造と人材育成をめざす

未来社会の持続的発展と生活の質の向上に貢献していくために、東京工科大学では革新的な技術の開発・研究をはじめとする「新しい知」の創造と、その担い手となる人材の育成に取り組む拠点として大学院を設置しています。その大きな特色は、学部教育から一貫する「実学主義」の精神を、幅広い研究・教育活動の基盤としている点にあります。グローバルな時代にふさわしい国際教養を備え、実践的な専門知識や技術を身につけた高度な技術者、研究者、職業人を養成していくことが、本大学院の最大の目的です。広範なフィールドを見据えた多彩な研究科・専攻のもと、多様でハイレベルな学術活動を展開していきます。

進学メリット

Merit 01

テーマをより深く追究することが可能で、将来性も向上

学部教育で着手したテーマをより深く追究する研究に取り組むことができ、学会での発表や産学連携研究、ほかの機関との交流など、知識や視野、人脈を広げ、経験値を高める機会が豊富。また、一般的に大学院修了者は、学部卒業者に比べ専門性の高い職種に就きやすく、生涯年収も高くなる傾向にあり、多くの業界で、研究開発職に大学院修了者が求められています。

Merit 02

国際性も身につく最先端の研究環境

東京工科大学大学院には、世界各国から留学生が集まっており、研究科によって差はあるものの、大学院全体では在学生の20%以上を外国人留学生が占めています。(2025年度実績)
さまざまな活動や研究を行う中で、自然と留学生との交流が生まれ、国際性も身につけることができます。

Merit 03

本学独自の給付型奨学金制度を用意

本学の学部からの進学者は、入学検定料や入学金を免除。これに加え大学院独自に用意されている給付型奨学金※1や授業料減免制度※1を組み合わせると、国立大学大学院並みの学費で学ぶことができます。また、大学院生の教育研究能力向上と経済的支援の観点から、TA(Teaching Assistant)制度やRA(Research Assistant)制度を充実させています※2。

※1:給付には一定の条件があります。　※2:TAなどの制度についてはP110もご覧ください。

東京工科大学大学院ならではのプログラム

学士・修士一貫早期修了プログラム　※八王子キャンパスの学部・研究科のみ

東京工科大学は、学部課程と修士課程を一貫教育として5年間で修了し、「学士」と「修士」の両方の学位を取得可能な「学士・修士一貫早期修了プログラム」を導入しています。このプログラムでは、学部2年次修了時までに特に優れた成績を修め、早期に本学大学院進学を希望する学生が、通常より早く卒業課題(卒業研究)を開始し、4年次前期修了時に卒業論文を完成させ学士の学位を取得します。また、4年次前期に大学院の一部科目も履修し、学部を卒業後そのまま修士課程に進むことで、プラス1.5年で修士の学位を取得できます。



DATA

八王子キャンパス
工学研究科／バイオ・情報メディア研究科

蒲田キャンパス
デザイン研究科／医療技術学研究科

男 282名(72.3%)　女 108名(27.7%)
2025年5月1日現在

大学院HP

特色ある専攻による

先端研究と教育

成長と社会デビューをバックアップする

未来へ向けて拡充・発展し続ける

東京工科大学大学院は、学部教育との一貫性や有機的な連携を確保しつつ、21世紀社会において特に重要度の高い分野で活躍する優れた人材を育成するために、独自性ある研究科および専攻を設置しています。ますます複雑化、多様化する現代の諸問題を解決するために欠かせない、分野横断的な知識や視野を身につけられるよう、学際的な研究に取り組める柔軟性あるカリキュラムや指導体制を整えているのも大きな特長です。

八王子キャンパス

大学院 工学研究科

サステイナブル工学専攻

博士前期（修士）課程／博士後期課程

最新の工学技術を理解したうえで、高度な専門知識や技術、コミュニケーション能力、分析評価能力、論理的思考力などを修得するとともに、多角的視点で新しい工学を探究する実践的能力を養う研究科で、博士前期（修士）課程と博士後期課程を設置。博士前期（修士）課程では、サステイナブル工学分野で活躍する高度な研究者・技術者を、また博士後期課程では、世界レベルの研究者・教育者・高度技術者・起業家などを育成することをめざしています。



大学院 バイオ・情報メディア研究科

バイオニクス専攻
コンピュータサイエンス専攻
メディアサイエンス専攻

博士前期（修士）課程／博士後期課程

バイオ・情報・メディアの学際分野の研究により、それぞれの分野において高度で実践的な知識や技術の修得を図ります。生物が持つ特性を環境や医薬品、食品、化粧品などの分野に活かすバイオニクス専攻、AIやICTによる革新的なシステムを追究するコンピュータサイエンス専攻、多彩なメディアコンテンツを創りあげるメディアサイエンス専攻を設置しています。



蒲田キャンパス

大学院 デザイン研究科

デザイン専攻

修士課程

実社会での課題解決に対して将来的な実装を目標に、高度で最新のデジタル技術を活用して豊かな発想力と造形力によるデザイン提案を広く発信できる人材を育成します。国際的な場で通用するコミュニケーション能力と計画を遂行するためのマネジメント力、徹底したリサーチによる分析評価能力と企画力、問題解決力などの優れた研究能力を併せ持ち、高度な職業人として、これからの社会で幅広く実践的に活躍できる、次世代の人材の輩出をめざしています。



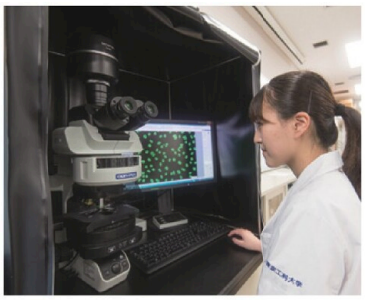
大学院 医療技術学研究科

臨床検査学専攻

修士課程

リハビリテーション学専攻
（修士課程）
※2027年4月設置構想中・仮称。計画内容は変更になる場合があります。

臨床検査学専攻では、プレゼンテーションやディベートを積極的に取り入れるとともに、少人数であることを活かした双方向の教育で、臨床検査および臨床工学の分野の高度な専門職業人として欠かせない知識・技術、判断力やリーダーとしてのマネジメント力を養成。科学的根拠に基づいて課題解決できる能力や、多面的な視点から物事を捉えて合意形成を図れる力を持ち合わせた、チーム医療を推進するリーダーとして活躍できる、人間性豊かな人材を育成します。



脳の仕組みと障害の関係をコンピュータモデルで解明する



自閉症スペクトラム障害に関する計算論的モデル評価

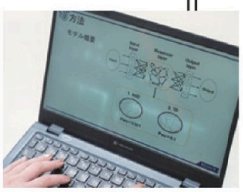
社会的なコミュニケーションに困難が生じたり、興味の範囲が狭く、独特のこだわり行動が見られたりする「自閉症スペクトラム障害（ASD）」という発達障害があります。私が取り組んでいるのは、このASDの脳の特徴をコンピュータ上で再現して調べる研究です。脳内では、神経細胞同士がつながり、情報をやり取りしています。通常は成長とともに不要なつながりが整理されますが、ASDではその機能がうまく働いていない可能性があります。そこで私は、このつながり方をモデル化し、「短時間で情報を覚えて使う力」にどのような影響が出るのかを検証しています。この研究の面白さは、脳の仕組みを数理的に理解できる点にあります。大学院では、長い研究時間を確保できるため、多くの専門知識を得られるのが魅力です。集中して取り組める環境が整っていることも、研究の支えになっています。

佐々木　光

大学院 バイオ・情報メディア研究科
コンピュータサイエンス専攻 修士課程１年（取材時）
武南高校出身（埼玉県）

これが成果！

ASDの脳と通常発達の脳をモデル化して、「作業記憶」という能力を評価するテストを行った結果、ASDモデルの正答率が明らかに低くなることがわかりました。これは、脳のネットワーク構造の違いが、脳機能に直接影響する可能性を示すものです。この成果を「ファジィシステムシンポジウム」という学術会議で発表し、優秀発表賞を受賞しました。



まだまだ未解明な部分が多い脳の仕組みを解明していくのがこの研究の醍醐味

「まだ誰も調べていない」を原動力に医療の課題解決へ



日本の河川由来の抗菌薬耐性大腸菌を研究

大学卒業後、企業への就職も視野に入れ、高度なデータ収集能力やコミュニケーション能力を身につけるため、大学院への進学を決めました。大学院生活では、後輩への指導を通して自分の知識が確かなものになり、自分の考えをはっきり伝えられるようになったと感じています。

現在は、多摩川から採取した抗菌薬が効かない特徴を持つ大腸菌について研究しています。日本の河川由来の菌株を用いて調べた報告がなかったことから選んだテーマで、実験は１回につき最低４日間かかり、3〜4時間座りっぱなしになることもあります。大変な作業ですが、世界で未解明の事柄を明らかにし、その結果を初めて目にできる点にやりがいを感じています。

大学院修了後は新薬の開発に関わる仕事に就きます。薬や法律の勉強が必須となるため、大学院で培った情報収集能力を活かしたいです。

上原 凛子

大学院 医療技術学研究科
臨床検査学専攻 修士課程２年（取材時）
横浜商科大学高校出身（神奈川県）

就職先
株式会社メディサイエンスプラニング

これが成果！

抗菌薬耐性菌は増加傾向にあり、何も対策が取られなければ2050年には1,000万人の死者が出るとされていることから、私が取り組む研究が防止に役立てばと思います。本研究で使用する菌は8〜9年前のものなので、経年により検出されるプラスミド（耐性を決めるDNA）の型や他の菌への伝達のしやすさに変化はあるのか興味を持って注視しています。

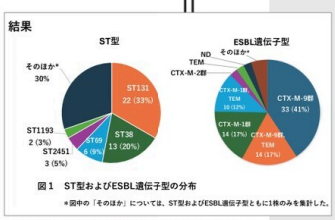


図１　ST型およびESBL遺伝子型の分布
＊図中の「そのほか」については、ST型およびESBL遺伝子型ともに1株のみを集計した。

河川中の大腸菌の種類と薬剤耐性遺伝子の内訳を調査しました

学生生活におけるサポート体制

ベストケア

Best Care

入学から卒業、就職・進学まで、一人ひとりの個性や目標に合わせた丁寧な指導と、きめ細やかな支援を行います。
学生が実学主義の教育を通して、個人の成長と学修の目的を達成するためのものと、
4年間安心して勉学やサークルなどの課外活動に取り組める環境を整え、
学生生活をサポートする取り組みがあります。











入学前サポート

高校で学んだ内容をしっかり復習し、大学での授業に備えます。

入学前の基礎知識固めを支援

入学前準備教育

総合型選抜、学校推薦型選抜、編入学の合格者（入学予定者）を対象に、入学前に学んでおくべき内容を固める入学前準備教育を実施しています。これは基礎知識を定着させ、入学後、大学の学びにスムーズに順応できるように準備するものです。基礎的な知識が身についていれば、大学で受ける教育の効果も高まり、のちの就職活動、国家試験（医療保健学部）、資格試験にも生きてきます。実施状況は学部により異なりますが、3ヵ月間ほど、きめ細かな添削指導が行われます。

利用した学生の声

化学

高校で選択していなかったので、映像授業と確認テストで勉強ができて良かったです。

数学

数学は忘れてしまっている内容が多かったので、大学に入る前にしっかりと復習することができて助かりました。

英語

長文はとても苦手だったのですが、講師の先生がとてもわかりやすく、面白かったので楽しく学べました。

学部別の入学前準備教育（2026年度入学者実績）

コンピュータサイエンス学部	「数学」「英語」「表現力」
メディア学部	「数学」「英語」「小論文」
工学部	**機械工学科**：「数学」「物理」 **電気電子工学科**：「数学」「物理」 **応用化学科**：「化学」
応用生物学部	「数学」「化学」
デザイン学部	実技系の課題に加え、英語の基礎力を高めるための課題に取り組み、入学後の学びへスムーズに導きます。
医療保健学部	医療分野を学ぶうえで必要な「生物」「化学」「物理」「数学」「日本語」を総合的に学びます。並行して、学科・専攻が指定する2科目（生物、化学、物理、数学、ロジカルライティング、データベースドシンキングの中から2科目）を重点的に学習します。

学修サポート

目標・目的に合わせて利用できる環境とプログラムを提供します。

自分に合ったフォローがうれしい

学修支援センター

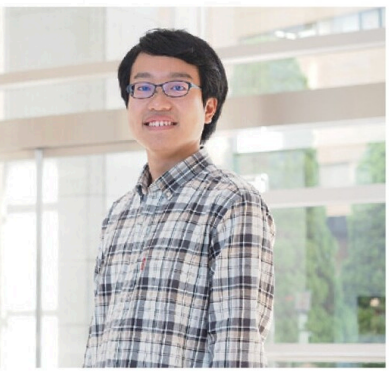
専門分野の知識を修めるためにも基礎学力は欠かせません。学修支援センターは、学力の強化を目的に設置され、教養学環の教育と連携を図りながら、数学・英語・物理・電気回路・生物・化学・生化学・有機化学・文章表現の豊富な指導歴を持つ指導員と、プログラミングに詳しい大学院生が常駐し、個別の質問に対してアドバイスや指導を行っています。家庭教師のようにマンツーマンで学べることが大きな特長で、不得意科目の克服や基礎固め、そして専門科目に至るハイレベルな知識の修得など、どんな利用法にも対応。学生からは、理解度に合わせて教えてもらえる、気軽に利用できると好評で、多くの学生が利用しています。なお、編入学試験合格者は、入学前でも当センターを利用することができます。（指導体制は八王子、蒲田のキャンパスによって異なります）

Students' Voices

学修支援センター利用

1 年生の頃、物理や数学の講義でわからない問題があり、友人と一緒に学修支援センターを訪ねました。友人同士で教え合うだけでは理解が不十分な部分もありましたが、センターの方から的確な助言をもらい、疑問を整理しながら解消することができました。基礎から丁寧に教えてもらえることを実感したので、テスト前は混み合うことを見越し、疑問があれば早めに相談するよう心がけるようになりました。その積み重ねにより、国家試験で求められる工学系の複雑な問題にも落ち着いて取り組めるようになりました。基礎が身につくことで理解の幅が広がり、今の学びを支える確かな土台になっていると実感しています。

基礎学力定着に有効。
疑問が湧いたら
早めに質問するように心がけた



石井 翔貴

医療保健学部 臨床工学科4年（取材時）
武相高校出身（神奈川県）

Best Care

担当教員の支援がある

アドバイザー

東京工科大学の「Best Care」のひとつとして、担当教員によるアドバイザー制度を導入しています。これは担当教員から学生が履修計画や大学生活全般、将来のキャリア形成について相談とアドバイスが受けられるというもの。1年次から卒業研究室配属まで学生一人ひとりにきめ細かく対応し、卒業研究室配属後は、指導教員が密にコミュニケーションを取り、学生生活が有意義で充実したものになるよう、学修と進路の両面から支援しています。

個々のレベルアップを図る

GPA

東京工科大学では、学業成績を測る基準としてGPA制度を採用しています。GPAとは「Grade Point Average」の略。S、A、B、C、D、Xの成績評価を4.0～0.0の数値に置き換えることで客観的に成績が把握できるようになります。GPAを目安にして計画的に履修すること、学修目標を明らかにし個々のレベルアップを図るようにすることが目的であり、成績の振るわない学生に対し、担当のアドバイザー教員が中心となって適切な指導を行うことにも活用されます。

他大学の科目を履修できる

単位互換

東京工科大学は、「大学コンソーシアム八王子」に参加しています。参加大学との間で単位互換協定を締結しているため、各大学の特色ある科目をお互いに履修することが可能であり、本学にはない分野を学び、より広い知見を獲得することができます。この制度を活用して取得した単位は、本学の単位としても認定します。（認定単位数については上限があります）

幅広い視野を持ちたい

他学部・他学科開講科目の履修

専門分野に限定された知識だけではなく、幅広い視野を持ち、柔軟な思考力や深い考察力を持った人材を育成するため、東京工科大学では、他学部・他学科開講科目の履修を認め、在籍する学部・学科以外の開講科目を受講できるようにしています。学生はさまざまな分野の知識を養うことができ、自身の専門分野への応用や展開など多くのメリットがあります。理工系総合大学ならではのこの学修制度で履修した科目は、卒業単位として認定されます。（認定単位数については上限があります）

先輩が授業を支援

SA・TA・RA

Student Assistant・Teaching Assistant・Research Assistant

学部生が授業を支援するSA制度や、大学院生が授業補助を行うTA制度を導入しています。さまざまな講義や演習にSA・TAが参加し、学生の理解をアシスト。同じ授業を経験した先輩が対応してくれるため、質問もしやすくわかりやすいと、好評を得ています。また、成績優秀な大学院生が本学の研究プロジェクトなどに参加するRA制度も用意しています。これらの制度では給与が支払われます。特に、TA・RA制度は大学院生を経済的に支援することも目的としています。

新入生の不安に寄り添う

先輩学生のサポート

大学生活の最初の一歩は、期待と不安が入り混じるものです。東京工科大学のコミュニティは、4月の新入生学部交流会から始まります。経験豊富な先輩学生とともに、学部の特徴やカリキュラムについて理解を深めながら、友人をつくることができます。さらに、フレッシャーズゼミでの質問や相談など、各学部の特色に合わせたさまざまな場面で、先輩学生が学生生活や学びに関してサポートしてくれます。

大学教育・研究の質を高める

IRセンター

特長

- 教育・研究に関する情報の収集と分析
- 学生の学修動向・教育成果のモニタリングと分析
- 教育・研究活動の企画・推進など

革新的で魅力的な大学として今後も存続するためには、さらに大学教育・研究の質を高め、健全な管理運営を確立するための改革を推し進めていくことが必要です。東京工科大学では、大学内の情報収集を行い、集めた情報を数値化・可視化し、分析した結果を、これからの大学教育や研究、学生サポートの改善・改革に活用していくことを目的に、「IR（Institutional Research）センター」を設置しています。

大学院をめざすなら

学士・修士一貫早期修了プログラム

（八王子キャンパスの学部・研究科のみ）

本学では、優秀な学生が早期に大学院進学をめざすことを目的とした「学士・修士一貫早期修了プログラム」制度を設けています。大学院で修士を取得するには、通常は最短でも学部課程4年＋修士課程2年＝6年が必要です。しかし、このプログラムでは、意欲と能力のある優秀な学生なら、最短5年間で修士課程まで修了できます。卒業に向けた研究を半年早く開始することで、学部を3.5年で早期卒業。さらに、4年次前期には大学院の一部の科目を履修するため、学部を早期卒業後1.5年で修士の学位を取得可能です。これにより、早い時期からハイレベルな学問や研究に打ち込めるのはもちろん、学費の負担も軽くなるメリットがあります。

PC操作が不安なときは

PCサポートセンター

本学では全学生ノートPC必携です。例年約8割の新入生が入学時に本学が推奨するノートPCを購入し、授業はもちろん、学内情報の入手など学生生活のあらゆる場面で活用しています。また、八王子と蒲田の両キャンパスに「PCサポートセンター」を設置しており、専門スタッフが基本操作や不具合に関するアドバイス、修理や主要ソフトウェア（OS、Office、アンチウイルスソフトなど）のバージョンアップなどに対応。そのほか、八王子キャンパス図書館棟3Fのラウンジや蒲田キャンパス3号館・12号館には、データの印刷が自由に行える「プリントショップコーナー」もあります。

その他のサポート

大学生活をより豊かにする多彩なサポートが、ここに揃っています。

環境に優しい移動手段

無料スクールバス

（八王子キャンパス）

八王子キャンパスは、近隣の駅とキャンパスを結ぶ無料のスクールバスを運行しています。JR「八王子みなみ野」駅と学生会館（寮）からは約5分、JR「八王子」駅からは約10分。通学が集中する時間帯には、数分間隔でバスを運行しています。2023年10月には、優れた環境性能を持つ燃料電池バスを導入しました。

学びの深化をサポートする

図書館

八王子、蒲田の両キャンパスの図書館では、学修・研究に必要な資料を提供しています。各キャンパスの設置学部に配慮した蔵書を充実させることはもちろん、幅広い分野の資料を用意しています。また図書館内には、個室や映像を視聴できるコーナーも設置しています。2025年4月には、八王子キャンパスの図書館が全面リニューアル。ミーティングやグループワークも可能で、学生のアクティブラーニングを促進します。

大学生活を より充実させるイベント

スポーツ大会

年に一度、八王子キャンパスの充実した体育施設を利用して開催されるスポーツ大会は、全学部合同で行われます。他学部の学生、八王子と蒲田それぞれキャンパスの異なる学生が一堂に会し、テニス、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ボルダリングなどで熱戦が展開されます。なお、企画から運営については、体育会系学生役員を中心とした多くの学生スタッフによって行われています。

心身ともに健康で 学ぶために

ヘルスサポートセンター

学生の健康相談や応急処置などのフィジカルヘルス、学生生活を送るうえで生じるさまざまな悩みや精神障害などのメンタルヘルス、また、障がい者支援について、看護師や公認心理師、臨床心理士、作業療法士の有資格者が、学生生活をサポートします。医務室と学生相談室からなるヘルスサポートセンターで、「からだの健康」「こころの健康」「障がい支援」などについて、相談できる体制を整えています。

いつでも学生生活の 疑問に答えてくれる

ChatBot

学生生活の中で生じるさまざまな疑問に対応するため、24時間利用可能を導入しています。シナリオ型のChatBotであり、定型的な問合せや手続きに即対応し、回答結果を学習・蓄積することで、日々回答精度の向上を図っています。時期にもよりますが月間2,000件を超える利用実績があり、身近な相談窓口として、学生ニーズに応えるサポートとなっています。

奨学金

学生が学業に集中し、より積極的に自己成長や将来の目標に向かって学ぶための支援制度です。

奨学生入試（2026年度入試実績）

本学では、“実学主義”の教育を通して社会で活躍できる前途有為な人材を育成するために、全学部において「奨学生入試」を実施。奨学生合格者（全学部合計103名）として入学した方には、返還義務のない年額130万円の奨学金を最長4年間【520万円】支給します。さらに、奨学生入試では、奨学生合格者のほかに一般選抜免除合格者も発表しています。詳細は、募集要項などでご確認ください。

奨学金制度等

日本学生支援機構奨学金制度は、例年全学生の40%ほどの学生が利用しています。
また、成績・経済状況などにより、各地方自治体の奨学金制度や適切な奨学金を受けることができます。
さらに本学独自の奨学金制度として、大新東奨学金、有隣堂奨学金、東京工科大学同窓会奨学金など充実した奨学金制度を設けているほか、医療保健学部 看護学科を対象とした東京都看護師等修学資金もあります。なお、実施状況は学部により異なります。

表彰制度

学生の努力や創意工夫、大学への貢献を評価することを目的として、表彰制度を設けています。一部の表彰では、副賞として奨励金を支給します。詳細は入学後、学生便覧などでご確認ください。

高等教育の修学支援新制度

2020年度からスタートした国の支援措置。授業料や入学金の免除または減額が受けられる制度で、本学はこの制度の対象となっています。詳しくは日本学生支援機構や文部科学省のHPをご覧ください。

Students' Voices

学ぶ意欲がチャンスに変わる。奨学生入試で広がる可能性

奨学生入試



古跡 愛咲
コンピュータサイエンス学部2年（取材時）
高等学校卒業程度認定試験合格

私は兄弟が多いため、親の負担を軽くしたくて奨学生入試の制度を利用しました。この入試で奨学生合格者として入学すると、多子世帯の無償化など「高等教育の修学支援新制度」と併用ができ、国と大学の両方から支援を受けられるメリットがあります。また、奨学生入試を意識したことで、初めて目標を立ててしっかり勉強するようになり、この入試で自分が変わったと実感しています。加えて、入学後も成績が悪ければ奨学金が打ち切られるため、常にそのラインを意識して勉強に励んでいます。

※当インタビューの内容は当時の入試制度に基づいています。
2027年度入試の情報は決定次第、本学HPや募集要項でお知らせします。

東京工科大学同窓会奨学金制度（2025年度実績）

経済的に学業の継続が困難になった在学生の支援を、東京工科大学同窓会奨学金予算をもって行う制度です。支給額は10万円で返済の義務はありません。

卒業生、在校生のご子息等入学金免除制度（2026年度実績）

東京工科大学をはじめ、日本工学院専門学校など、学校法人片柳学園の卒業生または在校生のご子息、ご令嬢、ご令孫、ご兄弟姉妹、配偶者が東京工科大学の学部に入学される場合、その際の入学金が全額返還される制度です（医療保健学部は入学金のうち25万円を返還します）。

学費サポートプラン

大学と提携したクレジット会社を利用できる制度。利用者はクレジット会社に分割納付が可能で、大学への納付金や寮費の支払いはクレジット会社が立て替えます。詳細はHPをご覧ください。

看護学科／東京都看護師等修学資金

将来、都内で看護業務に従事する意思のある方を対象に、修学を支援する東京都の修学資金貸与制度があります。都内の看護師等養成施設である本学では、大学を通じてお申し込みいただけます。

HACHIOJI 八王子キャンパス CAMPUS

「最先端と自然が調和する未来型キャンパス」



1 片柳研究所

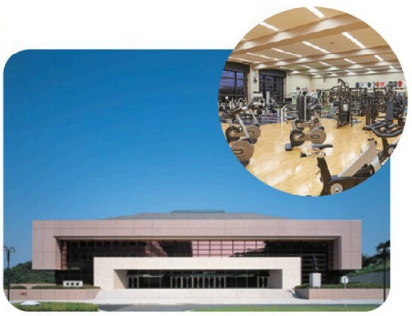
バイオナノテクセンターをはじめ最先端の研究設備が整う片柳研究所。多彩な産官学共同研究が行われています。

八王子キャンパスは、
コンピュータサイエンス学部とメディア学部、
工学部、応用生物学部と大学院、
片柳研究所などからなります。敷地は約38万㎡。
周囲の緑と先端の教育・研究施設が美しく調和して配置されています。

2 屋外スポーツ施設

屋外にも充実したスポーツ施設を完備しています。





3 体育館

体育館には、アリーナや武道場のほか、トレーニングルームなどの施設も用意されています。



4 視聴覚ホール

約600名収容の視聴覚ホール。250インチのリア投影式プロジェクタ、300インチのハイビジョン対応プロジェクタ、5.1chサラウンドの設備を整えています。



7 図書館

2025年にリニューアルした図書館は、自修や読書だけでなく、ミーティングやグループワークの場としても活用できる、多機能で快適な空間です。学生の声を反映したデザインで、アクティブラーニングを促進する環境を実現。雑誌や展示を楽しめるコーナーも充実し、ICタグ管理によるスムーズな貸し出し・返却システムも導入しています。



5 緑とアートが広がるキャンパス

奥には教育施設が集積する研究棟、講義棟らがそびえます。ほぼすべての教室の席に電源コンセントを完備し、Wi-Fiを活用した講義が行われています。



8 コモンラウンジ

図書館にはイケア・ジャパンの協力による広々としたラウンジも併設しています。





6 メディアホール

映像、編集、音声のスタジオと大規模教室が入るホールです。



9 FOODS FUU

キャンパスの憩いのスペース FOODS FUU。飲食店やコンビニ、書店などが揃っています。

ロケ実績

あの映画もドラマもCMも八王子キャンパスから！

TV番組

NHK
『MUSIC AWARDS JAPAN 2025』
テレビ朝日
『ロンドンハーツ』

映画

『妖怪シェアハウス』
『エイトレンジャー2』

ドラマ

テレビ朝日
『ちょっとだけエスパー』
『仮面ライダー』
TBS
『花のち晴れ～花男Next Season～』
『マイ・セカンド・アオハル』
『ブラックペアン2』
『ライオンの隠れ家』
フジテレビ
『私は整形美人』
テレビ東京
『釣りバカ日誌』
『侠飯～おとこめし～』
WOWOW
『孤高のメス』

CM

『レノア抗菌ビーズ』
『Amazonプライム・ビデオ』
『ユニクロ』『ムヒHD』
『セブン-イレブン』
『カロリーメイト』
『黒騎士と白の魔王』
『ジョージア』『Fortnite』

ミュージックビデオ

『SKE48』
『Hey! Say! JUMP』
『Little Glee Monster』
ほか

KAMATA 蒲田キャンパス CAMPUS

「交通アクセスも良好な都心型キャンパス」



1 3号館

キャンパスのシンボル3号館。地上20階、地下1階建ての校舎に、充実した学修環境を整えています。

デザイン学部と医療保健学部、大学院の学生が学ぶ蒲田キャンパス。
蒲田駅から徒歩2分の立地でありながら、広々とした庭園（セントラルプラザ）を配備。四季折々の花が学生たちを迎えます。また、セントラルプラザの地下には、多目的アリーナが設けられています。

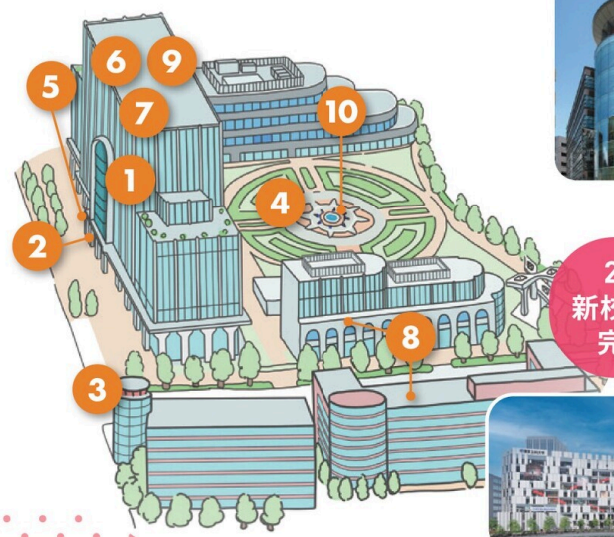
2 3号館エントランス

高い天井と大きな窓、大理石の壁が印象的な3号館エントランス。



3 12号館

充実した実習設備が整う12号館は、医療現場さながらのバリアフリーとなっています。



4 日本工学院アリーナ

地下には、舞台付きで多目的に利用可能なアリーナを設置。電動収納観客席を備え、各種コンサートや公演が開催されるほか、公式バスケットボールコート4面をカバーする室内競技アリーナとしても利用可能です。



2029年 新校舎（一期）が完成予定



完成イメージ



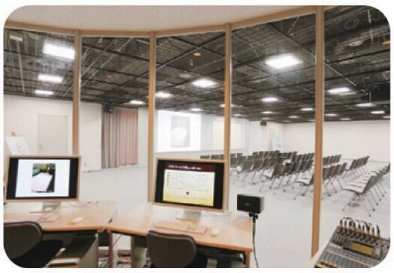
5 大講義室（片柳記念ホール）

片柳記念ホールには、講義はもちろん、国際会議や著名人の講演会にも対応可能な設備が整っています。



8 FOODS FUU

通りを挟んだ両サイドには、2つのFOODS FUU（学食）が。デザートを含む幅広いメニューを取り揃え、学生のキャンパスライフを支えます。



6 プレゼンテーションルーム

デザイン学部のプレゼンテーションルームには、高解像度・高輝度プロジェクターを完備。作品展示にも使用されます。



IKEAのインテリアで
リラックス！



9 学生ラウンジ

多くの学生でにぎわう学生ラウンジ。3号館の地上12階にあり、眺めも良好。フロア内にはIKEAの家具で整えられたスペースも併設。



7 図書館

豊富な蔵書を誇る図書館には、映像を楽しめるスペースや個室、ミーティングルームなどの設備も完備。



10 セントラルプラザ

駅から徒歩2分という立地ながら、キャンパスの中心には広々とした庭園を設け、オブジェや季節を感じさせる花々を楽しむことができます。

多くの舞台を支える
蒲田キャンパス！



ロケ実績

映画

『推しの子』『ハケンアニメ！』

ドラマ

テレビ朝日

『ドクターX
～外科医・大門未知子～』

Amazon プライムビデオ

『推しの子』

TV 番組

TBS

『音楽の日』

日本テレビ

『高校生クイズ全国一斉地区予選（関東会場）』
『全日本歌唱力選手権 歌唱王』
『欽ちゃん&香取慎吾の全日本仮装大賞』
『欽ちゃんの1000人ライブ』

NHK

『18祭』（ONE OK ROCK、WANIMA、RADWIMPS、[Alexandros]、あいみょん、BUMP OF CHICKEN、YOASOBI、Mrs.GREEN APPLE、Vaundy）

LIVE

『ENEOS×DREAMS COME TRUE ドリカム30周年前夜祭アンコール～ドリカムの夕べ～』

スポーツ

『B.LEAGUE 残留プレーオフ』

イベント

AKBグループ『ユニットじゃんけん大会』
日本高校ダンス部選手権『DANCE STUDIUM（決勝大会）』
avex主催『DANCE CLUB CHAMPIONSHIP（関東大会）』
文化放送『宮野真守のRADIO SMILE（公開録音）』
『斉藤壮馬・石川界人のダメじゃないラジオ（イベント）』
『鬼滅の刃』スペシャルイベント～鬼滅の宴～
『ゆるキャンΔSEASON3』スペシャルイベント
『忘却バッテリー』スペシャルイベント　『NHK学生ロボコン』
ほか

一年を彩る行事と、

年間行事

知的好奇心を刺激する授業はもちろん、スポーツ大会、学園祭とイベントも目白押しです。

4月
- 入学式
- 新入生ガイダンス
- 前期授業開始
- 新入生学部交流会
- 春期保護者個別面談会（2～4年次）

5月
- スポーツ大会



6月

7月
- 前期授業終了
- 前期末試験（7月下旬～8月上旬）

8月
- 夏期休暇
- インターンシップ



9月
- 海外研修
- 海外語学研修
- 集中実技
- 後期授業開始

10月
- 紅華祭（八王子キャンパス学園祭）
- 秋期保護者個別面談会



11月
- かまた祭（蒲田キャンパス学園祭）

12月
- 冬期休暇

1月
- 後期授業終了
- 後期末試験



2月
- 集中実技
- 海外研修
- 海外語学研修

3月
- 進級・卒業判定
- 学位記授与式（卒業式）
- 在学生ガイダンス



サークル紹介

東京工科大学には学園祭実行委員会のほか、文化系、体育会系合わせて約80のサークルが活動しています。多くの学生が、積極的に活動に取り組み、充実したキャンパスライフを過ごしています。

八王子キャンパス

文化会（部・同好会）

軽音楽部
写真部
ボランティア・コネクション
Advanced Creators（音響・照明）
ロボット研究部
クリエイティブスタッフ（ゲーム制作）
総合音楽部Jacla（インストバンド）
サウンドジェネシス（バンド・シナリオ制作・DTM）
クロイツェル室内管弦楽団
吹奏楽団
美術倶楽部
Creation（イラスト制作）
テクノ同好会（DJ・DTM）
天文サークル
赤平（アカペラ）
Linux Club（プログラミング）
鉄道交通研究同好会
EventLayers（コスプレ）
化粧品研究サークル LCC
ポケモンサークル
e-SportsサークルA2Z
化学サークル
ボードゲーム&TRPG研究部 Level1
SOUNDIX（リズムゲーム）
CRAFTALE（小道具制作）
将棋サークル
Passion & Passion（オールラウンド）
映像制作サークル
mahoroba（映画研究サークル）
ハリーポッターサークル
Qubit（クイズ研究サークル）

体育会（部・同好会）

バドミントン部
弓道部
軟式野球部
バレーボール部
陸上競技部
硬式庭球部
ワンダーフォーゲル部
剣道部
アメリカンフットボール部
ボウリング部
空手道部
硬式野球部
卓球部



WIZARD（硬式・軟式テニス）
Re:アミーゴ（バドミントン）
XII MJ（バスケットボール）
蹴球同好会（フットサル）
Tec Academy（ダンス）
すごいつりざお
ダーツサークル遊矢
スポーツシューティングサークル（サバゲー）
Guardian Bell（ツーリング）
フィギュアスケート
水泳部
ちいさな雪だるま（スキー・スノーボード）



2026年1月確認時点

紅華祭実行委員会（学園祭実行委員会）

化粧品研究サークル LCC



化粧品好き集まれ！つくって、学んで
楽しめるLCCで最高の大学生活を送ろう！

化粧品研究サークルLCCは、化粧品に興味がある学生が集まる楽しいサークルです。リップクリームやヘアオイルづくり、コスメの比較など、化粧品に関する幅広い活動を行っています。紅華祭ではクレープやハンドクリームの模擬店を出店し、八王子のイベントでもハンドクリームを販売するなど、地域に根ざした活動も魅力のひとつ。また、自分たちで香りやテクスチャー、容器まで企画した化粧品を製造・販売する経験ができ、化粧品業界をめざす方には貴重なスキルを身につけられる場です。サークル内ではクリスマスパーティーや交流会なども開催され、学年を越えて部員同士の仲が深まります。男女問わず参加しやすく、友達づくりや大学生活の充実を求める方にぴったりです。優しい先輩たちと一緒に、明るく楽しいLCCで素敵な大学生活を送りましょう！

活動日	毎週水曜日	所属人数	136人
活動場所	研究棟A502		

サークルの魅力は、共通の趣味や目的を持った仲間と
出会えるところ

活動の場が広がるサークル











蒲田キャンパス

文化会（部・同好会）

軽音楽部
アニメーション制作部（AACS）
写真部（デジパシャ）
総合創作部
演劇同好会
美術同好会（トゥトゥアートクラブ）
工業・空間デザイン研究同好会
天文同好会
ワークショップデザイン同好会（Crew Project）
ボードゲーム同好会
コスプレ同好会（cosサー!!）
プラモデル同好会
メディアアート同好会
デザインスキル同好会
リハビリテーション研究同好会（OTサークル）
手芸同好会（Craftive Club）
電子音楽同好会

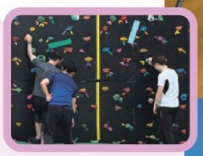


体育会（部・同好会）

羽球部
ロッククライミング部（K-WALL）
ダンス部（BAZZ）
軟式野球同好会
バレーボール同好会
フットサル同好会（FC.divelt）
バスケットボール同好会
ソフトテニス同好会
剣道同好会

2026年1月確認時点

かまた祭実行委員会（学園祭実行委員会）



ロッククライミング部（K-WALL）

自分のペースで挑戦できる！

成長と達成感を楽しめるボルダリング

ロッククライミング部は、秋葉原や渋谷のジムを拠点に、月3～4回活動しています。部員同士が連絡を取り合い、自分のペースで自由に参加できるのが特徴です。活動には毎回5～10名ほどが集まり、初心者から経験者まで気軽に楽しめる環境が整っています。夏は伊豆や軽井沢での合宿、冬はスキーやスノーボードといったイベントも実施。学内のスポーツ大会では業者協力のもと壁を設置し、体験会や競技会を開催しています。部員同士のコミュニケーションを大切にし、友達を増やしながら達成感を味わえるのがこの部の魅力です。難易度で分かれているため、力に自信がない人でも挑戦しやすく、目に見える成長が楽しみのひとつです。興味があれば体験会にぜひ足を運んでください！一緒に挑戦する楽しさを味わいましょう！

活動日	月3～4回程度	所属人数	65人
活動場所	B-PUMP TOKYO 秋葉原、NOBOROCK 渋谷店		



学生たちのリアルボイス　先輩に聞いてみた！

ホンネ DE ワクワク

「すぐ聞ける」って思っていた以上に心強い

わからないことを後回しにせず、
専門の先生にすぐ相談できる距離感です。



学びが社会とつながっている

企業との共同研究を通して、
現実の課題に向き合う経験ができました。



海外で学ぶことで見える景色が変わった



語学力だけでなく、
海外大学での学びや異文化交流を通して、
考え方や視野が大きく広がりました。

「すごい先生」に出会えた



専門分野の第一線で活躍している先生から、
直接話を聞けるのは大きな刺激でした。

研究室で、「これ面白い」が生まれる

先生と一緒に最先端のテーマに向き合う時間が、
自分を大きく成長させてくれます。



とにかく本格的



AIや情報セキュリティなど、
これからの時代に直結する内容を学べます。

東京工科大学って



大学生活って
こういう瞬間があるんだ

昼休みに突然始まったゲリラライブに、
大学ならではの自由さと驚きを感じました。

何気なく目に入る景色が
気持ちを整えてくれる

広々としたキャンパスの景色を眺めると、
自然と気分が切り替わる瞬間があります。



研究を「すごい世界の話」で
終わらせない

最先端の研究が行われている大学だと知って、
これから何ができるのか、期待が膨らみました。



自由だけど
迷わない

考え抜かれたプログラムだからこそ、
自分のペースでのびのび学べます。

実際にやる

見て終わりではなく、自分の手で試す。
その積み重ねが、学びをリアルにしてくれます。

つくったものが誰かに届く

作品やアイデアが実際に使われた経験は、
大きな達成感につながりました。

つくることの
楽しさを知った

口紅やアイシャドウを実際につくる体験は、
純粋にワクワクしました。



「ひとりじゃない」と
思える仲間がいる

同じ実習や試験を経験してきた仲間と、
一緒に成長してきた実感があります。



どんなところ？

STUDENT DORMITORY

安心で便利な暮らし

学生寮



MAP

Point!!

八王子みなみ野駅のエキチカにある安心で便利な学生寮



快適!

JR横浜線「八王子みなみ野」駅から近く、周辺環境も整っており、快適な学生生活を送ることができます。

無料バス

スクールバスが無料で運行されており、通学が快適です。

充実の設備

各部屋には無料のWi-Fiが完備されているほか、コインランドリーや宅配ボックス、レクリエーション施設など、多彩な設備が整っています。



しっかりセキュリティ

各寮には舎監が常駐し、オートロックを採用するなど、安全面に配慮しています。

食事メニューも充実

学生会館の食堂では管理栄養士がメニューとレシピを作成し、学生の年齢や栄養のバランスを考慮して食事を提供しています。

買い物が便利!

近くに大型スーパーが入ったショッピングモールやホームセンターがあり、日常の買い物がとても便利です。



スクールバス

八王子キャンパスまではスクールバスで約5分

無料です!

トヨタの燃料電池バス(FCバス)「SORA」をスクールバスとして導入! 優れた環境性能と、騒音や振動が少ない快適な乗り心地を兼ね備えています。





入寮金・部屋代等について

「第1学生会館学生寮奨学生制度」があります。詳細はこちら

		入寮金(入寮時のみ)		部屋代等(内訳)					入寮金と部屋代等の合計		
				部屋代(月額)	食費(月額/朝・夕2食付)	水道光熱費(月額)	清掃費(月額)	管理費(月額)	入寮時(入寮金および部屋代等)(6ヵ月分)		入寮後(6ヵ月分)
第1学生会館	男女寮	4年間 3年間 2年間	200,000円 150,000円 100,000円	26,000円	21,000円	8,000円	2,000円	2,000円	4年間 3年間 2年間	554,000円 504,000円 454,000円	354,000円
第2学生会館	女子寮	4年間 3年間 2年間	260,000円 195,000円 130,000円	36,000円		10,000円	3,000円		4年間 3年間 2年間	692,000円 627,000円 562,000円	432,000円
第3学生会館	男女寮										

●寮費などの納入は半期毎(6ヵ月毎)になります。また、寮費についても本学園と提携しているオリコ、ジャックス、三井住友カードの「学費サポートプラン」が適用されます。 ●食事は月～土曜日までの授業開講日にあわせ、年間240食前後の朝食および夕食の提供を行います(日曜・祝日および休業期間中の給食は行いません)。なお、1年間に必要な食費を12等分のうえ、月額とします。月によって提供数のばらつきがあります。 ●電気(全会館)、水道(第2・第3学生会館)の使用量が多い場合、超過料金を徴収することがあります。 ●既納の入寮金・寮費は、原則として返金しません。 ●途中退寮の場合は、残りの月数により食費の一部(12,000円/月)を返金します。 ●申し込み多数の場合は抽選となります。 ●詳細は東京工科大学学務課学生係(TEL 042-637-2114)までお問い合わせください。

第1・2学生会館

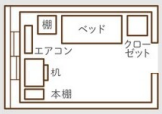


第1学生会館（男女共用）

- 所在地　八王子市みなみ野1-6-2
- 通学時間　スクールバスで約5分
- 構造　鉄筋12階建・全室洋室（大浴場・トイレ共用）
- 部屋の広さ　10㎡
- 部屋の定員　1名
- 食事　朝・夕2食付
- 施設

ベッド・机・イス・本棚・クローゼット・電気スタンド・エアコン・カード式電気錠・インターネット接続（無料）・コインランドリー・シャワールーム・食堂・共同キッチン・オープンスペース・ワークルーム1・ワークルーム2・映像ラウンジ・映像ルーム・防音室・宅配ボックス
※女子学生は第2学生会館の女子専用ラウンジ使用可
※第3学生会館の学習室使用可

バス・トイレ共用
24時間のシャワールーム有り



定員　男子395名　女子105名



共同キッチン

第1学生会館には共同キッチンが設置されており、調理を楽しむことができます。

おふろでリラックスタイム

明るくクリーンな大浴場は、広々として開放的。仲間と一緒の気持ち良いバスタイムが楽しめます。隣接するシャワールームは、24時間利用可能です（第1学生会館）。





プライベートな空間

プライベート面にも配慮された部屋には、ベッドからイス、机、本棚、クローゼット、エアコンなどの備品を完備。インターネットも無料です。

第2学生会館（女子寮）

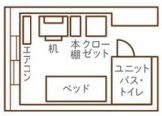
女性専用！

第2学生会館は、女性専用の学生寮です。
セキュリティをはじめ、女性が安心・快適に生活できるように環境が整えられています。

- 所在地　八王子市みなみ野1-6-8
- 通学時間　スクールバスで約5分
- 構造　鉄筋12階建・全室洋室（バス・トイレ付）
- 部屋の広さ　14㎡
- 部屋の定員　1名
- 食事　朝・夕2食付
- 施設

ベッド・机・イス・本棚・クローゼット・電気スタンド・エアコン・カード式電気錠・インターネット接続（無料）・コインランドリー・食堂・女子専用ラウンジ・宅配ボックス
※第1学生会館の共同キッチン・オープンスペース・ワークルーム1・ワークルーム2・映像ラウンジ・映像ルーム・防音室、第3学生会館の学習室使用可

女性専用
全室バス・トイレ付



定員　女子200名

第3学生会館

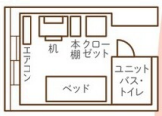


第3学生会館（男女共用）

- 所在地　八王子市みなみ野1-7-1
- 通学時間　スクールバスで約5分
- 構造　鉄筋11階建・全室洋室（バス・トイレ付）
- 部屋の広さ　14㎡
- 部屋の定員　1名
- 食事　朝・夕2食付
- 施設

ベッド・机・イス・本棚・クローゼット・電気スタンド・エアコン・カード式電気錠・インターネット接続（無料）・コインランドリー・食堂・学習室・ワークルーム・ラウンジ・宅配ボックス
※第1学生会館の共同キッチン・オープンスペース・ワークルーム1・ワークルーム2・映像ラウンジ・映像ルーム・防音室使用可

バス・トイレ付きの
ワンルームタイプ



定員　男子352名　女子100名

※学生会館は、併設校である日本工学院八王子専門学校との共有です。原則フロアが別になっておりますが、一部フロアは共有しています。

Students' Voices

便利で快適な毎日に大満足。交流が広がるのも魅力です！

第3学生会館



松村 春輝
コンピュータサイエンス学部4年（取材時）
県立富岡高校出身（群馬県）

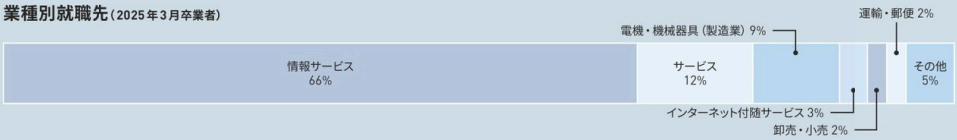
学生寮を選んだ理由のひとつは、八王子みなみ野駅前の好立地にあり、スクールバスで大学へのアクセスがとても便利なことです。また、部屋の広さを考えると寮費が非常に安く、食事が充実していることも気に入りました。寮内はWi-Fi設備が整い、勉強スペースやタブレット用スペース、防音室も備えたラウンジがあり、毎日を快適に過ごせます。入寮前は友人ができるか不安でしたが、新入生向けの説明会や楽しいウェルカムパーティで、すぐに仲の良い友人をつくることができました。普段は関わりの少ない他学部や他学年の学生と交流できる点も、寮の大きな魅力です。朝7時から9時の朝食時間に合わせることで、不規則だった生活リズムも自然に整いました。

就職実績

コンピュータサイエンス学部

就職率 98.6%
2025年3月卒業者実績

業種別就職先（2025年3月卒業者）



主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

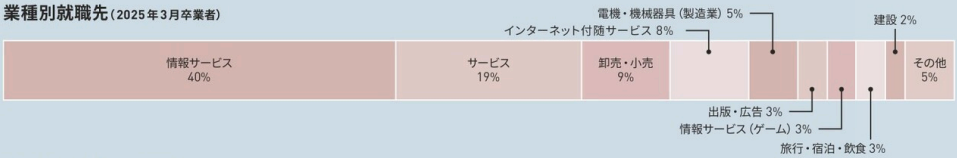
- アイ・エス・ビー
- アカツキゲームス
- アルファシステムズ
- 伊藤忠テクノソリューションズ
- インターネットイニシアティブ
- インテック
- ウェザーニューズ
- ウェルスナビ
- NEC
- NECソリューションイノベータ
- NECネッツエスアイ
- NHKテクノロジーズ
- NSD
- NTT東日本
- NTT東日本-南関東
- 京セラコミュニケーションシステム
- クレスコ
- 群馬銀行
- コナミデジタルエンタテインメント
- サンデン
- シーエーシー
- JR東海
- JR東日本
- システナ
- シャープ
- Sky
- SUBARU
- セイコーエプソン
- 綜合警備保障
- ZOZO
- ソニー
- ソフトクリエイトホールディングス
- ソフトバンク
- 第一生命テクノロス
- DXCテクノロジー・ジャパン
- TDK
- TDCソフト
- 電通総研テクノロジー
- TOKAIホールディングス
- TOPPANホールディングス
- トランスコスモス
- ニフティ
- 日本IBMグループ
- 日本航空電子工業
- 任天堂
- ネットワンシステムズ
- 日立システムズ
- 日立ハイテク
- ビックローブ
- 富士ソフト
- 古河電気工業
- ブロードリーフ
- マーベラス
- 三井住友トラスト・システム&サービス
- 三菱総研DCS
- ミネベアミツミ
- Mercedes-Benz Group AG
- LINEヤフー
- ラクス

ほか

メディア学部

就職率 95.1%
2025年3月卒業者実績

業種別就職先（2025年3月卒業者）



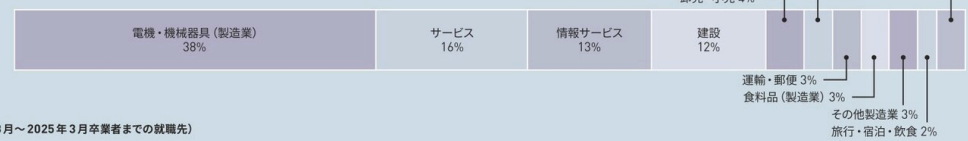
主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

- アイネット
- アドウェイズ
- アルファシステムズ
- イオンエンターテイメント
- ADKホールディングス
- NECネッツエスアイ
- NSW
- NSD
- NTT東日本
- NTT東日本グループ会社
- 大塚商会
- カプコン
- キヤノン
- クリーク・アンド・リバー社
- 警視庁
- ゲオホールディングス
- コーエーテクモホールディングス
- コナミデジタルエンタテインメント
- Cygames
- サイバーエージェント
- 佐川急便
- サントリーホールディングス
- システナ
- システムリサーチ
- ジャステック
- ジャパンエレベーターサービスホールディングス
- 昭和システムエンジニアリング
- Sky
- 西武信用金庫
- 積水ハウス
- セプン&アイ・ホールディングス
- セラク
- 綜合警備保障
- ソーバル
- ソフトクリエイトホールディングス
- テイクアンドギヴ・ニーズ
- TDCソフト
- 電通プロモーションプラス
- 東京セキスイハイム
- 東亜道路工業
- トーセ
- トランスコスモス
- ニトリ
- 日本マクドナルド
- 日本郵便
- 任天堂
- 農林水産省
- 博報堂プロダクツ
- バンダイナムコエンターテインメント
- バンダイナムコスタジオ
- フロム・ソフトウェア
- ベルク
- 星野リゾート
- マーベラス
- メンバーズ
- ヤクルト本社
- ヤマダホールディングス
- ユークス
- U-NEXT HOLDINGS

ほか

工学部

業種別就職先
（2025年3月卒業者）



主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

機械工学科

就職率 98.9%
2025年3月卒業者実績

- アイダエンジニアリング
- アイチコーポレーション
- アマダ
- いすゞ自動車
- ANAラインメンテナンステクニクス
- NTT東日本
- 関電工
- きんでん
- 神戸製鋼所
- 相模鉄道
- 資生堂
- 芝浦メカトロニクス
- ジャパンエレベーターサービスホールディングス
- スズキ
- SUBARU
- 綜合警備保障
- 太平洋セメント
- 常石ソリューションズ東京ベイ
- TDK
- TOKAIホールディングス
- TOPPANホールディングス
- ニップン
- 日本通運
- 日本発条
- 日本テトラパック
- 日野自動車
- 富士通
- 富士通ゼネラル
- 本田技研工業
- ホンダテクノフォート
- マキタ
- 三井住友海上火災保険
- 三菱電機
- 山崎製パン

ほか

電気電子工学科

就職率 98.9%
2025年3月卒業者実績

- Astemo
- アドバンテスト
- アマダ
- 小田急電鉄
- 関西電力
- 関電工
- 菊水電子工業
- サトーホールディングス
- サンケン電気
- JR東日本
- JVCケンウッド
- システナ
- 芝浦メカトロニクス
- SUBARU
- 住友電設
- セゾンテクノロジー
- 綜合警備保障
- 太陽誘電
- TDK
- 東急電鉄
- 東京電力ホールディングス
- 東光高岳
- TOKAIコミュニケーションズ
- TOPPANホールディングス
- 西松建設
- 日本電設工業
- 日本発条
- 長谷工コーポレーション
- パラマウントベッド
- 富士ソフト
- 富士電機
- 本田技研工業
- マツダ
- ミネベアミツミ
- ヤマハ発動機

ほか

応用化学科

就職率 100%
2025年3月卒業者実績

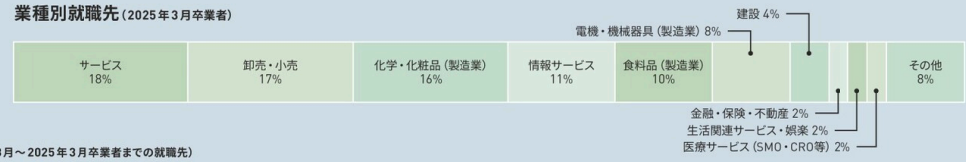
- アインファーマシーズ
- アクシス
- 伊藤製パン
- 井上香料製造所
- 岩谷瓦斯
- Umios
- 栄研化学
- AGC
- エステー
- NTTアドバンステクノロジ
- 大塚商会
- カルビー
- 小池酸素工業
- サンエー化研
- サンケン電気
- JR東日本
- 綜合警備保障
- ソフトウェア・サービス
- 大成温調
- TDK
- 東京エネシス
- 東京応化工業
- 東京ガスネットワーク
- 東建コーポレーション
- 東洋合成工業
- 日本カーバイド工業
- 日本電子
- バーカーコーポレーション
- 日立プラントサービス
- 放電精密加工研究所
- マーレジャパン
- 松田産業
- 山崎製パン
- 山下ゴム
- ヤマト科学

ほか

応用生物学部

就職率 **99.6%**
2025年3月卒業者実績

業種別就職先（2025年3月卒業者）



主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

- アートネイチャー
- アインホールディングス
- アジュバンホールディングス
- アデランス
- イオンフードサプライ
- イトーヨーカ堂
- いなば食品
- ウエルシア薬局
- 榮太樓總本舗
- AGC
- SBI証券
- カネ美食品
- カメガヤ
- キユーピー
- 杏林製薬
- クスリのアオキ
- クボタ環境エンジニアリング
- クラシエ
- クリエイトSDホールディングス
- ケンコーマヨネーズ
- 江東微生物研究所
- コーセーインダストリーズ
- コーナン商事
- コタ
- サティス製薬
- SABON Japan
- 三生医薬
- サンドラッグ
- JR東日本
- シミック
- すかいらーくホールディングス
- 生活協同組合コープみらい
- 第一硝子
- 第一屋製パン
- ダイセルミライズ
- 中外製薬工業
- 月島ジェイテクノメンテサービス
- 東洋製罐グループホールディングス
- トオカツフーズ
- 中村屋
- ニッセーデリカ
- 日本食研ホールディングス
- 日本郵政
- 野村マイクロ・サイエンス
- ピアス
- フジパングループ
- 富士薬品
- プリマハム
- マツモトキヨシ
- Mizkan
- 三菱食品
- 桃谷順天館
- 森永乳業
- 山崎製パン
- 山星屋
- 横浜冷凍
- 理研ビタミン
- ロクシタンジャポン
- わかもと製薬
- わらべや日洋食品　ほか

デザイン学部

就職率 **98.8%**
2025年3月卒業者実績

主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

- 赤ちゃん本舗
- アキレス
- あとらす二十一
- アパホテル
- アルペン
- インタートレード
- ANA関西空港
- ANYCOLOR
- エム・ソフト
- 貝印
- カインズ
- 神奈川中央交通
- キタムラ
- 木下のリフォーム
- グラフテック
- 京葉銀行
- 小泉成器
- コジマ
- コマニー
- コメリ
- サイバーエージェント
- 寒川町役場
- サンドラッグ
- JR東日本ビルテック
- JTB
- 住宅情報館
- 昭栄美術
- 昭和システムエンジニアリング
- 住友不動産ヴィラフォンテーヌ
- セイコーエプソン
- 西武信用金庫
- ソフトバンク
- タイトー
- 高砂熱学工業
- タカラトミー
- タカラトミーアーツ
- 竹本容器
- TBSアクト
- テレビアルファ
- 東京リスマチック
- 東洋製罐グループホールディングス
- 栃木セキスイハイム
- トピア
- ナビタイムジャパン
- 西川
- 日本ケンタッキー・フライド・チキン
- ニュー・オータニ
- ヌーベルアージュ
- ノジマ
- ビックカメラ
- 富士急行
- フジマック
- ブシロード
- ベガコーポレーション
- ぺんてる
- 丸井グループ
- メンバーズ
- ヤーマン
- ユニバーサル園芸社　ほか

医療保健学部　主な就職先（2023年3月～2025年3月卒業者までの就職先）

看護学科

就職率 **100%**
2025年3月卒業者実績

看護師

- 神奈川県立病院機構
- 河北総合病院
- 川崎市病院局
- 関東労災病院
- 北里大学病院
- けいゆう病院
- 国立国際医療センター
- 災害医療センター
- 済生会横浜市東部病院
- 済生会横浜市南部病院
- 順天堂大学医学部附属浦安病院
- 昭和医科大学
- 東京医科大学病院
- 東京科学大学病院
- 東京慈恵会医科大学附属病院
- 東京都健康長寿医療センター
- 東京都済生会中央病院
- 東京都立荏原病院
- 東京都立小児総合医療センター
- 東京都立墨東病院
- 東京都立松沢病院
- 虎の門病院
- 日本医科大学
- 日本大学病院
- 三井記念病院
- 武蔵野赤十字病院
- 横須賀共済病院
- 横浜市立市民病院
- 横浜市立大学

保健師

- NTT東日本
- 川崎市
- コーセー
- 世田谷区
- 富士通
- 横浜市　ほか

臨床工学科

就職率 **98.6%**
2025年3月卒業者実績

- 相澤病院
- 上尾中央医科グループ
- アボットメディカルジャパン
- IMSグループ
- 医療法人社団善仁会
- NTT東日本関東病院
- 海老名総合病院
- かもめ・みなとみらいクリニック
- 川崎幸病院
- 関東労災病院
- 慶應義塾大学病院
- 公立昭和病院
- 国立国際医療センター
- 済生会横浜市東部病院
- 埼玉医科大学病院
- シーメンスヘルスケア
- 湘南鎌倉総合病院
- 昭和医科大学
- 新東京病院
- 総合病院聖隷浜松病院
- 千葉市病院局
- 帝京大学医学部附属溝口病院
- 東京医科大学八王子医療センター
- 東京慈恵会医科大学
- 東京品川病院
- 東京都済生会中央病院
- 東京都立病院機構
- 東北大学病院
- 戸田中央メディカルケアグループ
- 日本光電工業
- フィリップスジャパン
- フクダ電子北関東販売
- ボストン・サイエンティフィックジャパン
- 横浜市立市民病院
- 横浜労災病院　ほか

リハビリテーション学科

就職率 **98.1%**
理学療法学専攻と作業療法学専攻は
就職率 **100%**
2025年3月卒業者実績

- 上尾中央総合病院
- 麻生リハビリ総合病院
- 池上総合病院
- イムス板橋リハビリテーション病院
- イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院
- 汐田総合病院
- 永寿総合病院柳橋分院
- 江田記念病院
- 大内病院
- 大森赤十字病院
- 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
- 蒲田リハビリテーション病院
- 河北総合病院
- 川口工業総合病院
- 菊名記念病院
- 行徳総合病院
- 久喜すずのき病院
- 国立病院機構関東信越グループ
- 越谷市立病院
- 小平中央リハビリテーション病院
- 五反田リハビリテーション病院
- 小張総合病院
- 済生会湘南平塚病院
- 済生会東神奈川リハビリテーション病院
- 済生会横浜市東部病院
- さいたま赤十字病院
- 埼玉みさと総合リハビリテーション病院
- 品川リハビリテーション病院
- 順天堂大学
- 新東京病院
- 新百合ヶ丘総合病院
- 新横浜リハビリテーション病院
- 杉並リハビリテーション病院
- 聖マリアンナ医科大学
- 聖隷横浜病院
- 総合東京病院
- 台東区立台東病院・台東区立老人保健施設千束
- 高島平中央総合病院
- 玉川病院
- タムス市川リハビリテーション病院
- タムスさくら病院江戸川
- つくばセントラル病院
- 筑波メディカルセンター病院
- 鶴巻温泉病院
- 東京品川病院
- 東京通信病院
- 東京都立病院機構
- 戸塚共立いずみ野病院
- 虎の門病院
- 中伊豆リハビリテーションセンター
- ねりま健育会病院
- 練馬光が丘病院
- 初台リハビリテーション病院
- 花はたリハビリテーション病院
- 船橋総合病院
- 牧田総合病院
- みなみ野病院
- 南山リハビリテーション病院
- 明理会東京大和病院
- 大和市立病院
- 横浜旭中央総合病院
- 横浜市立市民病院
- 横浜新緑総合病院
- 横浜なみきリハビリテーション病院
- 横浜南共済病院　ほか

臨床検査学科

就職率 **96.2%**
2025年3月卒業者実績

- 上尾中央医科グループ
- EPLink
- IMSグループ
- 鷲谷健診センター
- 栄研化学
- 永寿総合病院
- 海老名総合病院
- 亀田総合病院
- 川崎幸病院
- 杏林大学医学部付属杉並病院
- 慶應義塾大学病院
- 江東微生物研究所
- 済生会習志野病院
- 済生会横浜市東部病院
- シスメックス
- 順天堂大学医学部附属順天堂医院
- 新宿健診プラザ
- 聖マリアンナ医科大学
- 総合健診センターヘルチェック
- 立川病院
- 千葉メディカルセンター
- 東京慈恵会医科大学
- 東京品川病院
- 東京都済生会中央病院
- 東京都予防医学協会
- 東邦大学医療センター大森病院
- 戸田中央メディカルケアグループ
- 獨協医科大学埼玉医療センター
- 日本医科大学多摩永山病院
- ビー・エム・エル
- 保健科学研究所
- 三井記念病院
- 横浜市立大学
- 横浜市立みなと赤十字病院
- 横浜労災病院　ほか

学費等納入金（2026年4月入学者実績）

コンピュータサイエンス学部

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	250,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	683,000	683,000	698,000	698,000	716,000	716,000	734,000	734,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**956,300**	**683,000**	**698,000**	**698,000**	**716,000**	**716,000**	**734,000**	**734,000**

メディア学部

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	250,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	683,000	683,000	698,000	698,000	716,000	716,000	734,000	734,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**956,300**	**683,000**	**698,000**	**698,000**	**716,000**	**716,000**	**734,000**	**734,000**

工学部【全学科】

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	250,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	703,000	703,000	718,000	718,000	736,000	736,000	754,000	754,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**976,300**	**703,000**	**718,000**	**718,000**	**736,000**	**736,000**	**754,000**	**754,000**

応用生物学部

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	250,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	703,000	703,000	718,000	718,000	736,000	736,000	754,000	754,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**976,300**	**703,000**	**718,000**	**718,000**	**736,000**	**736,000**	**754,000**	**754,000**

デザイン学部

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	250,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	780,000	780,000	795,000	795,000	810,000	810,000	825,000	825,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**1,053,300**	**780,000**	**795,000**	**795,000**	**810,000**	**810,000**	**825,000**	**825,000**

医療保健学部【看護学科】

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	450,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	825,000	825,000	840,000	840,000	858,000	858,000	875,000	875,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**1,298,300**	**825,000**	**840,000**	**840,000**	**858,000**	**858,000**	**875,000**	**875,000**

医療保健学部【看護学科以外】

単位：円

費目		1年目		2年目		3年目		4年目	
		前期(入学手続時)	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
学費	入学金	340,000	—	—	—	—	—	—	—
	授業料	780,000	780,000	795,000	795,000	813,000	813,000	831,000	831,000
諸会費		23,300	—	—	—	—	—	—	—
合計		**1,143,300**	**780,000**	**795,000**	**795,000**	**813,000**	**813,000**	**831,000**	**831,000**

※寄附金または学校債のお願いは一切しておりません。
※授業料は、分納（前期・後期）で納入していただきます。
※施設設備費等は授業料に含まれています。
※入学後に教材や教科書等の費用が別途かかります。
※実験・実習費等は、授業料に含まれています。ただし、実験・実習に関わる交通費、宿泊費等の諸経費は実費負担となります。
※コーオプ実習に関わる交通費、諸経費については実費負担となります。
※医療保健学部の臨地実習・臨床実習費は、授業料に含まれています。ただし、臨地実習・臨床実習に関わる交通費、宿泊費、抗体等の検査費用、予防接種費用、保険料等の諸経費は実費負担となります。
※授業や学生生活においてノートパソコンが必携となります。そのために本学特別仕様のノートパソコンを学内で推奨販売します。このノートパソコンの仕様や金額等の詳細については、3月上旬にお知らせします。
※入学と同時に、在学生は同窓会会則第6条に基づき同窓会準会員となります。同窓会終身会費は40,000円で、入学時に終身会費の一部（6,000円）を納めていただいております。

進学イベント

東京工科大学の学びや
キャンパスライフを
体感しよう！

年間を通して、オープンキャンパスをはじめ、
皆さまの進路選択をサポートする
さまざまなイベントを開催予定です。
詳細は決定次第、本学HP等でお知らせします。



TU×Ai OPEN CAMPUS

八王子キャンパス

コンピュータサイエンス学部
メディア学部
工学部
応用生物学部

2026年
6/14(日) 7/19(日) 8/2(日)・23(日)

蒲田キャンパス

デザイン学部　医療保健学部
デジタルエンターテインメント学部
※2028年4月設置構想中・仮称。計画内容は変更となる場合があります。（オープンキャンパスで当学部のプログラムを開催する際は、HP等でお知らせします。）

6/7(日) 7/12(日) 8/1(土)・16(日)

最新情報はこちらから！
東京工科大学受験生情報サイト
工科大ナビ
https://jyuken.teu.ac.jp/



東京工科大学
公式キャラクター
こうかとん®

Information

最新情報やキャンパスライフを
SNSで発信

最新情報満載のHP

入試、カリキュラム、学部情報、最先端の研究、学生生活、動画コンテンツなど最新情報満載のHP。進学ガイダンスやオープンキャンパスなどのイベント情報もこちらから。

https://www.teu.ac.jp/

東京工科大学は、教育機関として説明責任を果たすべく、大学基本情報、教育・研究、財務状況など各種情報の公開を行っております。

情報公開　https://www.teu.ac.jp/koukai/



進学ガイダンス

全国各地で実施するガイダンスでは、専門のスタッフが進学に関する質問、相談にお答えします。開催地、日時などをHPでご確認のうえ、お気軽にご参加ください。

ソーシャルメディアなどで最新情報を配信中

東京工科大学ではソーシャルメディアで積極的に情報を発信しています。LINEでは入試情報や大学からのメッセージに加え、登録者限定情報もお届けしています。

LINE @tokyo_koukadai
X @tut_tweet
@tut_koukaton.official
@teu.ac.jp
YouTube @TokyoKokaDaigaku

公式 URL
https://www.teu.ac.jp/

ご質問・ご相談は広報課まで　八王子キャンパス 0120-444-903　蒲田キャンパス 0120-444-925　E-mail pr@stf.teu.ac.jp

※本誌掲載の文章・写真・イラストなどの無断転載を禁じます。